

秋田自動車道 横手工事

設 計 図 (6 / 1 1)

新町橋下部工

令和 6 年 6 月

東日本高速道路株式会社 東北支社
横手工事事務所

図面目録

【新町橋下部工】

No	図面名	図面番号
1	新町橋（上り線）下部工数量総括表	1
2	新町橋（上り線）橋梁一般図（１）～（３）	2 ～ 4
3	新町橋（上り線）下部工座標図	5
4	新町橋（上り線）Ａ１橋台構造一般図（１）～（２）	6 ～ 7
5	新町橋（上り線）Ａ１橋台構造物裏込め工詳細図	8
6	新町橋（上り線）Ａ１橋台配筋図（１）～（１０）	9 ～ 18
7	新町橋（上り線）Ａ１橋台場所打ち杭配筋図	19
8	新町橋（上り線）Ｐ１橋脚構造一般図	20
9	新町橋（上り線）Ｐ１橋脚配筋図（１）～（３）	21 ～ 23
10	新町橋（上り線）Ｐ１橋脚場所打ち杭配筋図	24
11	新町橋（上り線）Ｐ１橋脚土留工詳細図	25
12	新町橋（上り線）Ｐ２橋脚構造一般図	26
13	新町橋（上り線）Ｐ２橋脚配筋図（１）～（３）	27 ～ 29
14	新町橋（上り線）Ｐ２橋脚場所打ち杭配筋図	30
15	新町橋（上り線）Ｐ２橋脚土留工詳細図	31
16	新町橋（上り線）Ｐ３橋脚構造一般図	32
17	新町橋（上り線）Ｐ３橋脚配筋図（１）～（３）	33 ～ 35
18	新町橋（上り線）Ｐ３橋脚場所打ち杭配筋図	36
19	新町橋（上り線）Ｐ４橋脚構造一般図	37
20	新町橋（上り線）Ｐ４橋脚配筋図（１）～（３）	38 ～ 40

[illegible]

新町橋（上り線）下部工数量総括表

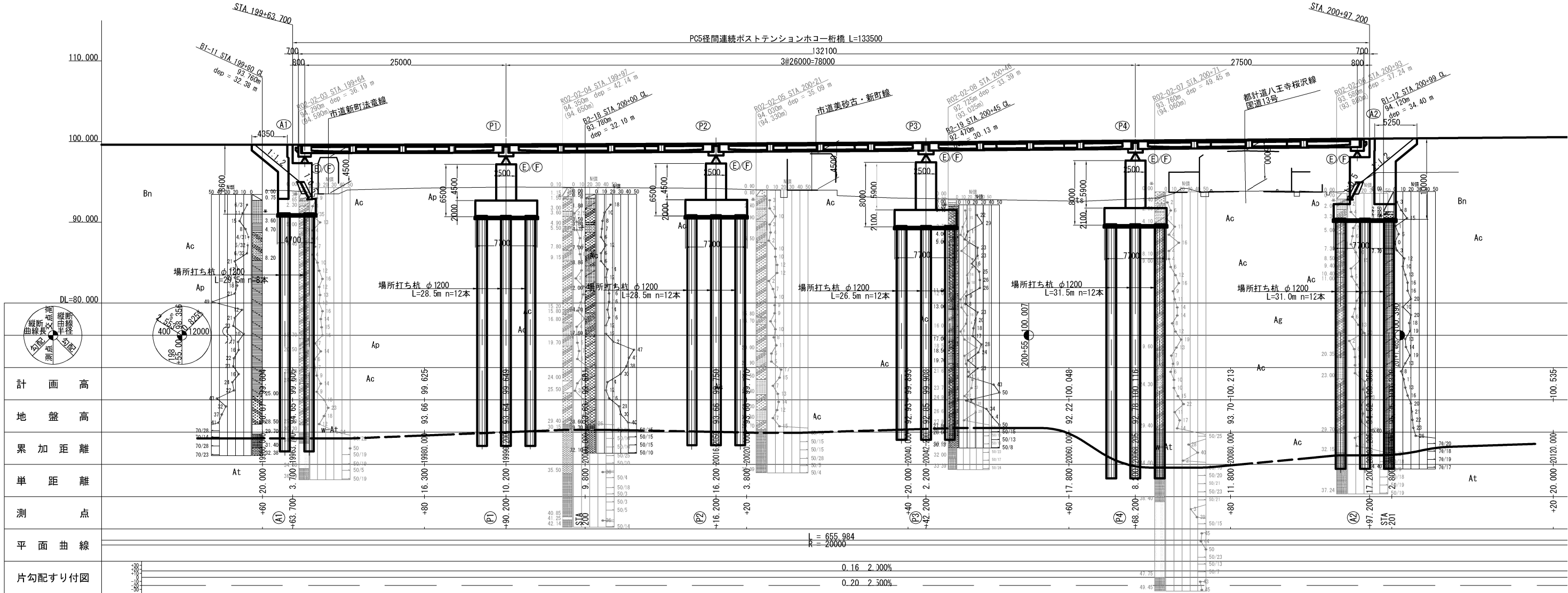
項 目	種 別		単 位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	A2橋台	合 計	摘 要
構造物掘削	普通部A 1		m3	432.9	-	-	742.6	-	-	1175.5	※1
	特殊部 S 1		〃	-	634.2	-	-	-	-	634.2	※1
	特殊部 S 2		〃	-	-	603.0	-	-	-	603.0	※1
	特殊部 S 3		〃	-	-	-	-	683.4	-	683.4	※2
	特殊部 S 4		〃	-	-	-	-	-	758.3	758.3	※2
地下排水工	Du-P (Dp) φ0.15・0.50・0.50		m	11.5	-	-	-	-	12.8	24.3	フィルター材 C-80
基礎材	B1		m3	9.9	14.5	14.5	14.5	14.5	16.3	84.2	
基礎杭	場所打ちコンクリート杭	(機械掘削 φ1200mm)	m	236.0	342.0	342.0	318.0	378.0	372.0	1988.0	※3
コンクリート	A1-3		m3	163.2	67.5	67.5	88.5	88.5	220.9	696.1	橋台・橋脚
	B2-1		〃	104.9	163.4	163.4	171.7	171.7	172.9	948.0	橋台・橋脚フーチング
	D1-1		〃	5.0	7.3	7.3	7.3	7.3	8.1	42.3	均しコン
	C		m2	235.9	172.6	172.6	207.1	207.1	318.7	1314.0	躯体・フーチング
型わく	D		〃	3.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	22.1	均しコン
鉄筋	A	D13	t	-	-	-	-	-	-	-	SD345
		D16～D25	〃	6.047	3.379	3.994	4.551	8.578	8.681	35.230	〃
		D29～D32	〃	-	7.516	8.282	10.664	5.112	-	31.574	〃
		D35	〃	-	6.499	2.798	11.405	6.499	-	27.201	〃
		D38	〃	-	-	-	-	3.060	-	3.06	〃
		D41	〃	-	-	5.612	-	-	-	5.612	〃
		計	〃	6.047	17.394	20.686	26.620	23.249	8.681	102.677	〃
	A(1)	D13	〃	-	-	-	-	-	-	-	SD490
		D16～D25	〃	-	0.38	0.38	0.879	0.879	-	2.518	〃
		D29～D32	〃	-	-	-	-	-	-	-	〃
		D35	〃	-	-	-	-	-	-	-	〃
		D38	〃	-	4.267	4.275	-	-	-	8.542	〃
		D41	〃	-	-	-	6.235	6.235	-	12.47	〃
		計	〃	-	4.647	4.655	7.114	7.114	-	23.53	〃
	A(E)	D13	〃	0.097	-	-	-	-	0.137	0.234	SD345, エポキシ樹脂塗装鉄筋
		D16	〃	4.875	-	-	-	-	4.958	9.833	〃
		D19～D25	〃	0.702	-	-	-	-	3.862	4.564	〃
		合計	〃	5.674	-	-	-	-	8.957	14.631	〃
		D29～D32	〃	-	-	3.947	-	-	-	3.947	SD345
	B	D35	〃	-	3.305	-	4.821	-	-	8.126	〃
		D38	〃	-	-	-	-	3.994	-	3.994	〃
		計	〃	-	3.305	3.947	4.821	3.994	-	16.067	〃
		機械式継手箇所	D29	箇所	-	-	-	-	-	-	〃
			D32	〃	-	46	-	-	-	46	〃
			D35	〃	-	32	46	-	-	78	〃
			D38	〃	-	-	-	32	-	32	〃
		計	〃	-	32	46	46	32	-	156	〃
		D16～D25	t	0.094	3.049	2.449	3.240	3.866	0.959	13.657	〃
		D29～D32	〃	-	0.438	0.438	-	-	-	0.876	〃
	C	計	〃	0.094	3.487	2.887	3.240	3.866	0.959	14.533	〃
		機械式定着箇所	D16	箇所	33	275	692	782	365	2147	〃
			D19	〃	-	417	-	417	221	1055	〃
			D22	〃	-	-	-	-	-	-	〃
			D25	〃	-	-	32	32	-	64	〃
			D29	〃	-	32	32	-	-	64	〃
			合計	〃	33	724	814	814	221	3330	〃
		D16	t	0.619	-	-	-	-	0.764	1.383	SD345, エポキシ樹脂塗装鉄筋
	C(E)	計	〃	0.619	-	-	-	-	0.764	1.383	〃
		機械式定着箇所	D16	箇所	193	-	-	-	217	410	〃
			計	〃	193	-	-	-	217	410	〃
	Y	D13	t	-	-	-	-	-	-	-	SD345
		D16～D25	〃	17.976	18.288	18.288	14.424	21.048	25.260	115.284	〃
		D29～D32	〃	22.680	25.104	25.104	3.396	24.216	24.216	124.716	〃
		D35	〃	-	-	-	29.196	-	-	29.196	〃
		計	〃	40.656	43.392	43.392	47.016	45.264	49.476	269.196	〃
段差防止構造	緩衝材	クロロブレンゴム	t=50mm	m2	2.475	-	-	-	2.475	4.950	硬度55° ±5° 程度(上部工施工)
はく落防止対策工	A			〃	10.2	-	-	0.3	2.3	12.8	
表面保護工	コンクリート表面被覆工			〃	59.7	-	-	-	58.2	117.9	
仮設物設置・撤去工	仮設防護柵 設置			m	-	-	-	32.2	38.2	70.4	
	仮設防護柵 撤去			〃	-	-	-	32.2	38.2	70.4	

※1) 残土運搬先：美砂古沼本線外盛土場
※2) 残土運搬先：前郷地区本線外盛土場
※3) 残土運搬先：美砂古沼本線外盛土場、前郷地区本線外盛土場

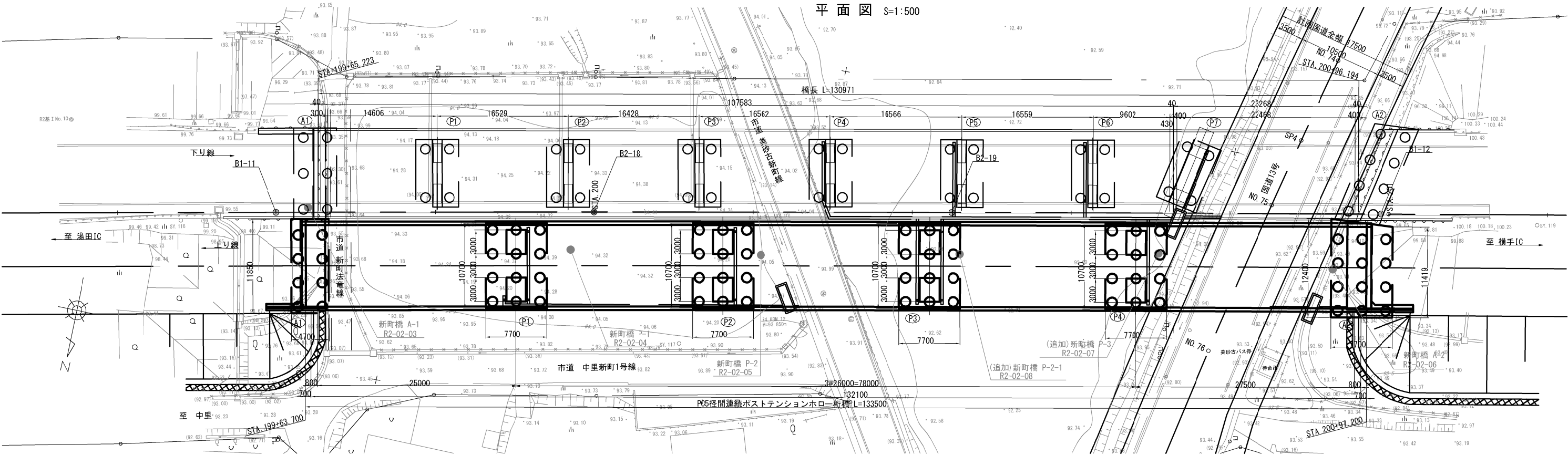
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	下部工数量総括表		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

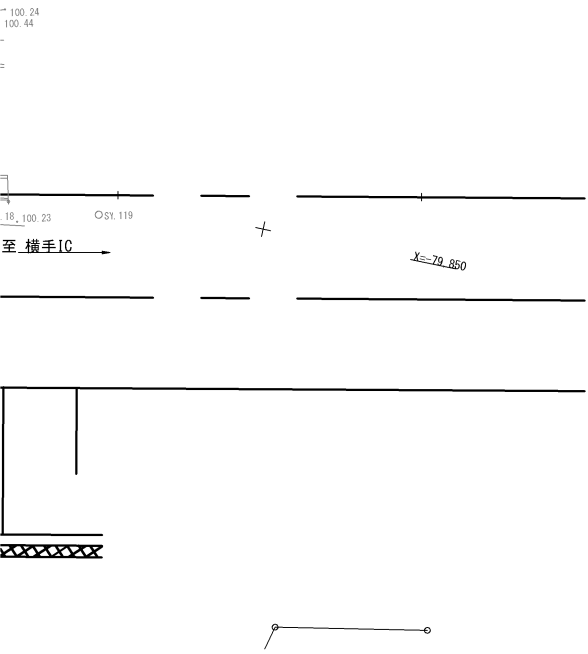
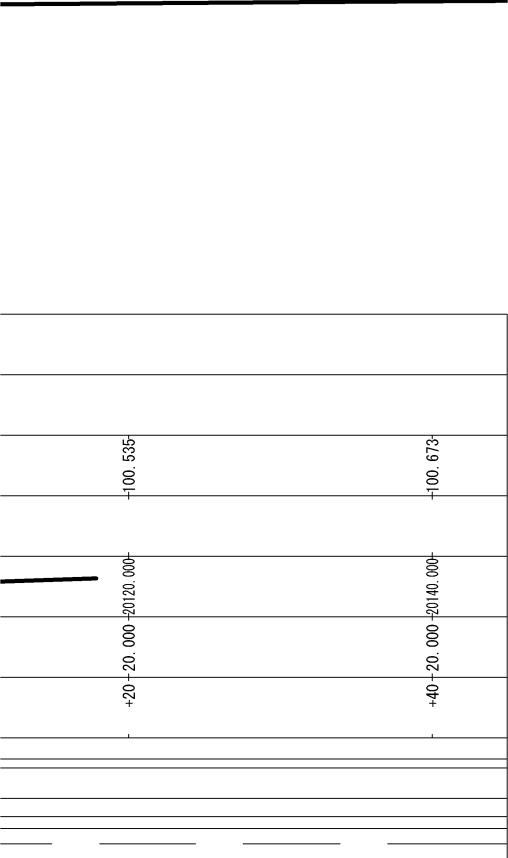
新町橋（上り線）橋

側面図 S=1:500

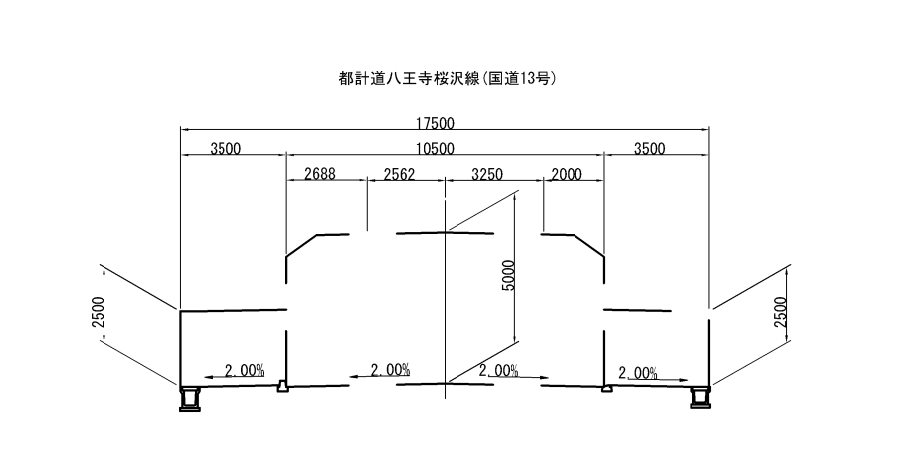
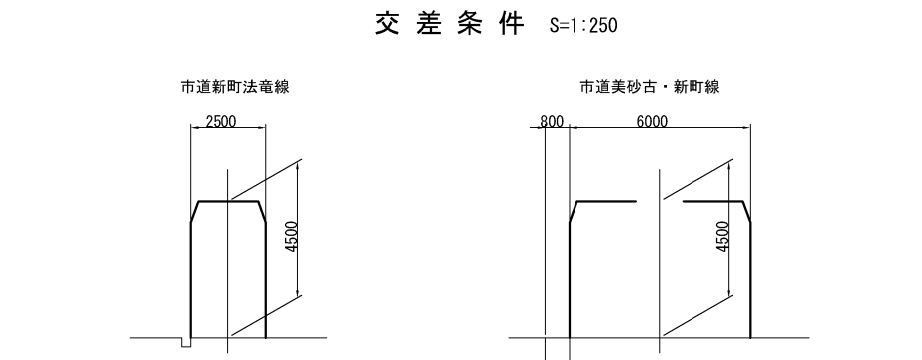
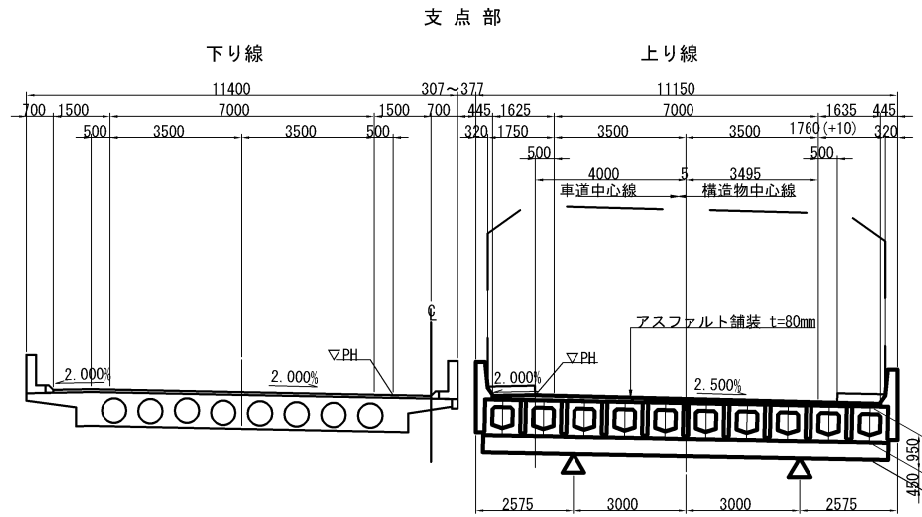
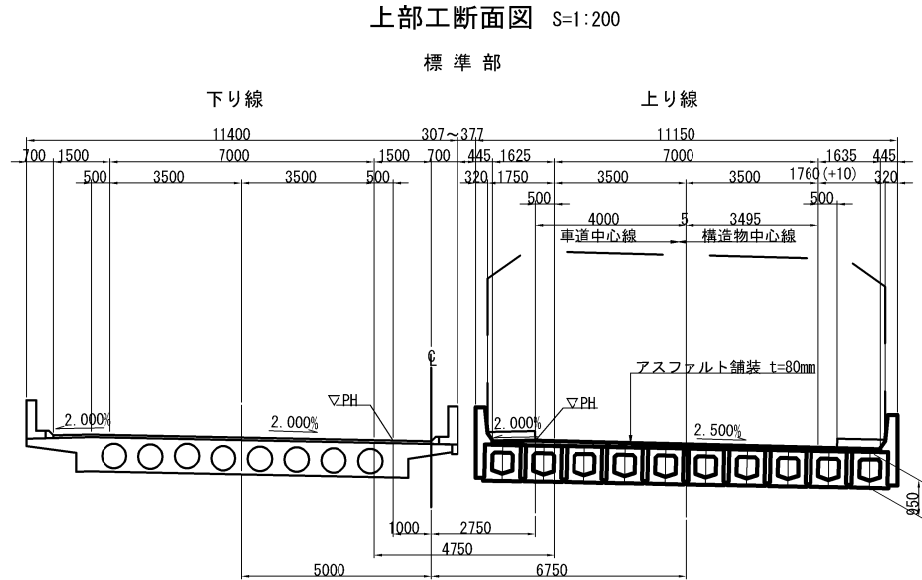


平面図 S=1:500






地質・岩体区分凡例		
地層名	地 質	断面図記号
	表土・盛土	ts
		Bn
沖積層	腐 植 土	Ap
	粘 性 土	Ac
	礫 質 土	Ag
相野々層	風化泥岩	w-At
	砂岩・凝灰岩・泥岩の互層	At

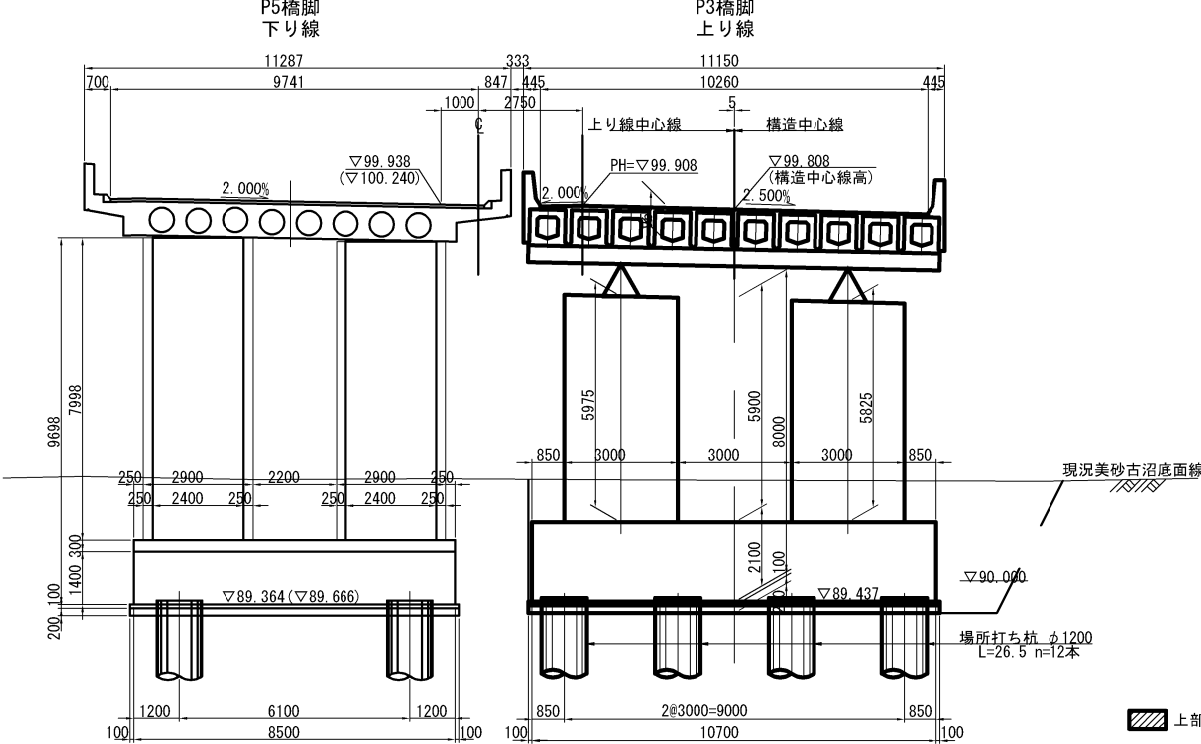
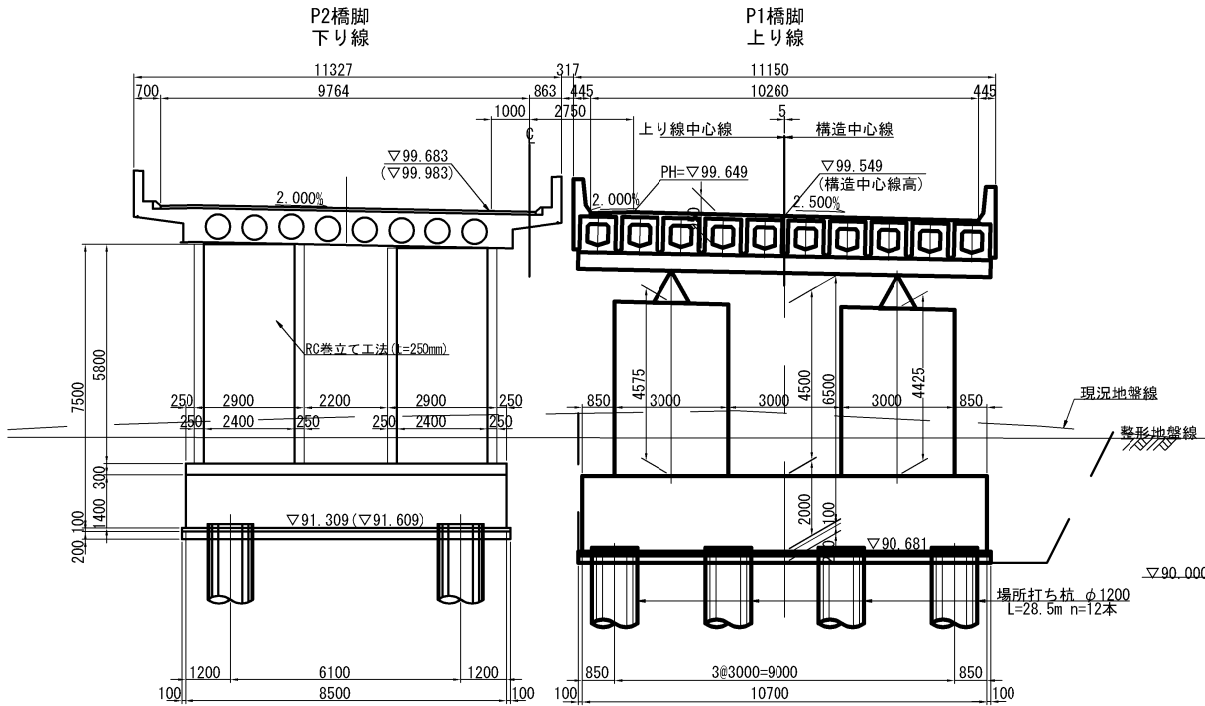
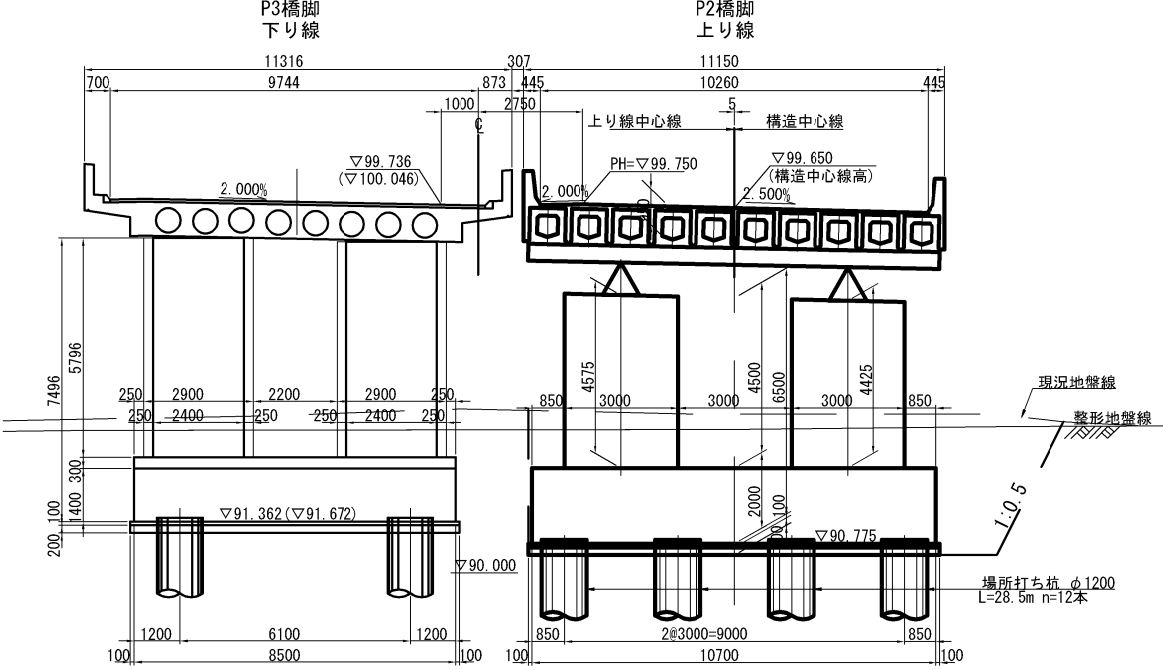
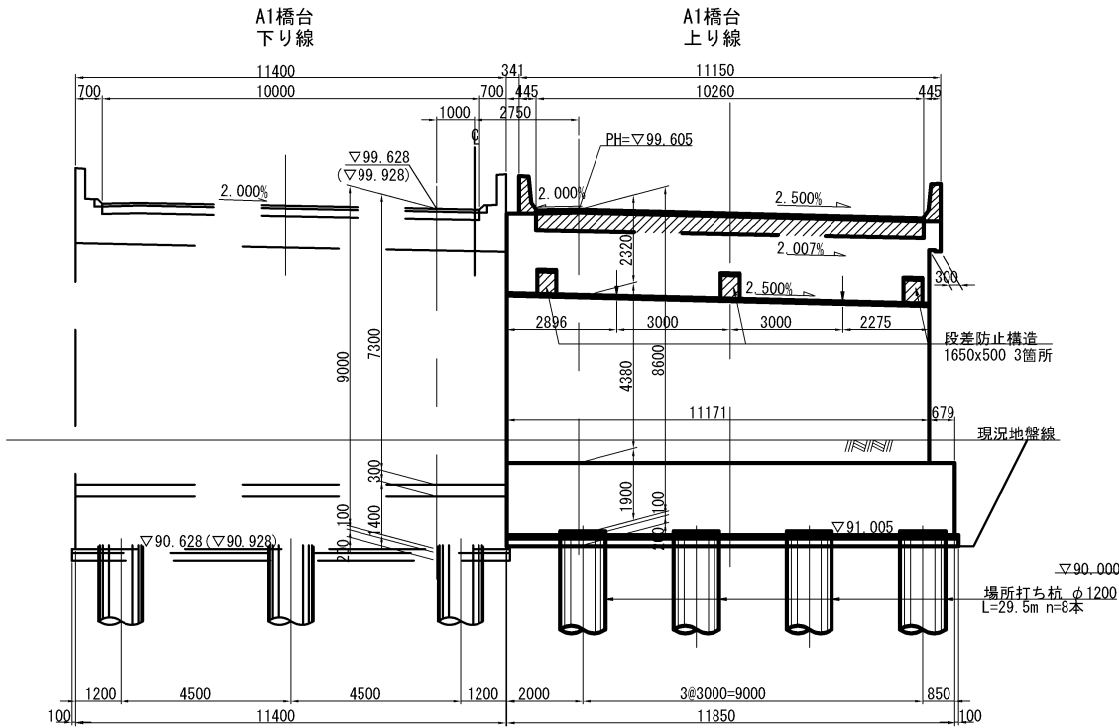


設 計 条 件

基本 条件	路線名	秋田自動車道		
	橋名	新町橋 上り線（Ⅱ期線）		
	道路規格	第1種第3級B規格		
	設計速度	80km/h		
	計画交通量	6300台/日（上下線合計）		
	橋長	133.50m（CL上）		
	桁長	132.10m（CL上）		
	支間長	25.0m+3@26.0m+27.5m（CL上）		
	全幅員	11.15m	非常駐車帯部:	—
	有効幅員	10.25m	非常駐車帯部:	—
耐荷性能 条件	平面線形	R=20000		
	縦断線形	i=0.825%（ )		
	横断線形	i=2.500%（ )		
	斜角	90° 00' 00"		
	橋の耐荷性能	橋の耐荷性能2		
	設計供用期間	100年		
	舗装荷重	アスファルト舗装 t=30mm		
	遮音壁荷重	設置しない（設計荷重は両側にH=3.0mの荷重を考慮）		
	雪荷重	積雪寒冷地特別地域：地覆部のみ考慮(1橋当り2.0kN/m)		
	設計活荷重	B活荷重		
耐久性 条件	温度変化条件	寒冷の地方		
	橋の重要度区分	B種の橋		
	地域補正係数	B2地域：Cz=0.85, CⅠz=1.0, CⅡz=0.35		
	地盤種別	Ⅲ種地盤		
	地盤の液状化	液状化の影響を考慮する層：Ag層、Ap層		
	設計水平震度	レベル1	橋軸方向：0.26	直角方向：0.21
		レベル2（Ⅰ）	橋軸方向：1.20	直角方向：1.14
		レベル2（Ⅱ）	橋軸方向：1.28	直角方向：0.89
	固有周期	レベル1	橋軸方向：1.17	直角方向：0.19
		レベル2（Ⅰ）（Ⅱ）	橋軸方向：1.19	直角方向：0.29
上部 構造 条件	架橋環境条件	飛来塩分：無、凍結抑制剤散布：有		
	塩害対策区分	該当する		
	維持管理の制約	—		
	部材の設計耐久期間	[更新を前提としない部材] 主桁、床版、支承、下部構造：100年		
		[更新を前提とする部材] 舗装、伸縮装置、検査路、排水装置：適宜		
	内部鋼材の防食	防錆処理被覆PC鋼材、エポキシ樹脂塗装鉄筋（最外縁鉄筋、主筋）		
下部 構造 条件	鉄筋被り	H28設計要領第二集に準じる		
	橋梁形式	PC5径間連続ポストテンションホロー桁橋		
	防護柵形式	フロリダ型 SB種		
	使用材料	主要鋼材	主桁：12S15、2B、12S12、7B、横梁：1S28、6	
		コンクリート	σck=50N/mm2（主桁、横桁、横梁）	
		鉄筋	SD345（主桁、横桁、横梁、壁高欄）	
架設方法	トラッククレーン架設			
その他 検討事項	構造形式	逆T式橋台、二柱式橋脚		
	基礎形式	場所打ち杭 φ1200		
	使用材料	コンクリート	σck=30N/mm2（躯体）	
			σck=24N/mm2（フーチング、杭）	
σck=18N/mm2（均しコンクリート）				
支持地盤	鉄筋	SD345、SD490（橋脚主筋）		
		At（N≧50）		
支承形式	分散構造（橋軸方向：分散E、橋軸直角方向：全固定）			
落橋防止システム	落橋防止構造	省略		
維持管理条件	点検方法	検査路、橋梁点検車		
	地震時の点検補修部位	橋脚基部、支承		
その他検討事項	第三者被害対策	飛雪（落下物）防止柵、つらら防止		
	振動・騒音条件	コンクリート剥落防止 —		
適用基準等	道路標示方書・同解説	Ⅰ～Ⅴ編（平成29年11月）日本道路協会		
	設計要領第二集	（平成28年8月）東日本高速道路株式会社		

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） 橋梁一般図（1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

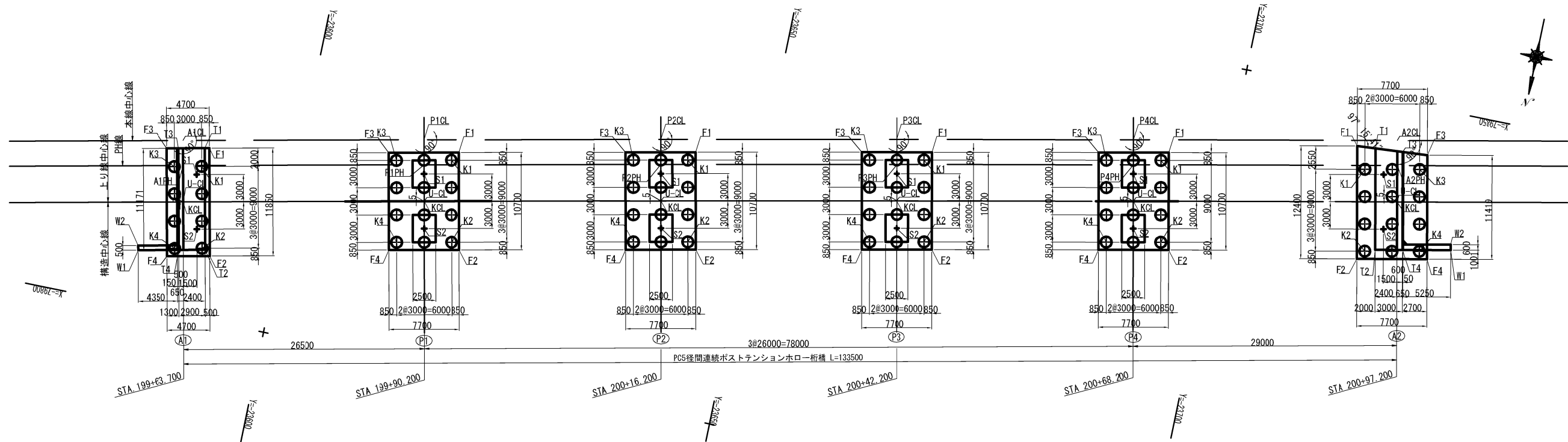
下部工断面図 S=1:200



上部工施工区分を示す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） 橋梁一般図（2）		
縮 尺	1:200	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工務事務所		

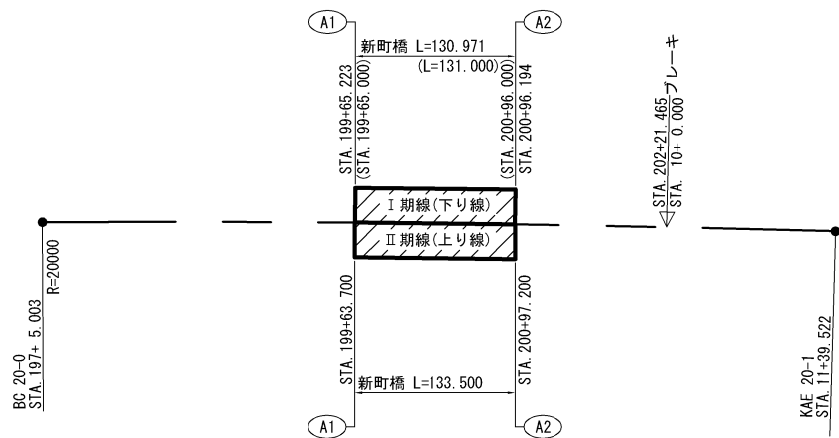
※（ ）内の高さは、日本測地系時の高さ（I期線完成図）を示す。



主線形要素

平面線形

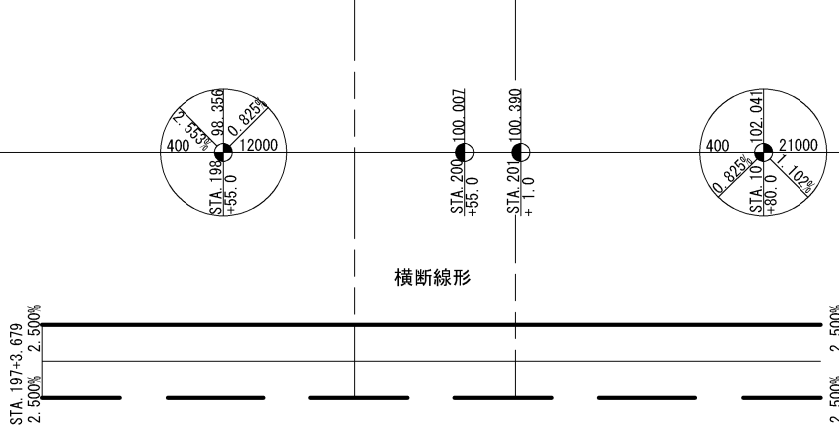
※() 数値は、日本測地系を示す。



本線（世界測地系）				
	測点	X座標	Y座標	要素
BC 20-0	197+ 5.002868	-79.764.224753	-23.334.190465	R=20,000
プレーキ	202+21.465000	-79.870.004124	-23.839.689266	
	10+00.000000			
KAE20-1	11+39.522038	-79.896.337779	-23.976.703348	

縦断線形

横断線形

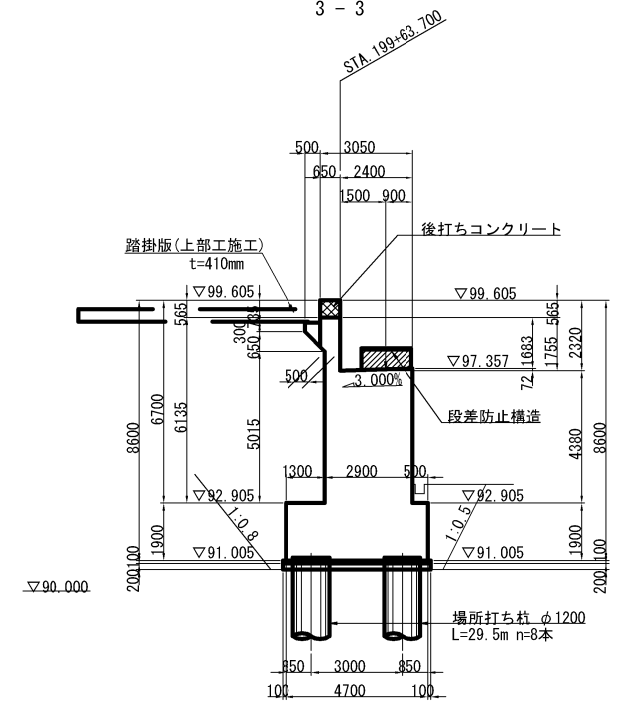


大座標値

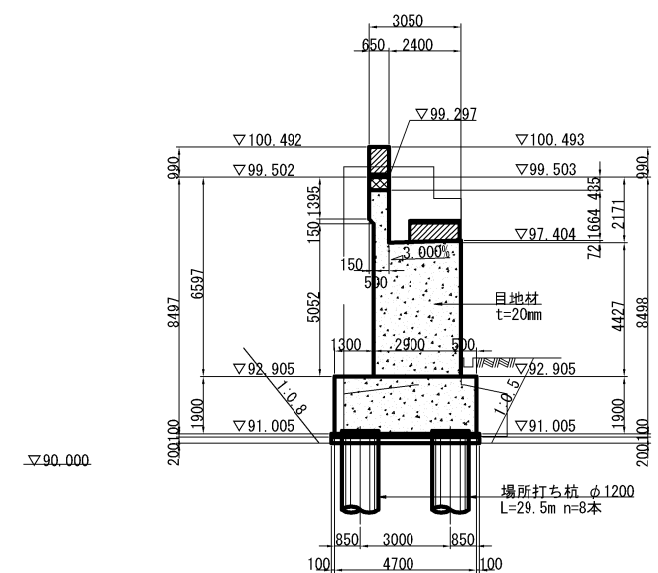
		A1橋台		P1橋脚		P2橋脚		P3橋脚		P4橋台		A2橋台	
		X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
本線中心線	CL	-79818.8416	-23587.0546	-79824.2516	-23612.9965	-79829.5261	-23638.4559	-79834.7674	-23663.9221	-79839.9757	-23689.3951	-79845.7459	-23717.8152
	PH線	-79816.1499	-23587.6178	-79821.5591	-23613.5561	-79826.8329	-23639.0120	-79832.0735	-23664.4747	-79837.2811	-23689.9442	-79843.0505	-23718.3605
上り線中心線	U-CL	-79812.2347	-23588.4370	-79817.6428	-23614.3701	-79822.9155	-23639.8209	-79828.1551	-23665.2785	-79833.3616	-23690.7429	-79839.1299	-23719.1535
構造中心線	KCL	-79812.2298	-23588.4380	-79817.6379	-23614.3712	-79822.9106	-23639.8219	-79828.1502	-23665.2795	-79833.3567	-23690.7439	-79839.1250	-23719.1545
縦壁	T1	-79818.4923	-23589.5797	-	-	-	-	-	-	-	-	-79844.4018	-23715.6385
	T2	-79807.5581	-23591.8675	-	-	-	-	-	-	-	-	-79833.4788	-23717.8480
	T3	-79817.8984	-23586.7411	-	-	-	-	-	-	-	-	-79844.6219	-23718.6547
	T4	-79806.9642	-23589.0299	-	-	-	-	-	-	-	-	-79834.0736	-23720.7884
底版	F1	-79818.5947	-23590.0691	-79823.6595	-23617.0519	-79828.9287	-23642.5105	-79834.1648	-23667.9759	-79839.3678	-23693.4481	-79844.2550	-23713.6277
	F2	-79806.9959	-23592.4959	-79813.1834	-23619.2293	-79818.4497	-23644.6743	-79823.6831	-23670.1261	-79828.8833	-23695.5847	-79832.1012	-23716.0861
	F3	-79817.6322	-23585.4687	-79822.0925	-23609.5130	-79827.3715	-23634.9696	-79832.6174	-23660.4330	-79837.8302	-23685.9032	-79844.8200	-23721.3694
	F4	-79806.0334	-23587.8955	-79811.6164	-23611.6904	-79816.8926	-23637.1334	-79822.1357	-23662.5832	-79827.3457	-23688.0398	-79833.6278	-23723.6333
杭	K1	-79816.4630	-23589.6467	-79822.6543	-23616.3926	-79827.9243	-23641.8499	-79833.1613	-23667.3140	-79838.3652	-23692.7850	-79841.9242	-23714.9664
	K2	-79807.6538	-23591.4899	-79813.8426	-23618.2241	-79819.1103	-23643.6700	-79824.3449	-23669.1226	-79829.5464	-23694.5821	-79833.1028	-23716.7507
	K3	-79815.8487	-23586.7103	-79821.4333	-23610.5182	-79826.7110	-23635.9739	-79831.9558	-23661.4364	-79837.1671	-23686.9058	-79843.1137	-23720.8473
	K4	-79807.0394	-23588.5534	-79812.6216	-23612.3497	-79817.8969	-23637.7939	-79823.1392	-23663.2450	-79828.3483	-23688.7029	-79834.2924	-23722.6316
支承	S1	-79815.4733	-23589.2918	-79820.5752	-23613.7606	-79825.8486	-23639.2152	-79831.0890	-23664.6767	-79836.2963	-23690.1449	-79841.7680	-23717.0895
	S2	-79809.6005	-23590.5206	-79814.7007	-23614.9817	-79819.9726	-23640.4286	-79825.2114	-23665.8824	-79830.4172	-23691.3430	-79835.8871	-23718.2791
ウイング	W1	-79806.0426	-23584.6243	-	-	-	-	-	-	-	-	-79835.1244	-23725.9832
	W2	-79806.5320	-23584.5219	-	-	-	-	-	-	-	-	-79835.7125	-23725.8642

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） 下部工座標図		
	縮 尺	1:500	図面番号 /
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		




側 面 図
3 - 3



左側端部側面図
6 - 6



凡例

	上部工施工部を示す。
	伸縮切欠部を示す。(上部工施工)
	I 期線隣接部目地材

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 1 橋台構造一般図（1）		
縮 尺	1:250	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
	横手工事事務所		

新町橋（上り線）A 1 橋台構造一般図（2）

支承箱抜き詳細図 S=1:75

パラペット頂部詳細図 S=1:75

壁高欄・張出部詳細図 S=1:50

標準部

土留め壁部

打ち下し部

ウイングと地覆との取り合い図 S=1:100

段差防止構造配置図 S=1:125

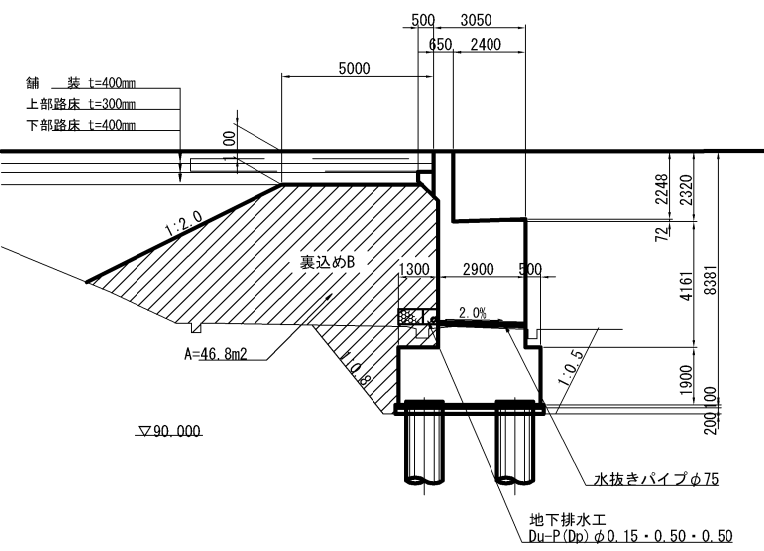
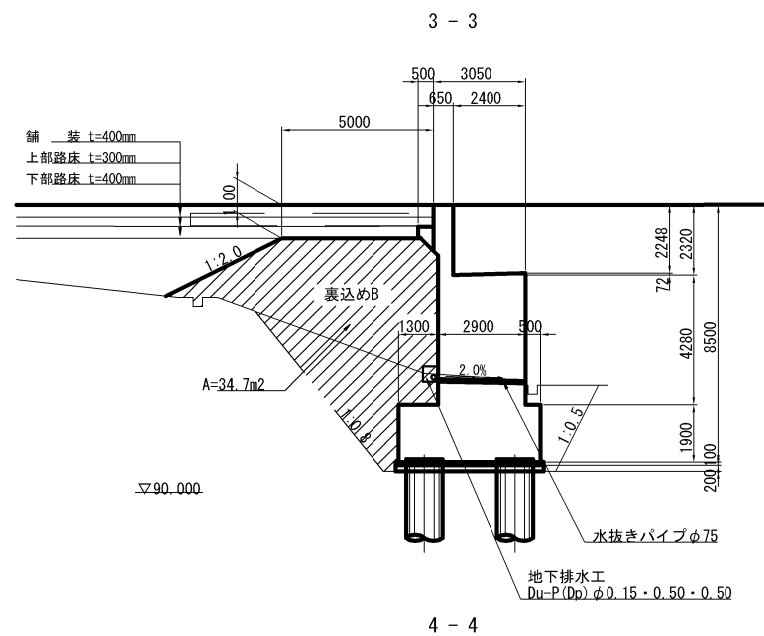
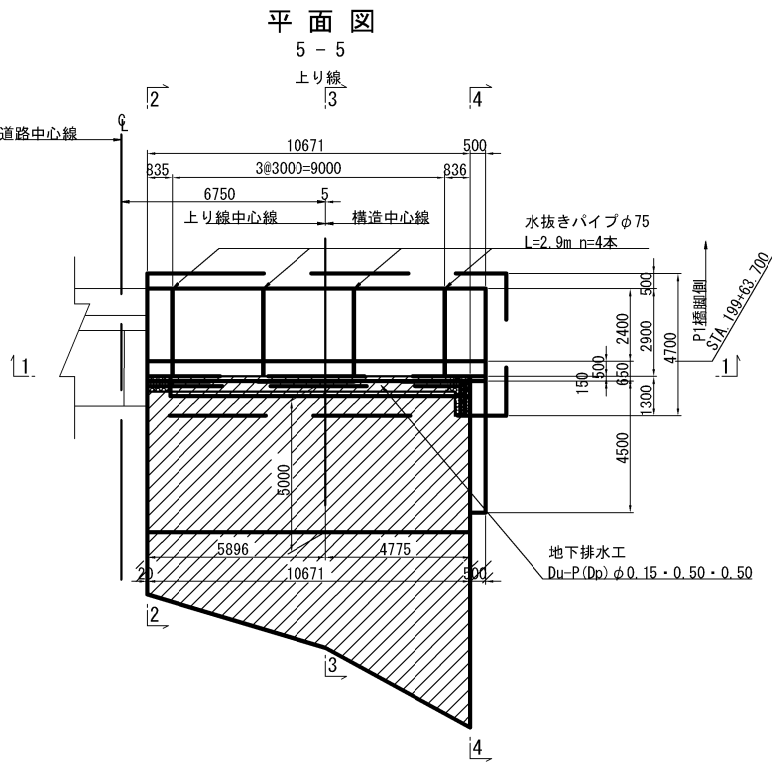
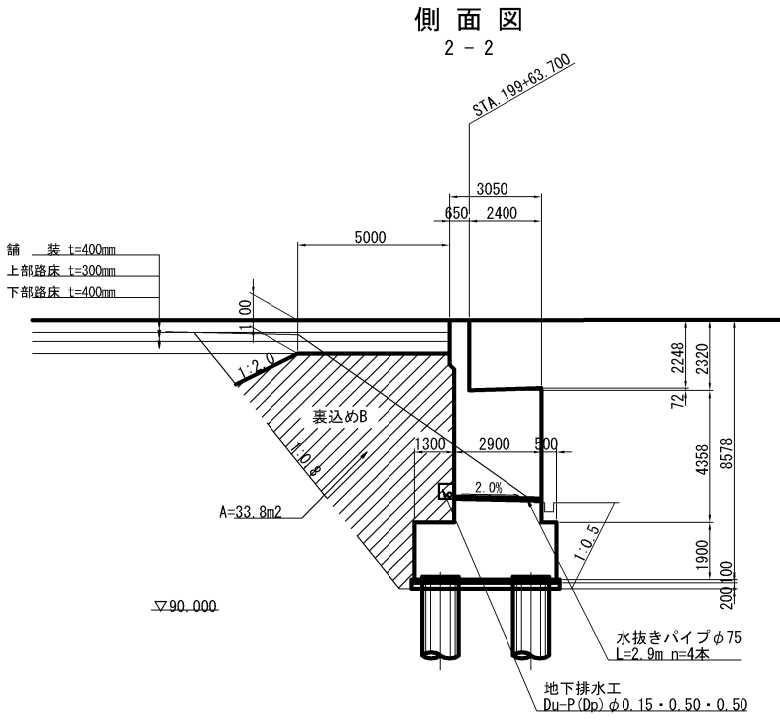
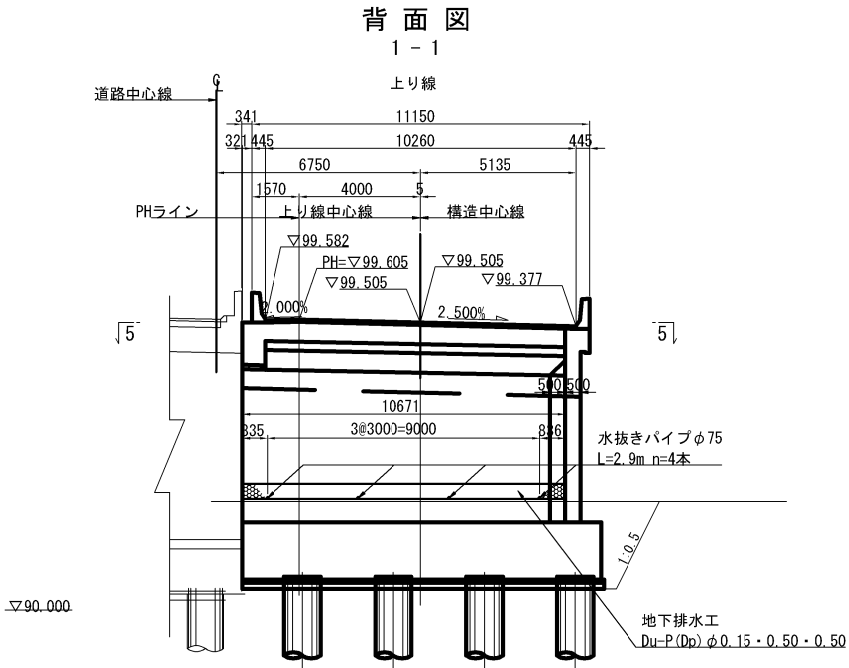
段差防止構造詳細図 S=1:75

橋座平面図 S=1:125

構造高さ表

	単位	PH	S1	KCL	S2
路面計画高 (FL1)	m	99.606	99.581	99.506	99.431
舗装厚 (h1)	mm	—	129	—	99
主桁高 (h2)	mm	—	950	—	950
感圧硬化ゴム (h3)	mm	—	9	—	9
横梁余盛高 (h4)	mm	—	1	—	—
横梁高 (h5)	mm	—	450	—	450
横梁下面高 (EL2)	m	—	98.042	—	97.923
レアー厚 (h6)	mm	—	46	—	46
支承高 (h7)	mm	—	614	—	614
モルタル高 (h8)	mm	—	76	—	107
台座コンクリート高 (h9)	mm	—	—	—	—
構造高合計 (ΣH)	mm	—	2275	—	2275
下部工天端高 (EL3)	m	97.331	97.306	97.231	97.156
支承設置角 (θ)	—	—	90° 0' 0"	—	90° 0' 0"

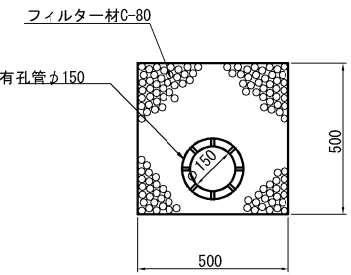
	A	B	C
t1	615	645	645
t2	616	646	646
t3	614	644	644
t4	591	621	621
t5	592	622	622
t6	590	620	620
t7	640	670	670
t8	641	671	671
t9	639	669	669



数量表

項目	規格	単位	数量	備考
構造物裏込め	裏込めB	m ³	396.5	※後掲図「上り線型A1(1)」に含む
地下排水工	Du-P(Dp)φ0.15・0.50・0.50	m	11.5	フィルター材 C-80
水抜きパイプ	VP75A	m	11.6	

地下排水工詳細図 縮尺1:25



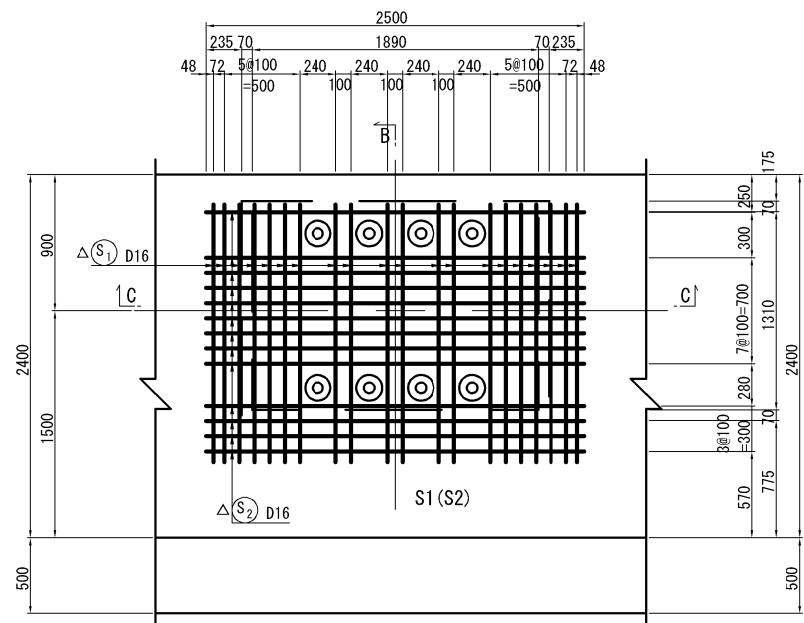
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 1 橋台構造物裏込め工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A1橋台配筋図（2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

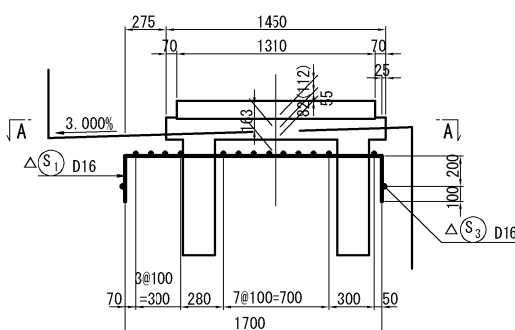
S=1:50

橋軸直角方向

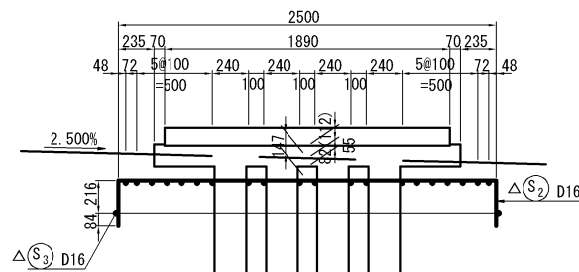
橋軸直角方向



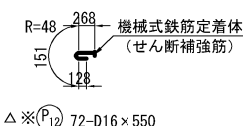
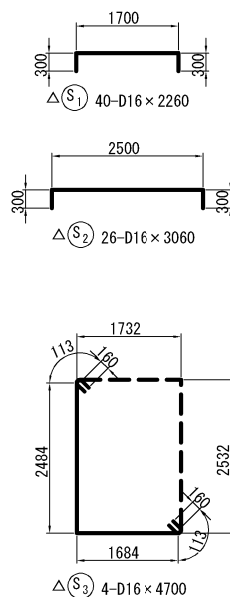
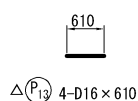
B - B





C - C

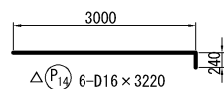
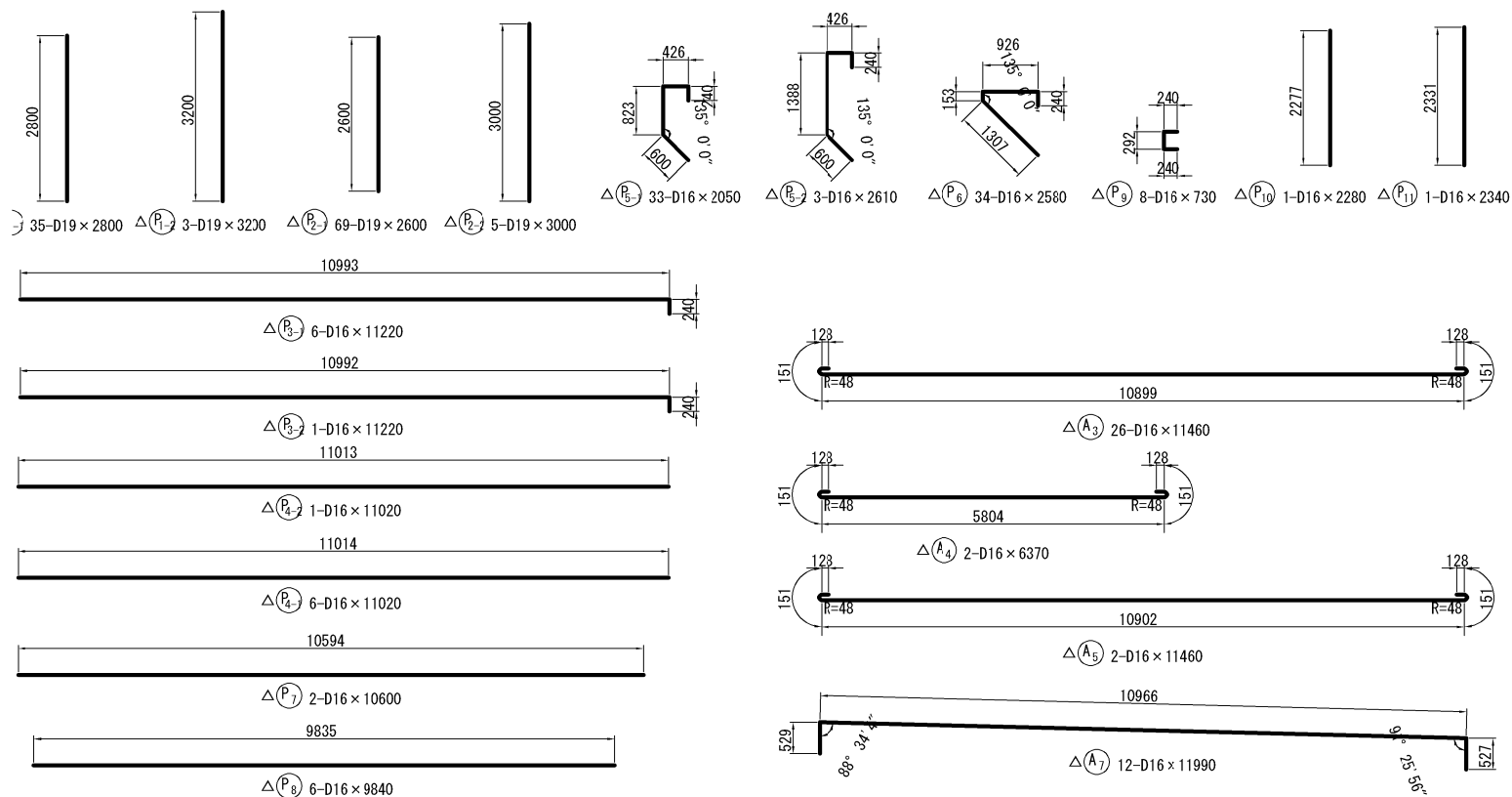
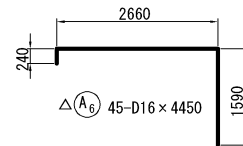
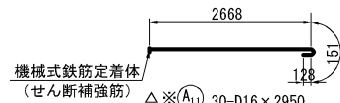


注) ()内はS2側支承箱抜を示す。

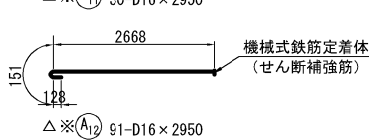
 $\Delta \otimes (\mathbb{P}_{12})$ 72-D16 x 550 $\Delta(P_{13}) \quad 4-D16 \times 610$

 $\Delta \textcircled{A_1}$ 74-D16×6040 (平均長)									
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)	記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	5678	5900	38	D16	1	5816	6040
2	"	1	5681	5900	39	"	1	5820	6040
3	"	1	5685	5910	40	"	1	5824	6050
4	"	1	5689	5910	41	"	1	5827	6050
5	"	1	5692	5920	42	"	1	5831	6050
6	"	1	5696	5920	43	"	1	5835	6060
7	"	1	5700	5920	44	"	1	5839	6060
8	"	1	5704	5930	45	"	1	5842	6070
9	"	1	5707	5930	46	"	1	5846	6070
10	"	1	5711	5930	47	"	1	5850	6070
11	"	1	5715	5940	48	"	1	5854	6080
12	"	1	5719	5940	49	"	1	5857	6080
13	"	1	5722	5950	50	"	1	5861	6080
14	"	1	5726	5950	51	"	1	5865	6090
15	"	1	5730	5950	52	"	1	5869	6090
16	"	1	5734	5960	53	"	1	5872	6100
17	"	1	5737	5960	54	"	1	5876	6100
18	"	1	5741	5960	55	"	1	5880	6100
19	"	1	5745	5970	56	"	1	5884	6110
20	"	1	5749	5970	57	"	1	5887	6110
21	"	1	5752	5980	58	"	1	5891	6110
22	"	1	5756	5980	59	"	1	5895	6120
23	"	1	5760	5980	60	"	1	5899	6120
24	"	1	5764	5990	61	"	1	5902	6130
25	"	1	5767	5990	62	"	1	5906	6130
26	"	1	5771	5990	63	"	1	5910	6130
27	"	1	5775	6000	64	"	1	5914	6140
28	"	1	5779	6000	65	"	1	5917	6140
29	"	1	5782	6010	66	"	1	5921	6140
30	"	1	5786	6010	67	"	1	5925	6150
31	"	1	5790	6010	68	"	1	5929	6150
32	"	1	5794	6020	69	"	1	5932	6160
33	"	1	5797	6020	70	"	1	5936	6160
34	"	1	5801	6020	71	"	1	5940	6160
35	"	1	5805	6030	72	"	1	5944	6170
36	"	1	5809	6030	73	"	1	5947	6170
37	"	1	5812	6040	74	"	1	5950	6170
平均							74		6040

									
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)	記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	5678	5900	38	D16	1	5816	6040
2	"	1	5681	5900	39	"	1	5820	6040
3	"	1	5685	5910	40	"	1	5824	6050
4	"	1	5689	5910	41	"	1	5827	6050
5	"	1	5692	5920	42	"	1	5831	6050
6	"	1	5696	5920	43	"	1	5835	6060
7	"	1	5700	5920	44	"	1	5839	6060
8	"	1	5704	5930	45	"	1	5842	6070
9	"	1	5707	5930	46	"	1	5846	6070
10	"	1	5711	5930	47	"	1	5850	6070
11	"	1	5715	5940	48	"	1	5854	6080
12	"	1	5719	5940	49	"	1	5857	6080
13	"	1	5722	5950	50	"	1	5861	6080
14	"	1	5726	5950	51	"	1	5865	6090
15	"	1	5730	5950	52	"	1	5869	6090
16	"	1	5734	5960	53	"	1	5872	6100
17	"	1	5737	5960	54	"	1	5876	6100
18	"	1	5741	5960	55	"	1	5880	6100
19	"	1	5745	5970	56	"	1	5884	6110
20	"	1	5749	5970	57	"	1	5887	6110
21	"	1	5752	5980	58	"	1	5891	6110
22	"	1	5756	5980	59	"	1	5895	6120
23	"	1	5760	5980	60	"	1	5899	6120
24	"	1	5764	5990	61	"	1	5902	6130
25	"	1	5767	5990	62	"	1	5906	6130
26	"	1	5771	5990	63	"	1	5910	6130
27	"	1	5775	6000	64	"	1	5914	6140
28	"	1	5779	6000	65	"	1	5917	6140
29	"	1	5782	6010	66	"	1	5921	6140
30	"	1	5786	6010	67	"	1	5925	6150
31	"	1	5790	6010	68	"	1	5929	6150
32	"	1	5794	6020	69	"	1	5932	6160
33	"	1	5797	6020	70	"	1	5936	6160
34	"	1	5801	6020	71	"	1	5940	6160
35	"	1	5805	6030	72	"	1	5944	6170
36	"	1	5809	6030	73	"	1	5947	6170
37	"	1	5812	6040	74	"	1	5950	6170
平均							74		6040

 $\Delta(P_{14}) \quad 6-D16 \times 3220$  $\Delta(A_6) 45-D16 \times 4450$ 

機械式鉄筋定着体
(せん断補強筋)



$\Delta \times (A_{12})$ 91-D16 \times 2950

注1) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

注2) ※ は機械式定着鉄筋を示す。

機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。

2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計書(パネル) :

(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と

半円形フックの設置方向を変更してもよい。

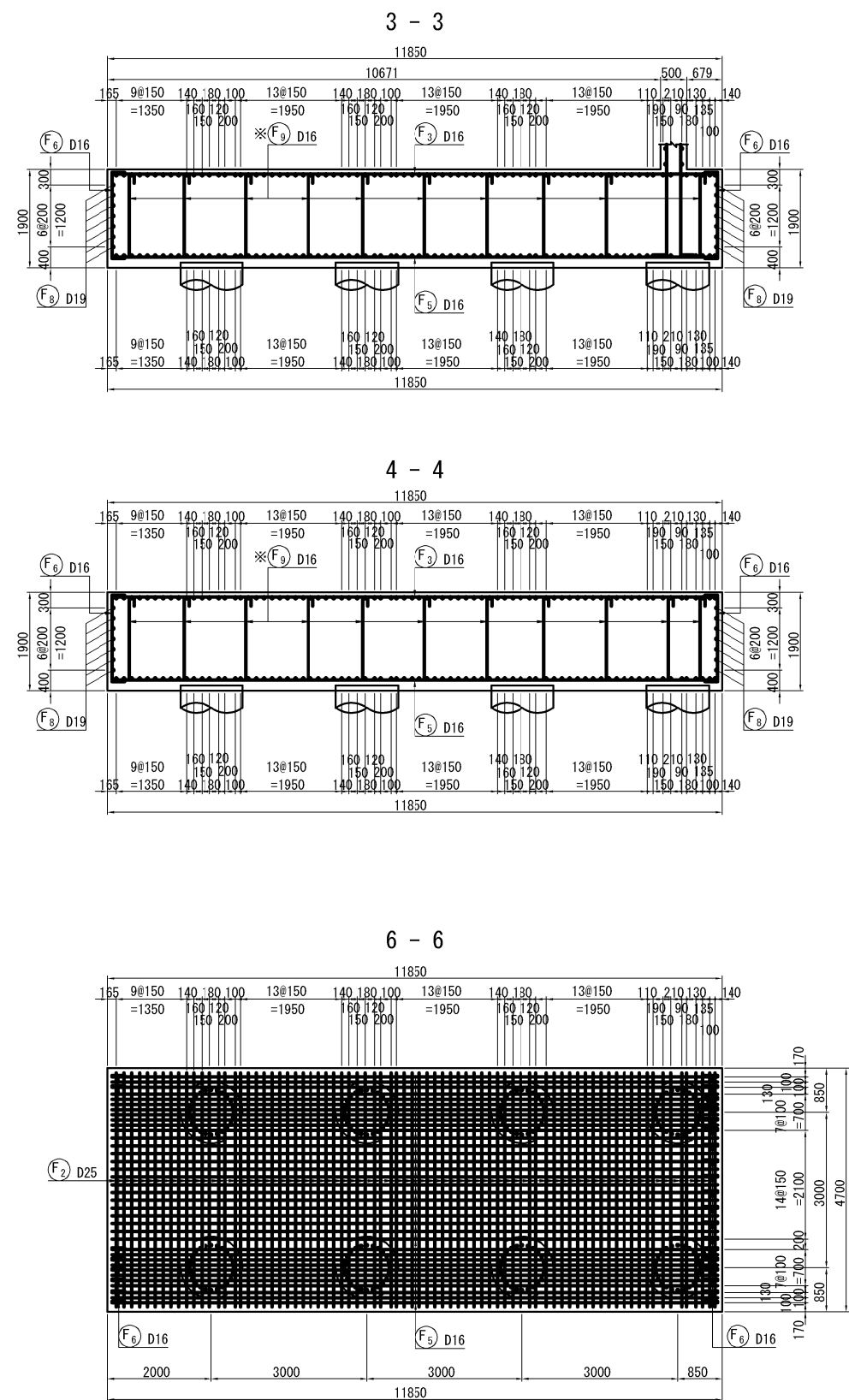
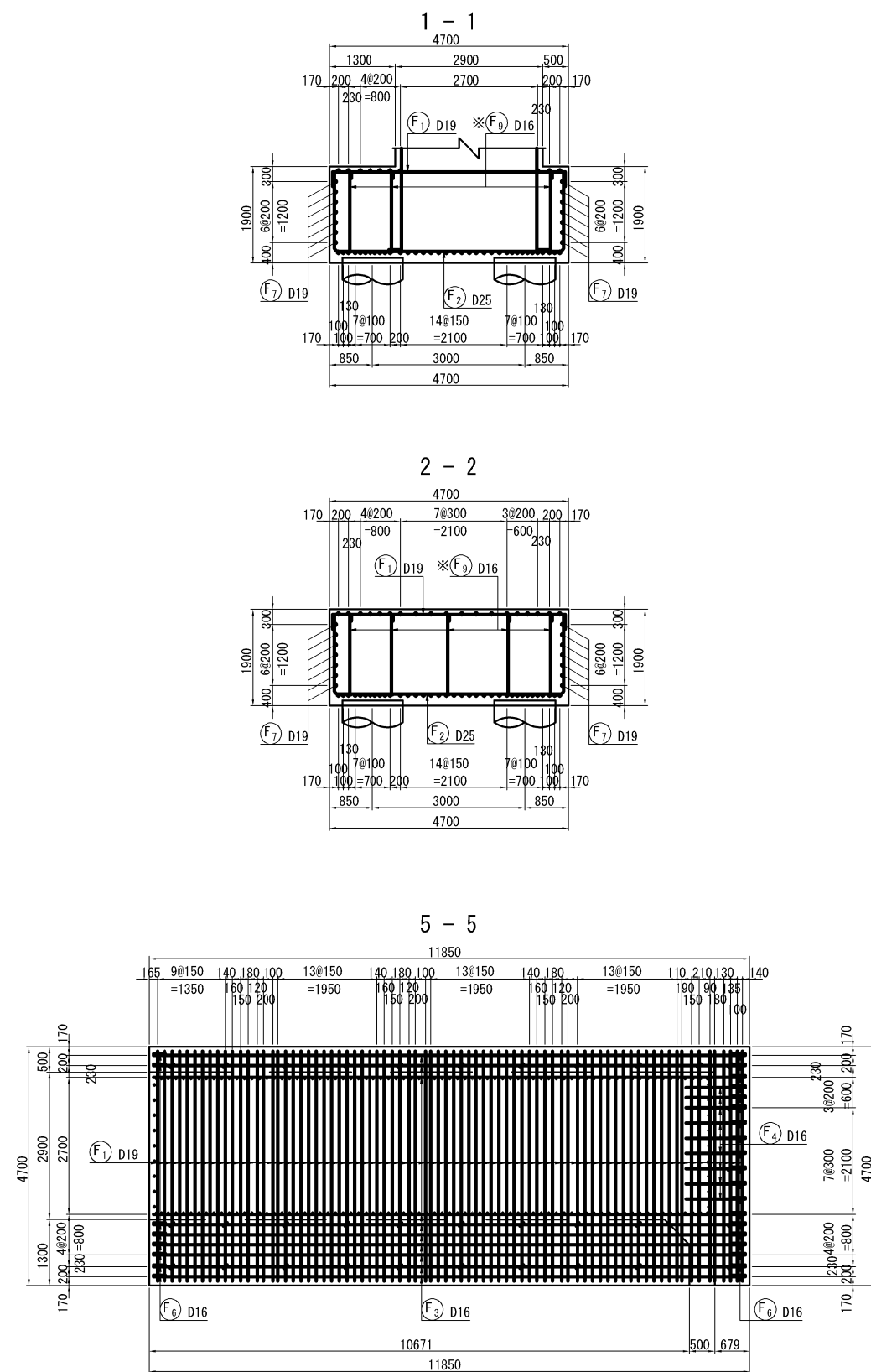
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の
実験等により効率が保障された定着工法を用いること。

3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より

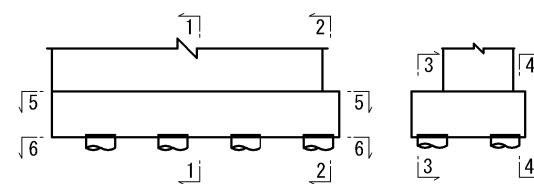
使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を
得たことによる。

得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 1橋台配筋図（3）		
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



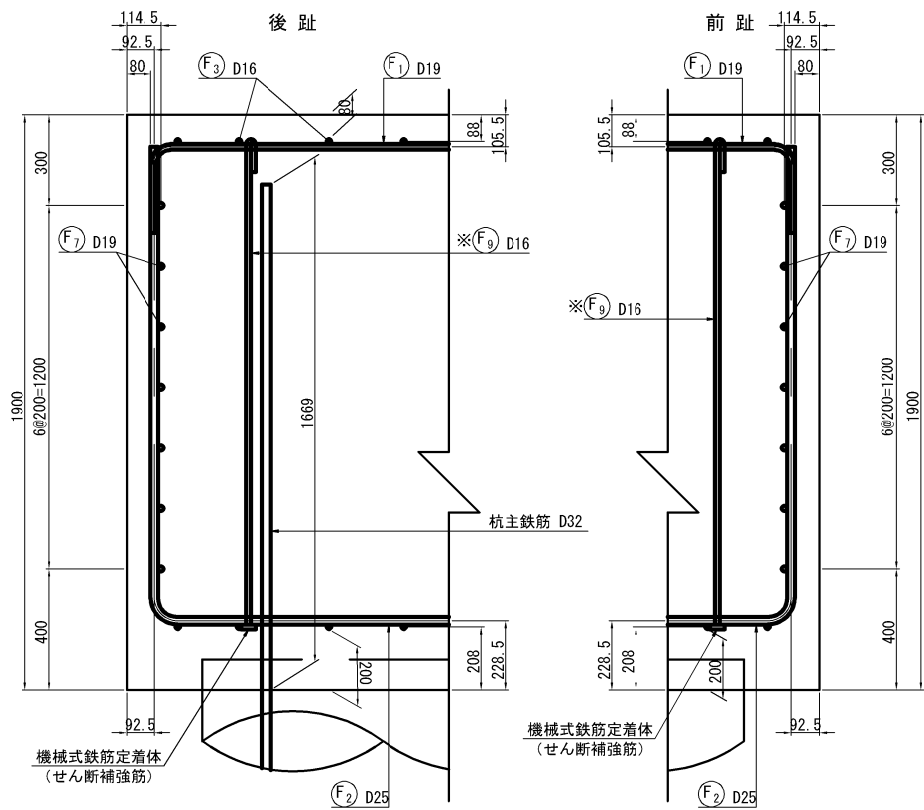
位置図



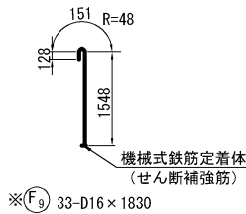
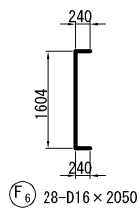
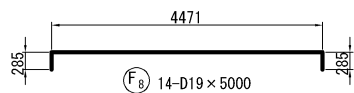
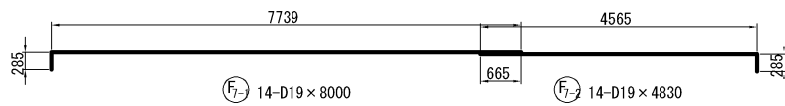
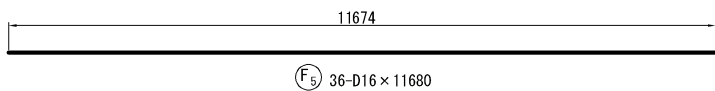
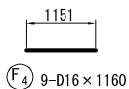
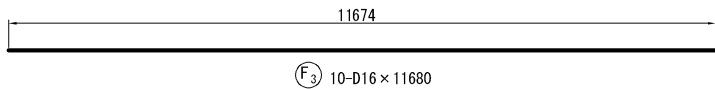
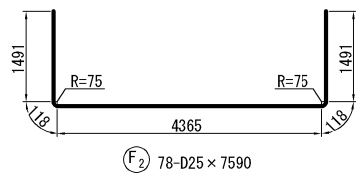
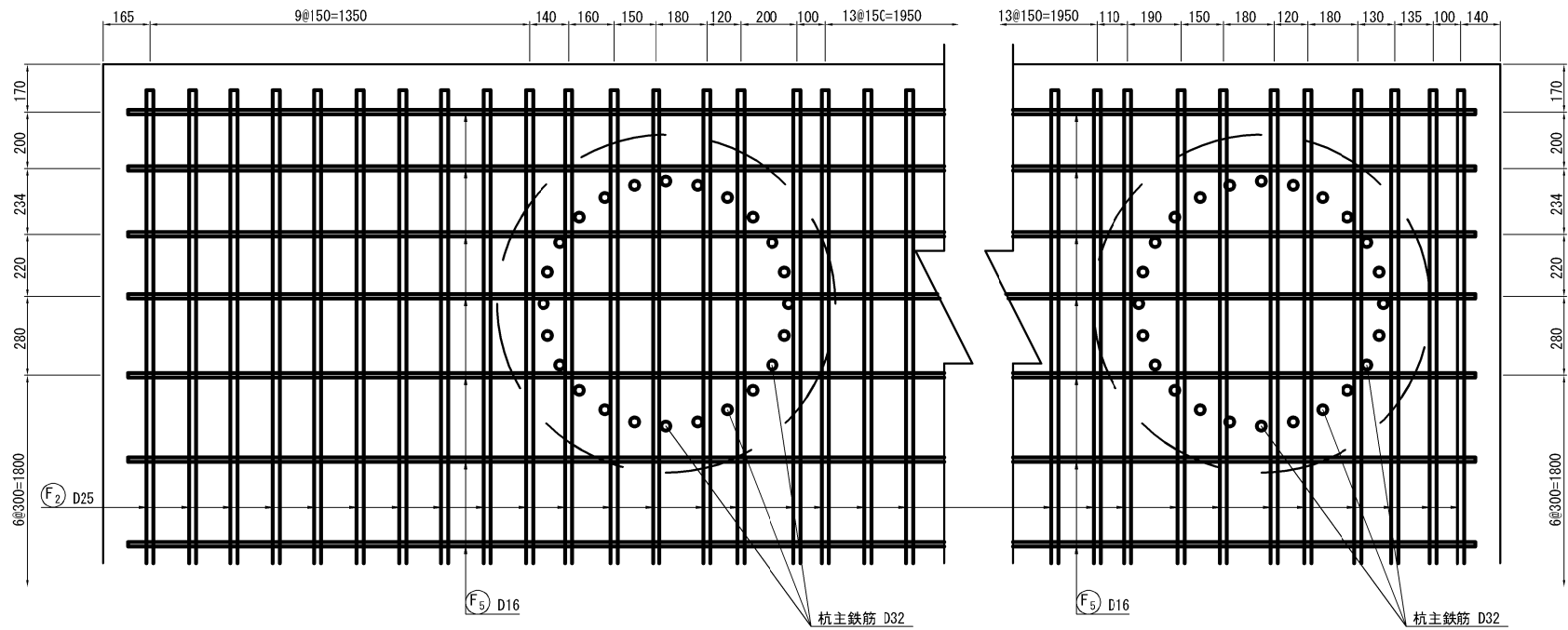
注1) ※ は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 1 橋台配筋図（4）		
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

フーチングかぶり詳細図 S=1:25

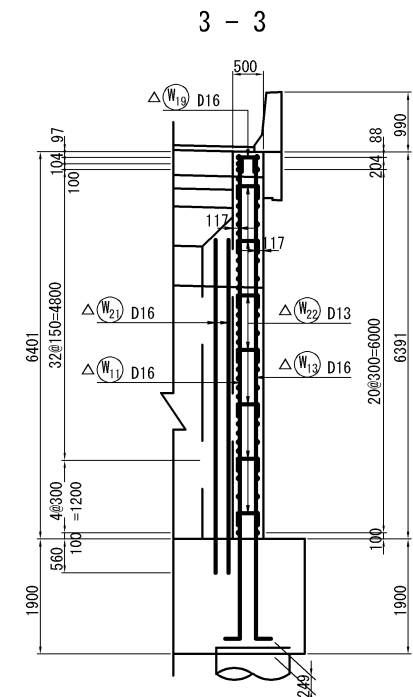
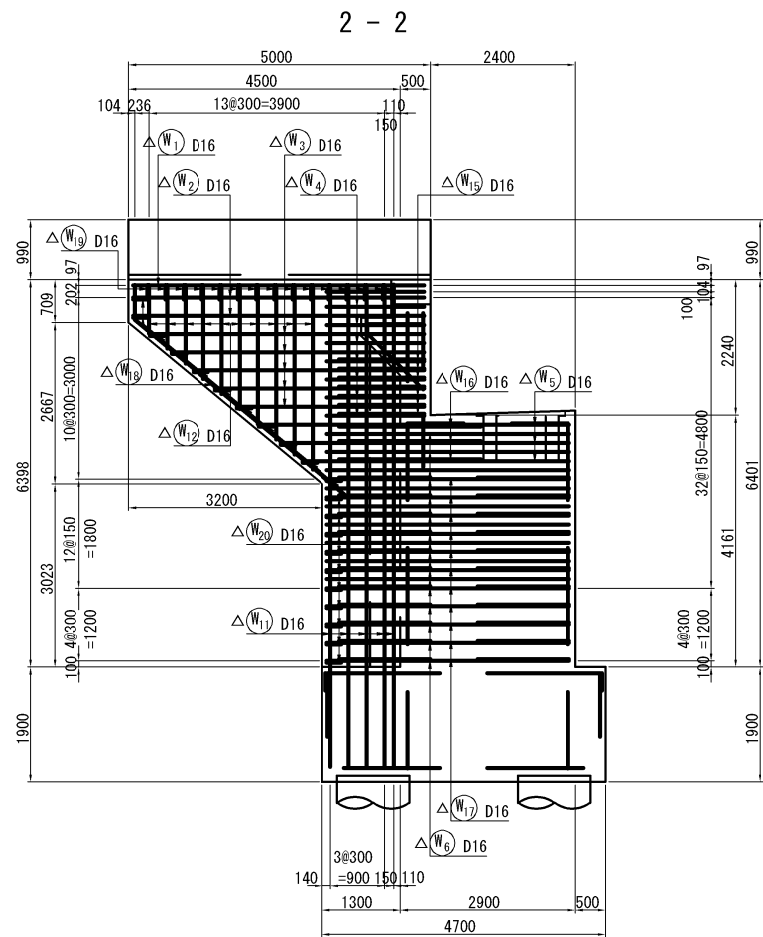
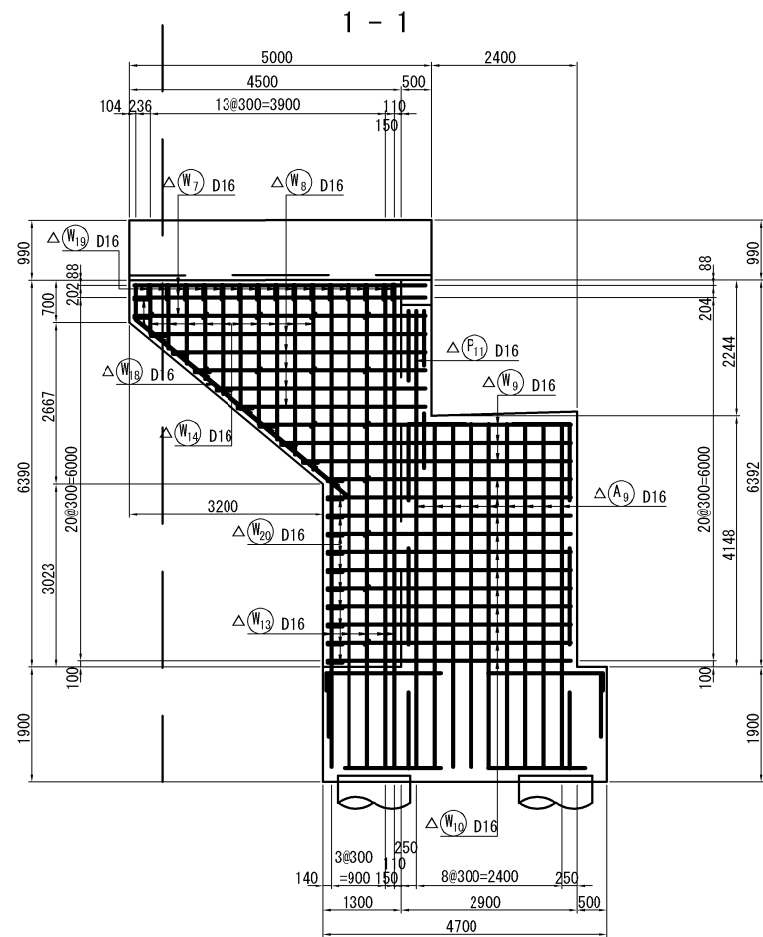


杭頭部鉄筋詳細図 S=1:25

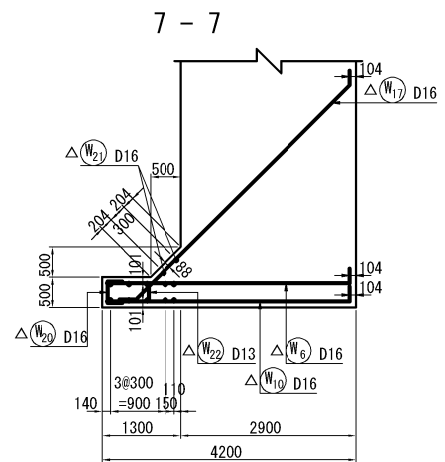
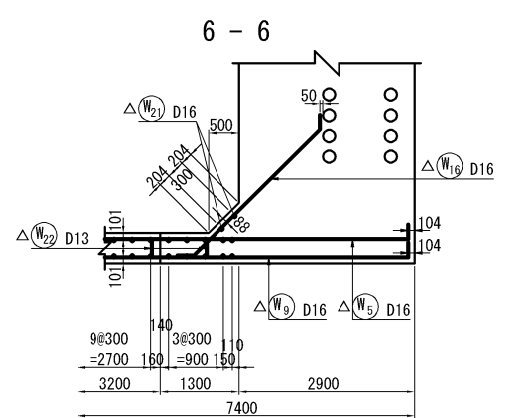
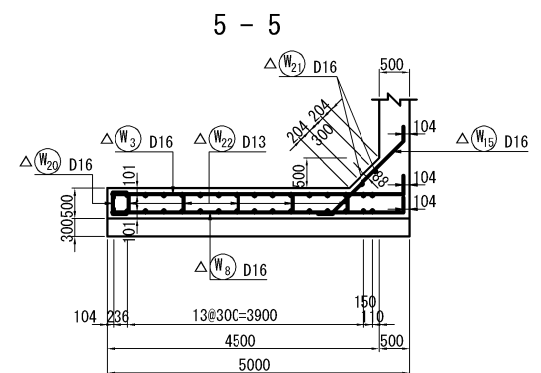
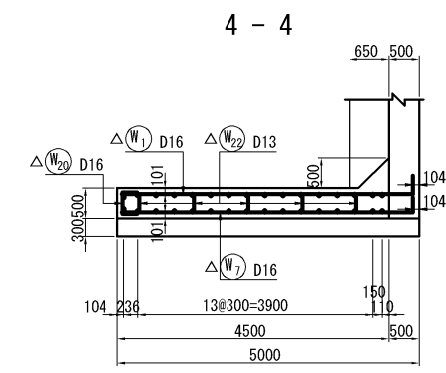
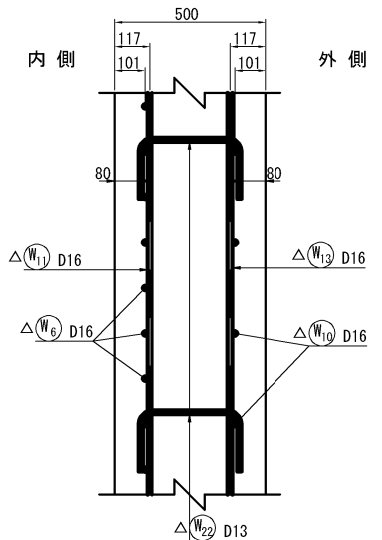


注1) ※ は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

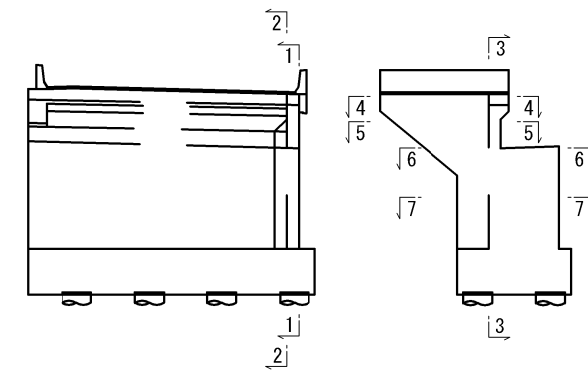
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 1 橋台配筋図（5）		
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



ウイングかぶり詳細図 S=1:25

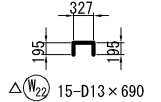
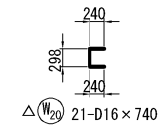
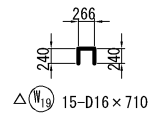
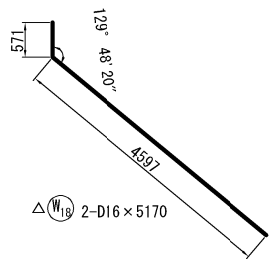
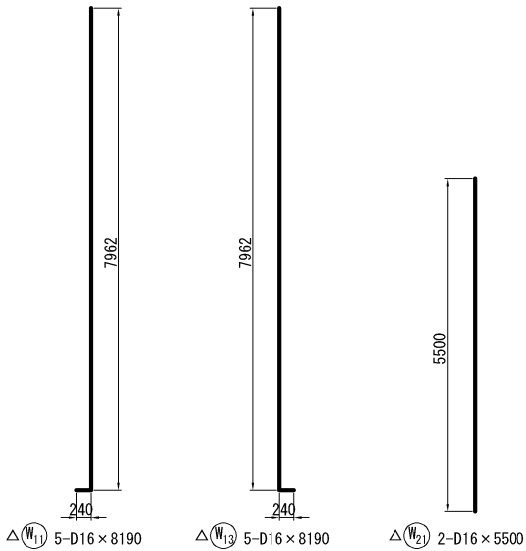
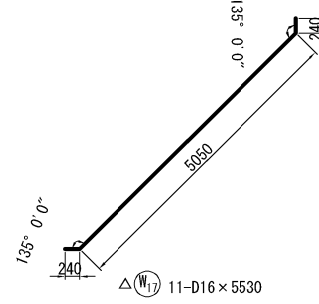
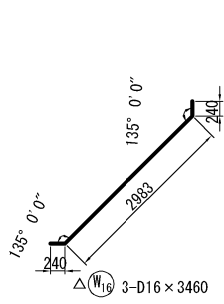
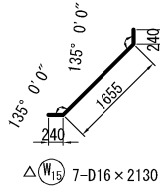
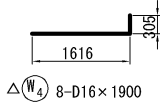
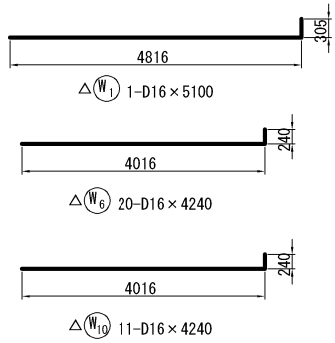


位置図



注1) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 1 橋台配筋図（6）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



△(W ₃) 5-D16×4110（平均長）				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	3103	3390
2	"	1	3463	3750
3	"	1	3823	4110
4	"	1	4183	4470
5	"	1	4543	4830
平均		5		4110

△(W ₅) 3-D16×5010（平均長）				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	4423	4650
2	"	1	4783	5010
3	"	1	5143	5370
平均		3		5010

△(W ₈) 5-D16×4050（平均長）				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	3103	3330
2	"	1	3463	3690
3	"	1	3823	4050
4	"	1	4183	4410
5	"	1	4543	4770
平均		5		4050

△(W ₉) 3-D16×5010（平均長）				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	4423	4650
2	"	1	4783	5010
3	"	1	5143	5370
平均		3		5010

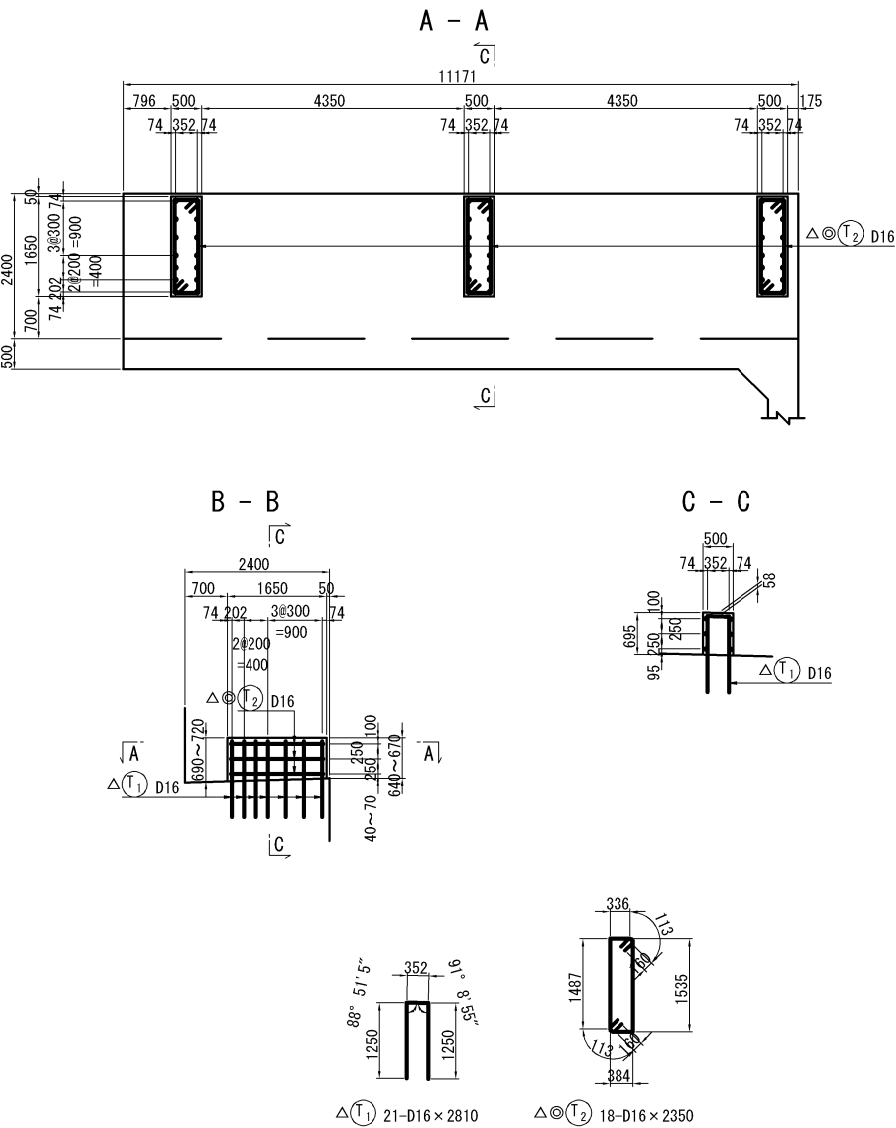
△(W ₁₂) 10-D16×1930（平均長）				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	799	800
2	"	1	1049	1050
3	"	1	1300	1300
4	"	1	1550	1550
5	"	1	1800	1800
6	"	1	2050	2050
7	"	1	2300	2300
8	"	1	2550	2550
9	"	1	2800	2800
10	"	1	3050	3050
平均		10		1930

△(W ₁₄) 10-D16×1930（平均長）				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	799	800
2	"	1	1049	1050
3	"	1	1300	1300
4	"	1	1550	1550
5	"	1	1800	1800
6	"	1	2050	2050
7	"	1	2300	2300
8	"	1	2550	2550
9	"	1	2800	2800
10	"	1	3050	3050
平均		10		1930

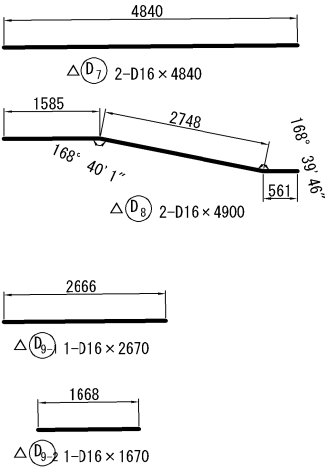
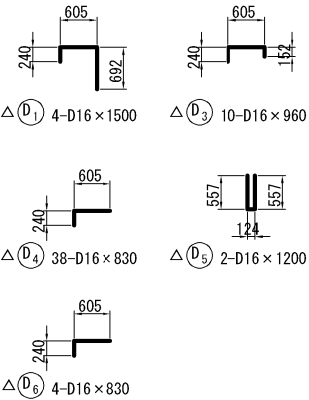
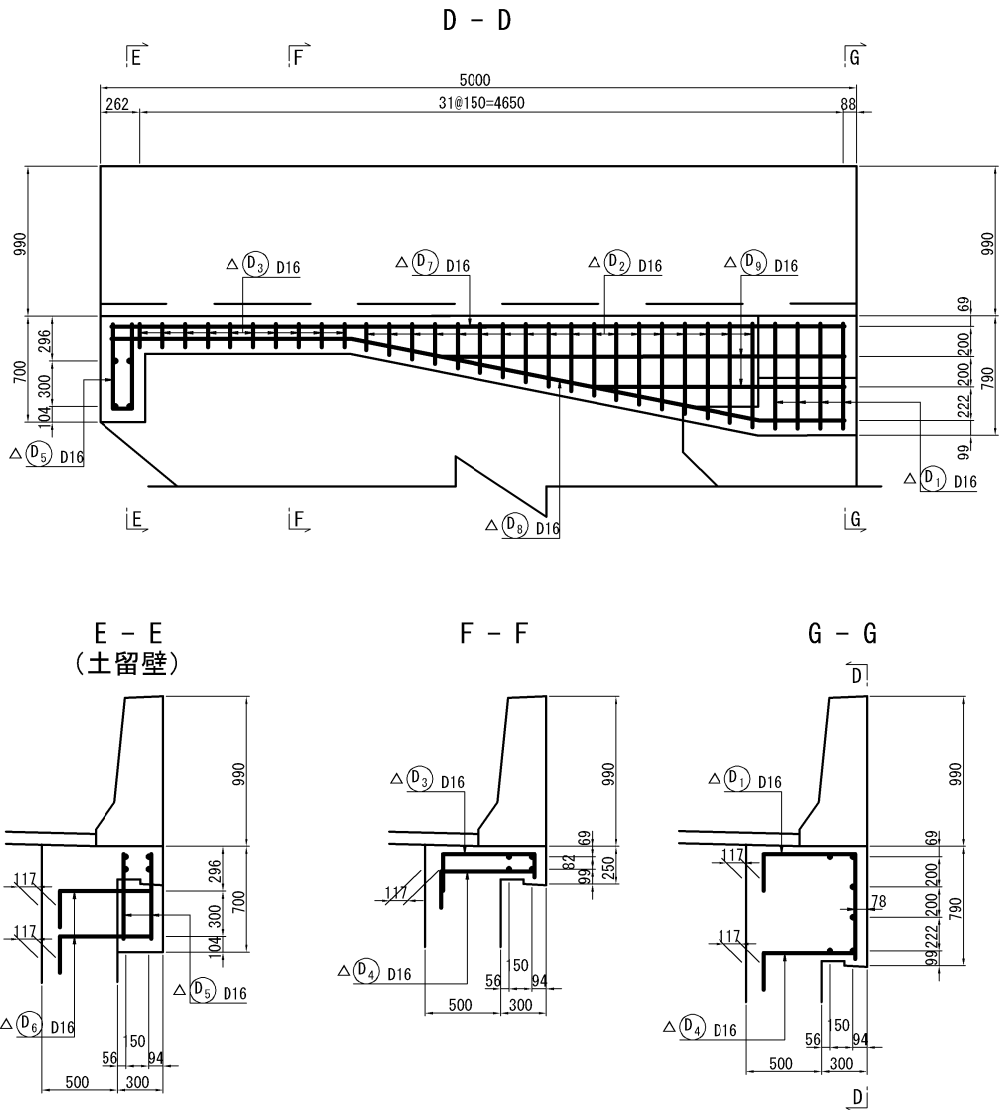
注1) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 1 橋台配筋図（ 7 ）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

段差防止構造配筋詳細図



張出部（水切部）詳細図 S=1:50

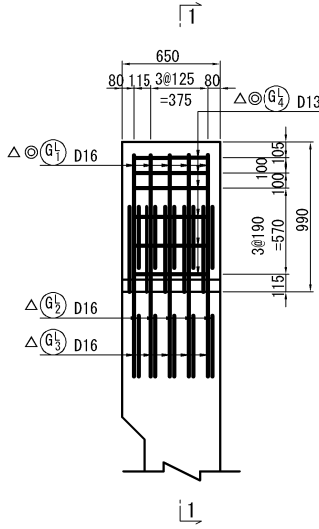


				
△(D ₂) 18-D16 × 1240 (平均長)				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	172	980
2	"	1	202	1010
3	"	1	232	1040
4	"	1	262	1070
5	"	1	292	1100
6	"	1	322	1130
7	"	1	352	1160
8	"	1	382	1190
9	"	1	412	1220
10	"	1	442	1250
11	"	1	472	1280
12	"	1	502	1310
13	"	1	533	1340
14	"	1	563	1370
15	"	1	593	1400
16	"	1	623	1430
17	"	1	653	1460
18	"	1	683	1490
平均		18		1240

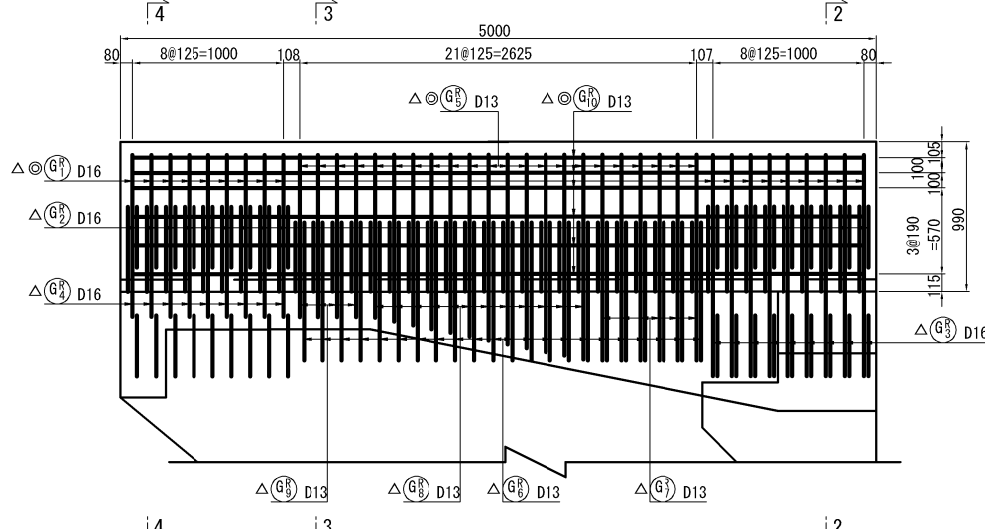
注1) ◎ 鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注2) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 1 橋台配筋図（8）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

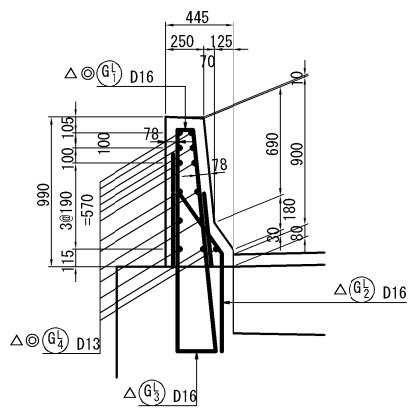
左壁高欄側面展開図



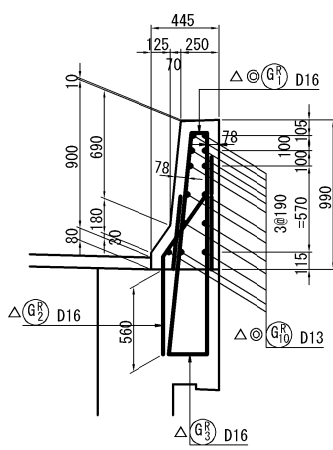
右壁高欄側面展開図



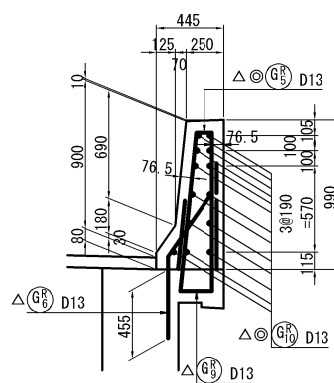
1 - 1



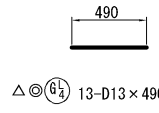
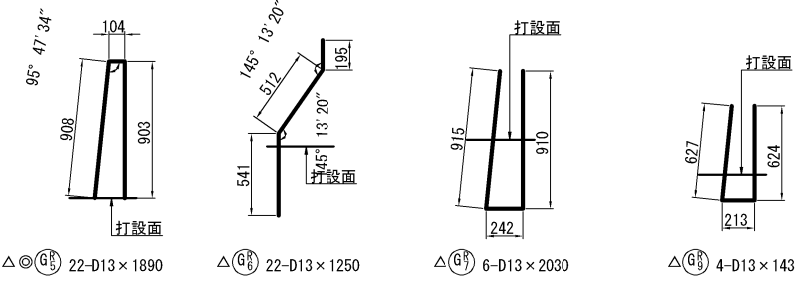
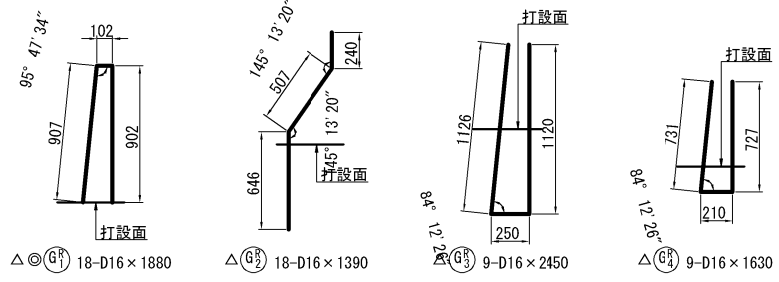
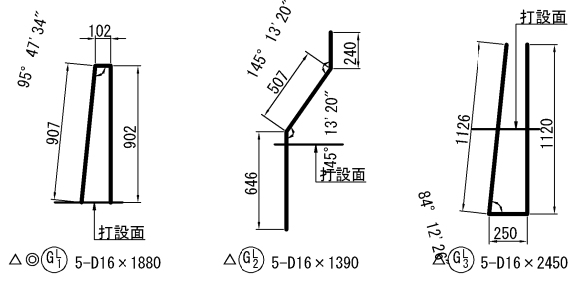
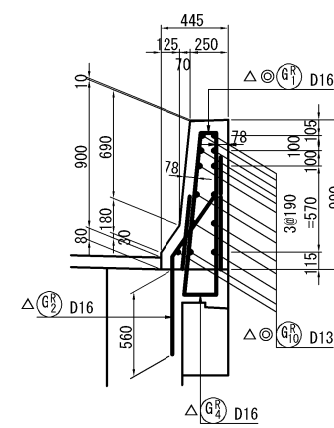
2 - 2



3 - 3

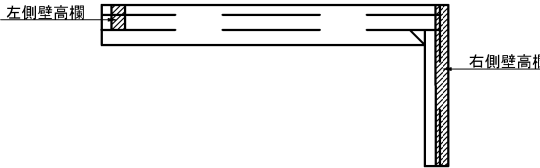


4 - 4



打設面						
Δ⊙(G12) 4-D13 x 1770 (平均長)						
記号	径	本数 (本)	I1 (mm)	I2 (mm)	I3 (mm)	L (mm)
1	D13	1	904	909	242	2020
2	"	1	879	884	240	1970
3	"	1	854	858	237	1920
4	"	1	829	833	235	1870
5	"	1	804	808	232	1810
6	"	1	779	783	230	1760
7	"	1	754	758	228	1710
8	"	1	729	733	225	1660
9	"	1	704	708	223	1600
10	"	1	679	682	221	1550
11	"	1	654	657	219	1500
12	"	1	628	631	216	1440
平均		12				1740

位置図



注1) ⊙ 鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注2) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 1 橋台配筋図（9）		
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

鉄筋表

	記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
△	P1-1	D19	2800	35	2.25	6.30	221	
△	P1-2	〃	3200	3	〃	7.20	22	
△	P2-1	〃	2600	69	〃	5.85	404	
△	P2-2	〃	3000	5	〃	6.75	34	
△	P3-1	D16	11220	6	1.56	17.5	105	└┐
△	P3-2	〃	11220	1	〃	17.5	18	└┐
△	P4-1	〃	11020	6	〃	17.2	103	└┐
△	P4-2	〃	11020	1	〃	17.2	17	└┐
△	P5-1	〃	2050	33	〃	3.20	106	└┐
△	P5-2	〃	2610	3	〃	4.07	12	└┐
△	P 6	〃	2580	34	〃	4.02	137	└┐
△	P 7	〃	10600	2	〃	16.5	33	└┐
△	P 8	〃	9840	6	〃	15.4	92	└┐
△	P 9	〃	730	8	〃	1.14	9	└┐
△	P 10	〃	2280	1	〃	3.56	4	
△	P 11	〃	2340	1	〃	3.65	4	
※△	P 12	〃	550	72	〃	0.858	62	└┐ (72) C
△	P 13	〃	610	4	〃	0.952	4	└┐
△	P 14	〃	3220	6	〃	5.02	30	└┐
1417 kg								
△	J 1	D16	1170	36	1.56	1.83	66	└┐
66 kg								
△	E 1	D22	520	13	3.04	1.58	21	
△	E 2	D13	1590	13	0.995	1.58	21	└┐
42 kg								
△	S 1	D16	2260	40	1.56	3.53	141	└┐
△	S 2	〃	3060	26	〃	4.77	124	└┐
△	S 3	〃	4700	4	〃	7.33	29	└┐
294 kg								
△	T 1	D16	2810	21	1.56	4.38	92	└┐
◎△	T 2	D16	2350	18	〃	3.67	66	└┐
158 kg								
△	D 1	D16	1500	4	1.56	2.34	9	└┐
△	D 2	〃	1240	18	〃	1.93	35	└┐ (平均長)
△	D 3	〃	960	10	〃	1.50	15	└┐
△	D 4	〃	830	32	〃	1.29	42	└┐
△	D 5	〃	1200	2	〃	1.87	4	└┐
△	D 6	〃	830	4	〃	1.29	5	└┐
△	D 7	〃	4840	2	〃	7.55	15	└┐
△	D 8	〃	4900	2	〃	7.64	15	└┐
△	D 9-1	〃	2670	1	〃	4.17	4	└┐
△	D 9-2	〃	1670	1	〃	2.61	3	└┐
147 kg								
△	A 1	D16	6040	74	1.56	9.42	697	(平均長)
△	A 2	〃	6040	74	〃	9.42	697	(平均長)
△	A 3	〃	11460	26	〃	17.9	465	└┐
△	A 4	〃	6370	2	〃	9.94	20	└┐
△	A 5	〃	11460	2	〃	17.9	36	└┐
△	A 6	〃	4450	45	〃	6.94	312	└┐
△	A 7	〃	11990	12	〃	18.7	224	└┐
△	A 8	〃	6150	9	〃	9.59	86	
△	A 9	〃	5880	9	〃	9.17	83	
△	A 10	〃	3130	15	〃	4.88	73	
※△	A 11	〃	2950	30	〃	4.60	138	└┐ (30) C
※△	A 12	〃	2950	91	〃	4.60	419	└┐ (91) C
3 250 kg								
F 1	D19	5050	78	2.25	11.4	889	└┐	
F 2	D25	7590	78	3.98	30.2	2 356	└┐	
F 3	D16	11680	10	1.56	18.2	182	└┐	
F 4	〃	1160	9	〃	1.81	16	└┐	
F 5	〃	11680	36	〃	18.2	655	└┐	
F 6	〃	2050	28	〃	3.20	90		
F7-1	D19	8000	14	2.25	18.0	252	└┐	
F7-2	〃	4830	14	〃	10.9	153	└┐	
F 8	〃	5000	14	〃	11.3	158	└┐	
※	F 9	D16	1830	33	1.56	2.85	94	└┐ (33) C
4 845 kg								

	記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
△	W 1	D16	5100	1	1.56	7.96	8	┐
△	W 2	〃	5100	2	〃	7.96	16	┐
△	W 3	〃	4110	5	〃	6.41	32	┐ (平均長)
△	W 4	〃	1900	8	〃	2.96	24	┐
△	W 5	〃	5010	3	〃	7.82	23	┐ (平均長)
△	W 6	〃	4240	20	〃	6.61	132	┐
△	W 7	〃	5040	3	〃	7.86	24	┐
△	W 8	〃	4050	5	〃	6.32	32	┐ (平均長)
△	W 9	〃	5010	3	〃	7.82	23	┐ (平均長)
△	W 10	〃	4240	11	〃	6.61	73	┐
△	W 11	〃	8190	5	〃	12.8	64	┐
△	W 12	〃	1930	10	〃	3.01	30	┐ (平均長)
△	W 13	〃	8190	5	〃	12.8	64	┐
△	W 14	〃	1930	10	〃	3.01	30	┐ (平均長)
△	W 15	〃	2130	7	〃	3.32	23	┐
△	W 16	〃	3460	3	〃	5.40	16	┐
△	W 17	〃	5530	11	〃	8.63	95	┐
△	W 18	〃	5170	2	〃	8.07	16	┐
△	W 19	〃	710	15	〃	1.11	17	┐
△	W 20	〃	740	21	〃	1.15	24	┐
△	W 21	〃	5500	2	〃	8.58	17	┐
△	W 22	D13	690	15	0.995	0.687	10	┐
							793	kg
◎△	GL 1	D16	1880	5	1.56	2.93	15	┐
△	GL 2	〃	1390	5	〃	2.17	11	┐
△	GL 3	〃	2450	5	〃	3.82	19	┐
◎△	GL 4	D13	490	13	0.995	0.488	6	┐
							51	kg
◎△	GR 1	D16	1880	18	1.56	2.93	53	┐
△	GR 2	〃	1390	18	〃	2.17	39	┐
△	GR 3	〃	2450	9	〃	3.82	34	┐
△	GR 4	〃	1630	9	〃	2.54	23	┐
◎△	GR 5	D13	1890	22	0.995	1.88	41	┐
△	GR 6	〃	1250	22	〃	1.24	27	┐
△	GR 7	〃	2030	6	〃	2.02	12	┐
△	GR 8	〃	1740	12	〃	1.73	21	┐ (平均長)
△	GR 9	〃	1430	4	〃	1.42	6	┐
◎△	GR 10	〃	4840	13	〃	4.82	63	┐
							319	kg
下部施工工分								
A鉄筋			A (E) 鉄筋		C鉄筋	C (E) 鉄筋	合 計	(機械式定着)
D25			2356 kg				2356 kg	
D22			21 kg				21 kg	
D19			1452 kg		681 kg		2133 kg	
D16			943 kg		4875 kg		94 kg	619 kg
D13			97 kg		97 kg		6531 kg	C. (33) C (E). (193)
合計			4751 kg		5674 kg		94 kg	619 kg
11138 kg								
上部施工工分								
A (E) 鉄筋							合 計	
D16			134 kg				134 kg	
D13			110 kg				110 kg	
合計			244 kg				244 kg	

注1) ※ 印は機械式鉄筋定着工法を示し、()内は機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。
注2) ◎ 鉄筋は上部施工鉄筋を表す。
注3) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

下部工施工鉄筋集計表

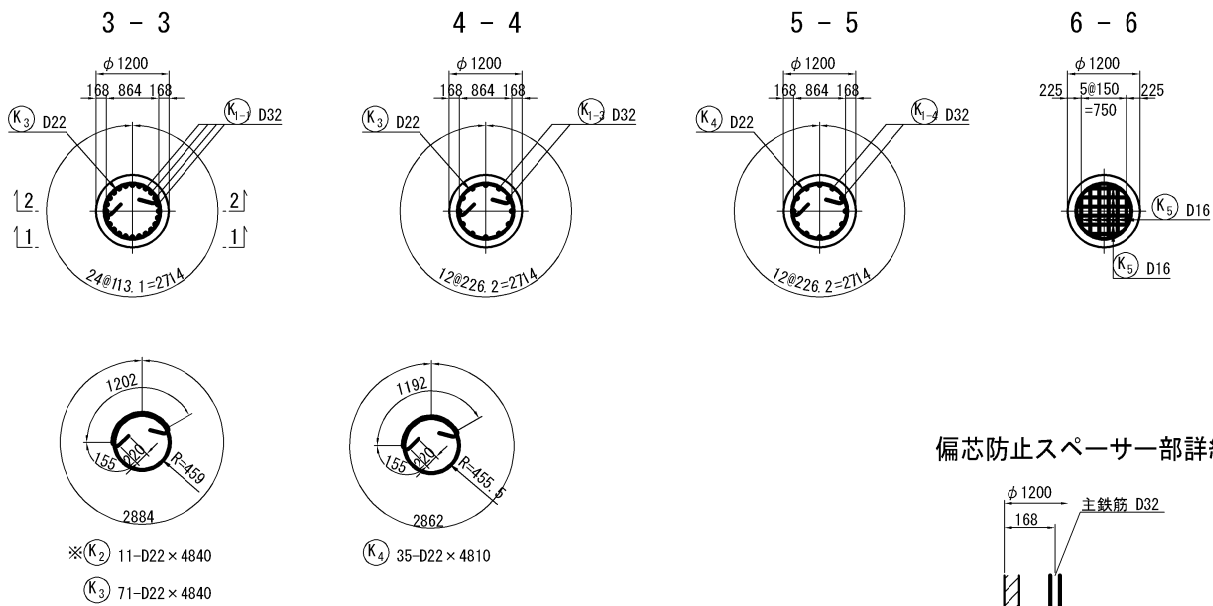
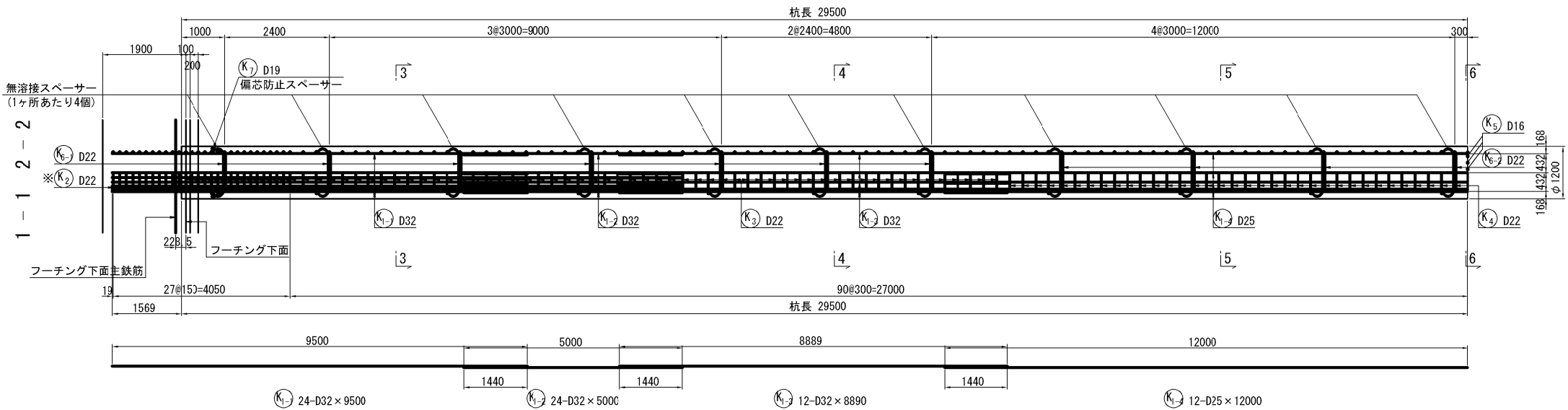
種 別	径 (mm)	質量 (kg)	合計 (kg)
A (SD345)	D13	-	-
	D16 ? D25	D16 943	4751
		D19 1452	
		D22 -	
		D25 2356	
	D29 ? D32	D29 -	-
		D32 -	
		D35 -	
		D38 -	
		D41 -	
		D51 -	
	合 計		4751
C (SD345)	D16	94	94
	D19	-	
	D22	-	
	D25	-	
	D29	-	
	D32	-	
合 計		94	
総 質 量 (A+C)			4845
種 別	径 (mm)	長さ	箇所数 (箇所)
機械式鉄筋 定着箇所数	D16	0<L≤1m	-
		1m<L≤2m	33
		2<L≤3m	-
		3<L≤4m	-
		4<L≤5m	-
		合 計	33

下部工施工鉄筋集計表
エポキシ樹脂塗装鉄筋

種 別	径 (mm)	質量 (kg)	合計 (kg)
A (E) (SD345)	D13	97	97
	D16 ? D25	D16 4875	5577
		D19 681	
		D22 21	
		D25 -	
	D29 ? D32	D29 -	-
		D32 -	
		D35 -	
		D38 -	
		D41 -	
		D51 -	
	合 計		5674
C (E) (SD345)	D16	619	619
	D19	-	
	D22	-	
	D25	-	
	D29	-	
	D32	-	
合 計		619	
総 質 量 (A+C)			6293
種 別	径 (mm)	長さ	箇所数 (箇所)
機械式鉄筋 定着箇所数	D16	0<L≤1m	72
		1m<L≤2m	-
		2<L≤3m	121
		3<L≤4m	-
		4<L≤5m	-
		合 計	193

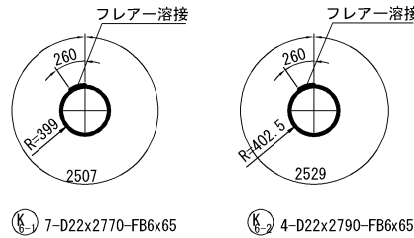
上部工施工鉄筋集計表
エポキシ樹脂塗装鉄筋

種 別	径 (mm)	質量 (kg)	合計 (kg)	
A (E) (SD345)	D13	110	110	
	D16 ?	D16	134	134
		D19	-	
		D22	-	
	D25 ?	D25	-	
		D29	-	
	D32	D32	-	-
		D35	-	-
	D38	-	-	
	D41	-	-	
	D51	-	-	
	合 計		244	



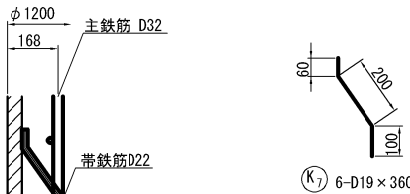
変化鉄筋表

種別	径	本数	I	L
1	D16	4	866	1510
2	D16	4	755	1400
3	D16	4	458	1100
平均長		12		1340



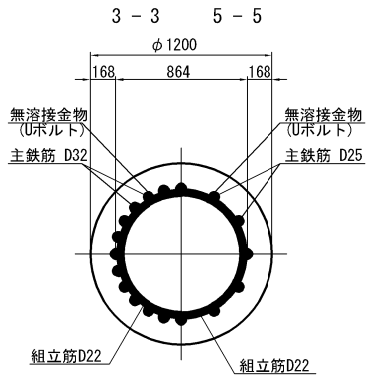
フレア溶接詳細図 S=1:25

偏芯防止スパーサー部詳細図(参考図) S=1:25

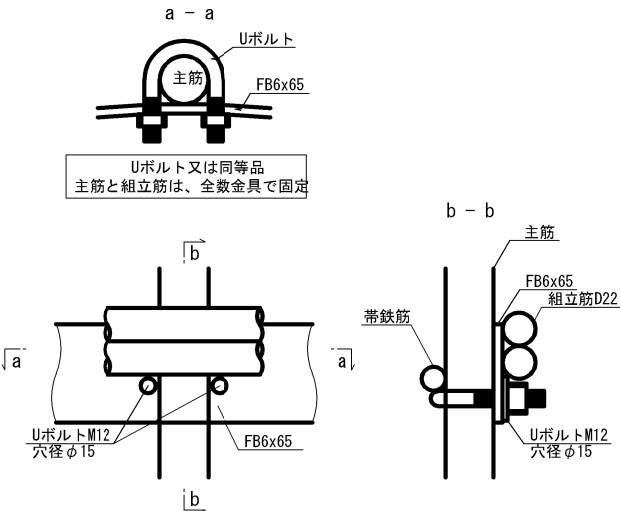


無溶接金物 (Uボルト) 取付図(参考図)

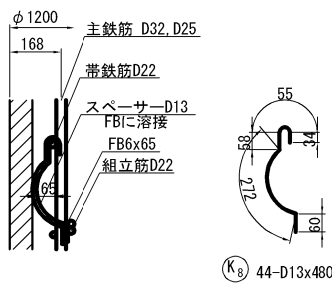
固定金具詳細図 縮尺=1:50



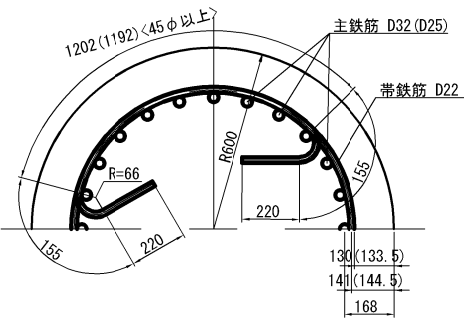
Uボルト取付詳細図 S=1:5



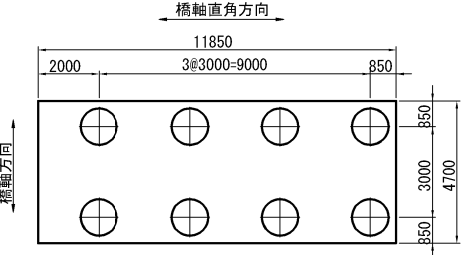
スパーサー詳細図(参考図) S=1:25



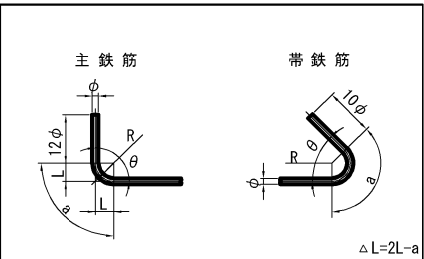
かぶり詳細図 S=1:25



杭配置図 S=1:250



鉄筋曲げ加工表



曲げ半径	径	主鉄筋・帯鉄筋
	D13~D51	R=3φ
	θ=90°	θ=45°
径	主鉄筋	スターラップ・帯鉄筋
	R a ΔL	R a ΔL
D13	39 61 17	39 92 96
D16	48 75 21	48 113 119
D19	57 89 25	57 134 141
D22	66 104 28	66 155 164
D25	75 118 32	75 177 185
D29	87 137 37	87 205 215
D32	96 151 41	— — —
D35	105 165 45	— — —
D38	114 179 49	— — —
D51	153 240 66	— — —

鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
K1-1	D32	9500	24	6.23	59.2	1421	
K1-2	"	5000	24	"	31.2	749	
K1-3	"	8890	12	"	55.4	665	
K1-4	D25	12000	12	3.98	47.8	574	
K 2	D22	4840	11	3.04	14.7	162	○
K 3	"	4840	71	"	14.7	1044	○
K 4	"	4810	35	"	14.6	511	○
K 5	D16	1340	12	1.56	2.09	25	□ (平均長)
K6-1	D22	2770	7	3.04	8.42	59	○ フレア溶接
K6-2	"	2790	4	"	8.48	34	○ フレア溶接

(1本当り) 5244 kg				
Y鉄筋	1本当たり	フレア溶接箇所	1基当たり	フレア溶接箇所
	D32	2835 kg	× 8 =	22680 kg
	D25	574 kg	× 8 =	4592 kg
	D22	1648 kg	× 8 =	13184 kg
	D16	25 kg	× 8 =	200 kg
	合計	5082 kg	× 8 =	40656 kg
A鉄筋	1本当たり		1基当たり	
	D22	162 kg	× 8 =	1296 kg
	合計	162 kg	× 8 =	1296 kg

組立鉄筋 (杭1本当り)						
K 7	D19	360	6	2.25	0.810	5
K 8	D13	480	44	0.995	0.478	21
(1本当り) 26 kg						

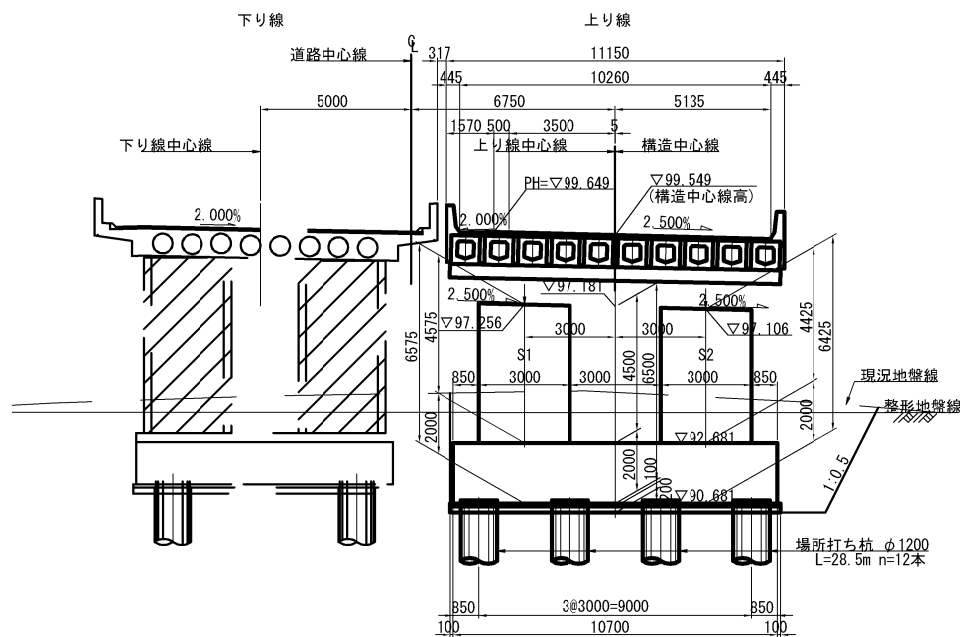
D19	5 kg	× 8 =	40 kg
D13	21 kg	× 8 =	168 kg
合計	26 kg	× 8 =	208 kg

FB6x65	2600	4	3.06	7.96	32
"	2620	7	"	8.02	56
(1本当り) 86 kg					

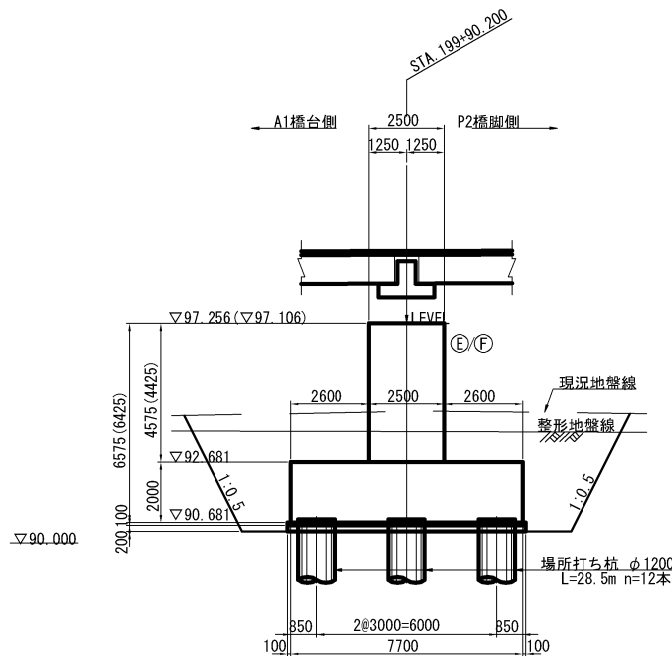
FB6x65	88 kg	× 8 =	704 kg
--------	-------	-------	--------

注1) 図中鉄筋番号のうち、※印はA鉄筋を示す。
杭頭鉄筋とフーチング鉄筋との取り合いについては、事前に確認のうえ、施工すること。
無溶接金具は、補強棒、スパーサーおよび杭底面上げた筋部に設置する。
注2) 帯鉄筋の継手位置は各々90°ずらして配置する。

正面図
1 - 1

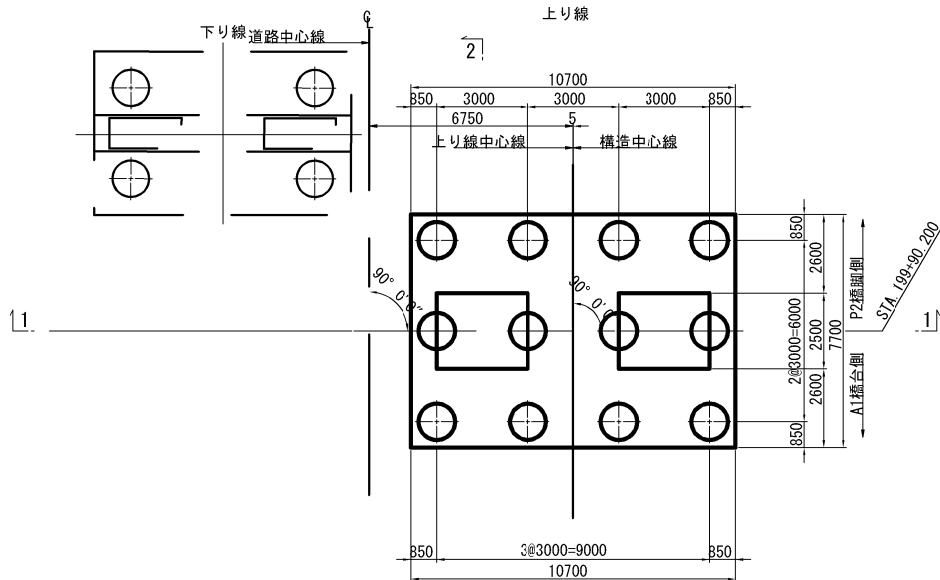


側面図
2 - 2

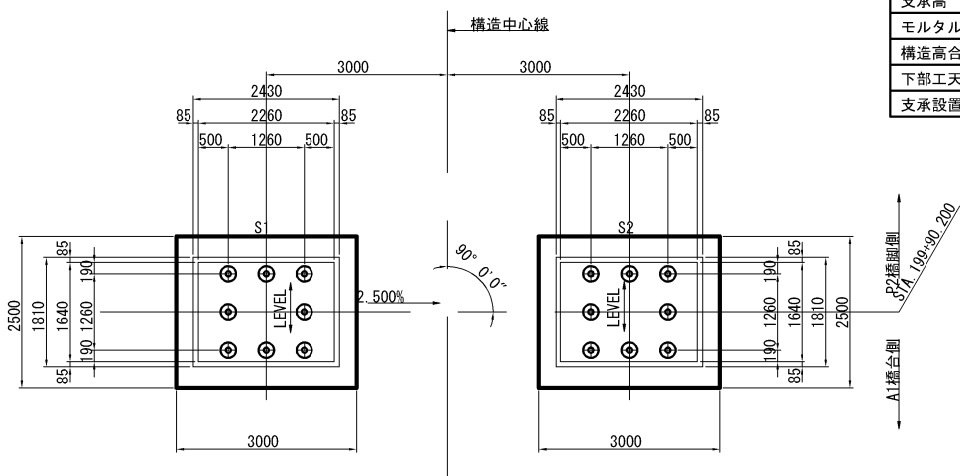


()内は右側柱の寸法を示す

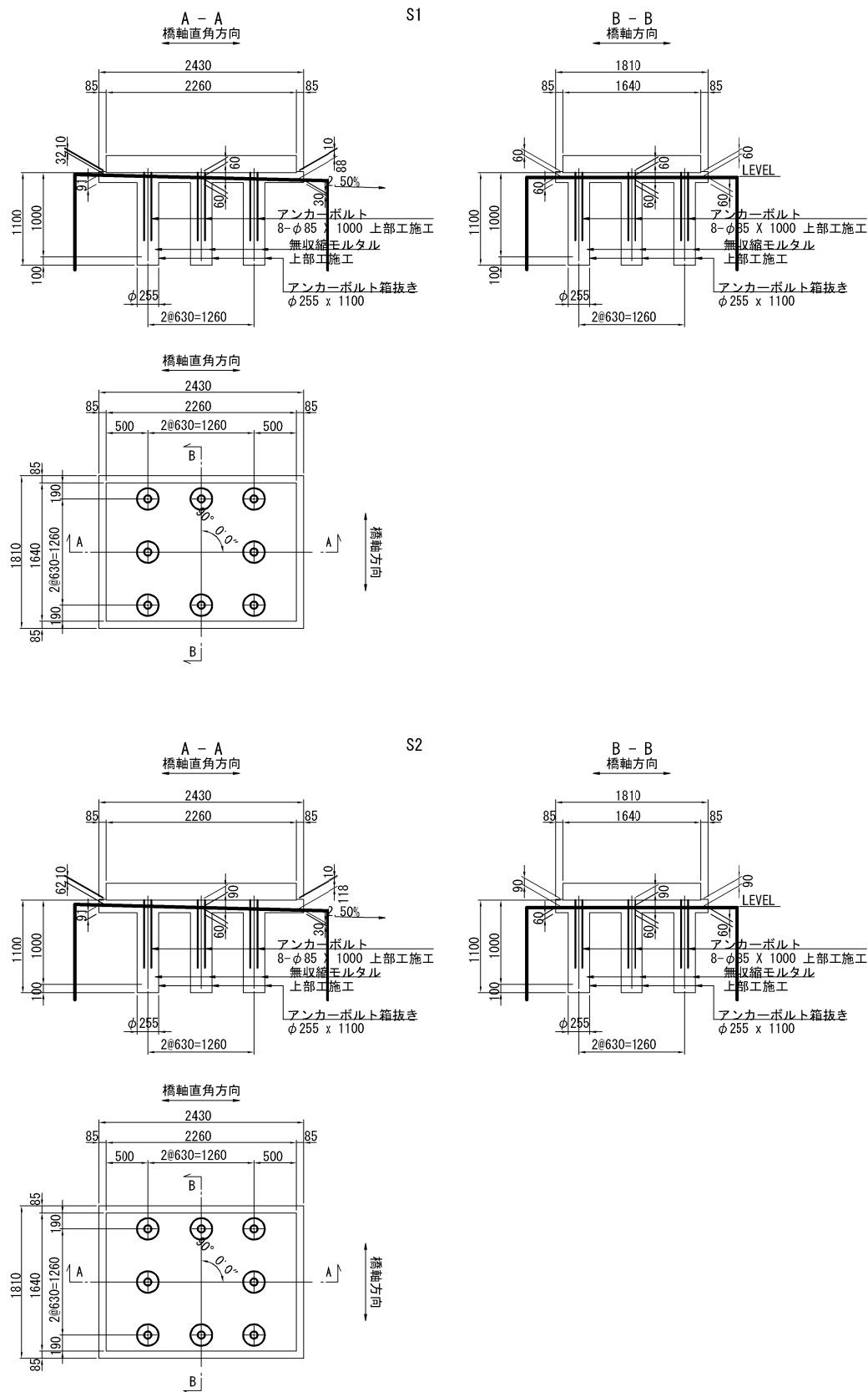
平面図
上り線



支承配置図 S=1:125



支承箱抜き詳細図 S=1:75



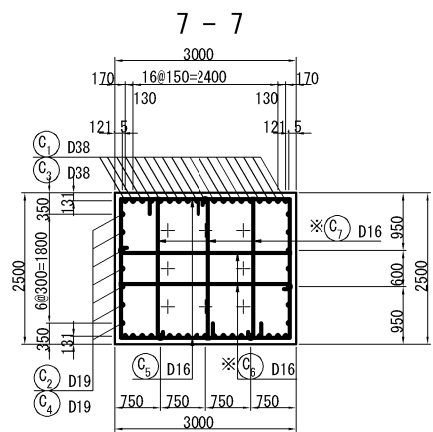
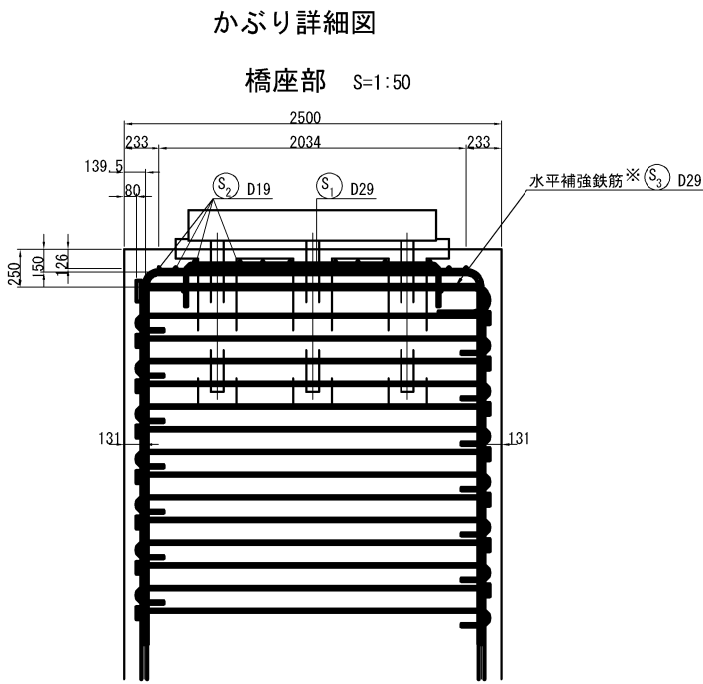
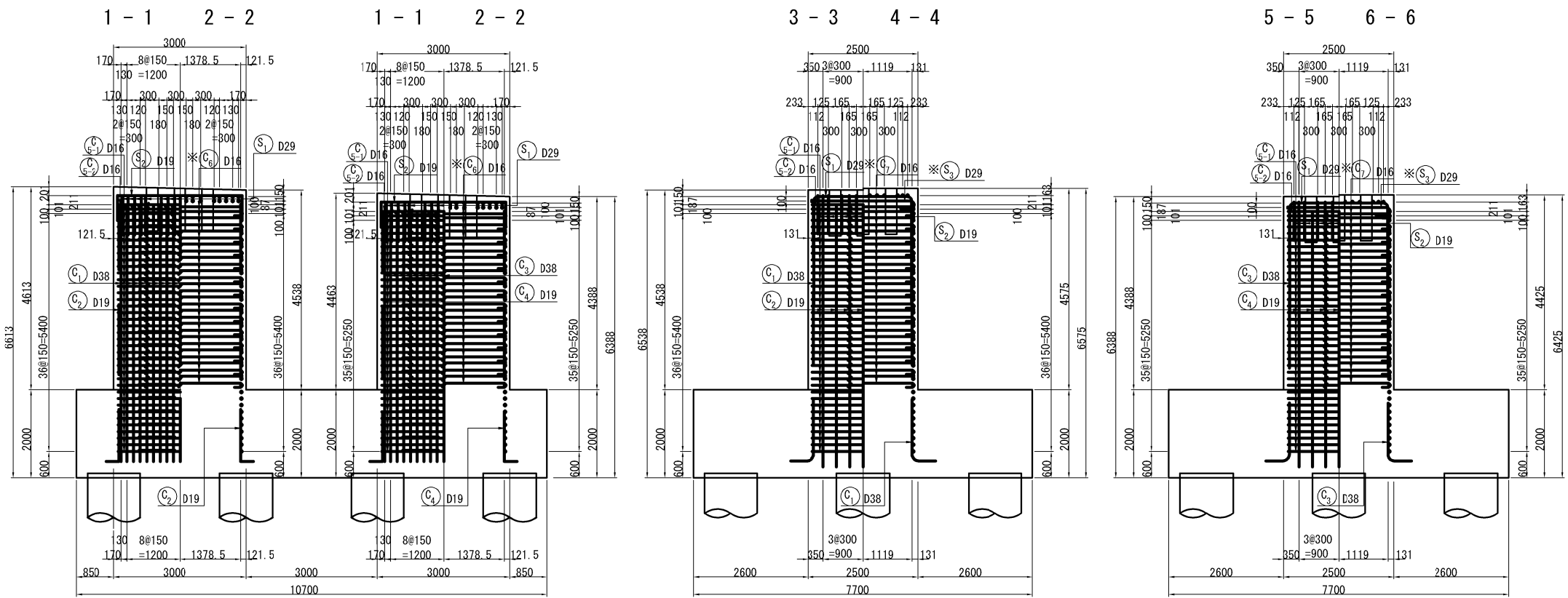
構造高さ表

	単位	PH	S1	KCL	S2
路面計画高 (EL1)	m	99.649	99.624	99.549	99.474
舗装厚 (h1)	mm	---	124	---	95
主桁高 (h2)	mm	---	950	---	950
感圧硬化ゴム (h3)	mm	---	9	---	9
横梁余盛高 (h4)	mm	---	1	---	---
横梁高 (h5)	mm	---	450	---	450
横梁下面高 (EL2)	m	---	98.090	---	97.970
レアー厚 (h6)	mm	---	49	---	49
支承高 (h7)	mm	---	725	---	725
モルタル高 (h8)	mm	---	60	---	90
構造高合計 (ΣH)	mm	---	2368	---	2368
下部工天端高 (EL3)	m	---	97.256	97.181	97.106
支承設置角 (θ)		---	90° 0' 0"	---	90° 0' 0"

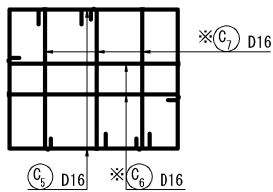
使用材料一覧表

使用区分	コンクリートの種別	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯体	A1-3	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345, SD490
フーチング	B2-1	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	D1-1	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	---

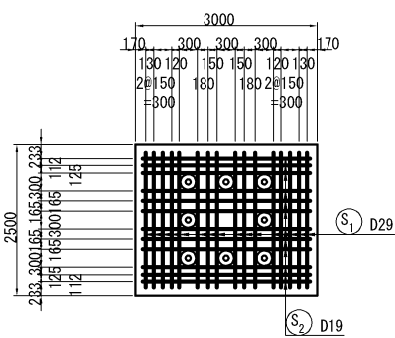
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 1 橋脚構造一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



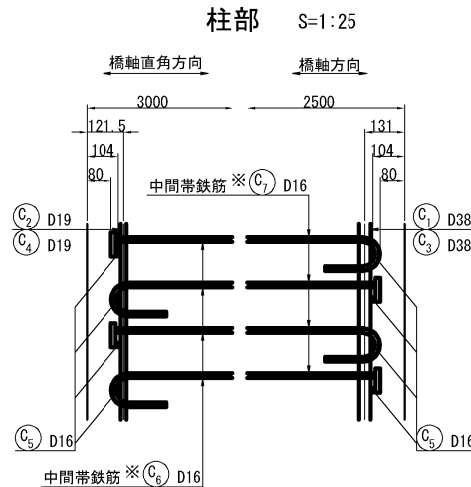
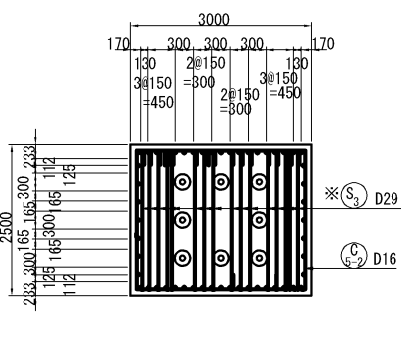
帯鉄筋組立図



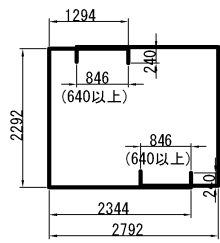
橋座平面図
8-8



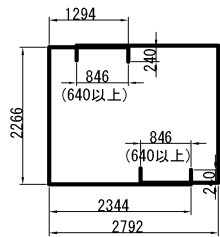
水平補強筋平面図
9-9



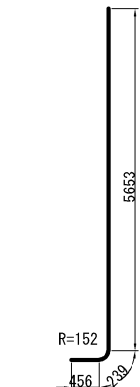
位置図



150-D16x6330



4-D16x6300



38-D38x6350



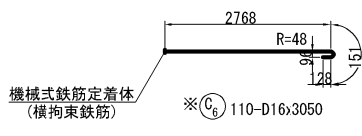
14-D19x6090



38-D38x6200



14-D19x5940



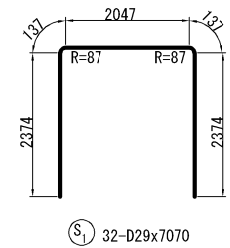
機械式鉄筋定着体
(横拘束鉄筋)

110-D16x3050

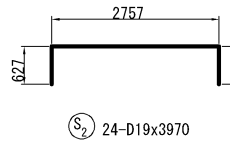
165-D16x2550

機械式鉄筋定着体
(横拘束鉄筋)

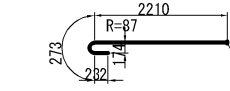
165-D16x2550



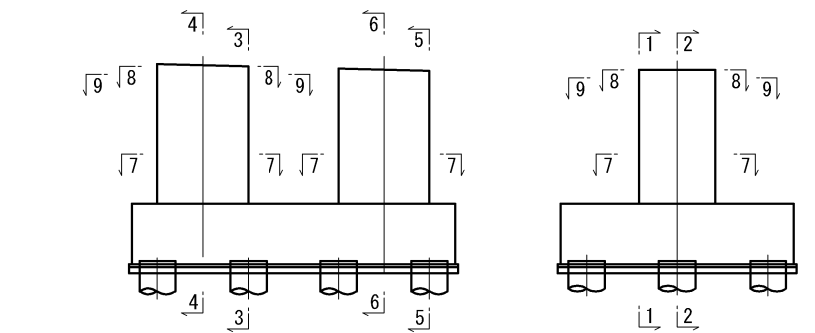
32-D29x7070



24-D19x3970

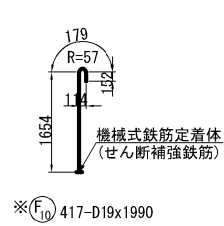
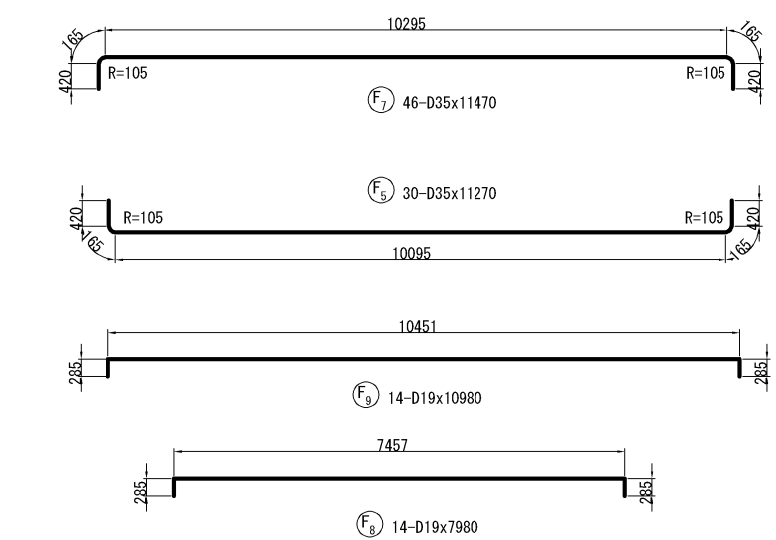
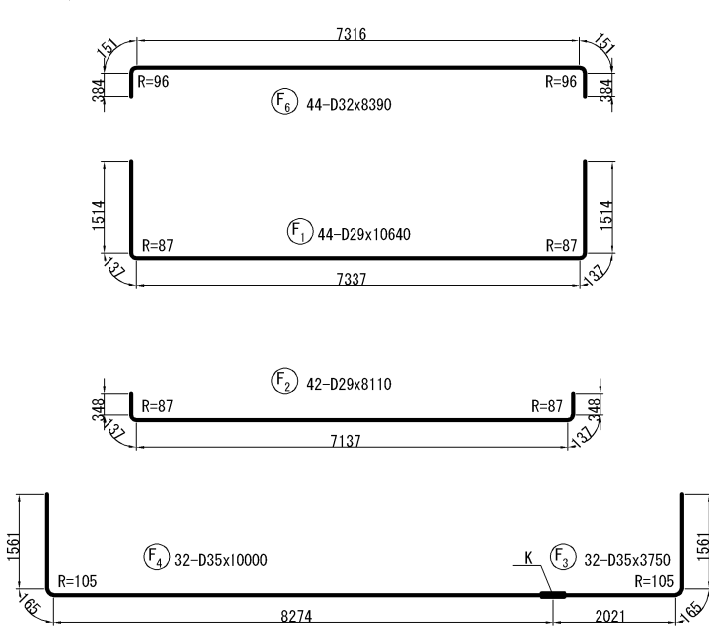
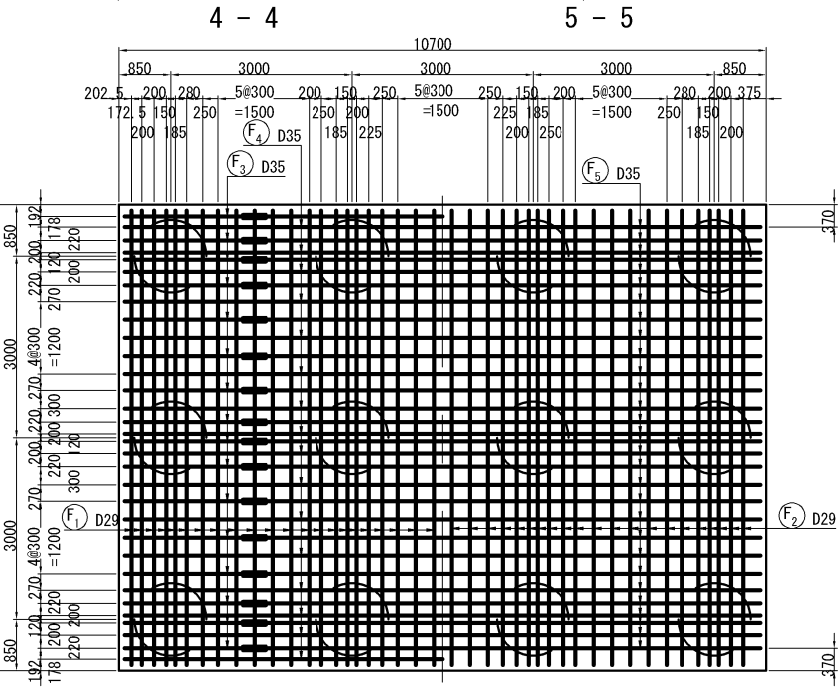
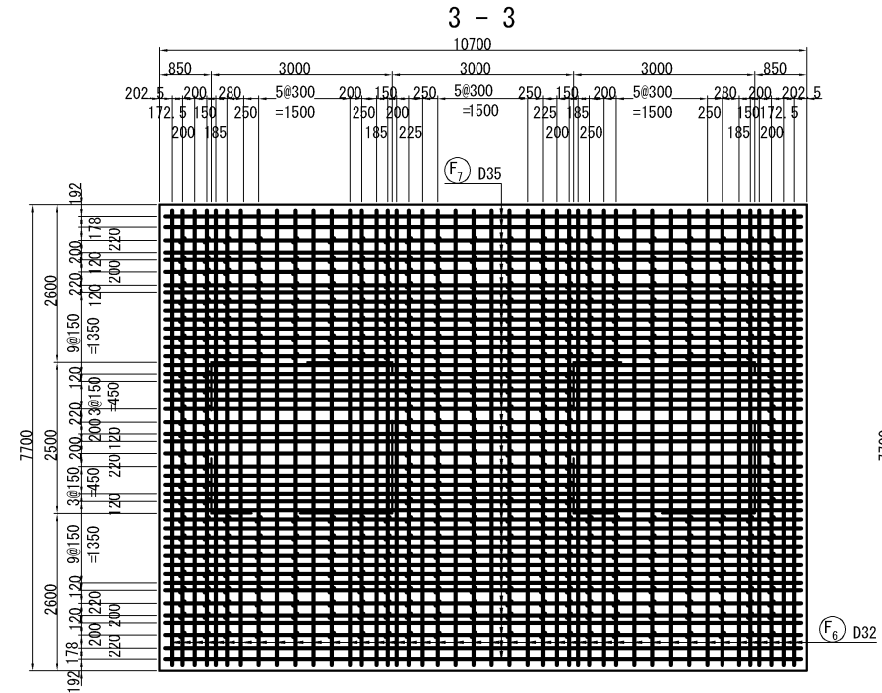
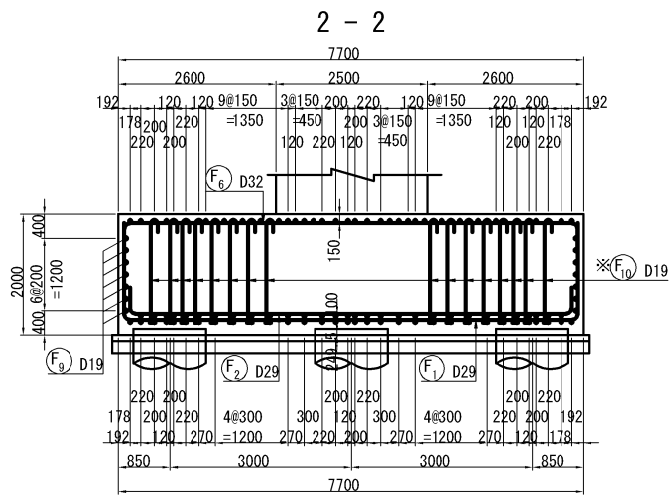
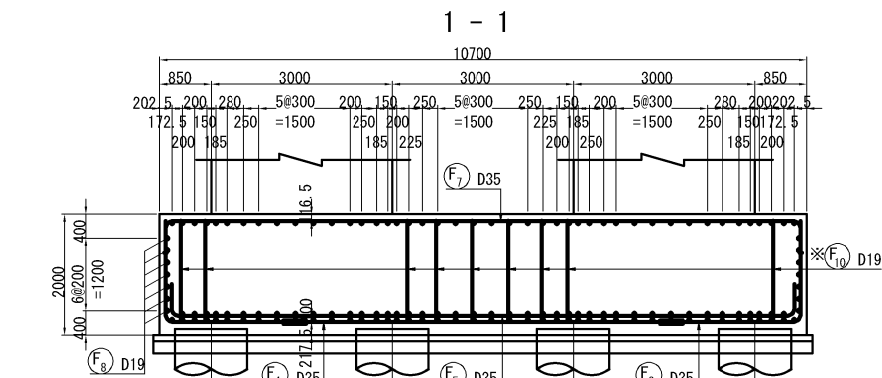


32-D29x2720

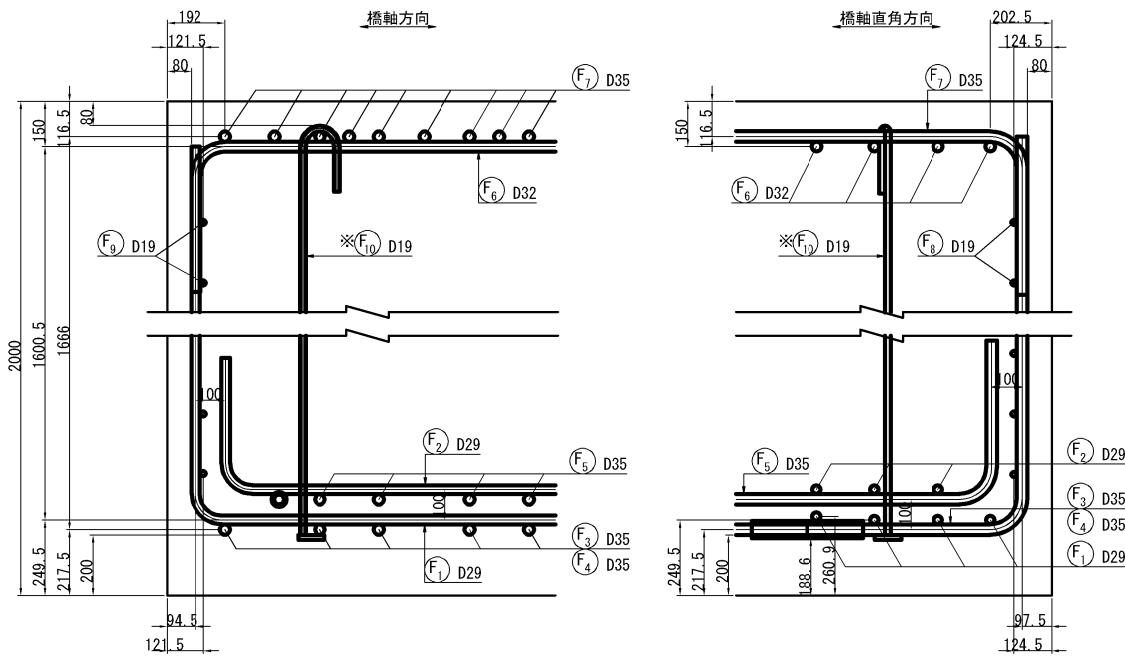


注) ※は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 1 橋脚配筋図（1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

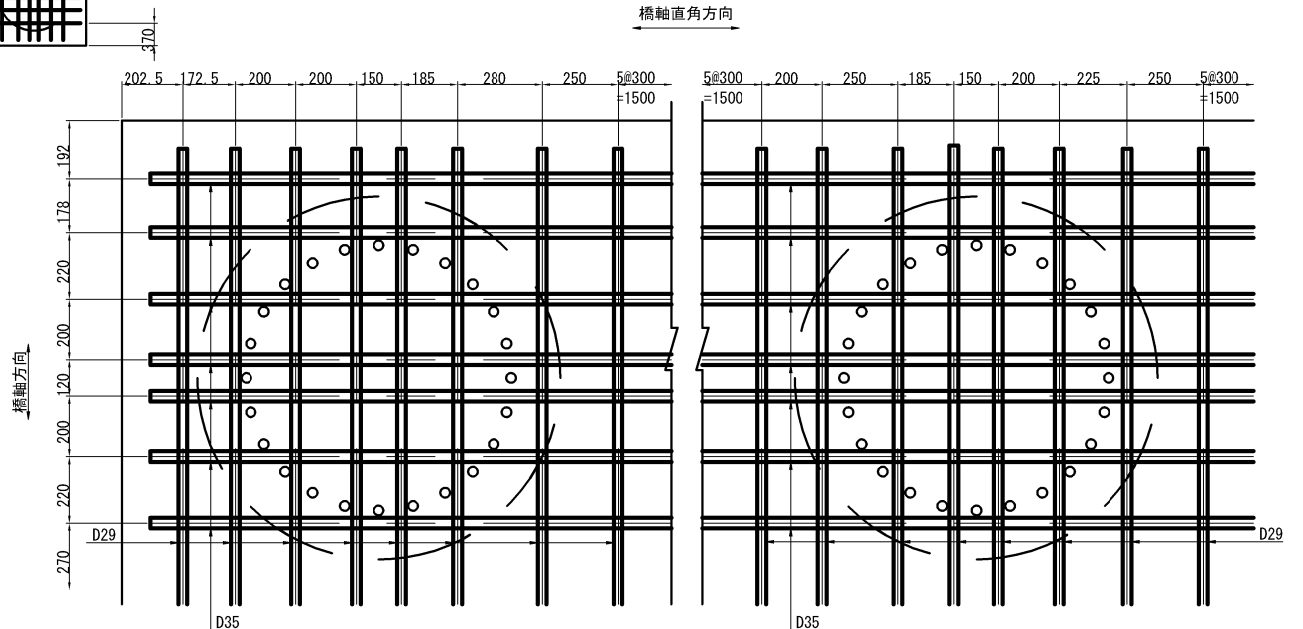


底版かぶり詳細図 S=1:25

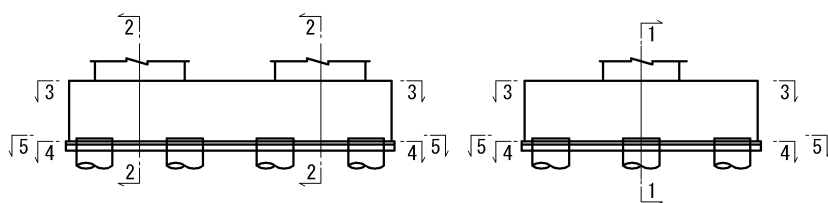


注）半円径フックは、上面橋軸直角方向鉄筋に掛けること。
※機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するように配置すること。

杭頭部鉄筋詳細図 S=1:25



位置図

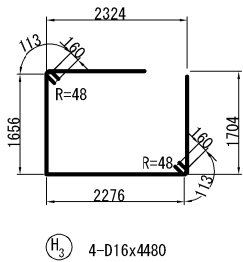
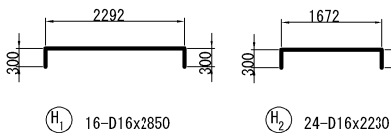
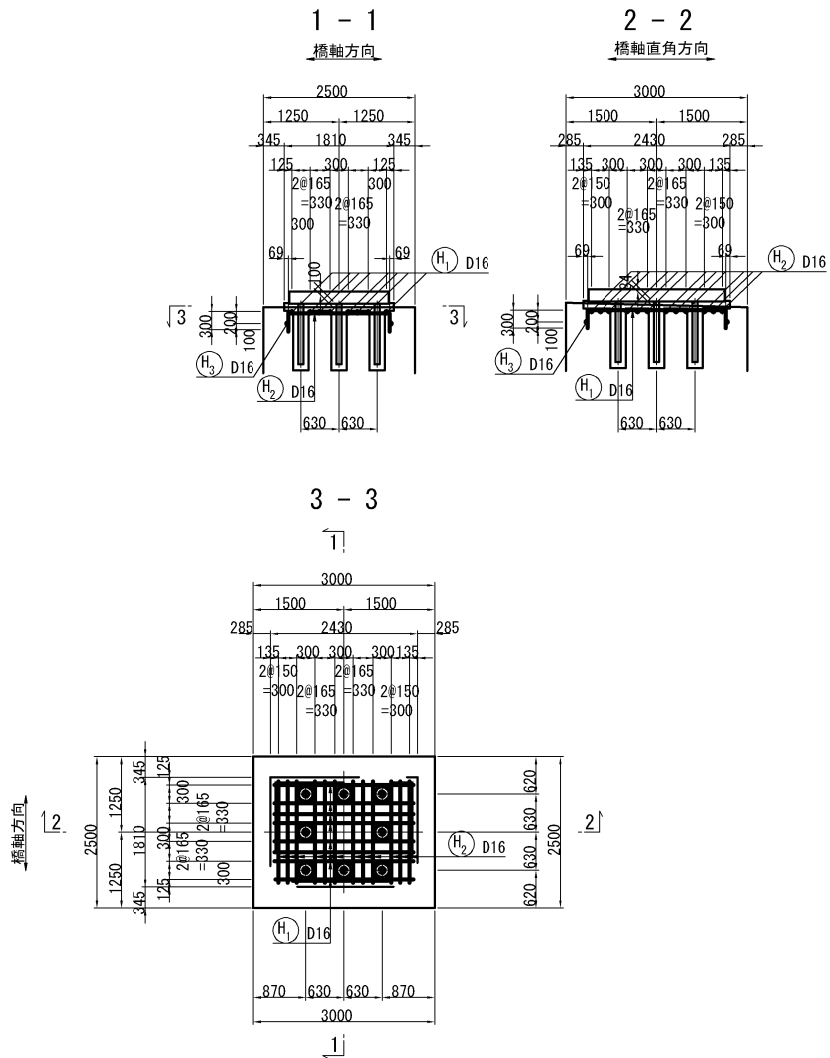


注）※は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は構束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 1 橋脚配筋図（2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

沓座配筋図

(n=2箇所)



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要	
C1	D38	6350	38	8.95	56.8	2158	L	
C2	D19	6090	14	2.25	13.7	192		
C3	D38	6200	38	8.95	55.5	2109		
C4	D19	5940	14	2.25	13.4	188		
C5-1	D16	6330	150	1.56	9.87	1481	P	
C5-2	"	6300	4	"	9.83	39		
C6	"	3050	110	"	4.76	524	(110)	
C7	"	2550	165	"	3.98	657	(165)	
7348 kg								
S1	D29	7070	32	5.04	35.6	1139	H	
S2	D19	3970	24	2.25	8.93	214		
S3	D29	2720	32	5.04	13.7	438		(32)
1791 kg								
F1	D29	10640	44	5.04	53.6	2358	L	
F2	"	8110	42	"	40.9	1718		
F3	D35	3750	32	7.51	28.2	902		<32>
F4	"	10000	32	"	75.1	2403		
F5	"	11270	30	"	84.6	2538		
F6	D32	8390	44	6.23	52.3	2301		
F7	D35	11470	46	7.51	86.1	3961		
F8	D19	7980	14	2.25	18.0	252		
F9	"	10980	14	"	24.7	346		
F10	"	1990	417	"	4.48	1868		(417)
18647 kg								
H1	D16	2850	16	1.56	4.45	71	H	
H2	"	2230	24	"	3.48	84		
H3	"	4480	4	"	6.99	28		
183 kg								
SD345								
A鉄筋		B鉄筋		C鉄筋		合計 <機械継手>(機械式定着)		
D35 6499 kg		3305 kg		-		9804 kg <32>		
D32 2301 kg		-		-		2301 kg		
D29 5215 kg		-		438 kg		5653 kg (32)		
D19 812 kg		-		1868 kg		2680 kg (417)		
D16 1703 kg		-		1181 kg		2884 kg (275)		
合計 16530 kg		3305 kg		3487 kg		23322 kg <32> (724)		
SD490								
A(1)鉄筋		合計						
D38 4267 kg		4267 kg						
D19 380 kg		380 kg						
合計 4647 kg		4647 kg						

注) < >内は機械継手数、()機械式定着箇所数を示す。
□はSD490鉄筋を示す。

機械式鉄筋定着加工箇所

鉄筋長 (L)	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	-	-	-	-	-	-
D16	-	-	165	110	-	-
D19	-	417	-	-	-	-
D22	-	-	-	-	-	-
D25	-	-	-	-	-	-
D29	-	-	32	-	-	-
小 計	-	417	197	110	-	-
合 計	724					

機械式継手箇所

径	箇所
D29	-
D32	-
D35	32
D41	-
D51	-
合 計	32

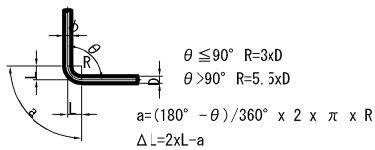
径別集計表 (SD345)

種 別	径	下部工施工		
		H≤25m	H>25m	合計
A (SD345)	D13	-	-	-
	D16	1703	-	1703
	D19	812	-	812
	D22	-	-	-
	D25	-	-	-
	計	2515	-	2515
	D29	5215	-	5215
	D32	2301	-	2301
	D32 計	7516	-	7516
	D35	6499	-	6499
	D38	-	-	-
	D41	-	-	-
	D51	-	-	-
	合 計	16530	-	16530
B (SD345)	D13	-	-	-
	D16	-	-	-
	D19	-	-	-
	D22	-	-	-
	D25	-	-	-
	計	-	-	-
	D29	-	-	-
	D32	-	-	-
	D32 計	-	-	-
	D35	3305	-	3305
	D38	-	-	-
	D41	-	-	-
	D51	-	-	-
	合 計	3305	-	3305
C (SD345)	D13	-	-	-
	D16	1181	-	1181
	D19	1868	-	1868
	D22	-	-	-
	D25	-	-	-
	計	3049	-	3049
	D29	438	-	438
	D32	-	-	-
	D32 計	438	-	438
	D35	-	-	-
	D38	-	-	-
	D41	-	-	-
	D51	-	-	-
	合 計	3487	-	3487
総 質 量		23322	-	23322

径別集計表 (SD490)

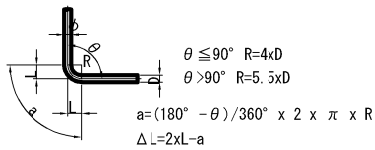
種 別	径	下部工施工		
		H≤25m	H>25m	合計
A(1) (SD490)	D13	-	-	-
	D16	-	-	-
	D19	380	-	380
	D22	-	-	-
	D25	-	-	-
	計	380	-	380
	D29	-	-	-
	D32	-	-	-
	D32 計	-	-	-
	D35	-	-	-
	D38	4267	-	4267
	D41	-	-	-
	D51	-	-	-
	合 計	4647	-	4647

鉄筋曲げ加工表 (SD345)



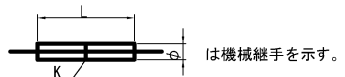
径	θ=90°			θ=135°		
	R	a	△L	R	a	△L
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	90	25	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D25	75	118	32	137.5	108	6
D29	87	137	37	159.5	125	7
D32	96	151	41	176	138	8
D35	105	165	45	192.5	151	8
D38	114	179	49	209	164	9
D41	123	193	53	225.5	177	10
D51	153	240	66	280.5	220	12

鉄筋曲げ加工表 (SD490)



径	θ=90°			θ=135°		
	R	a	△L	R	a	△L
D13	52	82	22	71.5	56	3
D16	64	101	27	88	69	4
D19	76	119	33	104.5	82	5
D22	88	138	38	121	95	5
D25	100	157	43	137.5	108	6
D29	116	182	50	159.5	125	7
D32	128	201	55	176	138	8
D35	140	220	60	192.5	151	8
D38	152	239	65	209	164	9
D41	164	258	70	225.5	177	10
D51	204	320	88	280.5	220	12

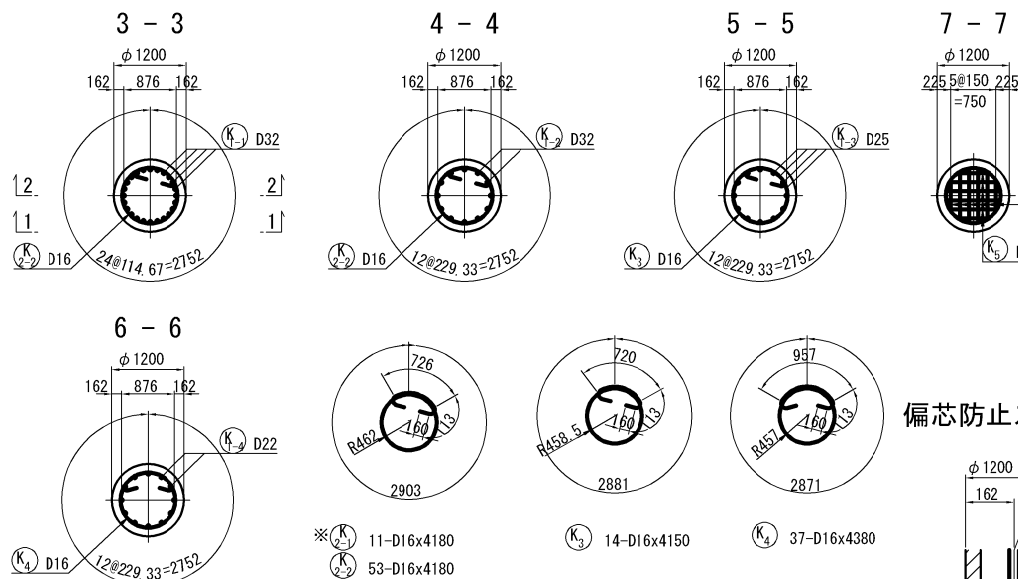
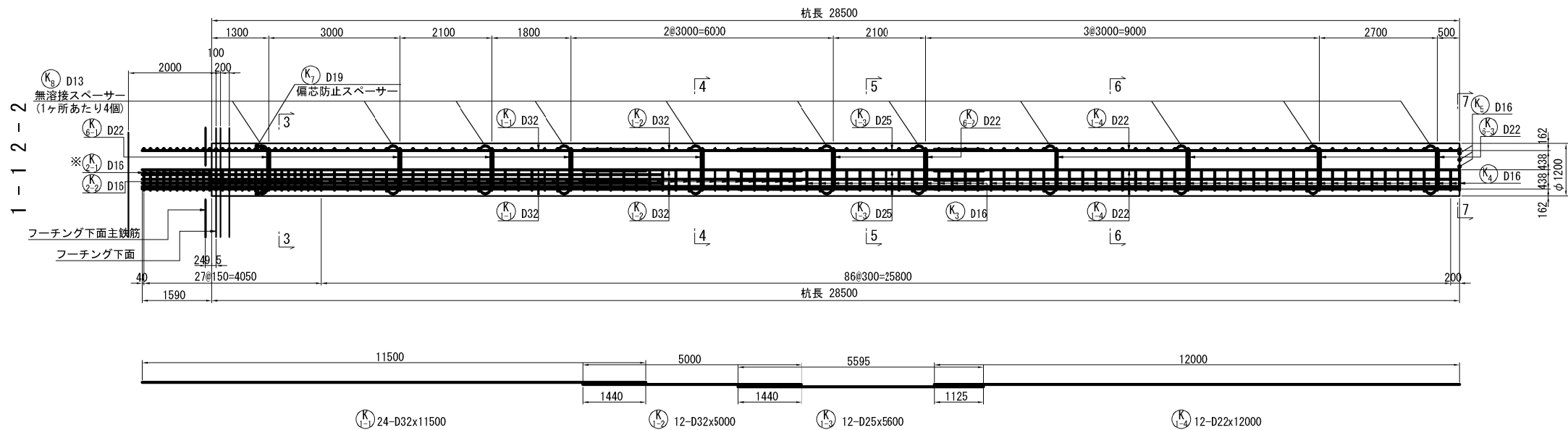
機械式継手カプラー寸法



機械継手の寸法は D32 φE3.1×320
D35 φE7.8×370
D41 φE8.4×390
D51 φE8.1×460 と仮定した。

注) ※ は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

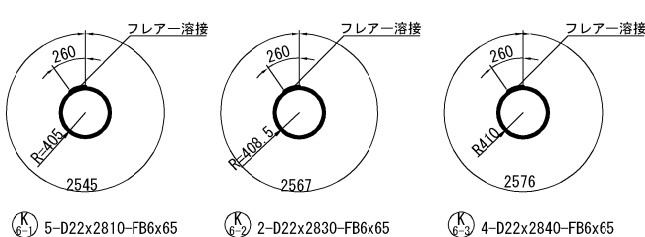
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 1 橋脚配筋図（3）		
縮 尺	1:125	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



変化鉄筋表

※余長部は組立て筋に溶接とする

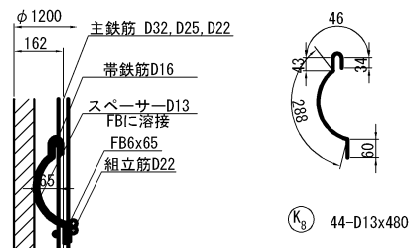
種別	径	本数	L	ΣL
1	D16	4	866	1910
2	D16	4	755	1800
3	D16	4	458	1500
平均長		12		1740



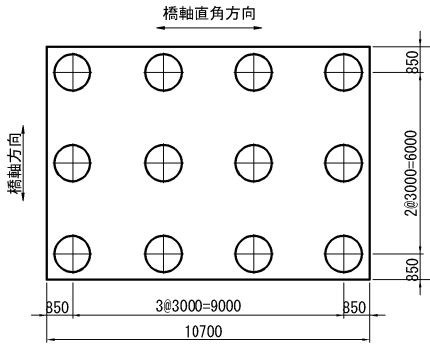
フレアー溶接詳細図 S=1:25

鉄筋径φ	溶接ビード幅s	のど厚a	溶接長(10φ)	重ね長L
D22	11.0	5.6	220	260

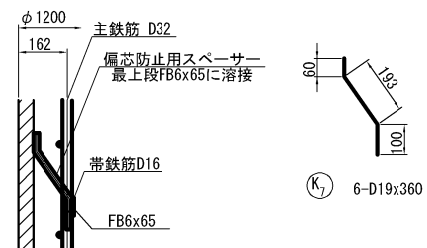
スペーサー詳細図 (参考図) S=1:25



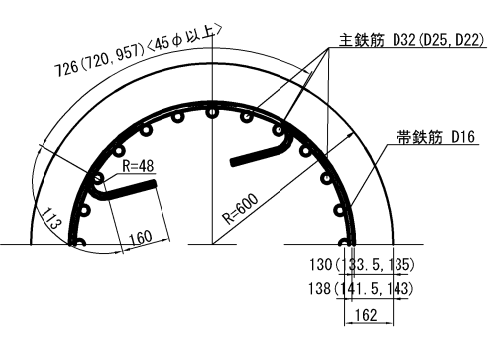
杭配置図 S=1:250



偏芯防止スペーサー部詳細図 (参考図) S=1:25

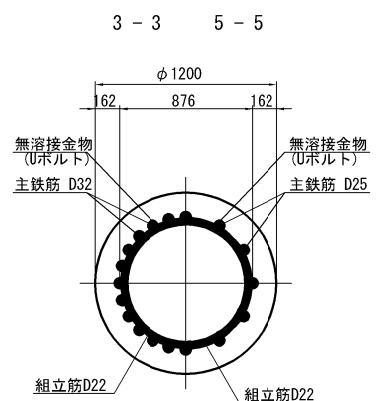


かぶり詳細図 S=1:25

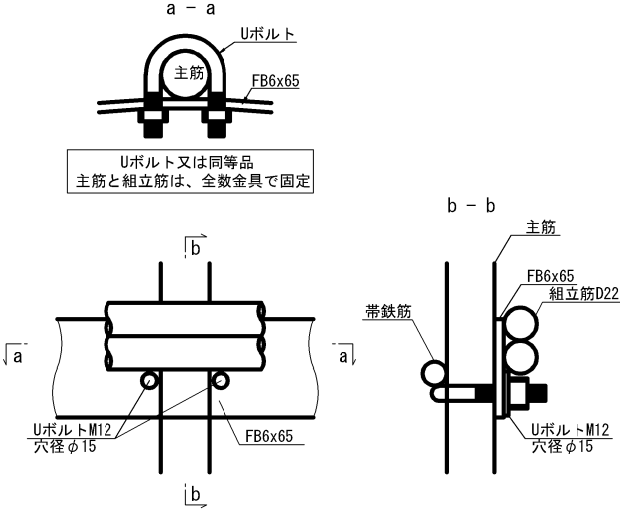


無溶接金物 (Uボルト) 取付図 (参考図)

固定金具詳細図 縮尺=1:50



Uボルト取付詳細図 S=1:5



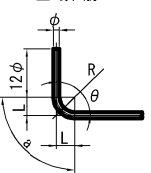
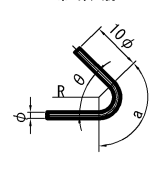
鉄筋表

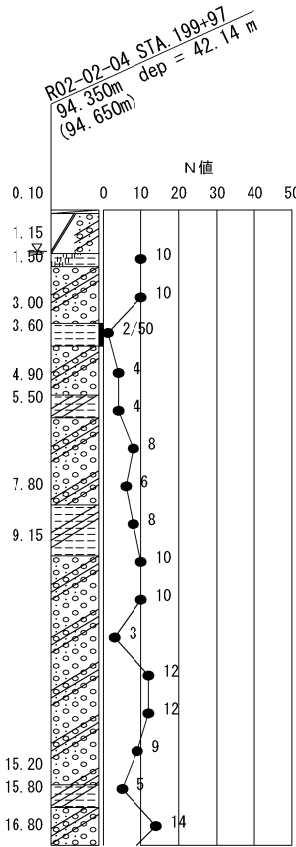
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
K1-1	D32	11500	24	6.23	71.6	1718	
K1-2	"	5000	12	"	31.2	374	
K1-3	D25	5600	12	3.98	22.3	268	
K1-4	D22	12000	12	3.04	36.5	438	
K2-1	D16	4180	11	1.56	6.52	72	
K2-2	"	4180	53	"	6.52	346	
K3	"	4150	14	"	6.47	91	
K4	"	4380	37	"	6.83	253	
K5	"	1740	12	"	2.71	33	(平均長)
K6-1	D22	2810	5	3.04	8.54	43	フレアー溶接
K6-2	"	2830	2	"	8.60	17	フレアー溶接
K6-3	"	2840	4	"	8.63	35	フレアー溶接
(1本当り)						3688 kg	
Y鉄筋				1本当たり	フレアー溶接箇所	1基当たり	フレアー溶接箇所
D32				2092 kg	× 12 =	25104 kg	
D25				268 kg	× 12 =	3216 kg	
D22				533 kg (11)	× 12 =	6396 kg (132)	
D16				723 kg	× 12 =	8676 kg	
合計				3616 kg	× 12 =	43392 kg	
A鉄筋				1本当たり		1基当たり	
D16				72 kg	× 12 =	864 kg	
合計				72 kg	× 12 =	864 kg	
組立鉄筋 (杭1本当り)							
K7	D19	360	6	2.25	0.810	5	
K8	D13	480	44	0.995	0.478	21	
(1本当り)						26 kg	
D19				5 kg	× 12 =	60 kg	
D13				21 kg	× 12 =	252 kg	
合計				26 kg	× 12 =	312 kg	
FB6x65				2633	5	3.06	8.06
"				2655	2	"	8.12
"				2664	4	"	8.15
						89 kg	
FB6x65				89 kg	× 12 =	1068 kg	

注1) 図中鉄筋番号のうち、※印はA鉄筋を示す。
杭頭鉄筋とフーチング鉄筋との取り合いについては、事前に確認のうえ、施工すること。
無溶接金具は、補強棒、スペーサーおよび杭底面上げた筋部に設置する。

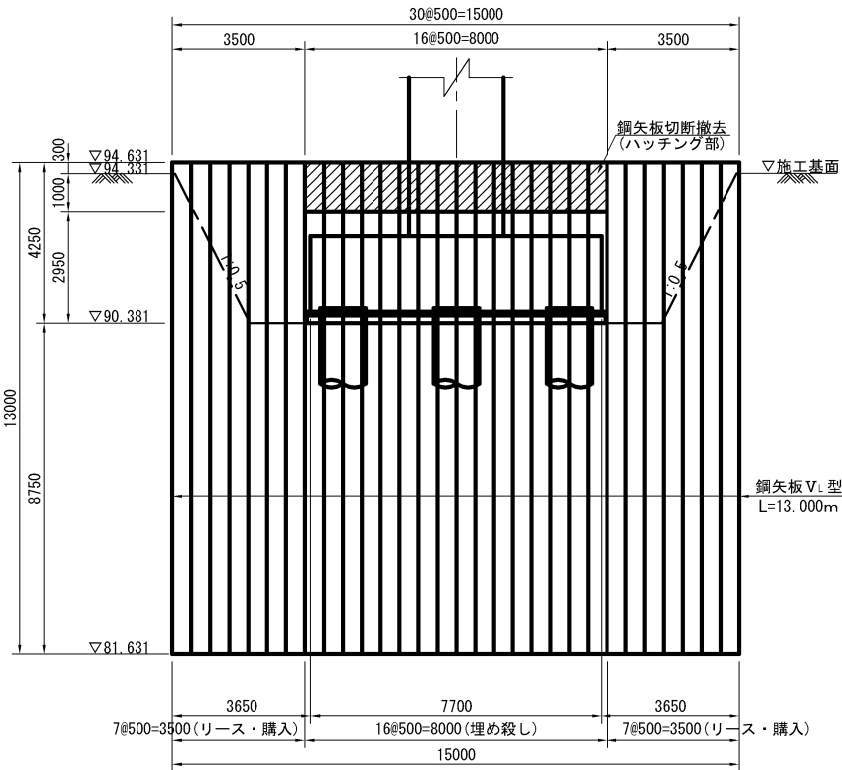
注2) 帯鉄筋の継手位置は各々90°ずらして配置する。

鉄筋曲げ加工表

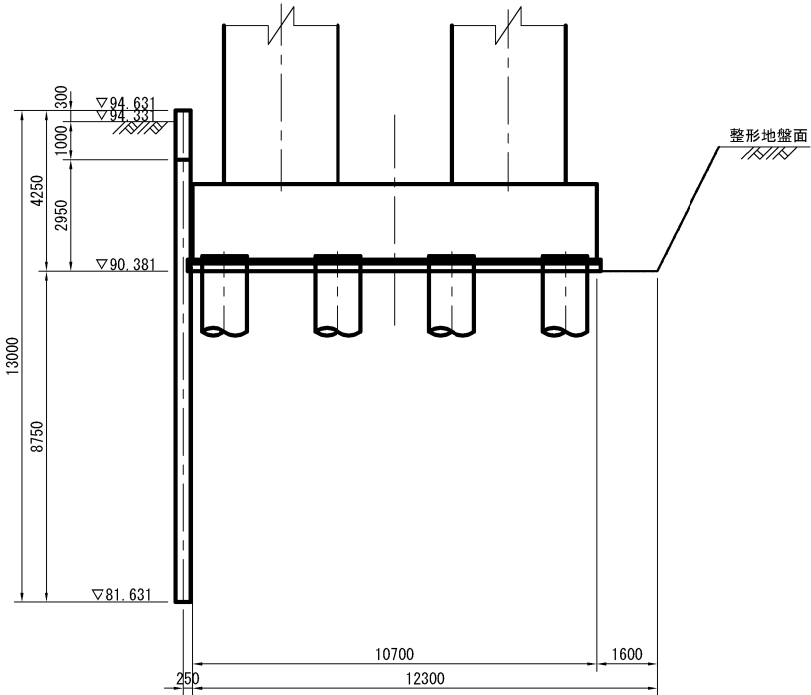
						
		$\Delta L = 2L - a$				
曲げ	径		主鉄筋・帯鉄筋			
半径	D13~D51		R=3φ			
	$\theta = 90^\circ$		$\theta = 45^\circ$			
径	主鉄筋		スタールラップ 帯鉄筋			
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	39	92	96
D16	48	75	21	48	113	119
D19	57	89	25	57	134	141
D22	66	104	28	66	155	164
D25	75	118	32	75	177	185
D29	87	137	37	87	205	215
D32	96	151	41	—	—	—
D35	105	165	45	—	—	—
D38	114	179	49	—	—	—
D51	153	240	66	—	—	—



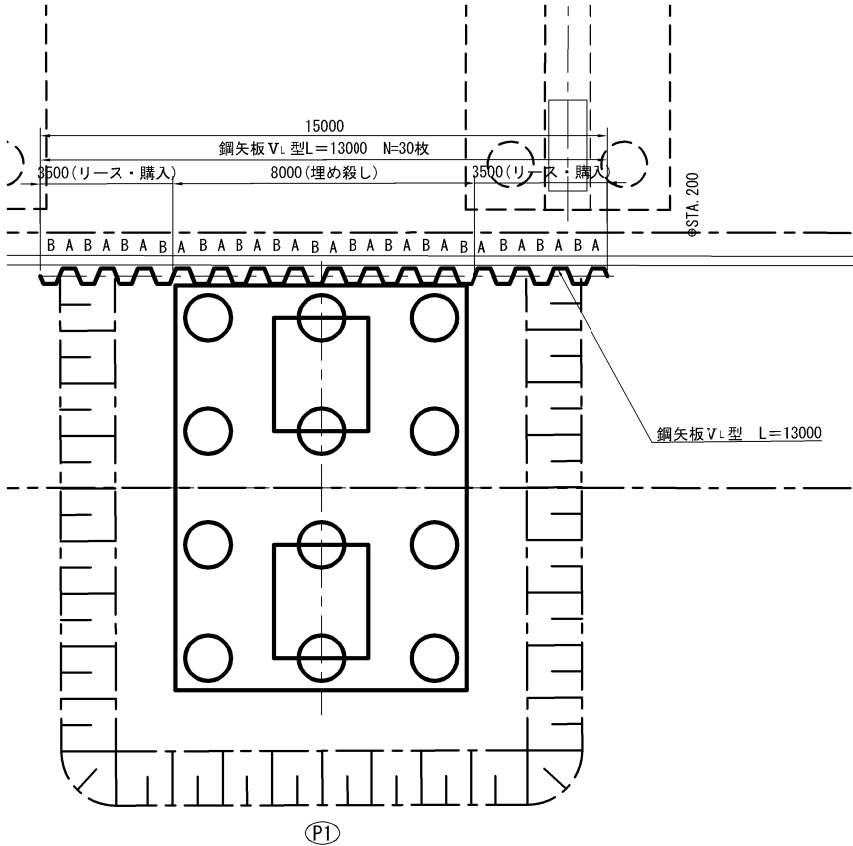
側面図
P1



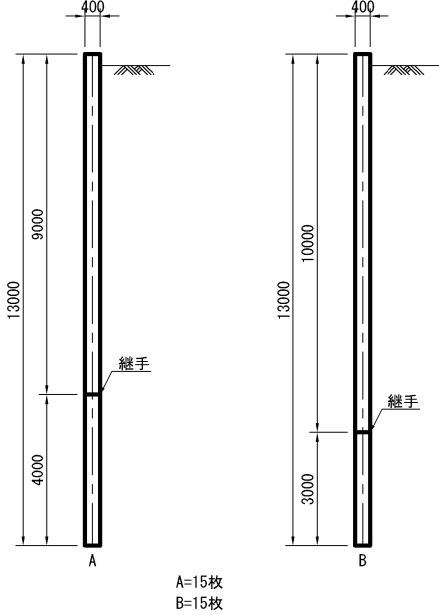
正面図
P1



平面図

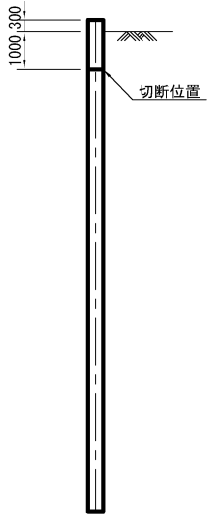


鋼矢板継手位置
V.L 型



注) 隣り合う鋼矢板同士で継手箇所が千鳥配置になるように
上記の組み合わせを繰り返して配置すること。

鋼矢板切断位置

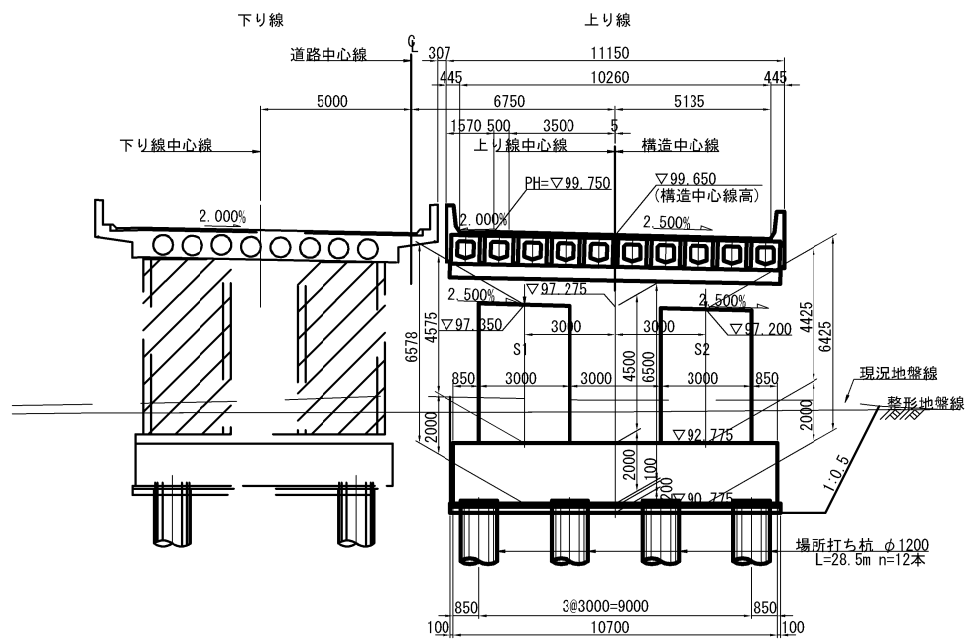


鋼材質量表

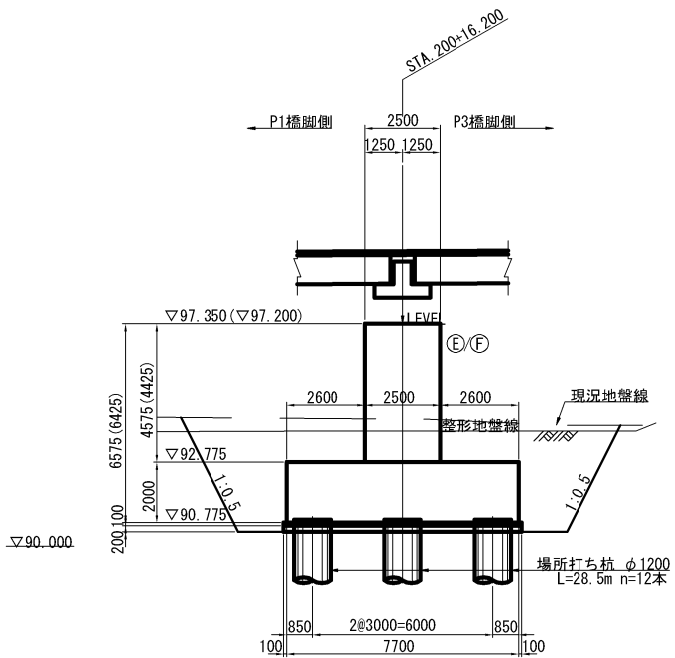
部材名	規 格	員数 (枚・本)	長 さ (mm)	単位質量 (kg/m)	1本あたり質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要	備 考
鋼矢板 (埋め殺し)	V _L 型	8	9,000	105.0	945.0	7,560	SY295	埋め殺し
	〃	8	4,000	105.0	420.0	3,360	〃	〃
	〃	8	10,000	105.0	1050.0	8,400	〃	〃
	〃	8	3,000	105.0	315.0	2,520	〃	〃
		32	鋼矢板小計		21,840	kg		
		継手箇所数		16	箇所			
鋼矢板	V _L 型	7	9,000	105.0	945.0	6,615	SY295	リース材
	〃	7	4,000	105.0	420.0	2,940	〃	購入材
	〃	7	10,000	105.0	1050.0	7,350	〃	リース材
	〃	7	3,000	105.0	315.0	2,205	〃	購入材
		28	鋼矢板小計		19,110	kg		
		継手箇所数		14	箇所			
			鋼矢板	V _L 型		21,840	kg	(埋め殺し)
			鋼矢板	V _L 型		13,965	kg	(リース材)
			鋼矢板	V _L 型		5,145	kg	(購入材)
			合計			40,950	kg	
		継手箇所数		30	箇所			
スクラップ重量	V _L 型	16	1,300	105.0	136.5	2,184	SY295	

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	P 1 橋脚土留工詳細図		
縮 尺	1:200	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

正面図
1 - 1

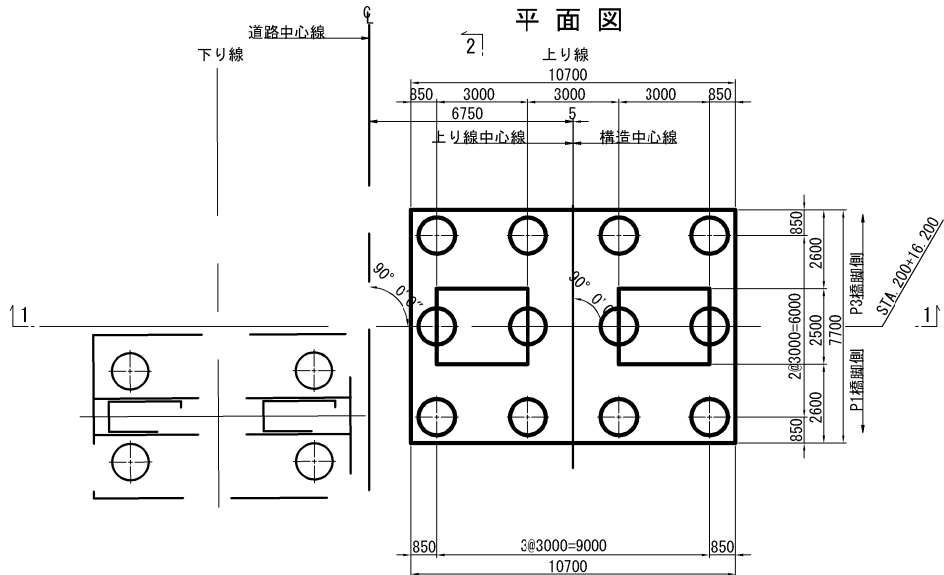


側面図
2 - 2

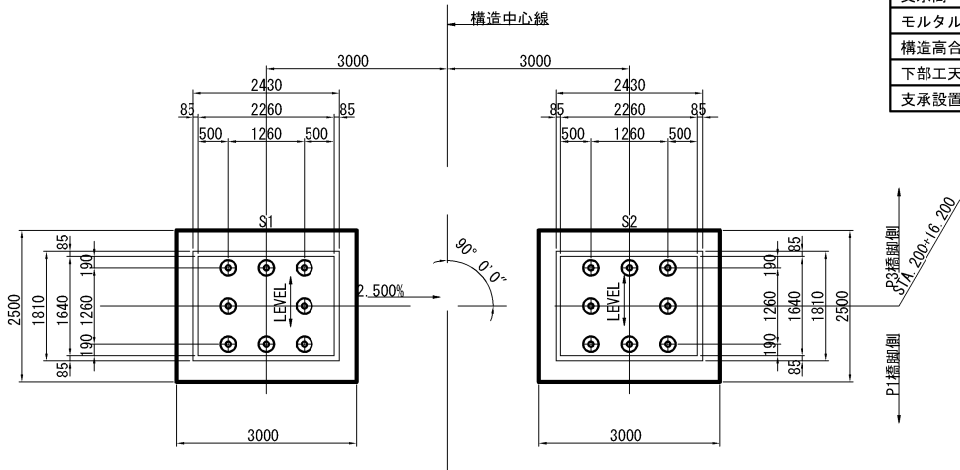


()内は右側柱の寸法を示す

平面図
2



支承配置図 S=1:125



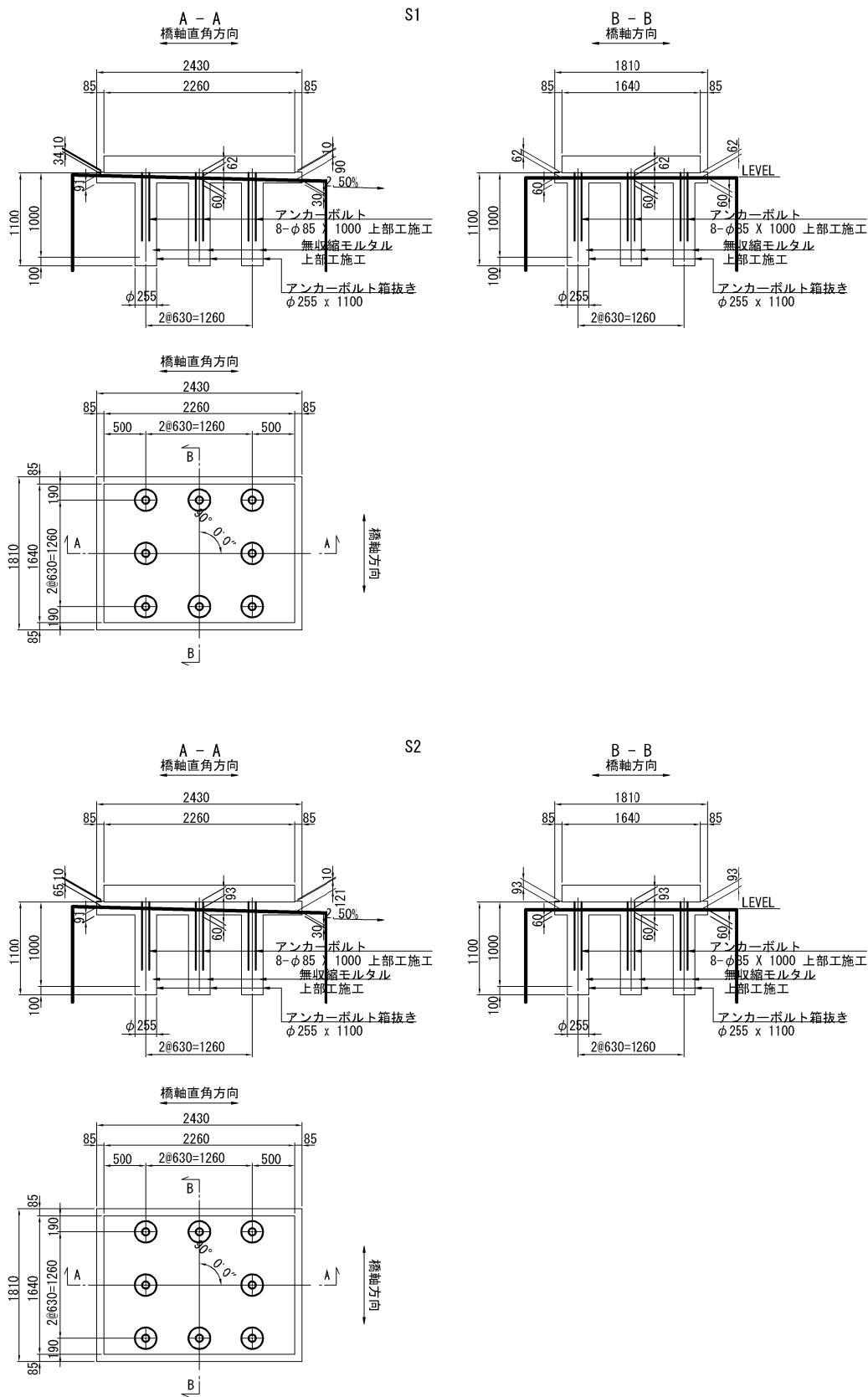
構造高さ表

	単位	PH	S1	KCL	S2
路面計画高 (EL1)	m	99.750	99.725	99.650	99.575
舗装厚 (h1)	mm	—	128	—	99
主桁高 (h2)	mm	—	950	—	950
感圧硬化ゴム (h3)	mm	—	9	—	9
横梁余盛高 (h4)	mm	—	2	—	—
横梁高 (h5)	mm	—	450	—	450
横梁下面高 (EL2)	m	—	98.186	—	98.067
レアー厚 (h6)	mm	—	49	—	49
支承高 (h7)	mm	—	725	—	725
モルタル高 (h8)	mm	—	62	—	93
構造高合計 (ΣH)	mm	—	2375	—	2375
下部工天端高 (EL3)	m	—	97.350	97.275	97.200
支承設置角 (θ)		—	90° 0' 0"	—	90° 0' 0"

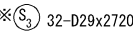
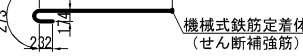
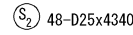
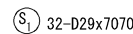
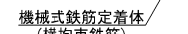
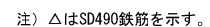
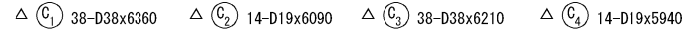
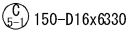
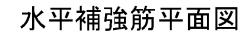
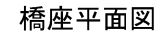
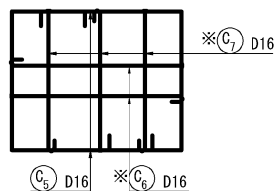
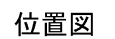
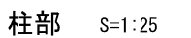
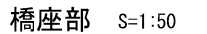
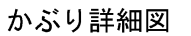
使用材料一覧表

使用区分	コンクリートの種別	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯体	A1-3	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345, SD450
フーチング	B2-1	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	D1-1	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	—

支承箱抜き詳細図 S=1:75



秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 2 橋脚構造一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



注) ※ は機械式定着鉄筋を示す。

機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。

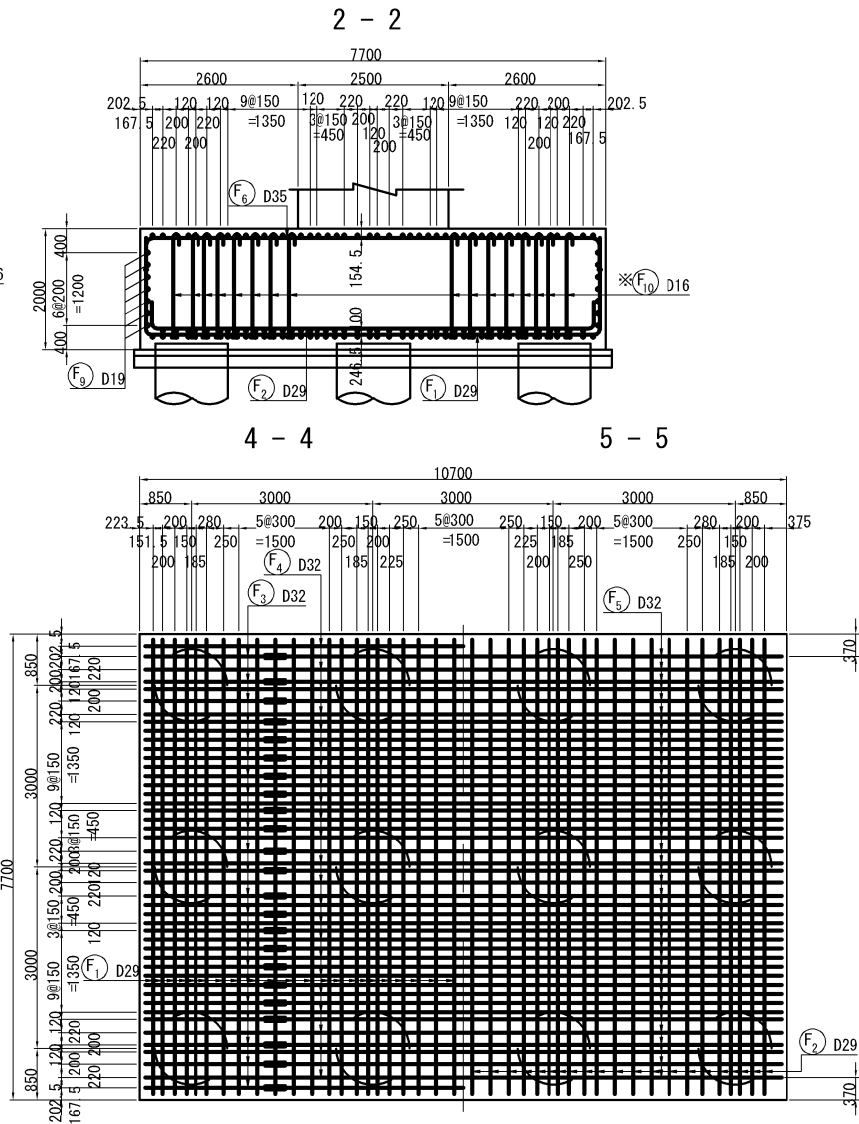
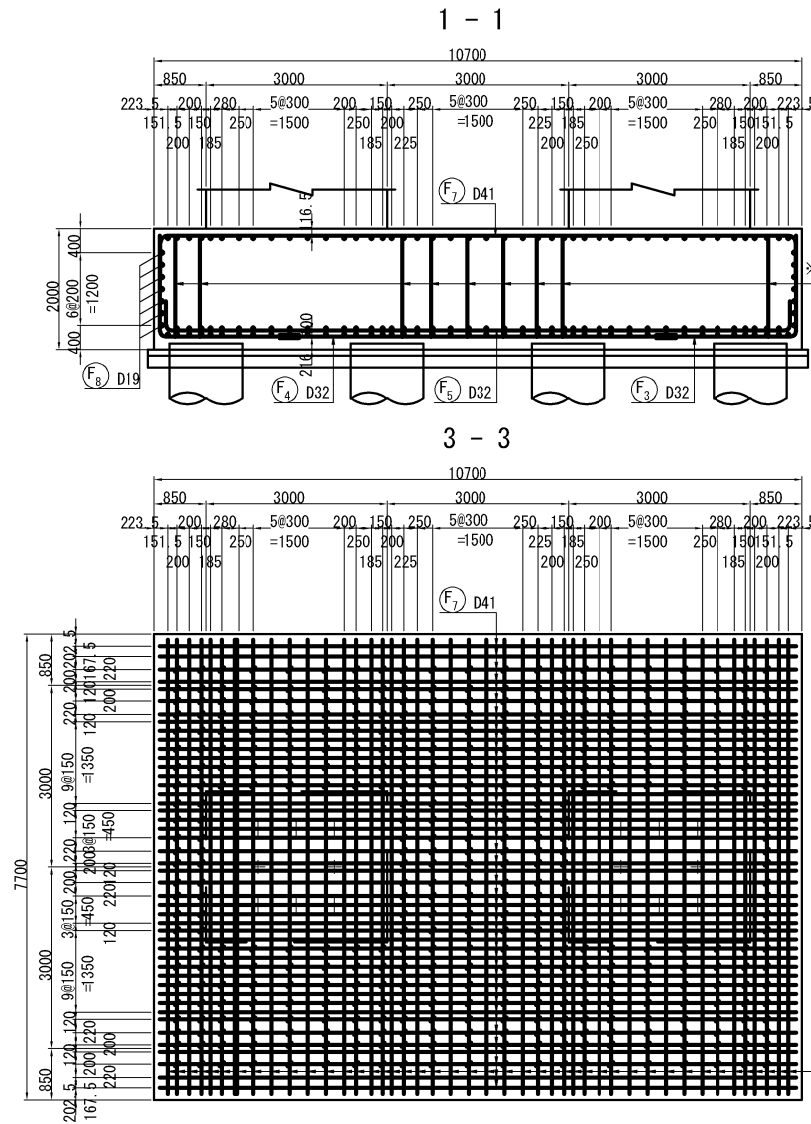
1. 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

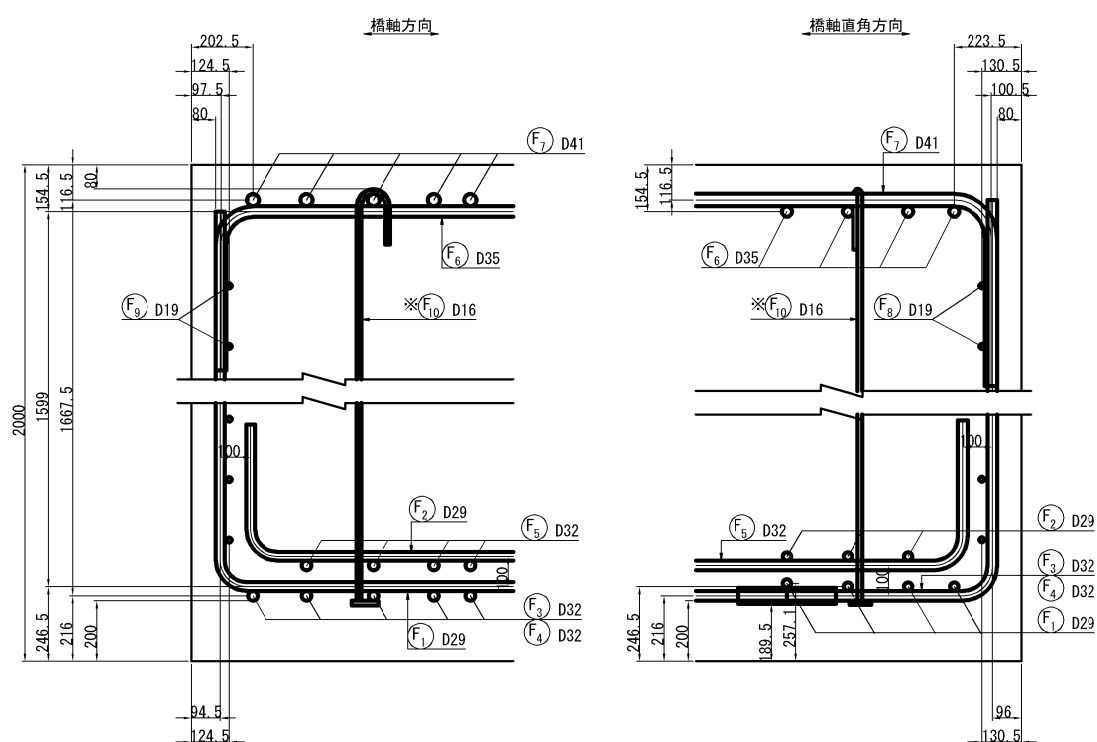
また、中間帯鉄筋に定着体を用いる場合は、構束束効果の実験等により効果が保障されている定着工法を用いること。

3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P2橋脚配筋図（1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

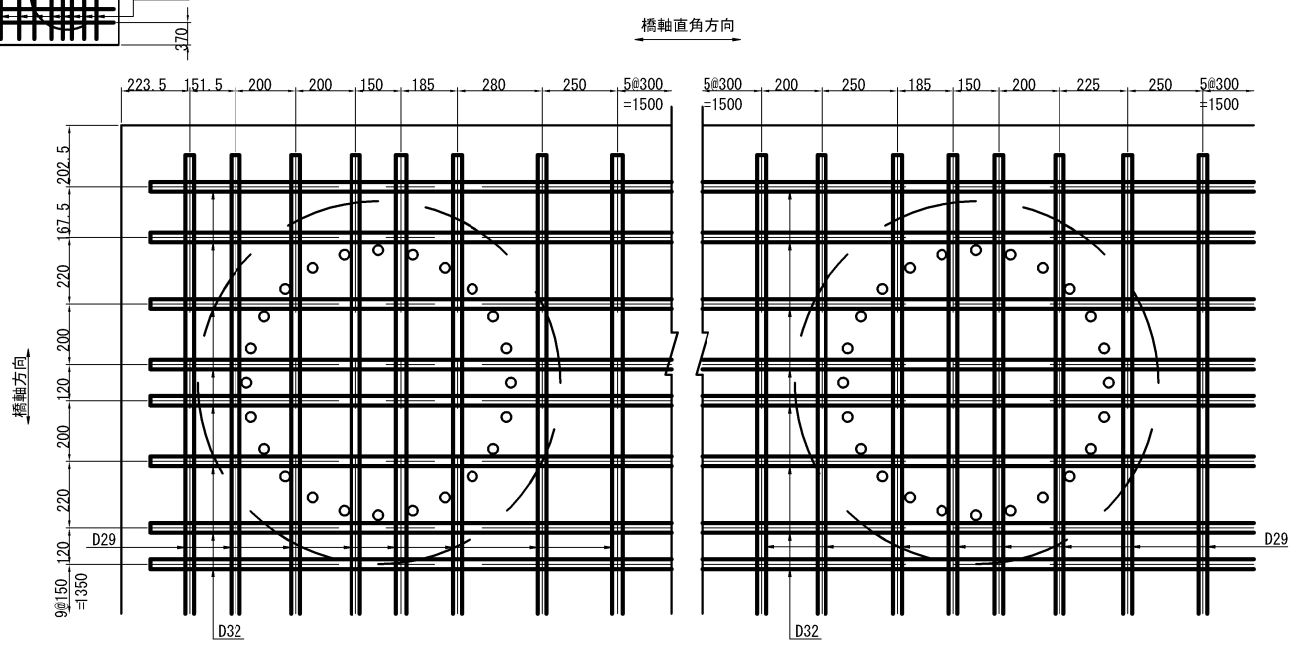


底版かぶり詳細図 S=1:25

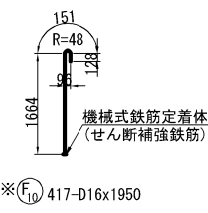
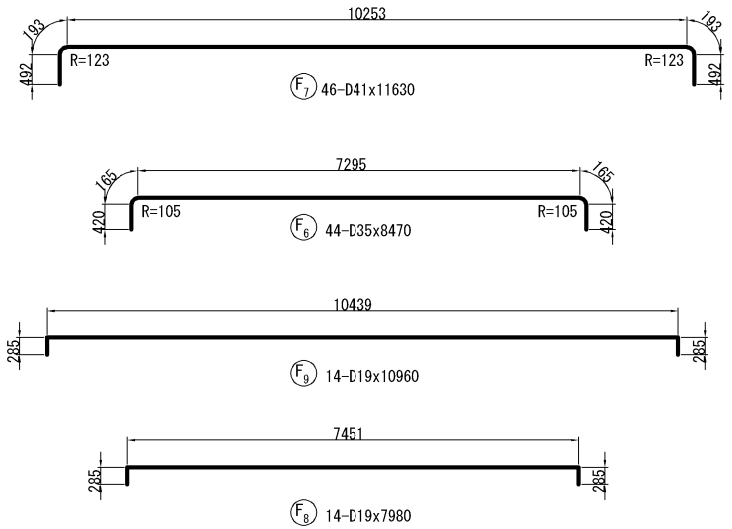
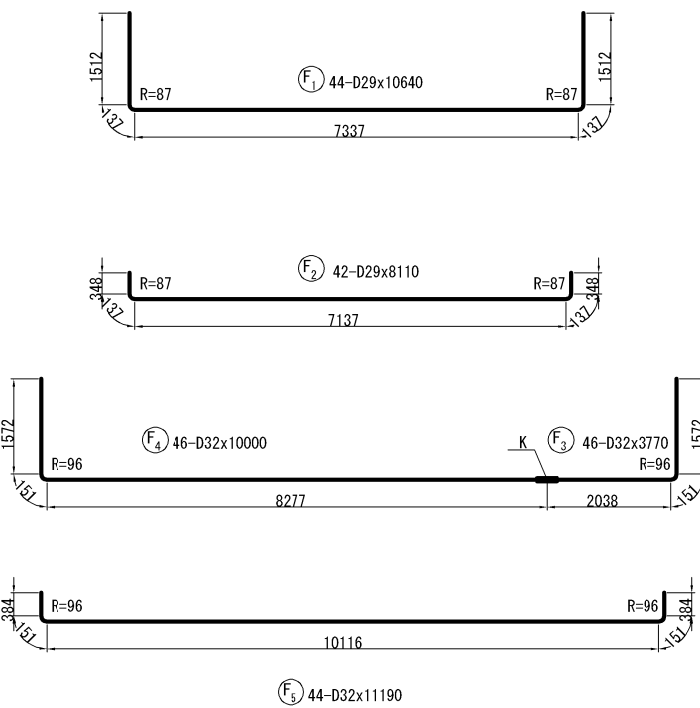
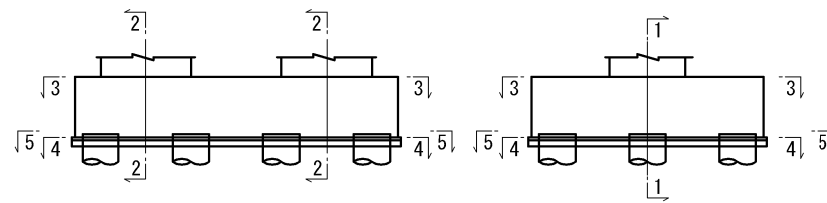


注) 半円径フックは、上面橋軸直角方向鉄筋に掛けること。
※機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するように配置すること。

杭頭部鉄筋詳細図 S=1:25



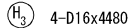
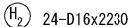
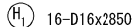
位置図



注) ※は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は橋拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 2 橋脚配筋図（2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

(n=2箇所)



1

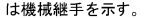
F

□はSD490鉄筋を示す。

	合計
--	----

合計

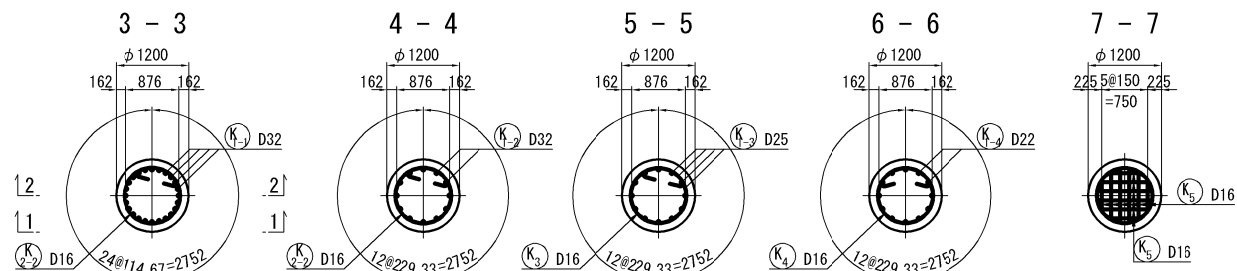
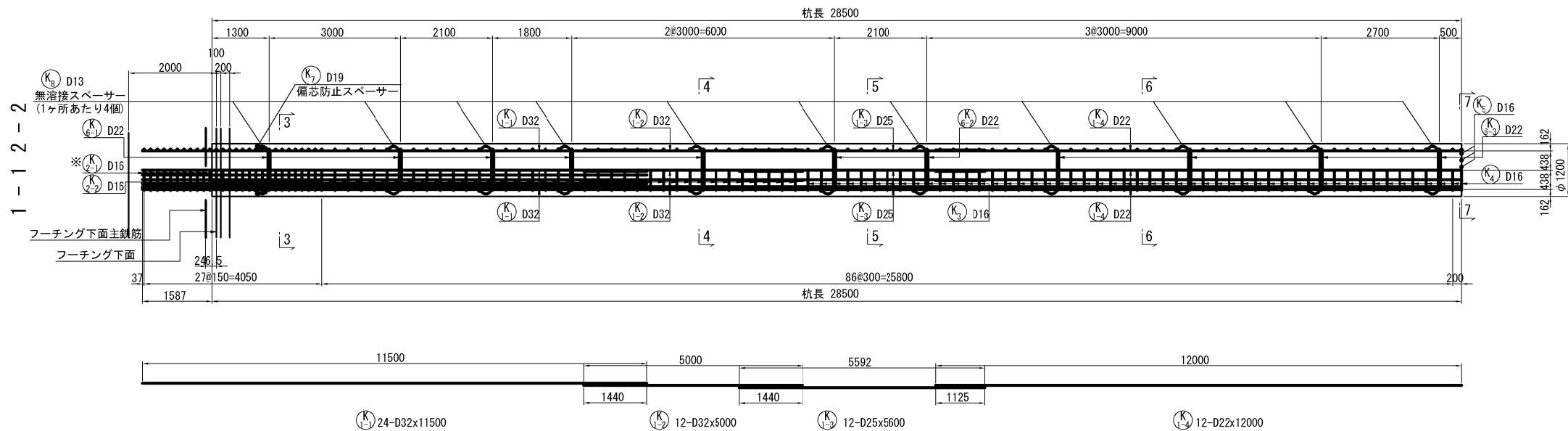
総



D41 $\phi 68.4 \times 390$ と仮定した。

減式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満

事務所名	横手工事事務所
------	---------

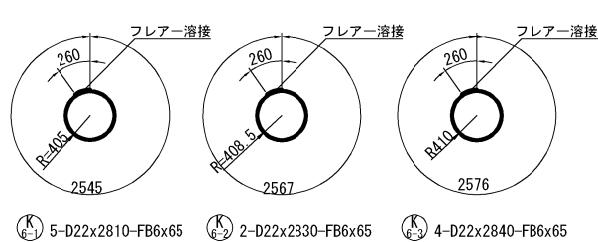


変化鉄筋表

※会長部は組み立て筋に溶接とする

種別	径	本数	L	ΣL
1	D16	4	866	1910
2	D16	4	755	1800
3	D16	4	458	1500
平均長		12		1740

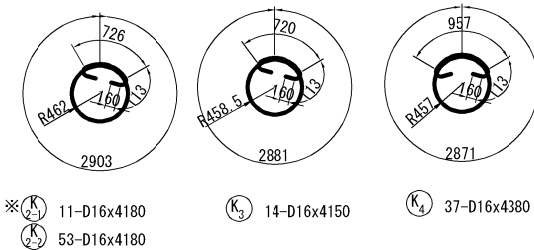
(K₅) 12-D16x1740 (平均長)



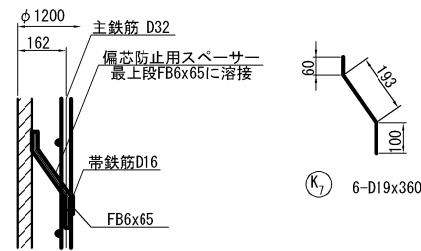
鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
K1-1	D32	11500	24	6.23	71.6	1718	
K1-2	"	5000	12	"	31.2	374	
K1-3	D25	5600	12	3.98	22.3	268	
K1-4	D22	12000	12	3.04	36.5	438	
K2-1	D16	4180	11	1.56	6.52	72	
K2-2	"	4180	53	"	6.52	346	
K3	"	4150	14	"	6.47	91	
K4	"	4380	37	"	6.83	253	
K5	"	1740	12	"	2.71	33	(平均長)
K6-1	D22	2810	5	3.04	8.54	43	フレアー溶接 組立筋
K6-2	"	2830	2	"	8.60	17	フレアー溶接 組立筋
K6-3	"	2840	4	"	8.63	35	フレアー溶接 組立筋
(1本当り)						3688 kg	
Y鉄筋				1本当たり	フレアー溶接箇所	1基当たり	フレアー溶接箇所
D32				2092 kg	× 12 =	25104 kg	
D25				268 kg	× 12 =	3216 kg	
D22				533 kg (11)	× 12 =	6396 kg (132)	
D16				723 kg	× 12 =	8676 kg	
合計				3616 kg (11)	× 12 =	43392 kg (132)	
A鉄筋				1本当たり		1基当たり	
D16				72 kg	× 12 =	864 kg	
合計				72 kg	× 12 =	864 kg	
組立鉄筋 (杭1本当り)							
K7	D19	360	6	2.25	0.810	5	
K8	D13	480	44	0.995	0.478	21	
(1本当り)						26 kg	
D19				5 kg	× 12 =	60 kg	
D13				21 kg	× 12 =	252 kg	
合計				26 kg	× 12 =	312 kg	
FB6x65				2633	5	3.06	8.06 40
"				2655	2	"	8.12 16
"				2664	4	"	8.15 33
						89 kg	
FB6x65				89 kg	× 12 =	1068 kg	

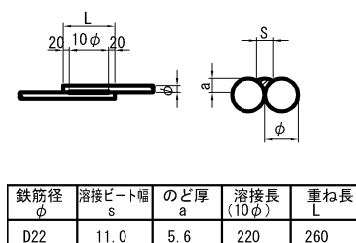
かぶり詳細図 S=1:25



偏芯防止スペーサー部詳細図 (参考図) S=1:25

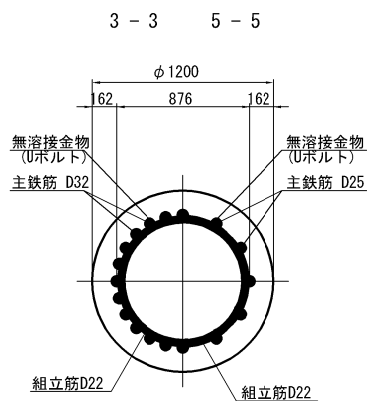


フレアー溶接詳細図 S=1:25

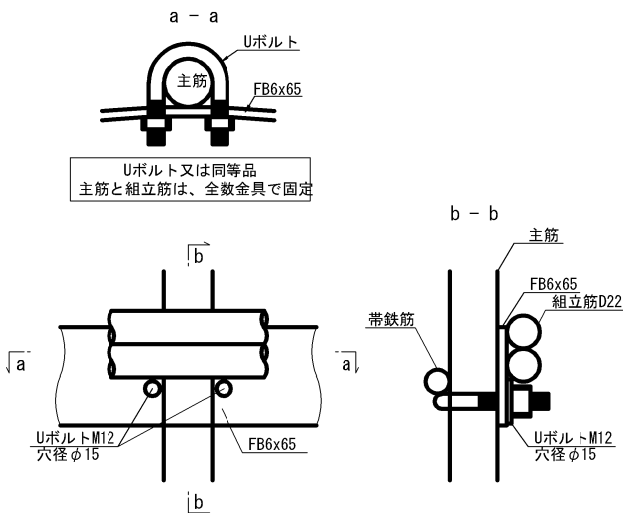


無溶接金物 (Uボルト) 取付図 (参考図)

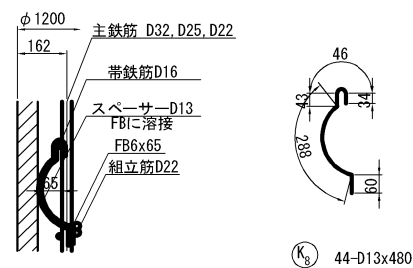
固定金具詳細図 縮尺=1:50



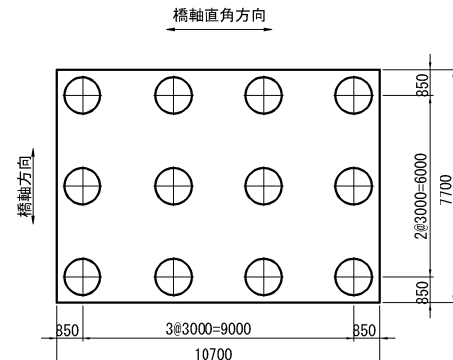
Uボルト取付詳細図 S=1:5



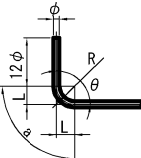
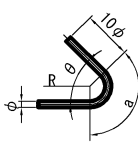
スペーサー詳細図 (参考図) S=1:25



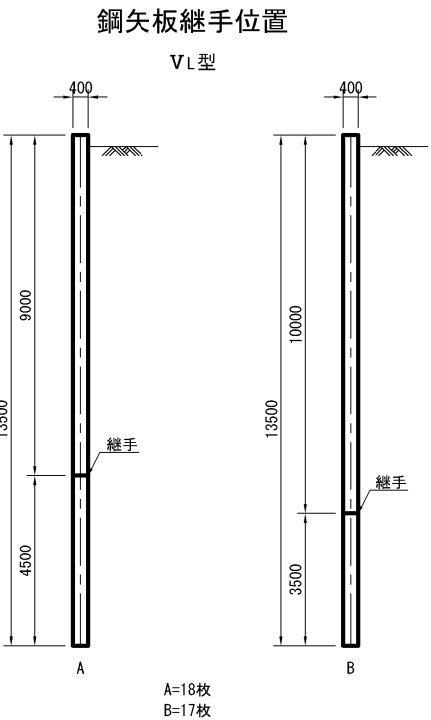
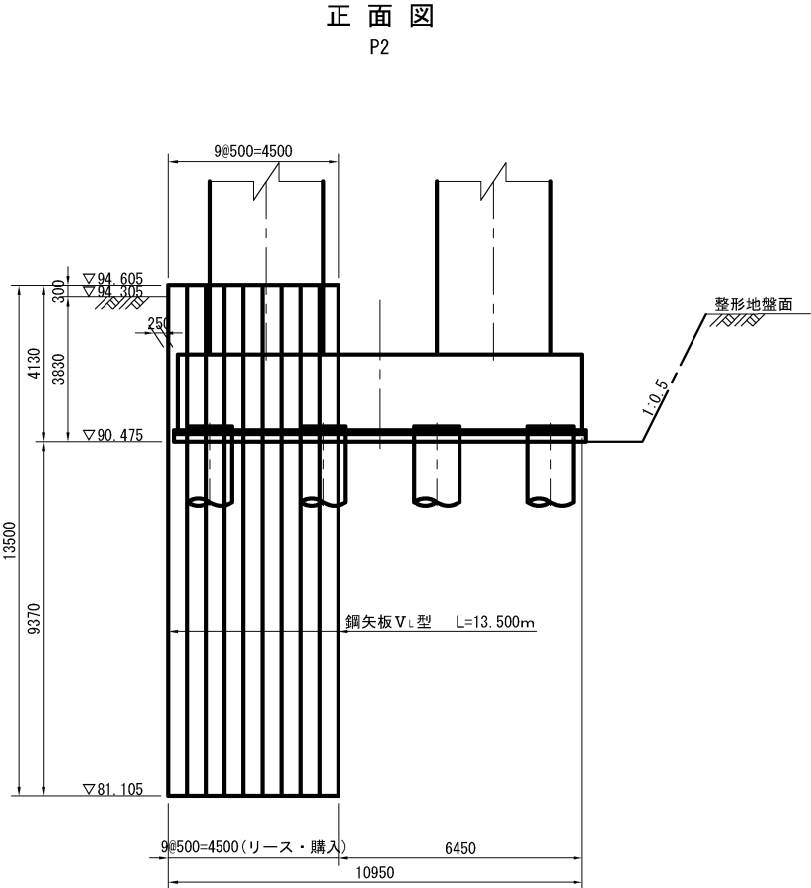
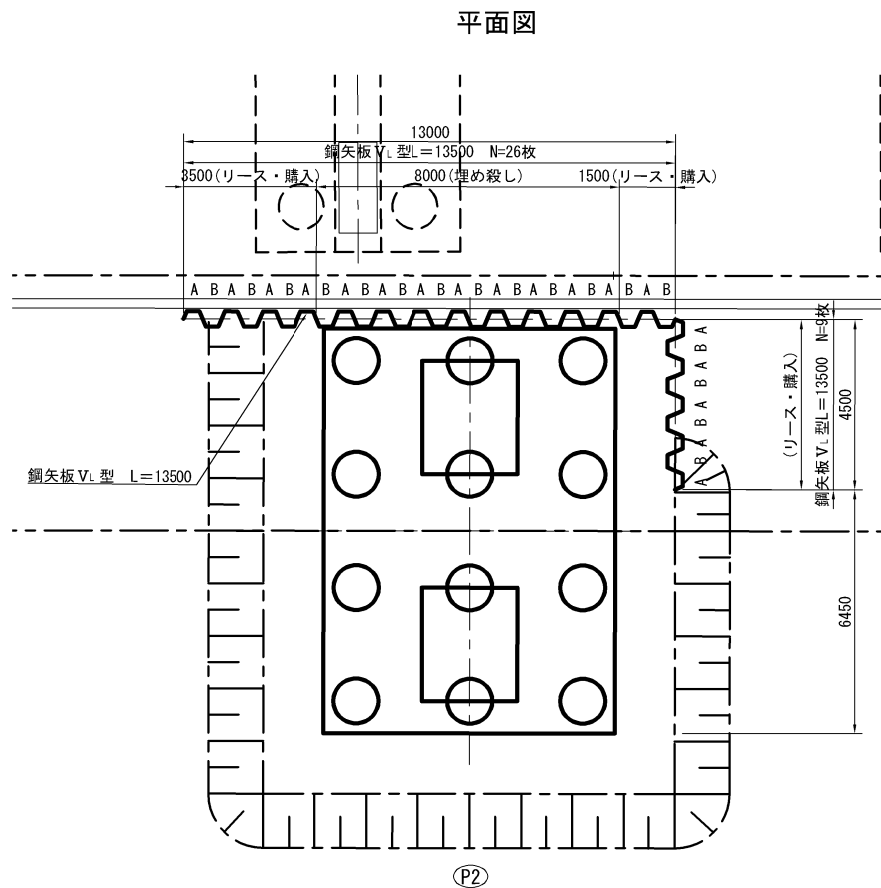
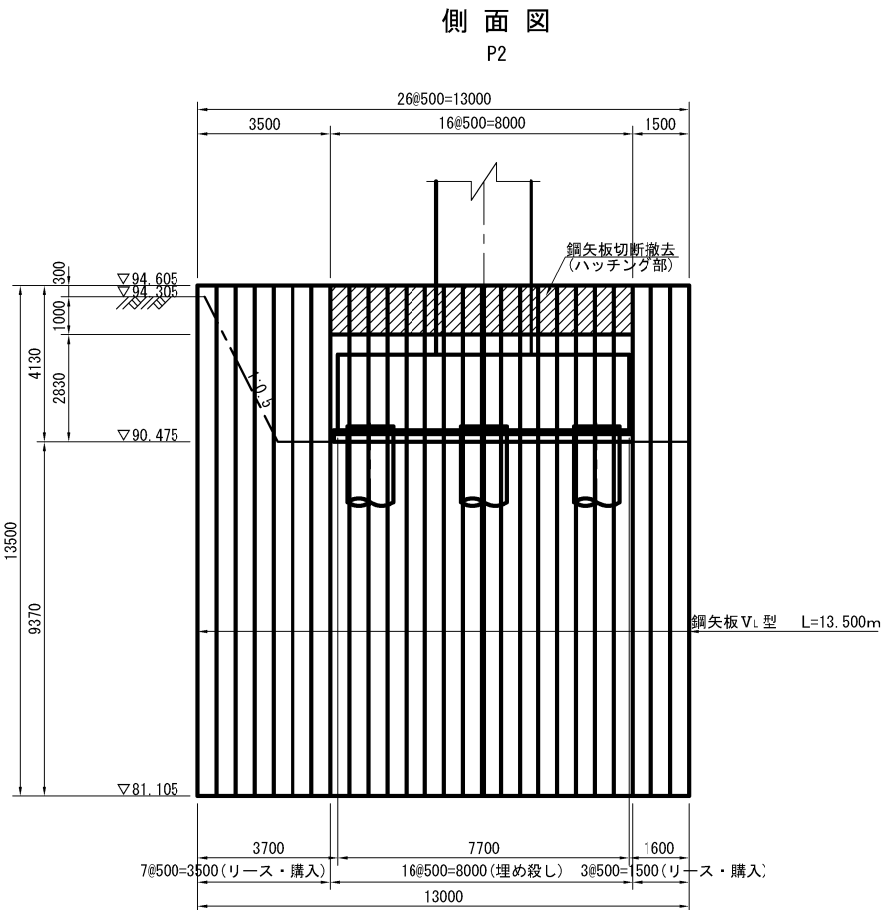
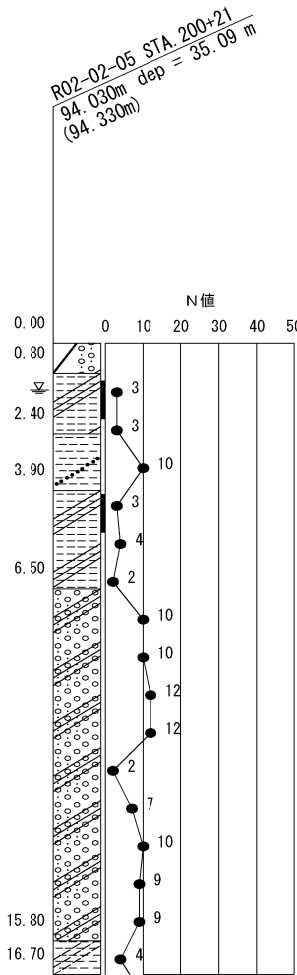
杭配置図 S=1:250



鉄筋曲げ加工表

						
		$\Delta L = 2L - a$				
曲げ	径		主鉄筋・帯鉄筋			
半径	D13~D51		R=3φ			
径	$\theta = 90^\circ$		$\theta = 45^\circ$			
	主 鉄 筋		スターラップ 帯鉄筋			
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	39	92	96
D16	48	75	21	48	113	119
D19	57	89	25	57	134	141
D22	66	104	28	66	155	164
D25	75	118	32	75	177	185
D29	87	137	37	87	205	215
D32	96	151	41	—	—	—
D35	105	165	45	—	—	—
D38	114	179	49	—	—	—
D51	153	240	66	—	—	—

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 2 橋脚場所打ち杭配筋図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
事務所名	横手工事事務所		

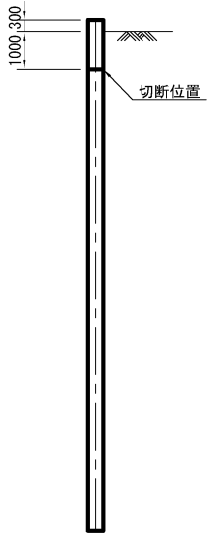


注) 隣り合う鋼矢板同士で継手箇所が千鳥配置になるように
上記の組み合わせを繰り返して配置すること。

鋼材質量表

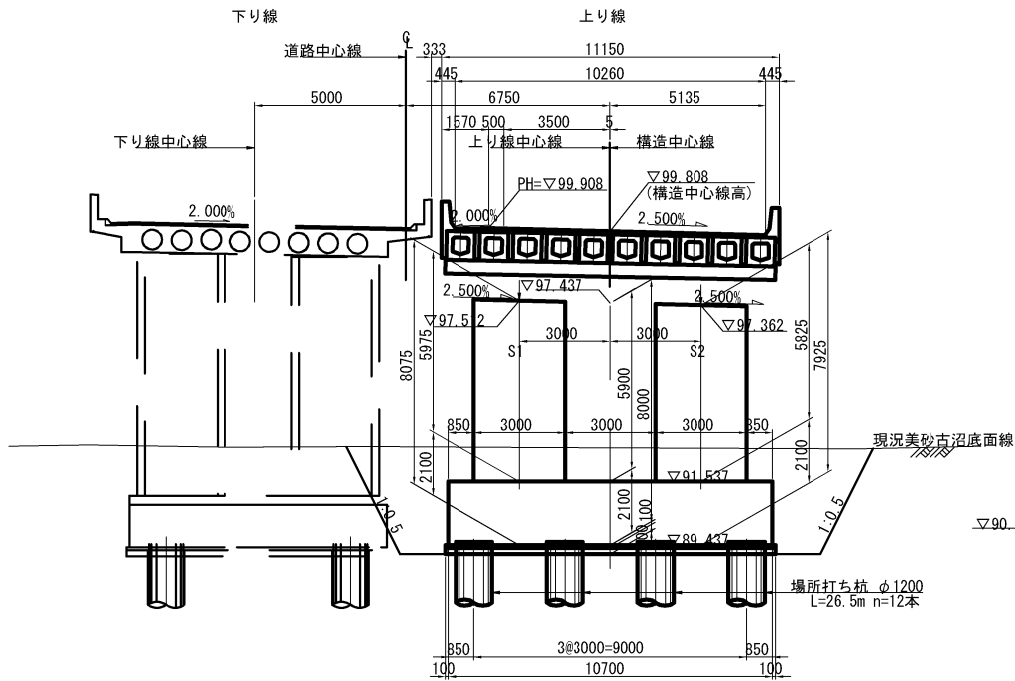
部材名	規 格	員数 (枚・本)	長 さ (mm)	単位質量 (kg/m)	1本あたり質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要	備 考
鋼矢板 (埋め殺し)	V _L 型	8	9,000	105.0	945.0	7,560	SY295	埋め殺し
	〃	8	4,500	105.0	472.5	3,780	〃	〃
	〃	8	10,000	105.0	1050.0	8,400	〃	〃
	〃	8	3,500	105.0	367.5	2,940	〃	〃
		32	鋼矢板小計			22,680	kg	
					継手箇所数	16	箇所	
鋼矢板	V _L 型	10	9,000	105.0	945.0	9,450	SY295	リース材
	〃	10	4,500	105.0	472.5	4,725	〃	購入材
	〃	9	10,000	105.0	1050.0	9,450	〃	リース材
	〃	9	3,500	105.0	367.5	3,308	〃	購入材
		38	鋼矢板小計			26,933	kg	
					継手箇所数	19	箇所	
			鋼矢板	V _L 型	22,680		kg	(埋め殺し)
			鋼矢板	V _L 型	18,900		kg	(リース材)
			鋼矢板	V _L 型	8,033		kg	(購入材)
			合計	49,613		kg		
			継手箇所数			35	箇所	
スクラップ重量	V _L 型	16	1,300	105.0	136.5	2,184	SY295	

鋼矢板切断位置

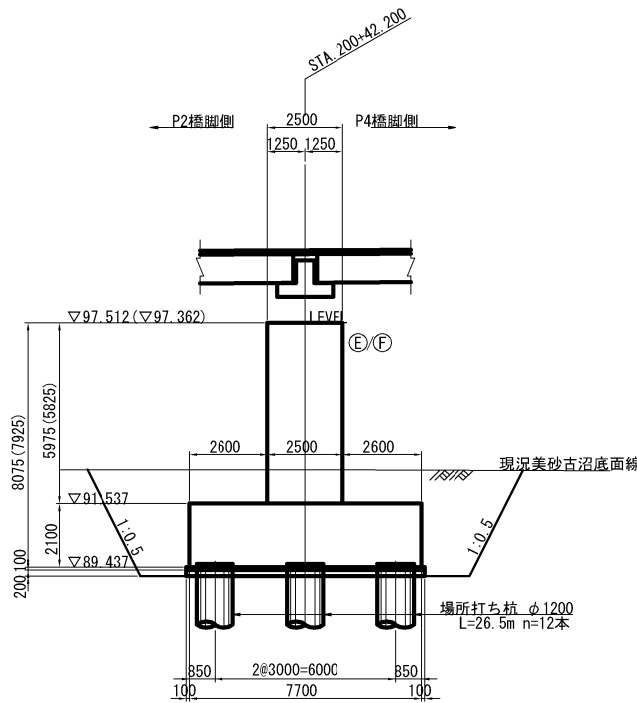


秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 2 橋脚土留工詳細図		
縮 尺	1:200	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

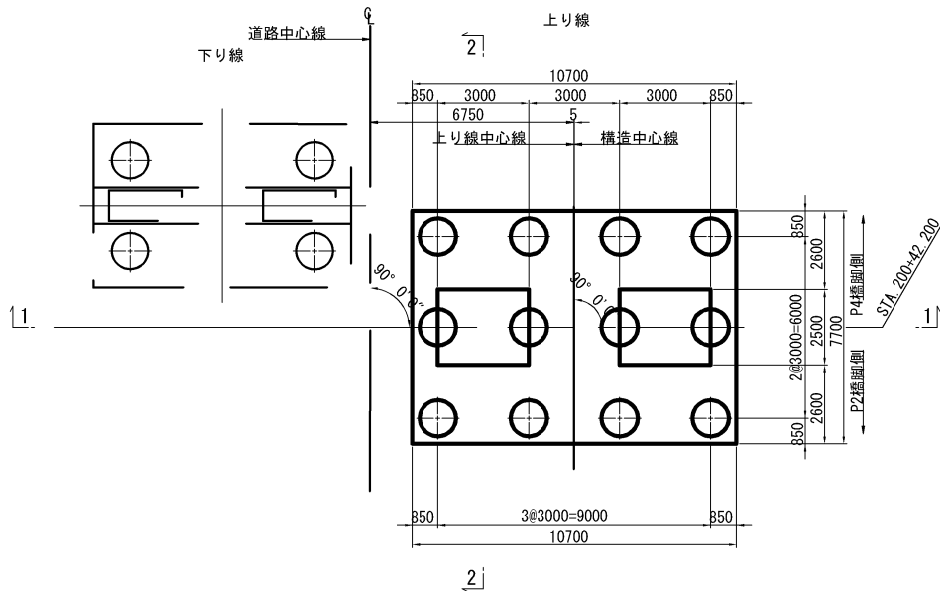
正面図
1 - 1



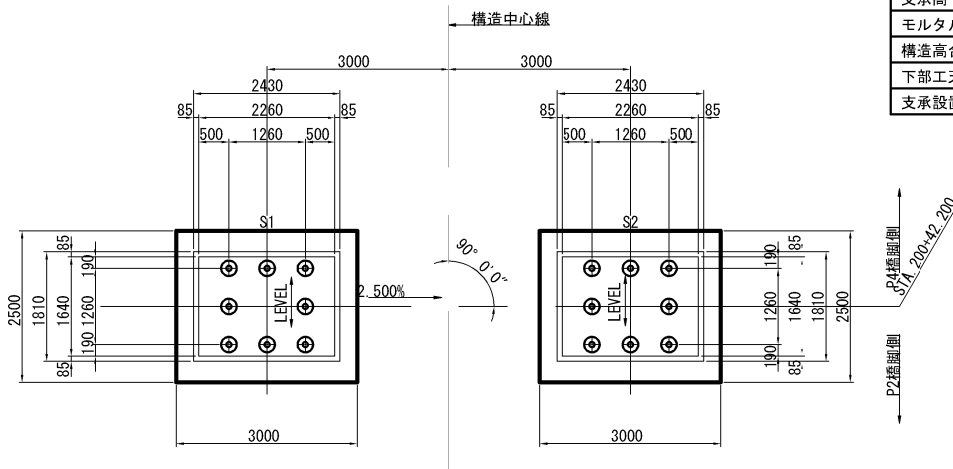
側面図
2 - 2



平面図



支承配置図 S=1:125



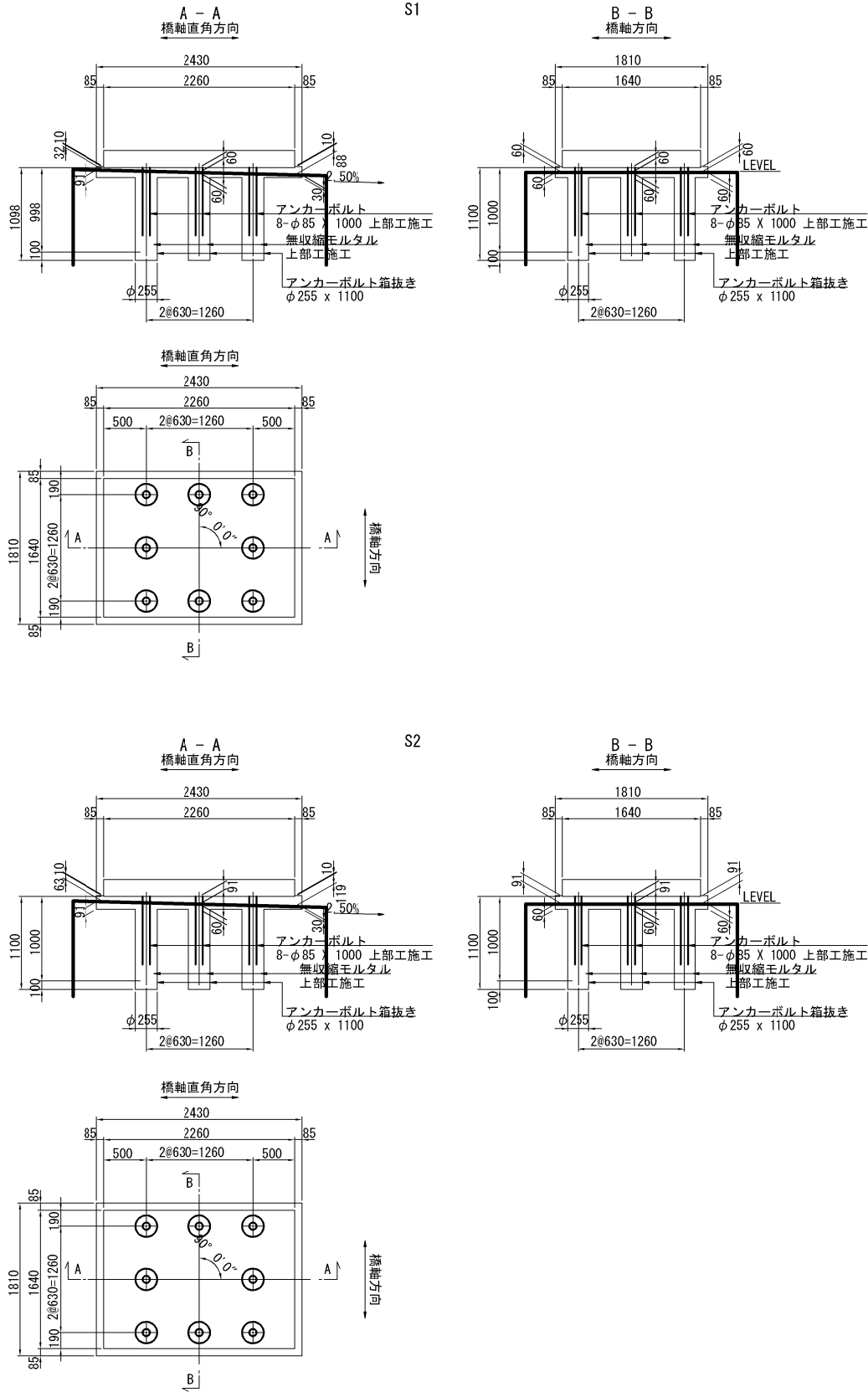
構造高さ表

	単位	PH	S1	KCL	S2
路面計画高 (EL1)	m	99.908	99.883	99.808	99.733
舗装厚 (h1)	mm	---	125	---	97
主桁高 (h2)	mm	---	950	---	950
盛圧硬化ゴム (h3)	mm	---	9	---	9
横梁余盛高 (h4)	mm	---	3	---	---
横梁高 (h5)	mm	---	450	---	450
横梁下面高 (EL2)	m	---	98.346	---	98.227
レアー厚 (h6)	mm	---	49	---	49
支承高 (h7)	mm	---	725	---	725
モルタル高 (h8)	mm	---	60	---	91
構造高合計 (ΣH)	mm	---	2371	---	2371
下部工天端高 (EL3)	m	---	97.512	97.437	97.382
支承設置角 (θ)		---	90° 0' 0"	---	90° 0' 0"

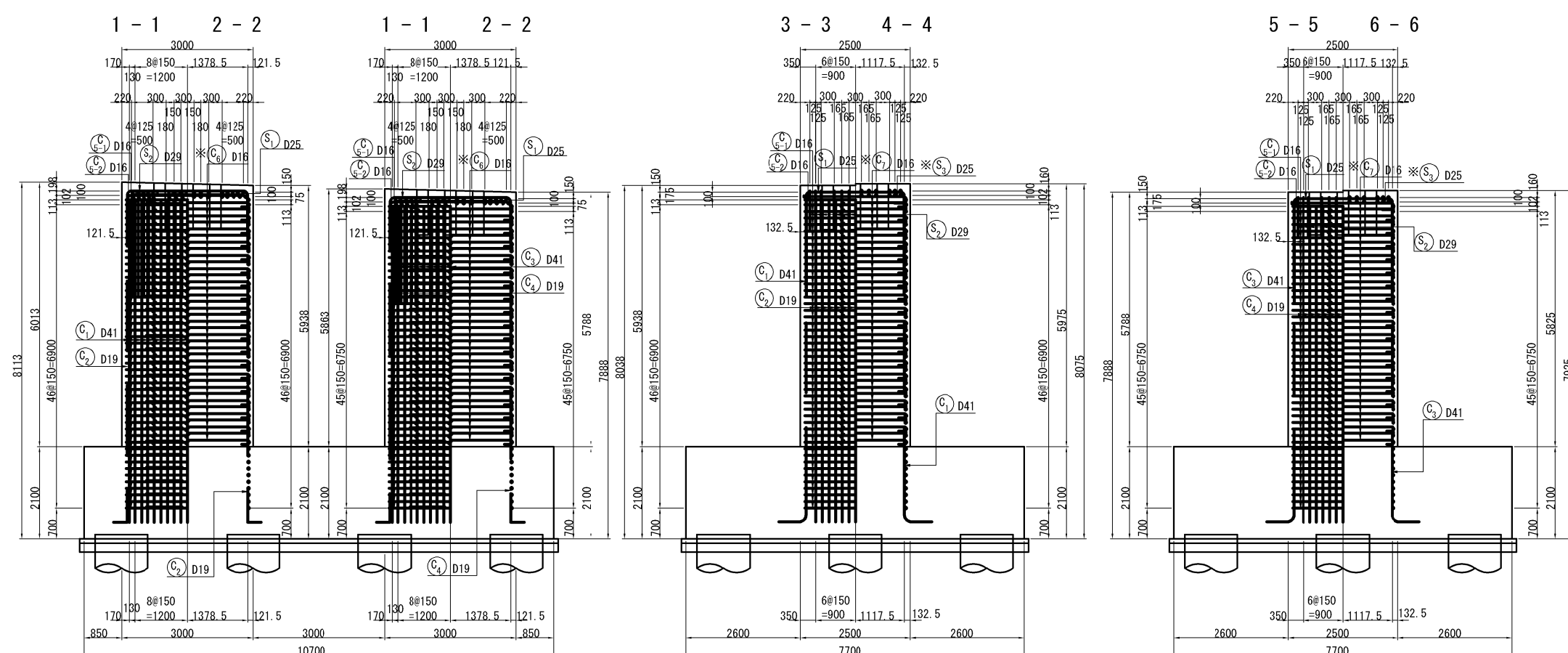
使用材料一覧表

使用区分	コンクリートの種別	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯体	A1-3	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345, SD490
フーチング	B2-1	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	D1-1	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	---

支承箱抜き詳細図 S=1:75



秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 3 橋脚構造一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
事務所名	横手工事事務所		

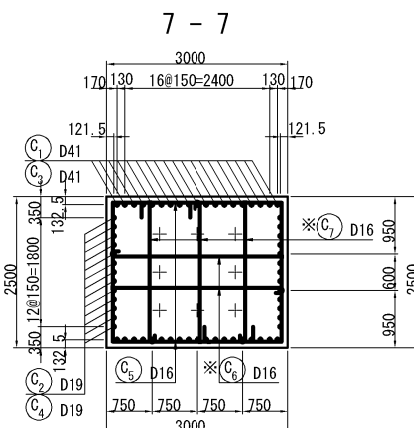


橋座平面図

水平補強筋平面図

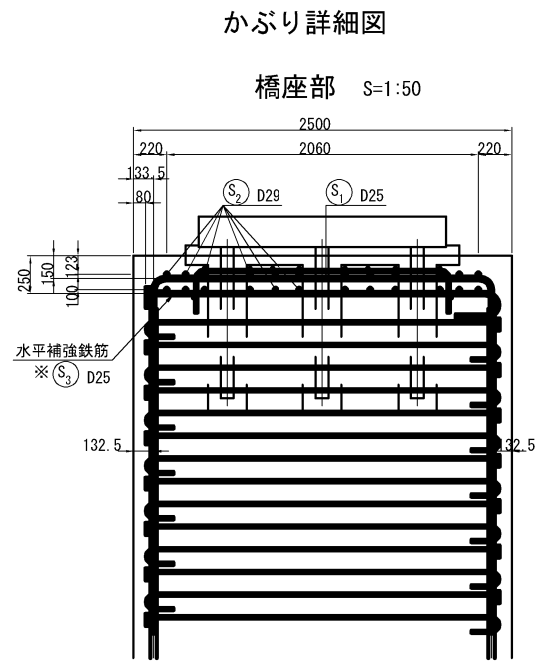
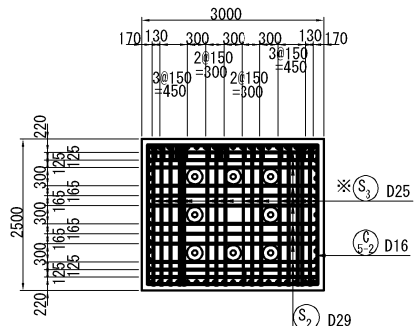
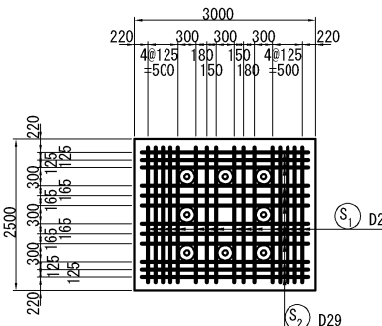
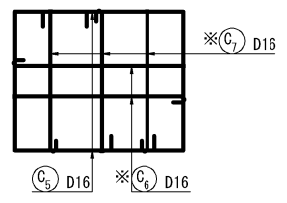
8 - 8

9 - 9



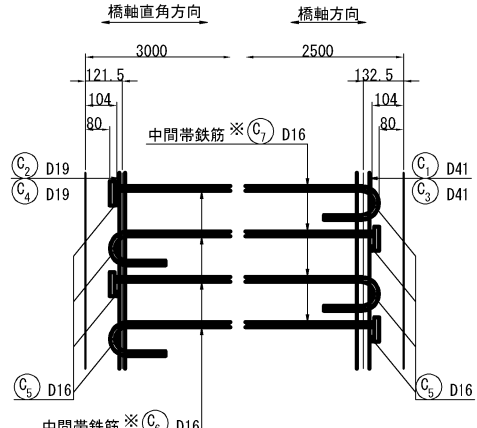
7 - 7

帯鉄筋組立図

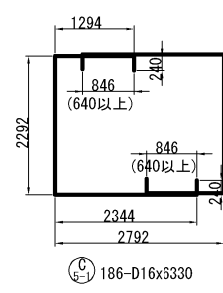
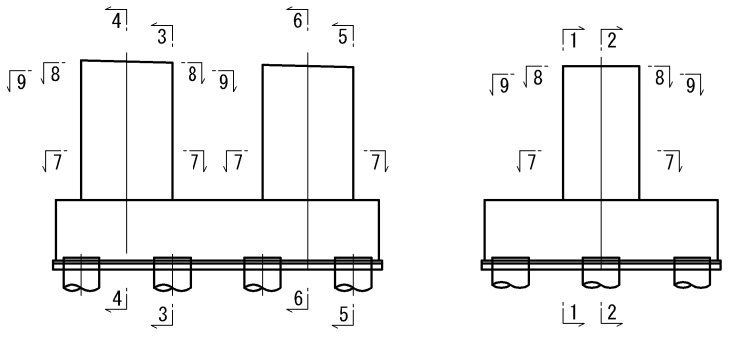


橋座部 S=1:50

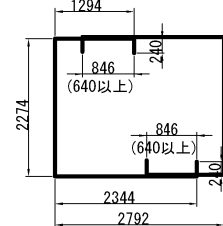
柱部 S=1:25



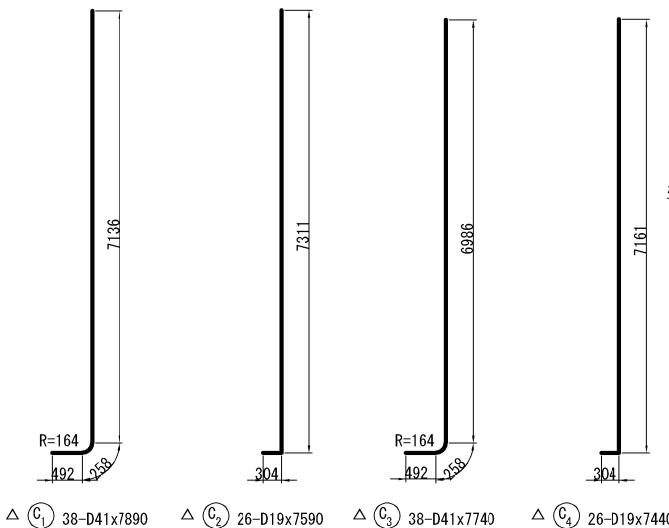
位置図



186-D16x3330

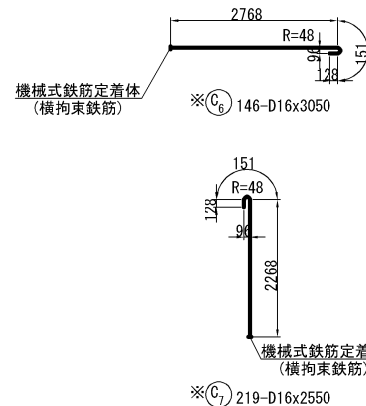


4-D16x6310

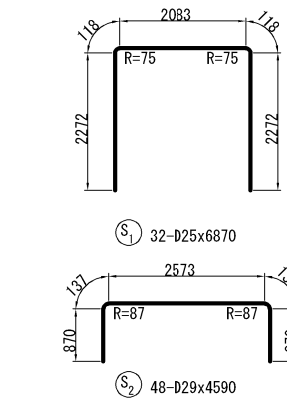


△ C1 38-D41x7890 △ C2 26-D19x7590 △ C3 38-D41x7740 △ C4 26-D19x7440

注) △はSD490鉄筋を示す。

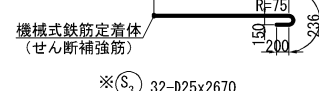


※C7 219-D16x2550



S1 32-D25x6870

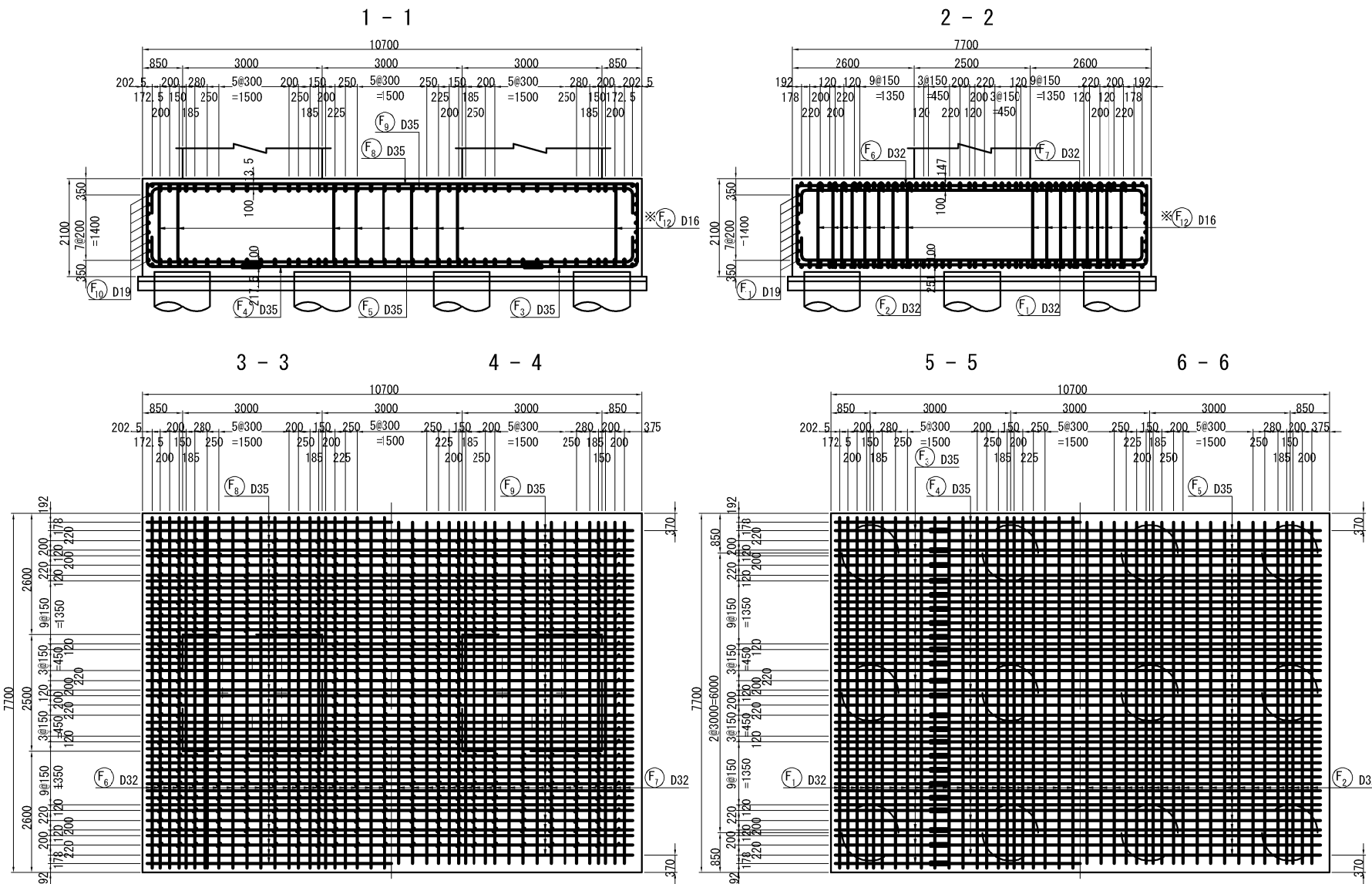
S2 48-D29x4590



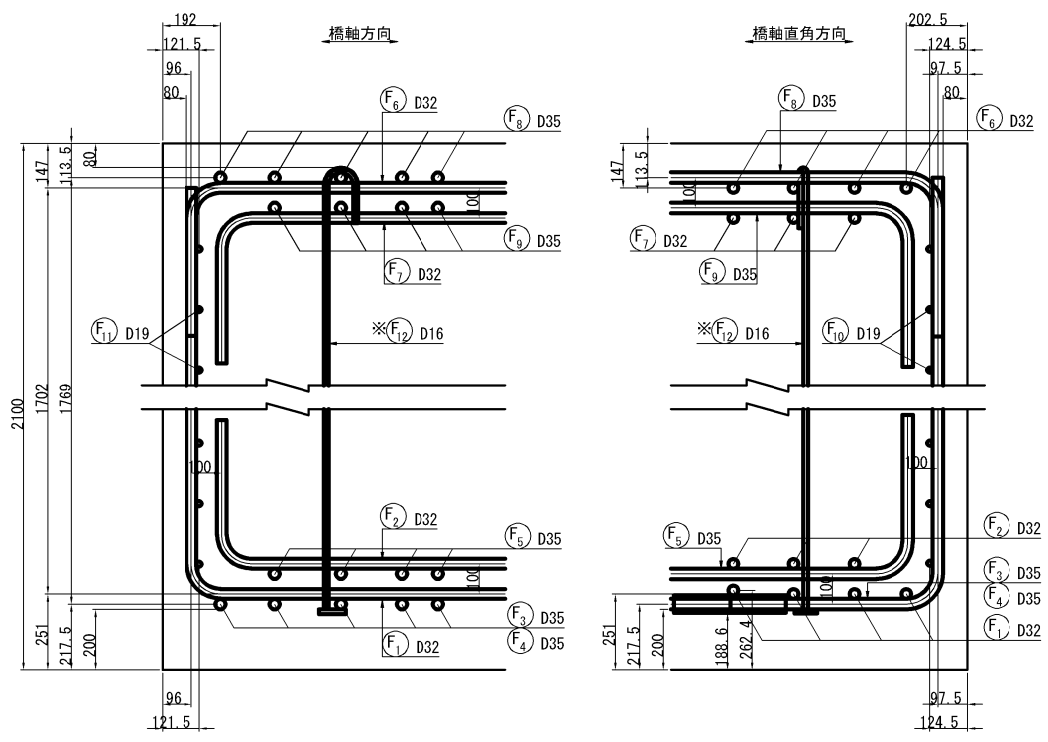
※S3 32-D25x2670

注) ※は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P3橋脚配筋図（1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

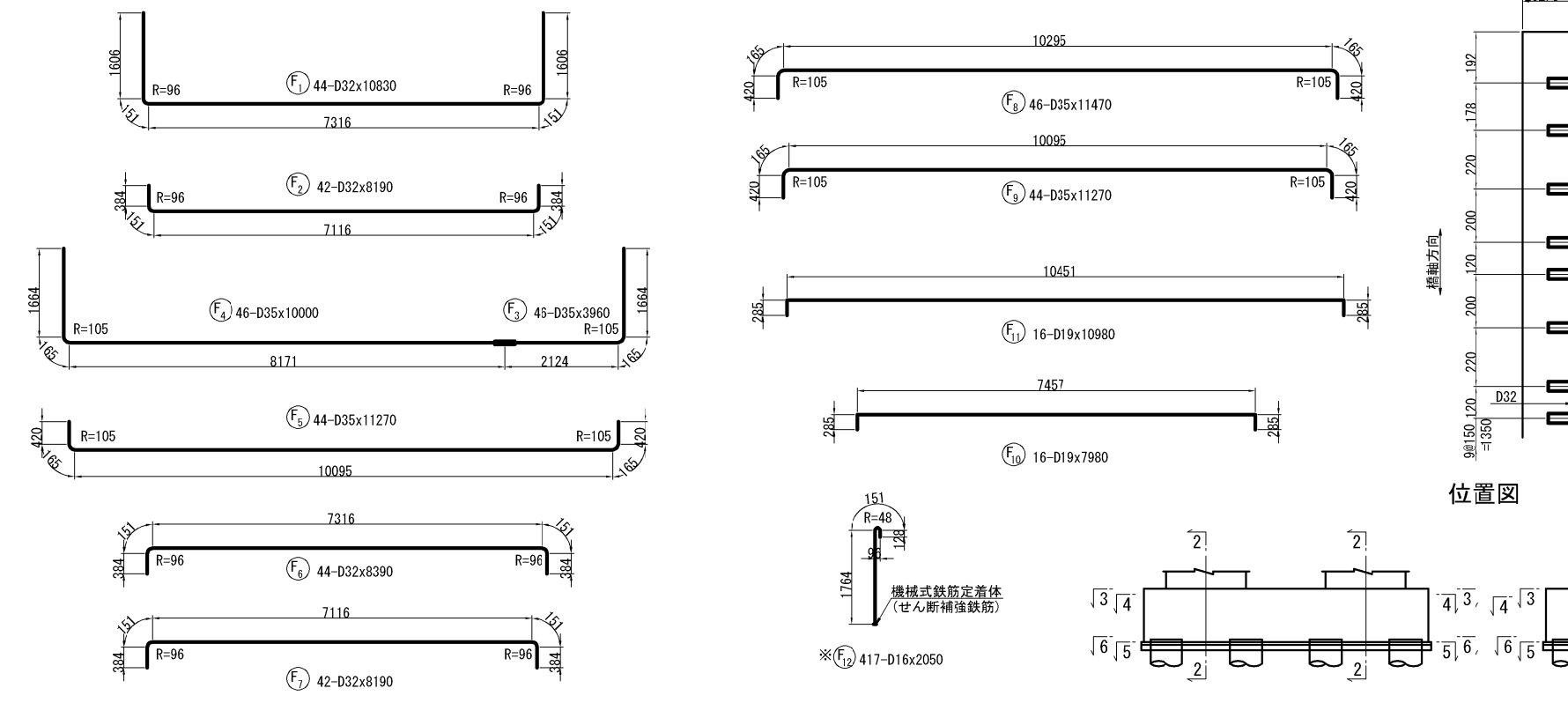


底版かぶり詳細図 S=1:25

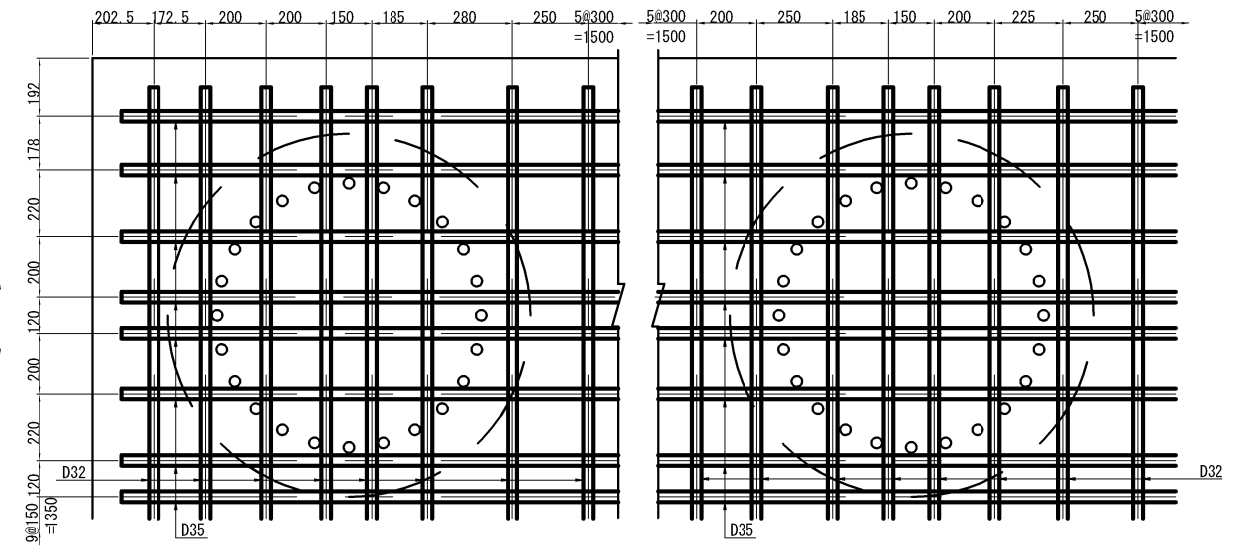


注）半半径フックは、上面橋軸直角方向鉄筋に掛けること。
※機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するように配置すること。

杭頭部鉄筋詳細図 S=1:25



位置図

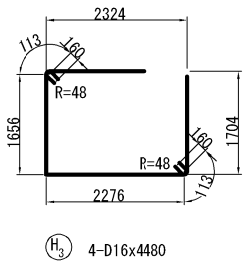
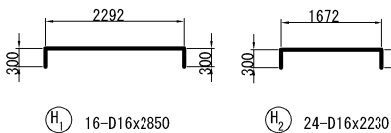
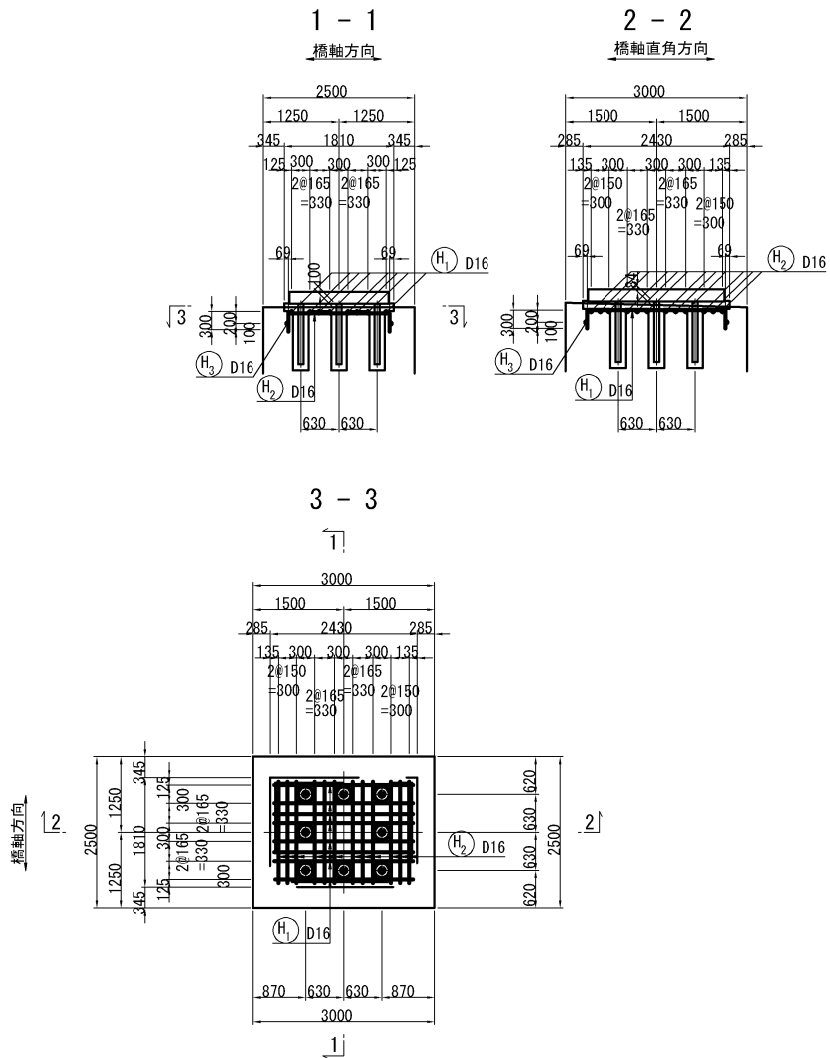


注）※は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P3橋脚配筋図（2）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

沓座配筋図

(n=2箇所)



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C1	D41	7890	38	10.5	82.8	3146	
C2	D19	7590	26	2.25	17.1	445	
C3	D41	7740	38	10.5	81.3	3089	
C4	D19	7440	26	2.25	16.7	434	
C5-1	D16	6330	186	1.56	9.87	1836	
C5-2	"	6310	4	"	9.84	39	
C6	"	3050	146	"	4.76	695	(146)
C7	"	2550	219	"	3.98	872	(219)
10556 kg							
S1	D25	6870	32	3.98	27.3	874	
S2	D29	4590	48	5.04	23.1	1109	
S3	D25	2670	32	3.98	10.6	339	(32)
2322 kg							
F1	D32	10830	44	6.23	67.5	2970	
F2	"	8190	42	"	51.0	2142	
F3	D35	3960	46	7.51	29.7	1366	<46>
F4	"	10000	46	"	75.1	3455	
F5	"	11270	44	"	84.6	3722	
F6	D32	8390	44	6.23	52.3	2301	
F7	"	8190	42	"	51.0	2142	
F8	D35	11470	46	7.51	86.1	3961	
F9	"	11270	44	"	84.6	3722	
F10	D19	7980	16	2.25	18.0	288	
F11	"	10980	16	"	24.7	395	
F12	D16	2050	417	1.56	3.20	1334	(417)
27798 kg							
H1	D16	2850	16	1.56	4.45	71	
H2	"	2230	24	"	3.48	84	
H3	"	4480	4	"	6.99	28	
183 kg							
SD345							
A鉄筋				合計 <機械継手>×(機械式定着)			
D35	11405 kg	4821 kg	-	16226 kg	<46>		
D32	9555 kg	-	-	9555 kg			
D29	1109 kg	-	-	1109 kg			
D25	874 kg	-	339 kg	1213 kg	(32)		
D19	683 kg	-	-	683 kg			
D16	2058 kg	-	2901 kg	4959 kg	(782)		
合計	25684 kg	4821 kg	3240 kg	33745 kg	<46>	(814)	
SD490							
A(1)鉄筋				合計			
D41	6235 kg			6235 kg			
D19	879 kg			879 kg			
合計	7114 kg			7114 kg			

注) < >内は機械継手数、()機械式定着箇所数を示す。
□はSD490鉄筋を示す。

機械式鉄筋定着加工箇所

鉄筋長(L)	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	-	-	-	-	-	-
D16	-	-	636	146	-	-
D19	-	-	-	-	-	-
D22	-	-	-	-	-	-
D25	-	-	32	-	-	-
D29	-	-	-	-	-	-
小計	-	-	668	146	-	-
合計						814

機械式継手箇所

径	箇所
D29	-
D32	-
D35	46
D41	-
D51	-
合計	46

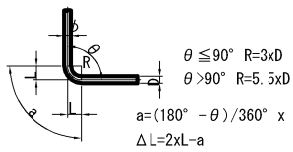
径別集計表 (SD345)

種別	径	下部工施工		
		H≤25m	H>25m	合計
A (SD345)	D13	-	-	-
	D16	2058	-	2058
	D19	683	-	683
	D22	-	-	-
	D25	874	-	874
	計	365	-	3615
	D29	1109	-	1109
	D32	9555	-	9555
	D32 計	10664	-	10664
	D35	11405	-	11405
	D38	-	-	-
	D41	-	-	-
	D51	-	-	-
	合計	25684	-	25684
B (SD345)	D13	-	-	-
	D16	-	-	-
	D19	-	-	-
	D22	-	-	-
	D25	-	-	-
	計	-	-	-
	D29	-	-	-
	D32	-	-	-
	D32 計	-	-	-
	D35	4821	-	4821
	D38	-	-	-
	D41	-	-	-
	D51	-	-	-
	合計	4821	-	4821
C (SD345)	D13	-	-	-
	D16	2901	-	2901
	D19	-	-	-
	D22	-	-	-
	D25	339	-	339
	計	3240	-	3240
	D29	-	-	-
	D32	-	-	-
	D32 計	-	-	-
	D35	-	-	-
	D38	-	-	-
	D41	-	-	-
	D51	-	-	-
	合計	3240	-	3240
総質量		33745	-	33745

径別集計表 (SD490)

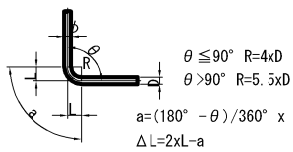
種別	径	下部工施工		
		H≤25m	H>25m	合計
A(1) (SD490)	D13	-	-	-
	D16	-	-	-
	D19	879	-	879
	D22	-	-	-
	D25	-	-	-
	計	879	-	879
	D29	-	-	-
	D32	-	-	-
	D32 計	-	-	-
	D35	-	-	-
	D38	-	-	-
	D41	6235	-	6235
	D51	-	-	-
	合計	7114	-	7114

鉄筋曲げ加工表 (SD345)



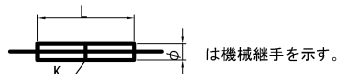
径	θ=90°			θ=135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	90	25	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D25	75	118	32	137.5	108	6
D29	87	137	37	159.5	125	7
D32	96	151	41	176	138	8
D35	105	165	45	192.5	151	8
D38	114	179	49	209	164	9
D41	123	193	53	225.5	177	10
D51	153	240	66	280.5	220	12

鉄筋曲げ加工表 (SD490)



径	θ=90°			θ=135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	52	82	22	71.5	56	3
D16	64	101	27	88	69	4
D19	76	119	33	104.5	82	5
D22	88	138	38	121	95	5
D25	100	157	43	137.5	108	6
D29	116	182	50	159.5	125	7
D32	128	201	55	176	138	8
D35	140	220	60	192.5	151	8
D38	152	239	65	209	164	9
D41	164	258	70	225.5	177	10
D51	204	320	88	280.5	220	12

機械式継手カプラー寸法

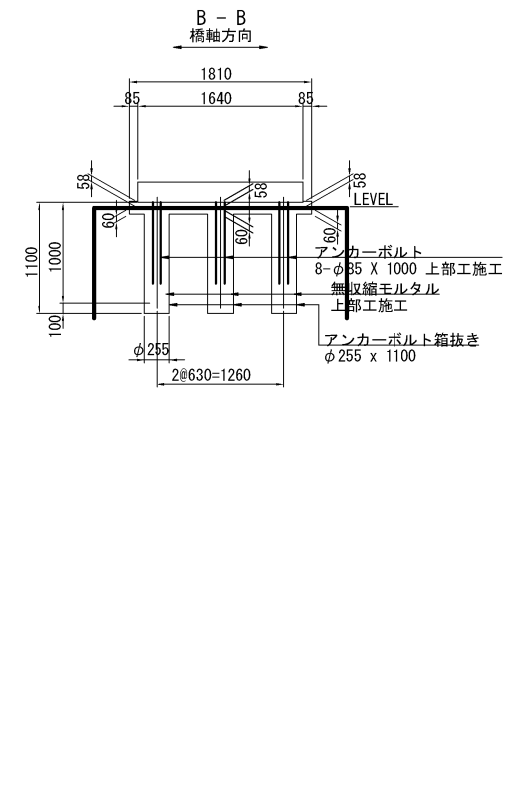


機械継手の寸法は D29 φ49.7×300
D32 φ53.1×320
D35 φ57.8×370
D41 φ68.4×390 と仮定した。

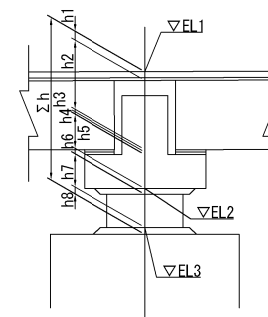
注) ※ は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 3 橋脚配筋図（3）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

S=1:75



()内は右側柱の寸法を示す



Technical drawing of a bridge cross-section (B-B) showing dimensions and construction details.

Dimensions:

- Overall width: 1810
- Width of the main structure: 1640
- Side offsets: 85 (each side)
- Overall height: 1100
- Height of the main structure: 1000
- Bottom offset: 100
- Bottom width: $2 \times 630 = 1260$
- Bottom diameter: $\phi 255$

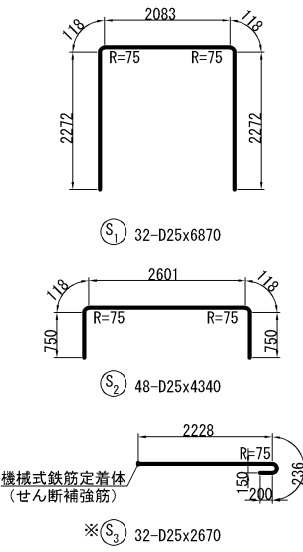
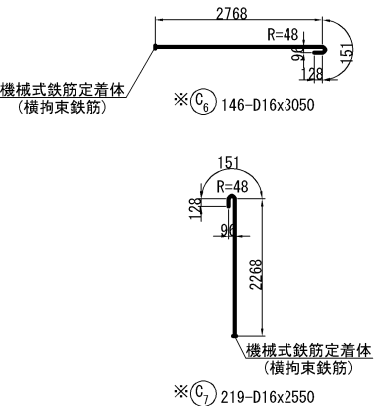
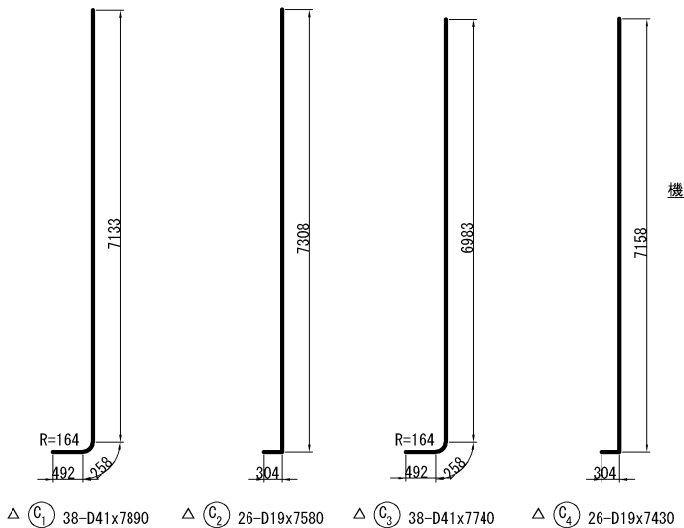
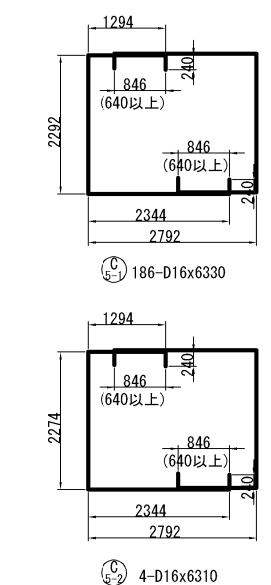
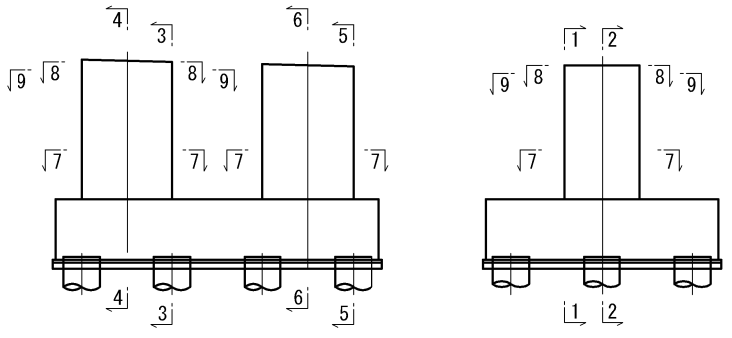
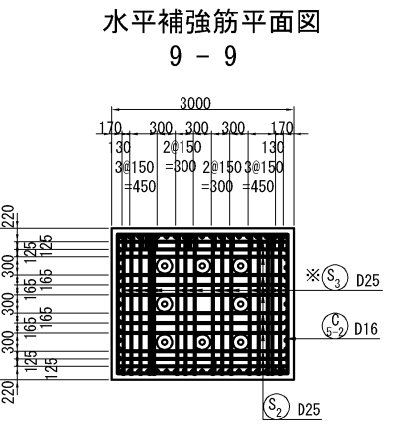
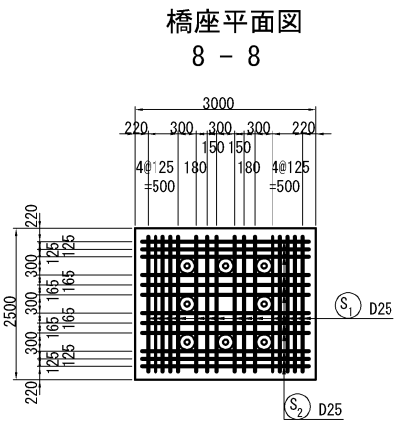
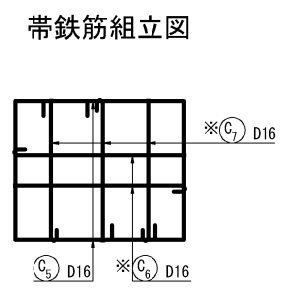
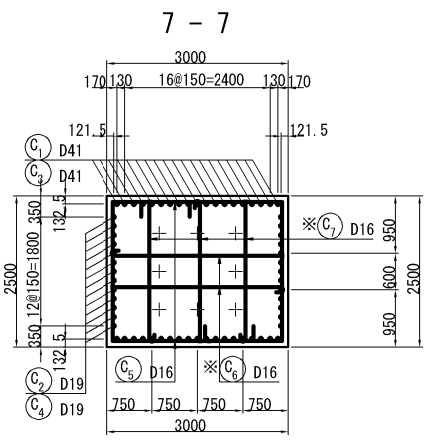
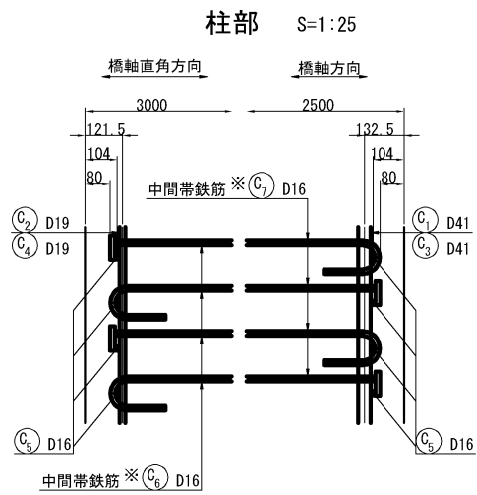
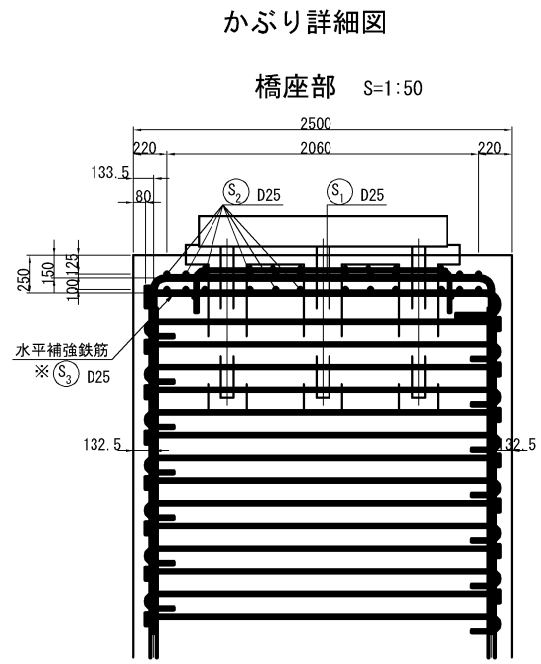
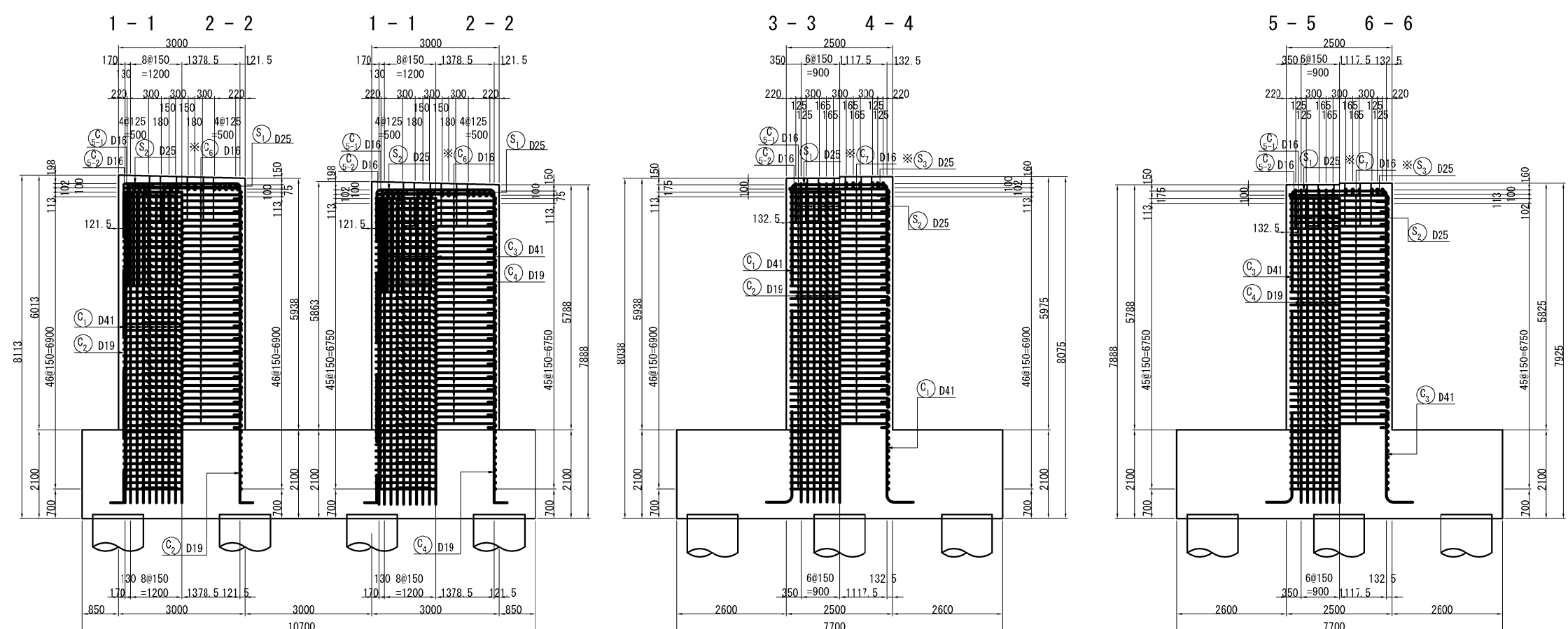
Construction Details:

- Top reinforcement: 8- $\phi 85 \times 1000$ 上部工施工 (8- $\phi 85 \times 1000$ upper structure construction)
- Bottom reinforcement: 無収縮モルタル 上部工施工 (Non-shrinkable mortar upper structure construction)
- Anchor bolt box: アンカーボルト箱抜き (Anchor bolt box removal)
- Bottom diameter: $\phi 255 \times 1100$

Other Labels:

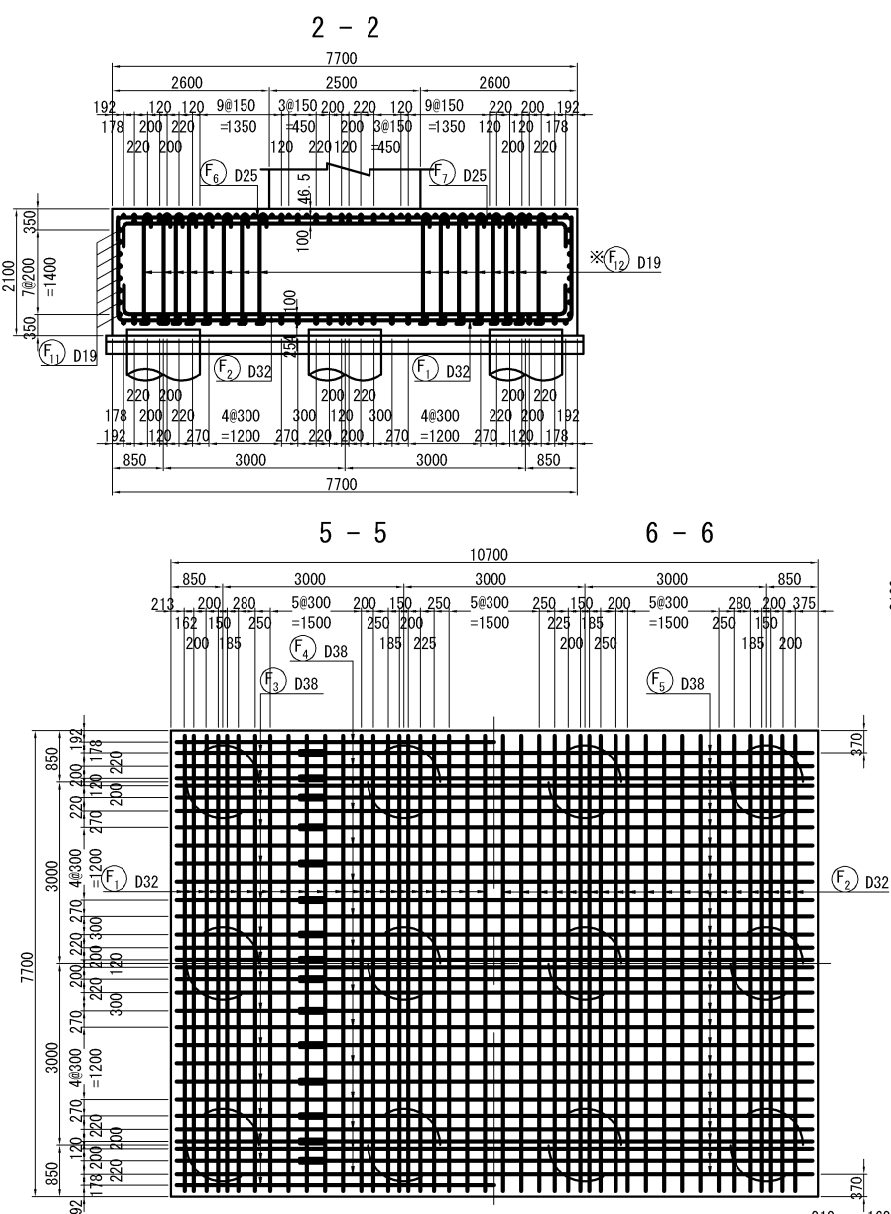
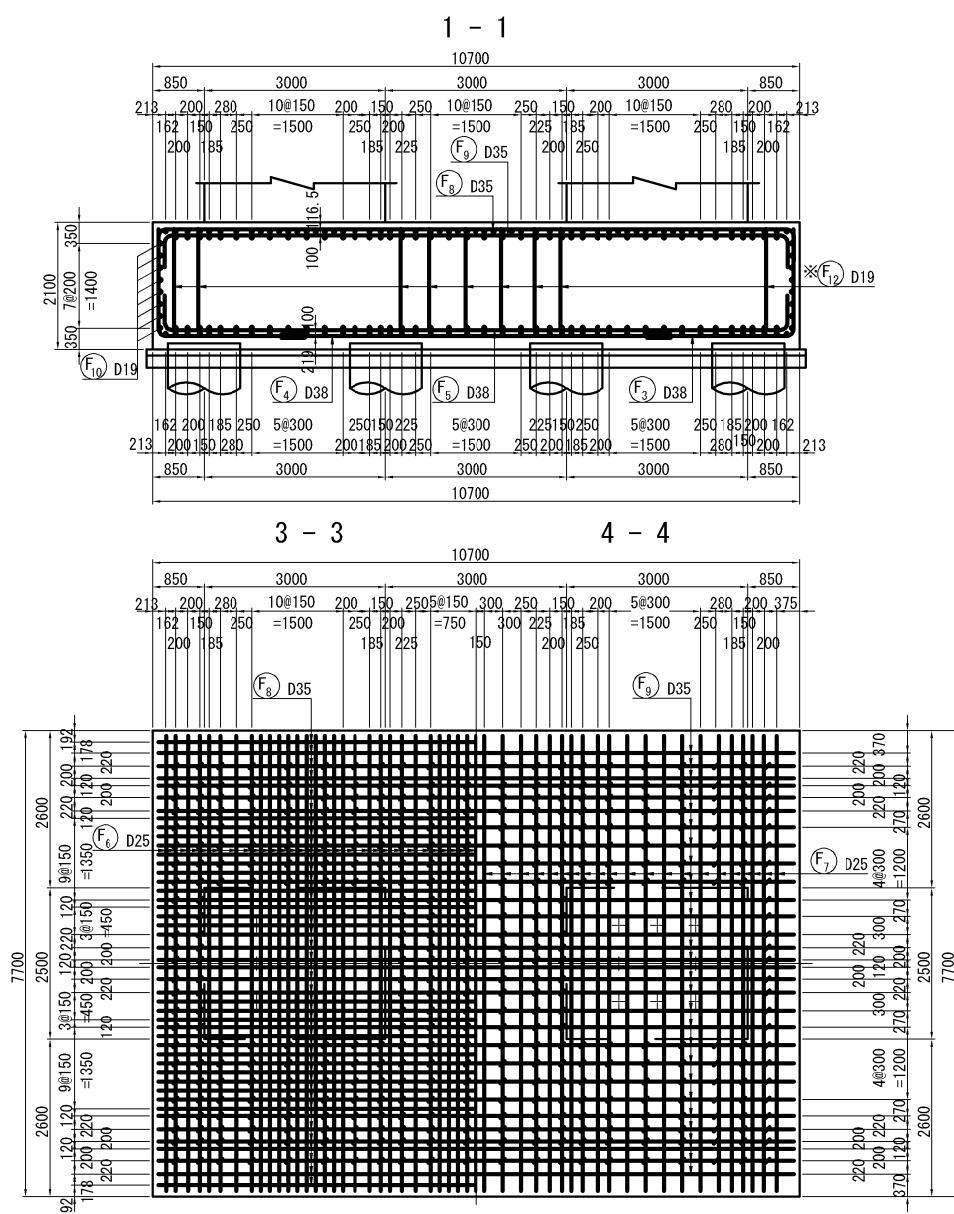
- 橋軸方向 (Bridge axis direction)
- LEVEL (Level line)
- ケーブル (Cable)

図面の種類	新町橋（上り線） P 4 橋脚構造一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 橋工事事務所		

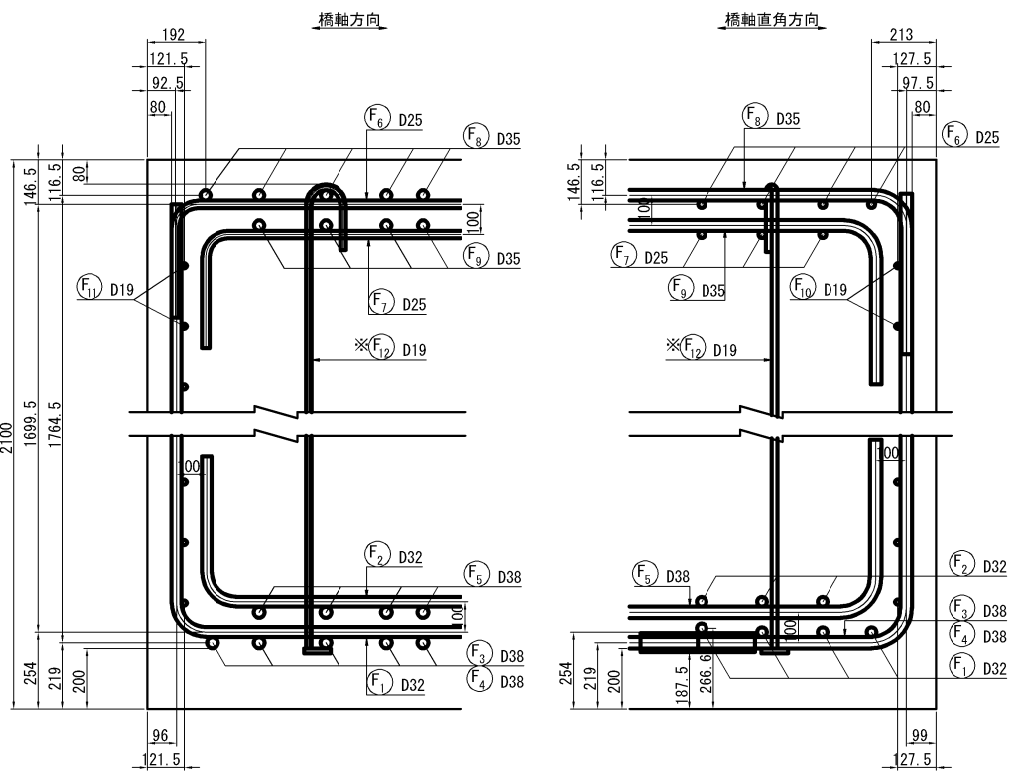


注) ※は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 4 橋脚配筋図（1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

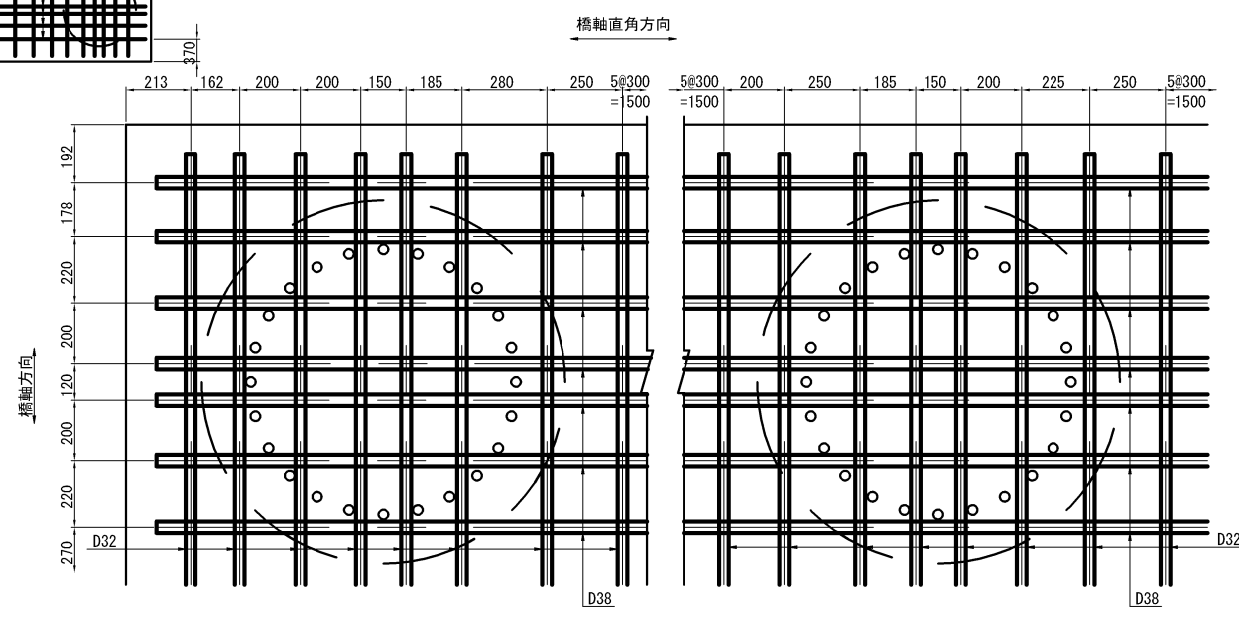


底版かぶり詳細図 S=1:25



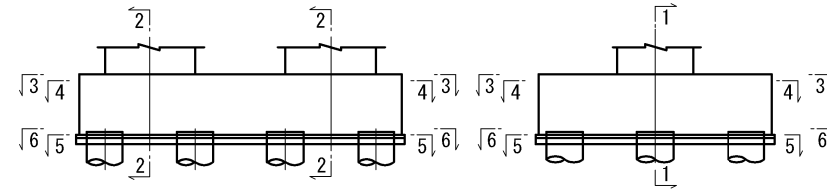
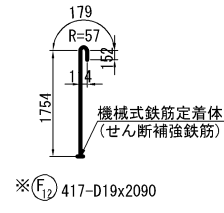
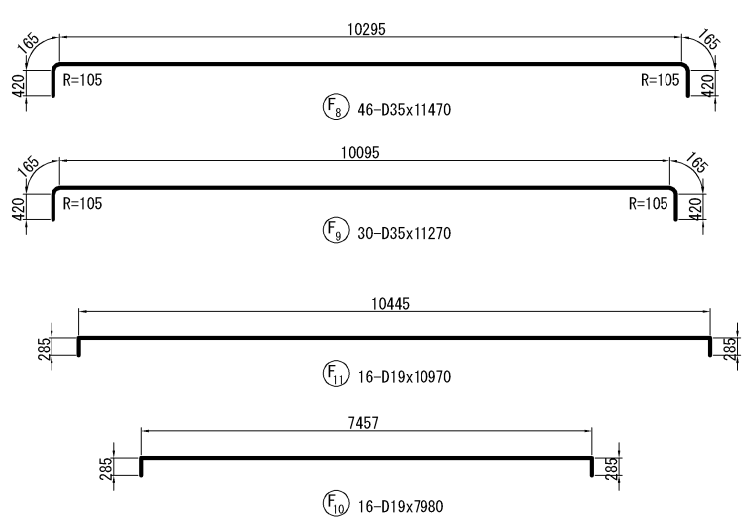
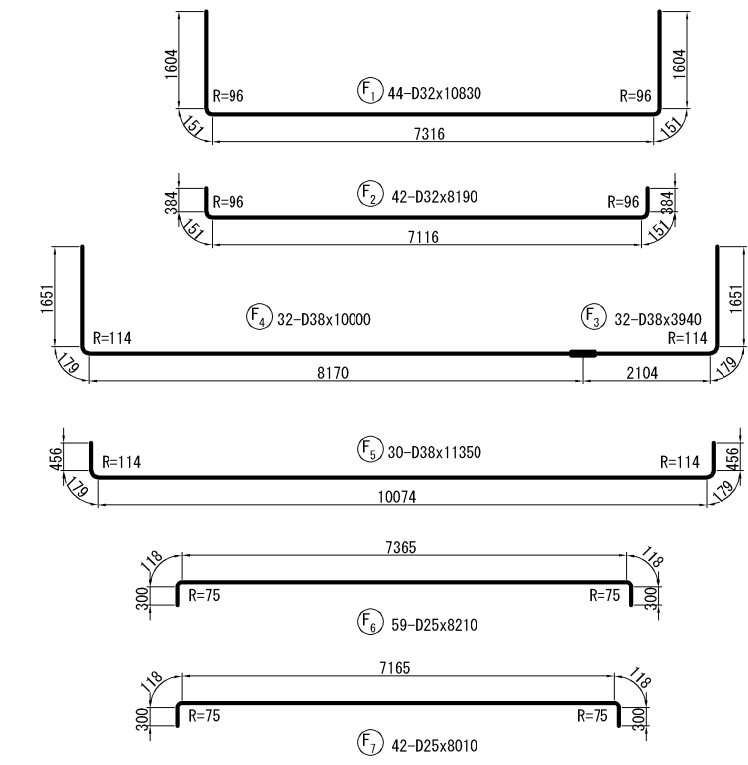
注）半円径フックは、上面橋軸直角方向鉄筋に掛けること。
※機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するように配置すること。

杭頭部鉄筋詳細図 S=1:25



注）※は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

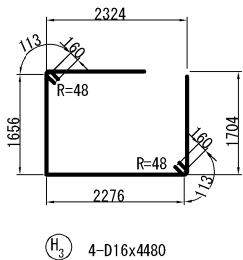
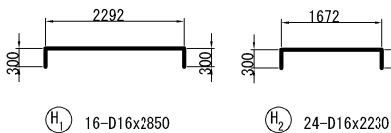
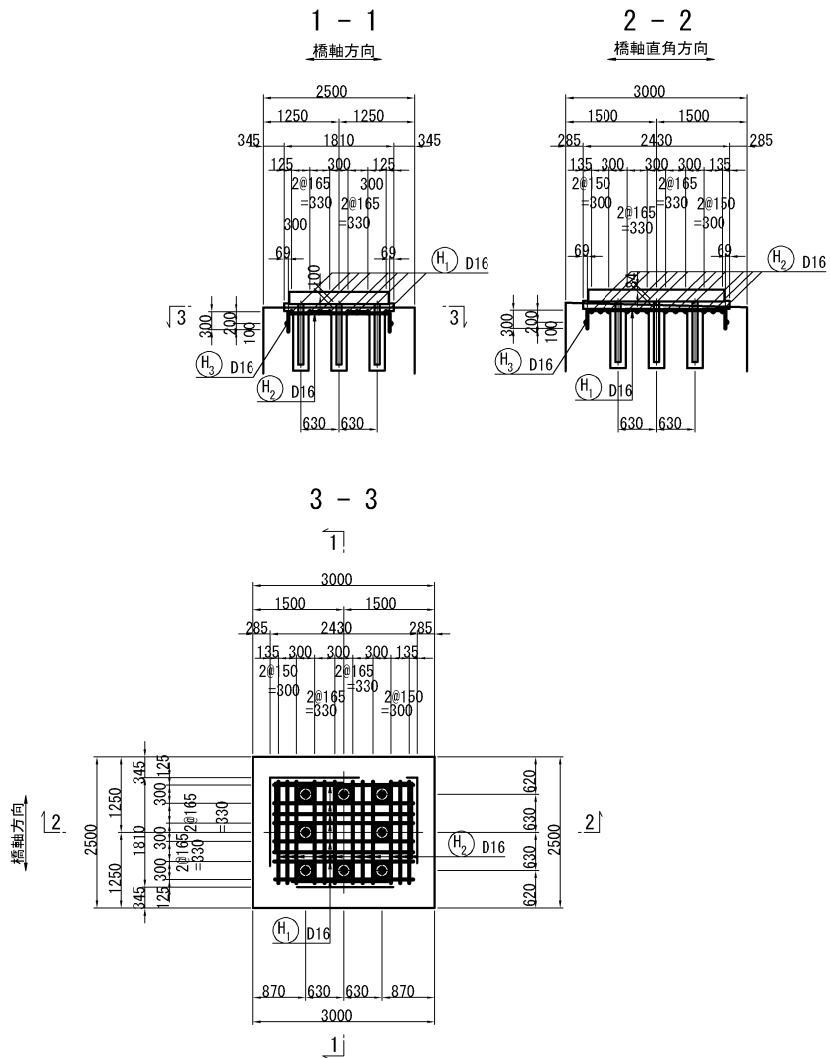
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 4 橋脚配筋図（2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



位置図

沓座配筋図

(n=2箇所)



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要		
C1	D41	7890	38	10.5	82.8	3146	L		
C2	D19	7580	26	2.25	17.1	445	L		
C3	D41	7740	38	10.5	81.3	3089	L		
C4	D19	7430	26	2.25	16.7	434	L		
C5-1	D16	6330	186	1.56	9.87	1836	PP		
C5-2	"	6310	4	"	9.84	39	PP		
C6	"	3050	146	"	4.76	695	(146)		
C7	"	2550	219	"	3.98	872	(219)		
10556 kg									
S1	D25	6870	32	3.98	27.3	874	J		
S2	"	4340	48	"	17.3	830	J		
S3	"	2670	32	"	10.6	339	J (32)		
2043 kg									
F1	D32	10830	44	6.23	67.5	2970	J		
F2	"	8190	42	"	51.0	2142	J		
F3	D38	3940	32	8.95	35.3	1130	J <32>		
F4	"	10000	32	"	89.5	2864	J		
F5	"	11350	30	"	102	3060	J		
F6	D25	8210	59	3.98	32.7	1929	J		
F7	"	8010	42	"	31.9	1340	J		
F8	D35	11470	46	7.51	86.1	3961	J		
F9	"	11270	30	"	84.6	2538	J		
F10	D19	7980	16	2.25	18.0	288	J		
F11	"	10970	16	"	24.7	395	J		
F12	"	2090	417	"	4.70	1960	J (417)		
24577 kg									
H1	D16	2850	16	1.56	4.45	71	J		
H2	"	2230	24	"	3.48	84	J		
H3	"	4480	4	"	6.99	28	J		
183 kg									
SD345									
A鉄筋				B鉄筋				C鉄筋	合計 <機械継手>×(機械式定着)
D38 3060 kg				3994				-	7054 kg <32>
D35 6499 kg				-				-	6499 kg
D32 5112 kg				-				-	5112 kg
D25 4973 kg				-				339 kg	5312 kg (32)
D19 683 kg				-				1960 kg	2643 kg (417)
D16 2058 kg				-				1567 kg	3625 kg (365)
合計 22385 kg				3994 kg				3866 kg	30245 kg <32> (814)
SD490									
A(1) 鉄筋				合計					
D41 6235 kg				6235 kg					
D19 879 kg				879 kg					
合計 7114 kg				7114 kg					

注) < >内は機械継手数、()機械式定着箇所数を示す。
□はSD490鉄筋を示す。

機械式鉄筋定着加工箇所

鉄筋長(L)	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	-	-	-	-	-	-
D16	-	-	219	146	-	-
D19	-	-	417	-	-	-
D22	-	-	-	-	-	-
D25	-	-	32	-	-	-
D29	-	-	-	-	-	-
小計	-	-	668	146	-	-
合計	-	-	-	-	-	814

機械式継手箇所

径	箇所
D29	-
D32	-
D35	-
D38	32
D41	-
合計	32

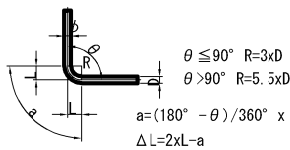
径別集計表(SD345)

種別	径	下部工施工		
		H≤25m	H>25m	合計
A (SD345)	D13	-	-	-
	D16	2058	-	2058
	D19	683	-	683
	D22	-	-	-
	D25	4973	-	4973
	計	7714	-	7714
	D29	-	-	-
	D32	5112	-	5112
	計	5112	-	5112
	D35	6499	-	6499
	D38	3060	-	3060
	D41	-	-	-
B (SD345)	D13	-	-	-
	D16	-	-	-
	D19	-	-	-
	D22	-	-	-
	D25	-	-	-
	計	-	-	-
	D29	-	-	-
	D32	-	-	-
	計	-	-	-
	D35	-	-	-
	D38	3994	-	3994
	D41	-	-	-
C (SD345)	D13	-	-	-
	D16	1567	-	1567
	D19	1960	-	1960
	D22	-	-	-
	D25	339	-	339
	計	3866	-	3866
	D29	-	-	-
	D32	-	-	-
	計	-	-	-
	D35	-	-	-
	D38	-	-	-
	D41	-	-	-
総質量		30245	-	30245

径別集計表(SD490)

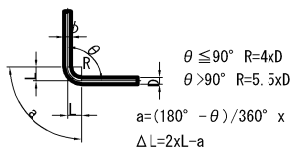
種別	径	下部工施工		
		H≤25m	H>25m	合計
A(1) (SD490)	D13	-	-	-
	D16	-	-	-
	D19	879	-	879
	D22	-	-	-
	D25	-	-	-
	計	879	-	879
	D29	-	-	-
	D32	-	-	-
	計	-	-	-
	D35	-	-	-
	D38	-	-	-
	D41	6235	-	6235
合計		7114	-	7114

鉄筋曲げ加工表(SD345)



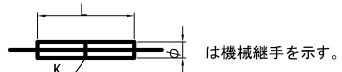
径	θ=90°			θ=135°		
	R	a	△L	R	a	△L
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	90	25	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D25	75	118	32	137.5	108	6
D29	87	137	37	159.5	125	7
D32	96	151	41	176	138	8
D35	105	165	45	192.5	151	8
D38	114	179	49	209	164	9
D41	123	193	53	225.5	177	10
D51	153	240	66	280.5	220	12

鉄筋曲げ加工表(SD490)



径	θ=90°			θ=135°		
	R	a	△L	R	a	△L
D13	52	82	22	71.5	56	3
D16	64	101	27	88	69	4
D19	76	119	33	104.5	82	5
D22	88	138	38	121	95	5
D25	100	157	43	137.5	108	6
D29	116	182	50	159.5	125	7
D32	128	201	55	176	138	8
D35	140	220	60	192.5	151	8
D38	152	239	65	209	164	9
D41	164	258	70	225.5	177	10
D51	204	320	88	280.5	220	12

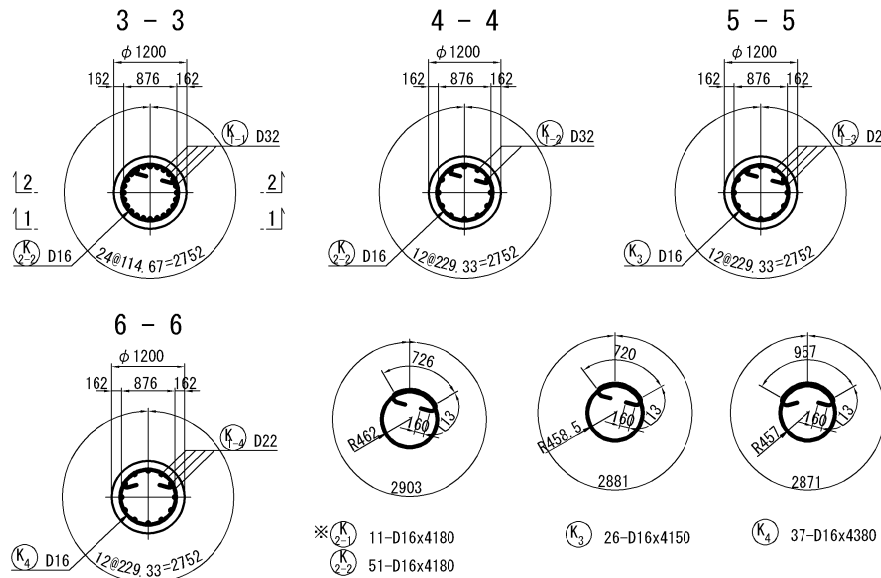
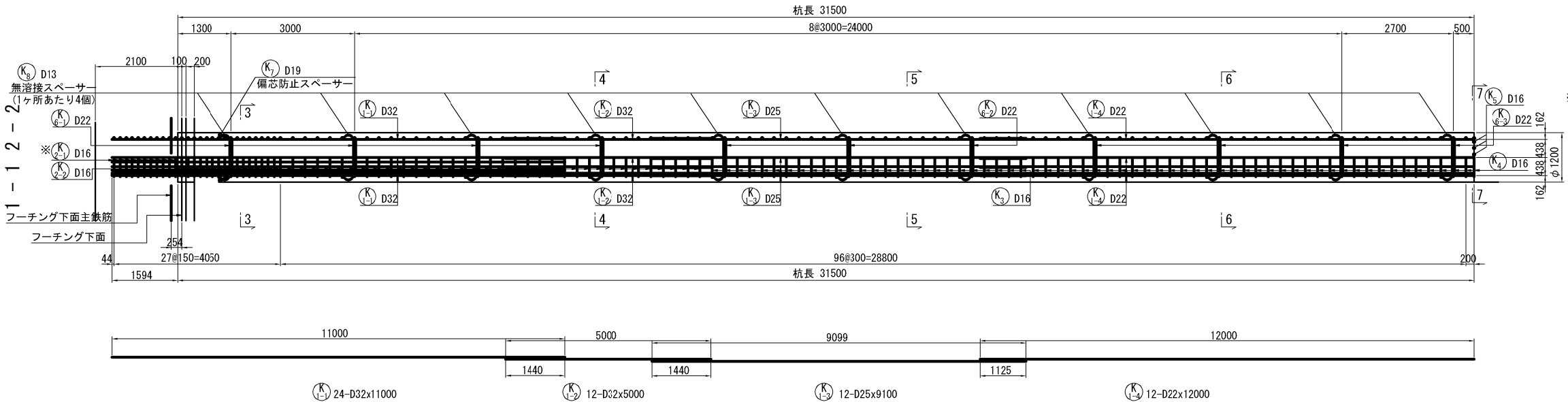
機械式継手カプラー寸法



機械継手の寸法は D29 φ49.7×300
D32 φ53.1×320
D35 φ57.8×370
D38 φ63.1×380 と仮定した。

注) ※は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の
実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より
使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を
得てから工事を行うこと。

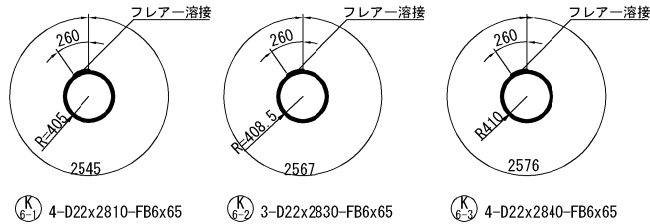
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 4 橋脚配筋図（3）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



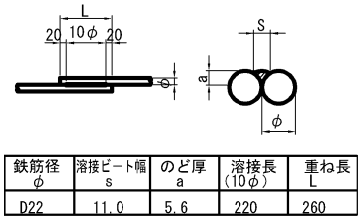
変化鉄筋表

※余長部は組立て筋に溶接とする

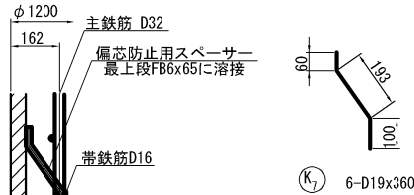
種別	径	本数	L	ΣL
1	D16	4	866	1910
2	D16	4	755	1800
3	D16	4	458	1500
平均長		12		1740



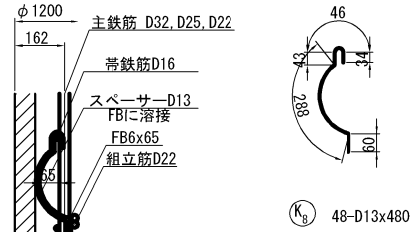
フレアー溶接詳細図 S=1:25



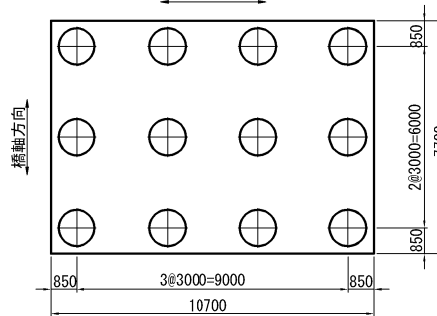
偏芯防止スペーサー一部詳細図(参考図) S=1:25



スペーサー詳細図(参考図) S=1:25



杭配置図 S=1:250



鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
K1-1	D32	11000	24	6.23	68.5	1644	I
K1-2	"	5000	12	"	31.2	374	I
K1-3	D25	9100	12	3.98	36.2	434	I
K1-4	D22	12000	12	3.04	36.5	438	I
K2-1	D16	4180	11	1.56	6.52	72	○
K2-2	"	4180	51	"	6.52	333	○
K3	"	4150	26	"	6.47	168	○
K4	"	4380	37	"	6.83	253	○
K5	"	1740	12	"	2.71	33	L (平均長)
K6-1	D22	2810	4	3.04	8.54	34	○ フレアー溶接箇所
K6-2	"	2830	3	"	8.60	26	○ フレアー溶接箇所
K6-3	"	2840	4	"	8.63	35	○ フレアー溶接箇所
(1本当り)						3844 kg	
Y鉄筋				1本当たり	フレアー溶接箇所	フレアー溶接箇所	
D32	2018 kg	× 12 =		24216 kg			
D25	434 kg	× 12 =		5208 kg			
D22	533 kg	(11)	× 12 =	6396 kg		(132)	
D16	787 kg	× 12 =		9444 kg			
合計	3772 kg	(11)	× 12 =	45264 kg		(132)	
A鉄筋				1本当たり	1基当たり		
D16	72 kg	× 12 =		864 kg			
合計	72 kg	× 12 =		864 kg			
組立鉄筋 (杭1本当り)							
K7	D19	360	6	2.25	0.810	5	}
K8	D13	480	48	0.995	0.478	23	
(1本当り)						28 kg	
D19	5 kg	× 12 =		60 kg			
D13	23 kg	× 12 =		276 kg			
合計	28 kg	× 12 =		336 kg			
FB6x65	2633	4	3.06	8.06	32		
"	2655	3	"	8.12	24		
"	2664	4	"	8.15	33		
						89 kg	
FB6x65	89 kg	× 12 =		1068 kg			

注1) 図中鉄筋番号のうち、※印はA鉄筋を示す。
杭頭鉄筋とフーチング鉄筋との取り合いについては、事前に確認のうえ、施工すること。
無溶接金具は、補強棒、スペーサーおよび杭底面上げた筋部に設置する。
注2) 帯鉄筋の継手位置は各々90°ずらして配置する。

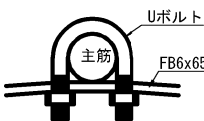
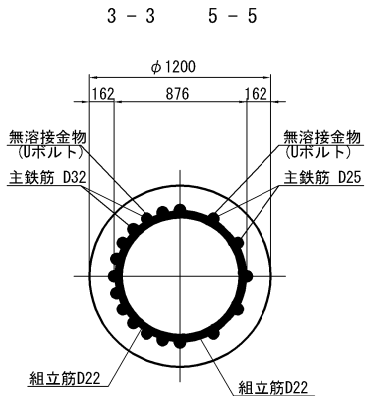
無溶接金物(Uボルト)取付図(参考図)

固定金具詳細図

縮尺=1:50

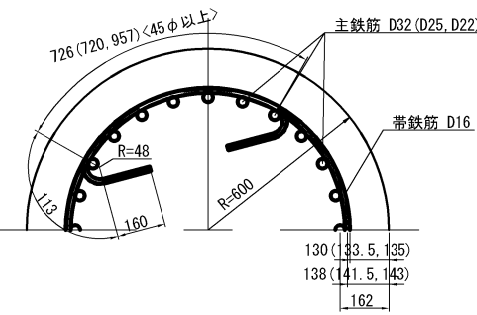
Uボルト取付詳細図

S=1:5

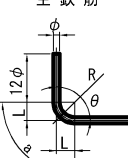
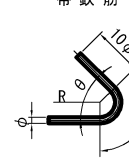


かぶり詳細図

S=1:25



鉄筋曲げ加工表

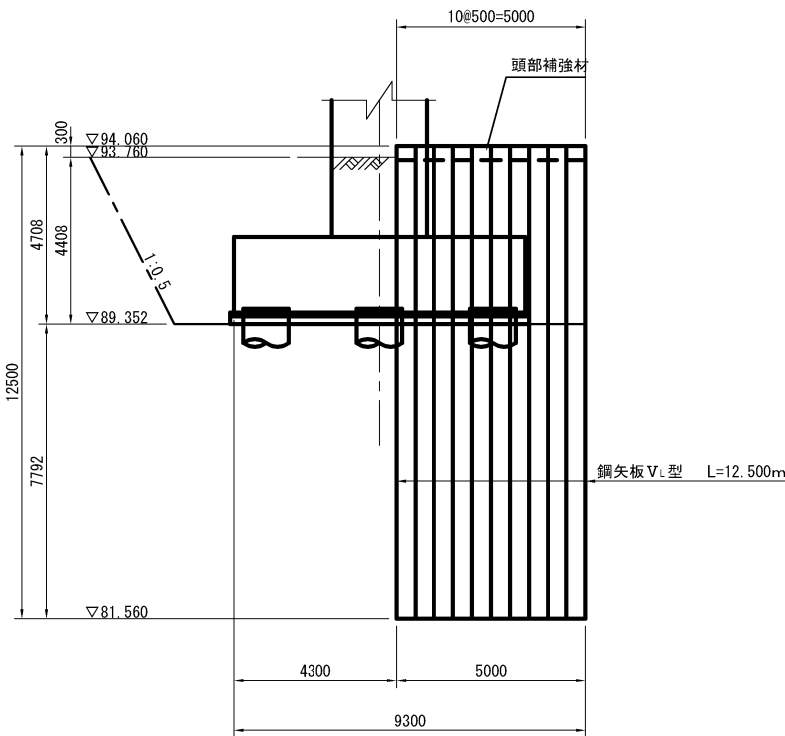
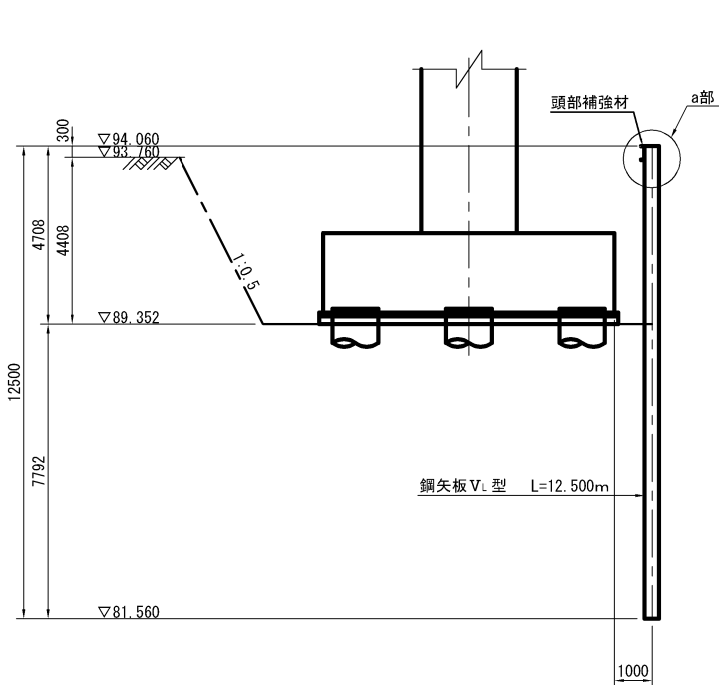
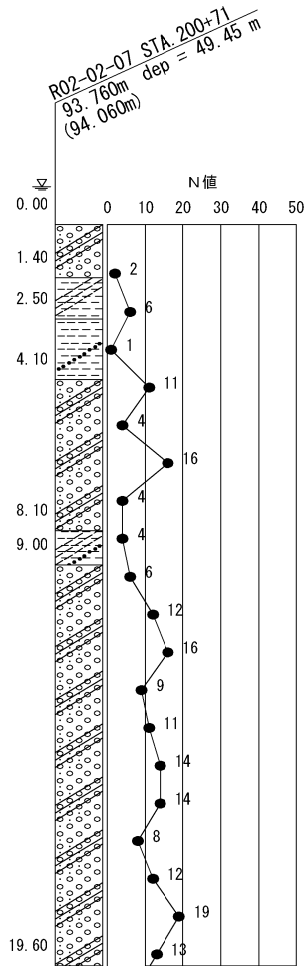
			
		$\Delta L = 2L - a$	
曲げ	径		主鉄筋・帯鉄筋
半径	D13~D51		R=3φ
	$\theta=90^{\circ}$		$\theta=45^{\circ}$
径	主鉄筋		スターラップ、帯鉄筋
	R	a	ΔL
D13	39	61	17
D16	48	75	21
D19	57	89	25
D22	66	104	28
D25	75	118	32
D29	87	137	37
D32	96	151	41
D35	105	165	45
D38	114	179	49
D51	153	240	66

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	P 4 橋脚場所打ち杭配筋図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
事務所名	横手工事事務所		

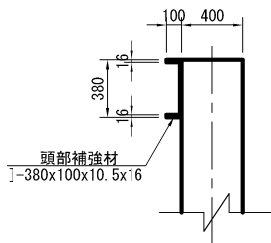
側面図(1-1)
P4

側面図(2-2)
P4

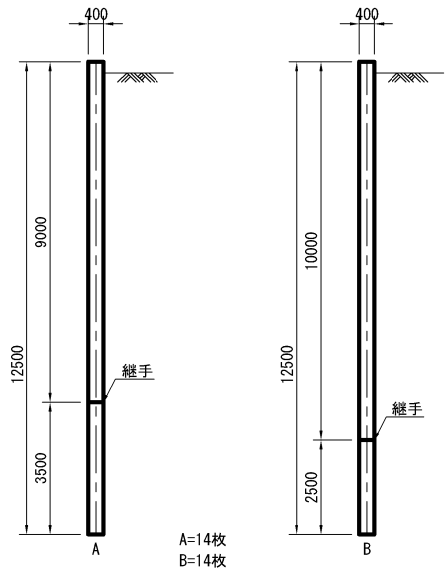
正面図(3-3)
P4



a部詳細図 S=1:50

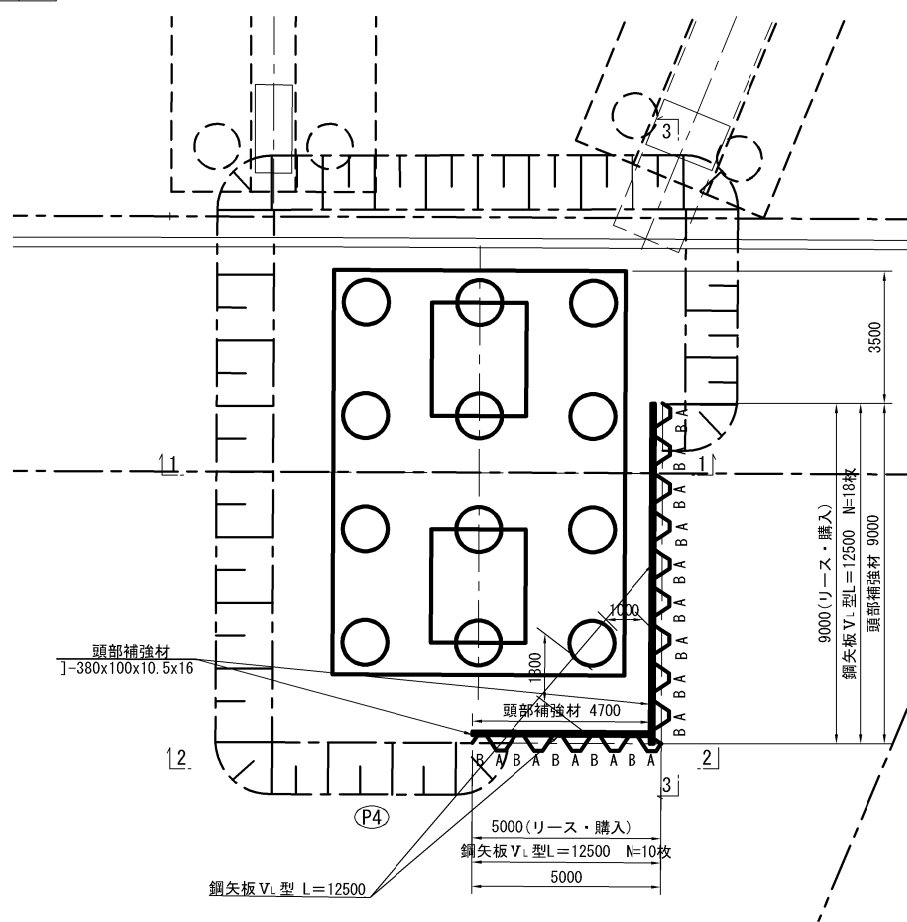


鋼矢板継手位置
V.L 型



注) 隣り合う鋼矢板同士で継手箇所が千鳥配置になるように
上記の組み合わせを繰り返して配置すること。

平面図

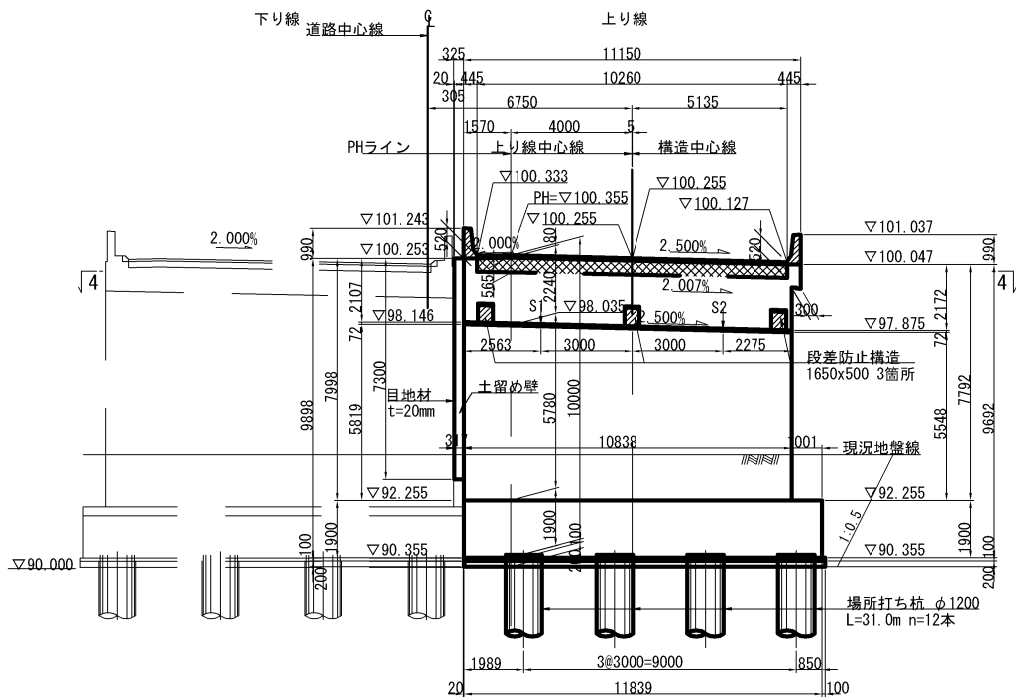


鋼材質量表

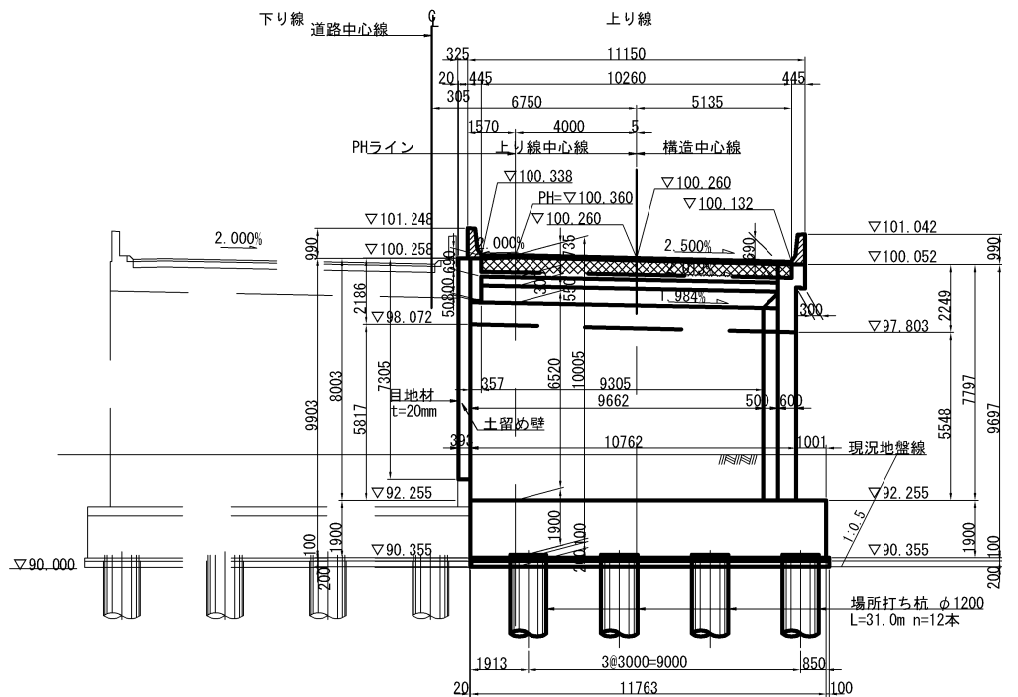
部材名	規 格	員数 (枚・本)	長 さ (mm)	単位質量 (kg/m)	1本あたり質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要	備 考
鋼矢板	V _L 型	14	9,000	105.0	945.0	13,230	SY295	リース材
	〃	14	3,500	105.0	367.5	5,145	〃	購入材
	〃	14	10,000	105.0	1050.0	14,700	〃	リース材
	〃	14	2,500	105.0	262.5	3,675	〃	購入材
		56	鋼矢板小計			36,750	kg	
		継手箇所数			28	箇所		
頭部補強材	J-380x100x10.5x16	1	4,700	54.5	256.2	256.2	SS400	リース材
頭部補強材	J-380x100x10.5x16	1	9,000	54.5	490.5	490.5	〃	〃
		頭部補強材合計				746.7	kg	
合計								
		鋼矢板 V _L 型 (SY295)				27,930	kg	(リース材)
		鋼矢板 V _L 型 (SY295)				8,820	kg	(購入材)
		頭部補強材 SS400				746.7	kg	(リース材)
		継手箇所数				28	箇所	

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） P 4 橋脚土留工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

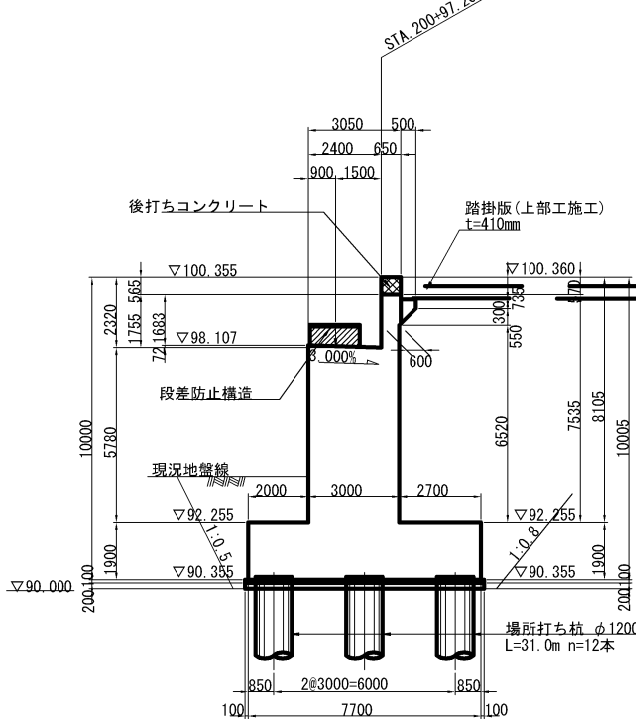
正面図
1 - 1



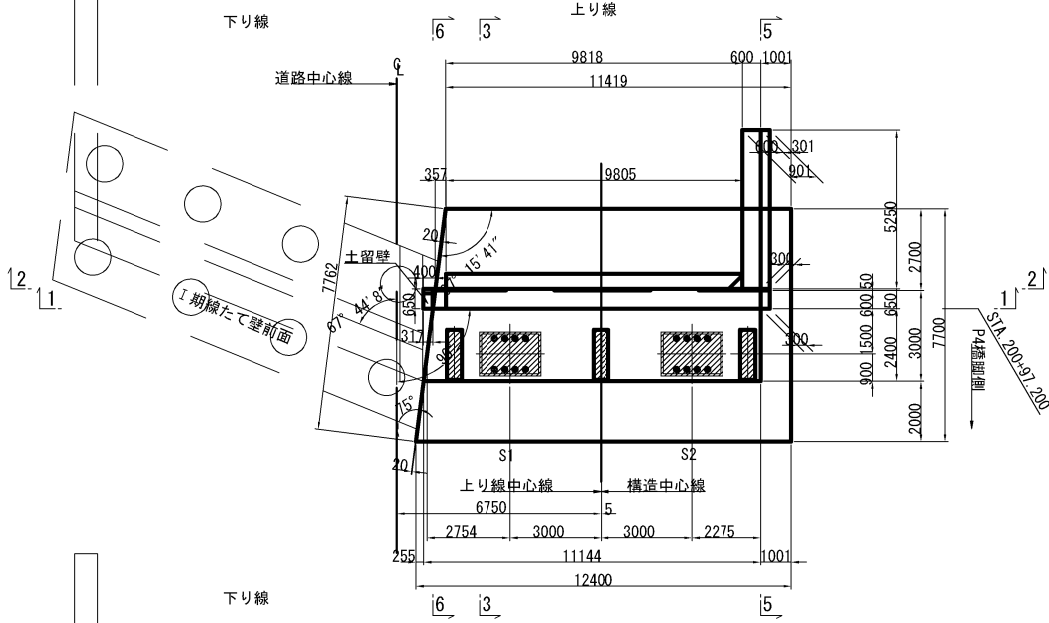
背面図
2 - 2



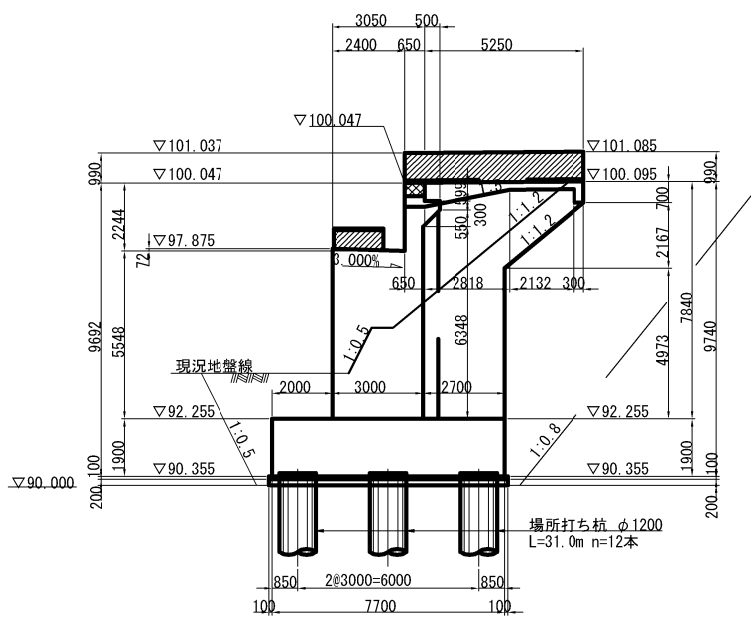
側面図
3 - 3



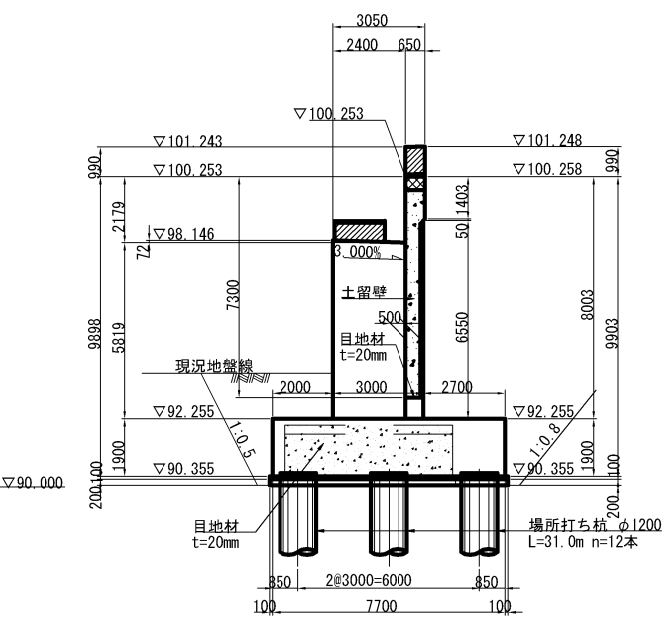
平面図
4 - 4



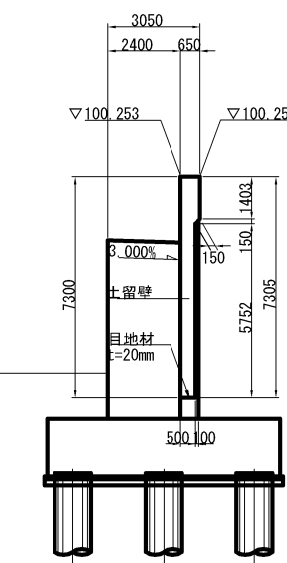
右側ウイング側面図
5 - 5



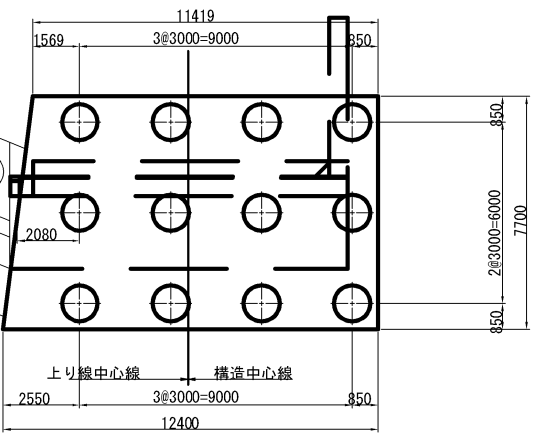
左側端部側面図(土留壁)
6 - 6



土留壁部詳細図



杭配置図



使用材料一覧表

使用区分	コンクリートの種別	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯体	A1-3	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
フーチング	B2-1	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	D1-1	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	—
左側端部側面	目地材 t=20		

凡例

- 上部施工工部を示す。
- 伸縮切欠部を示す。(上部施工工部)
- I 期線隣接部目地材

凡例

- 上部施工工部を示す。
- 伸縮切欠部を示す。(上部施工工部)

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 2 橋台構造一般図（1）		
縮 尺	1:250	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

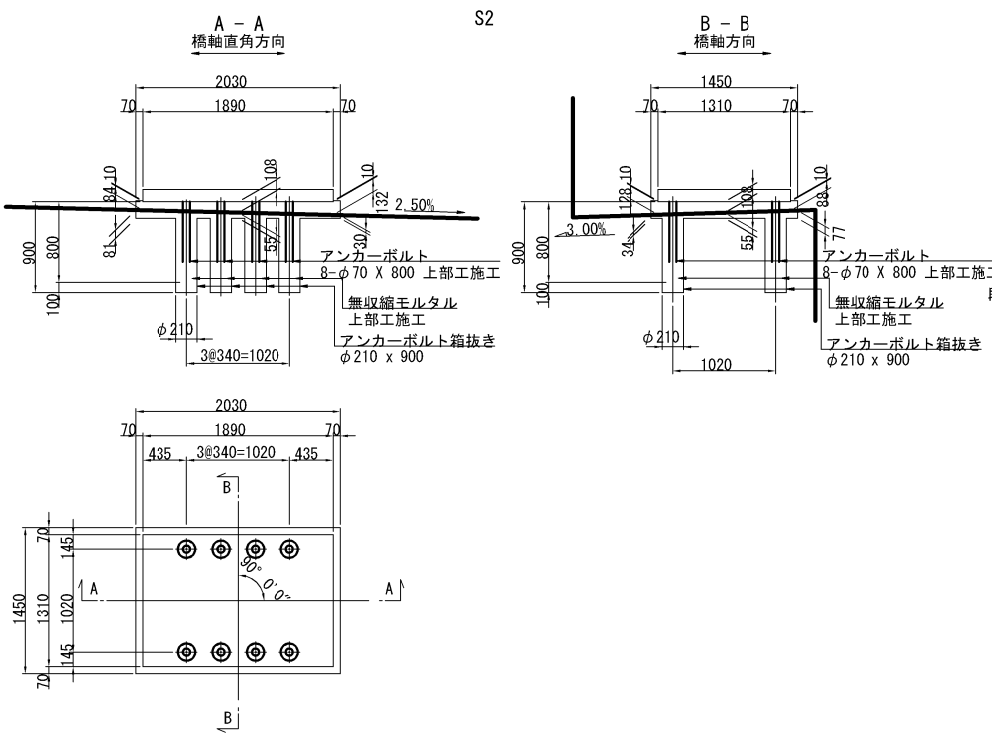
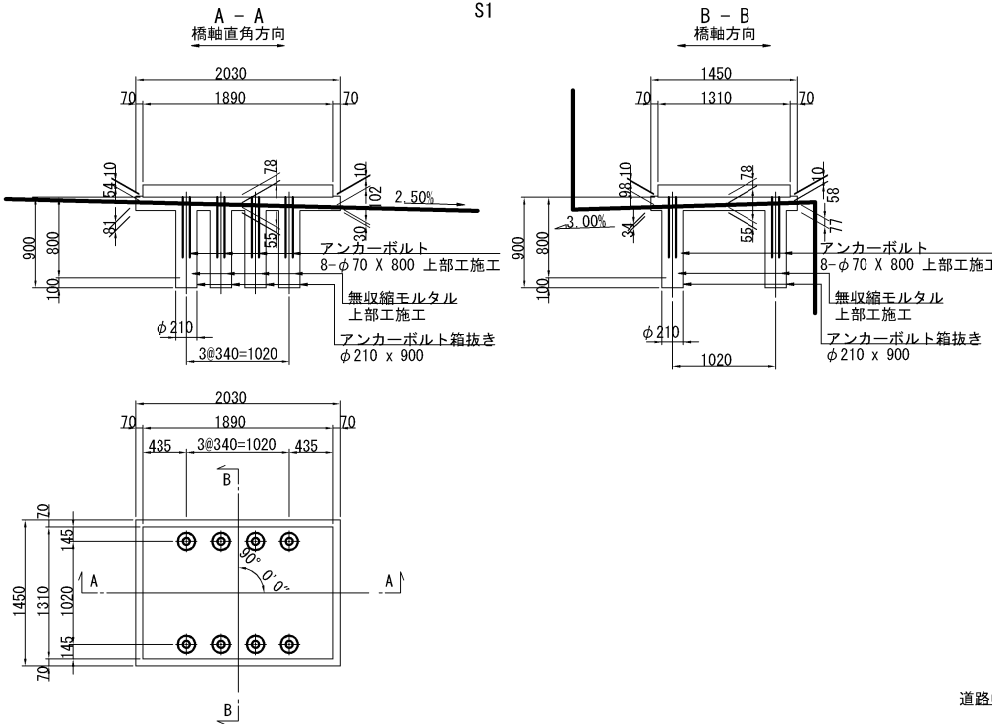
新町橋（上り線）A2橋台構造一般図（2）

支承箱抜き詳細図 S=1:7

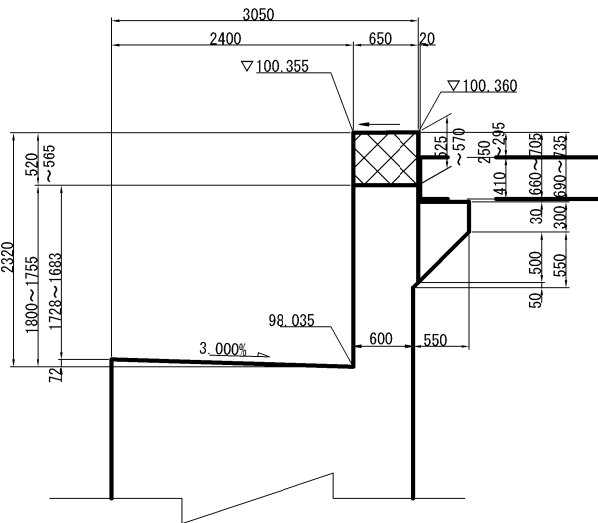
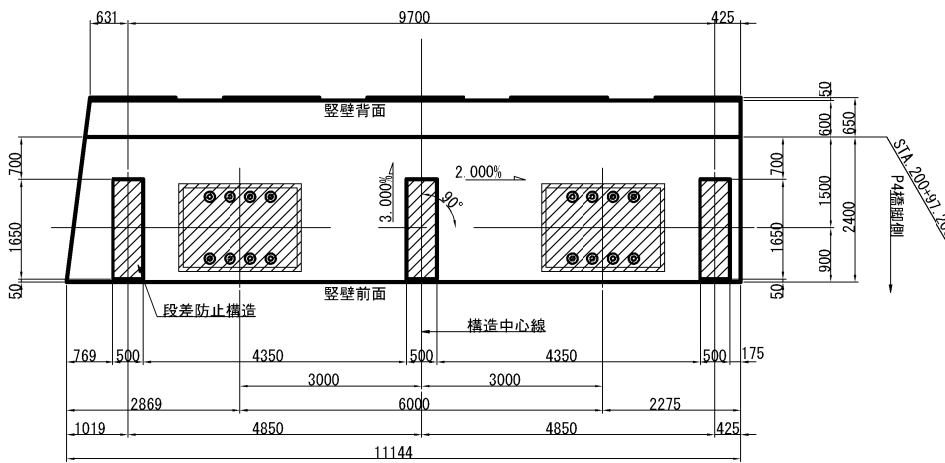
パラペット頂部詳細図 S=1:75

段差防止構造詳細図 S=1:75

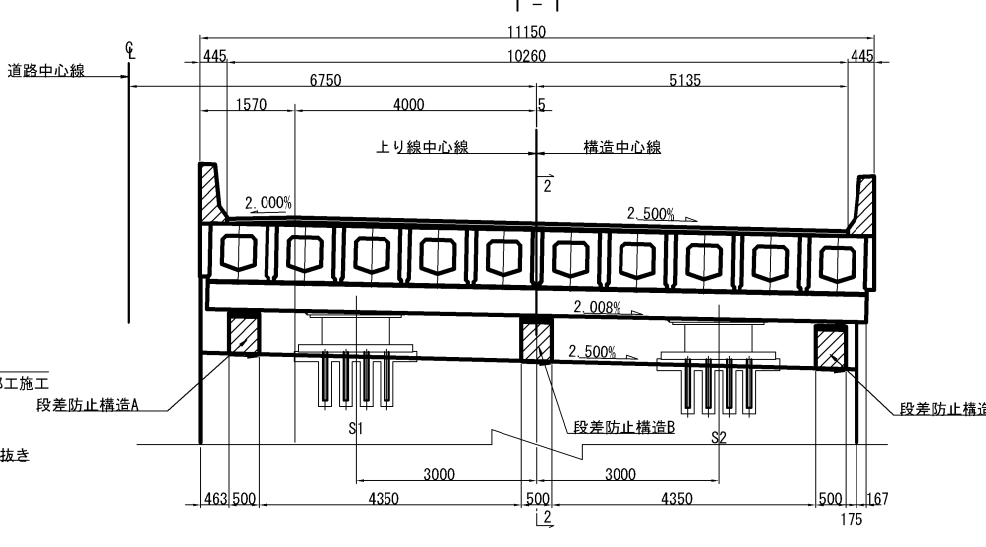
壁高欄・張出部詳細図 縮尺1:50



橋座平面図 S=1:125

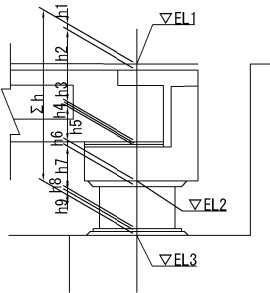


段差防止構造配置図 S=1:125

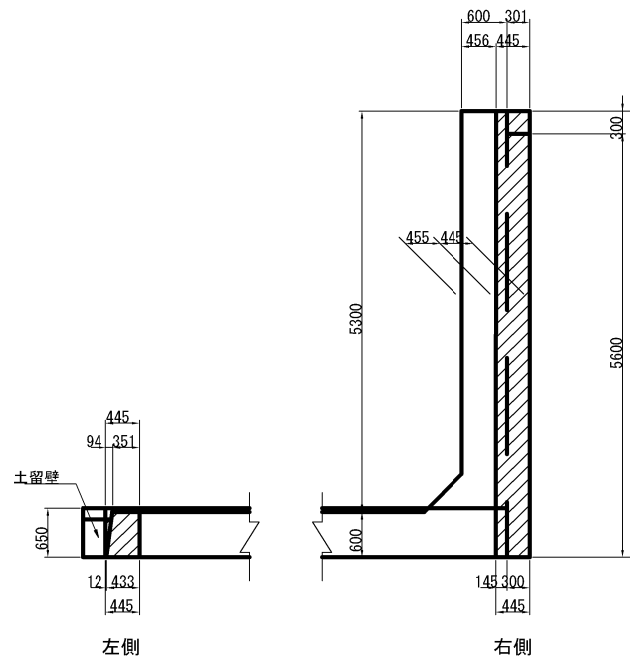


構造高さ表



	単位	PH	S1	KCL	S2
路面計面高 (EL1)	m	100.343	100.318	100.243	100.168
舗装厚 (h1)	mm	---	120	---	91
主桁高 (h2)	mm	---	950	---	950
感性硬化ゴム (h3)	mm	---	9	---	9
横梁余盛高 (h4)	mm	---	8	---	7
横梁高 (h5)	mm	---	450	---	450
横梁下面高 (EL2)	m	---	98.781	---	98.66
レアー厚 (h6)	mm	---	46	---	46
支承高 (h7)	mm	---	614	---	614
モルタル高 (h8)	mm	---	78	---	108
台座コンクリート高 (h9)	mm	---	---	---	---
構造高合計 (ΣH)	mm	---	2275	---	2275
下部工天端高 (EL3)	m	98.068	98.043	97.968	97.893
支承設置角 (θ)		---	90° 0' 0"	---	90° 0'



ウイングと地覆との取り合い図 縮尺1:100

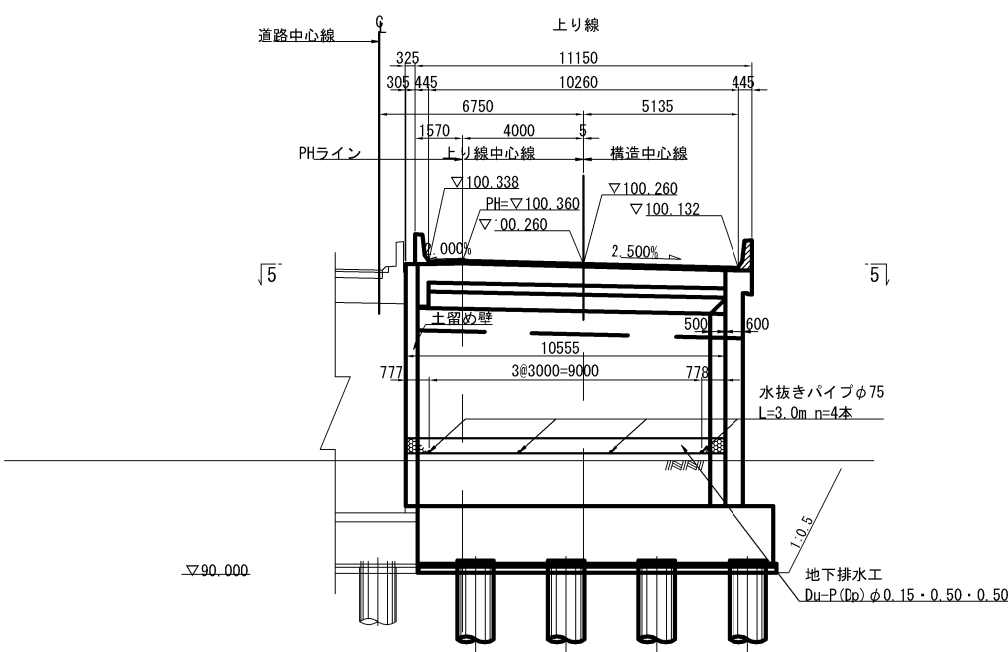


凡例

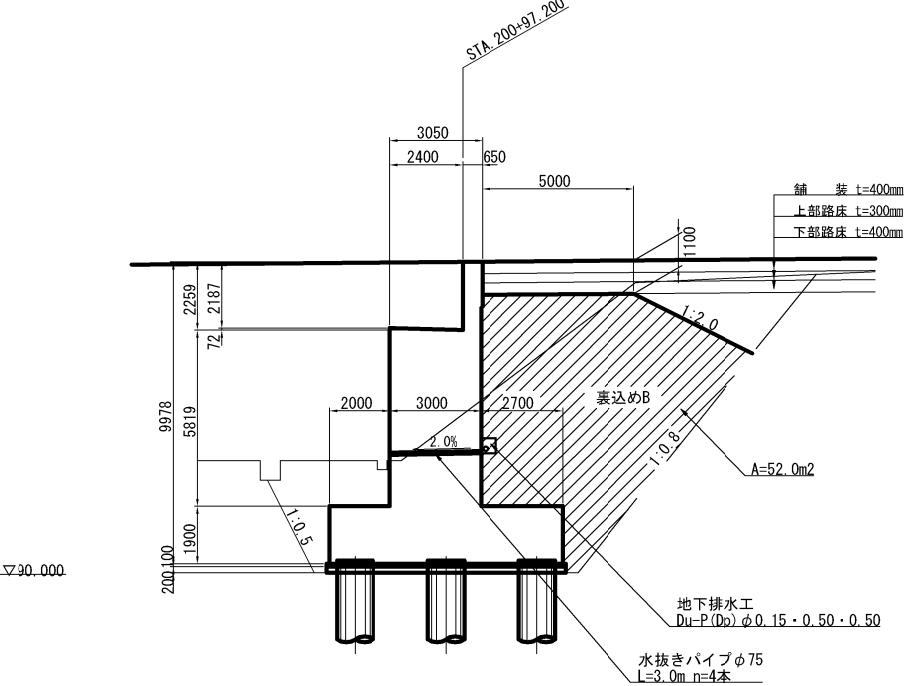
	上部工施工部を示す。
	伸縮切欠部を示す。(上部工施工部

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 2 橋台構造一般図（2）		
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
	横手工事事務所		

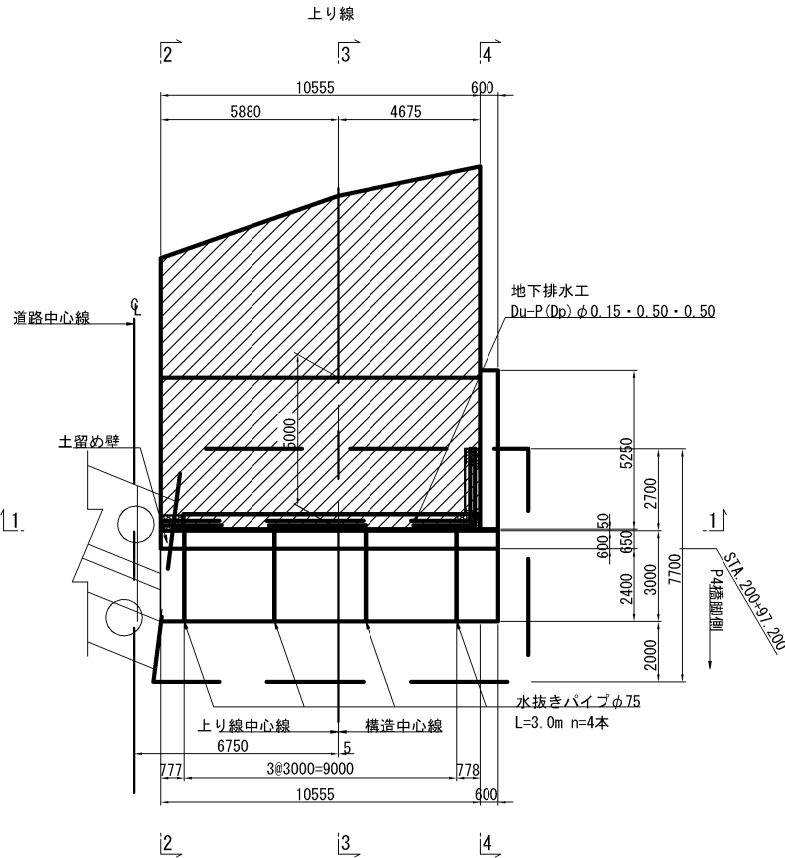
背面図
1 - 1



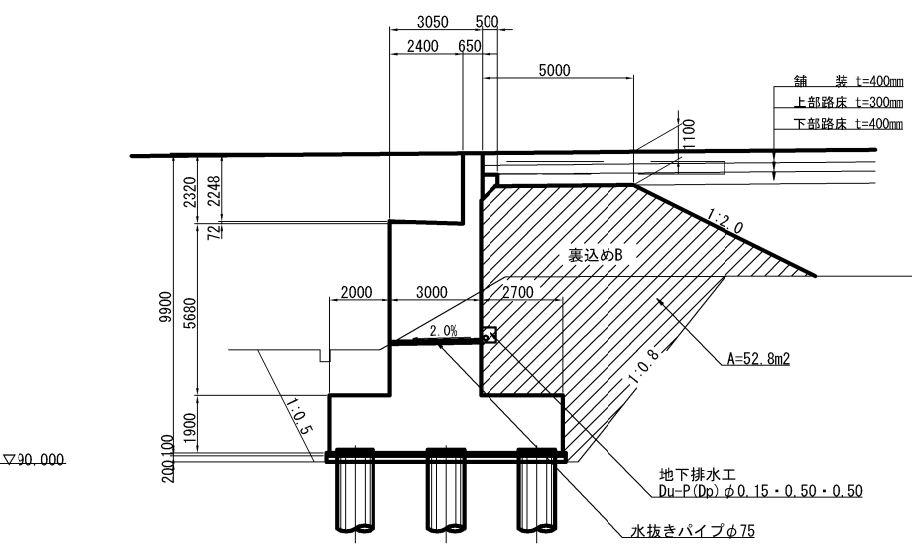
側面図
2 - 2



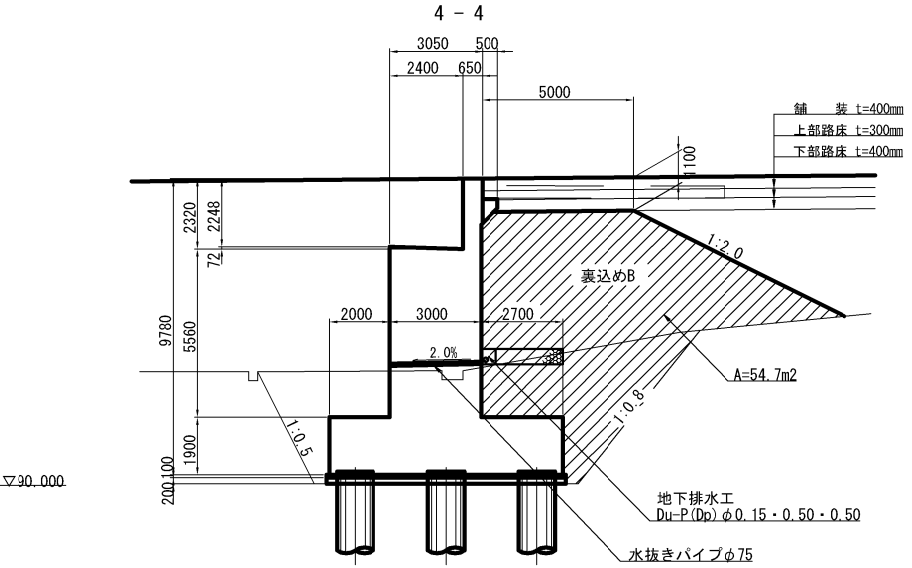
平面図
5 - 5



3 - 3



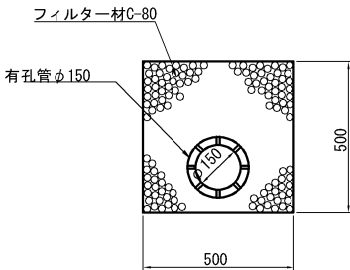
4 - 4



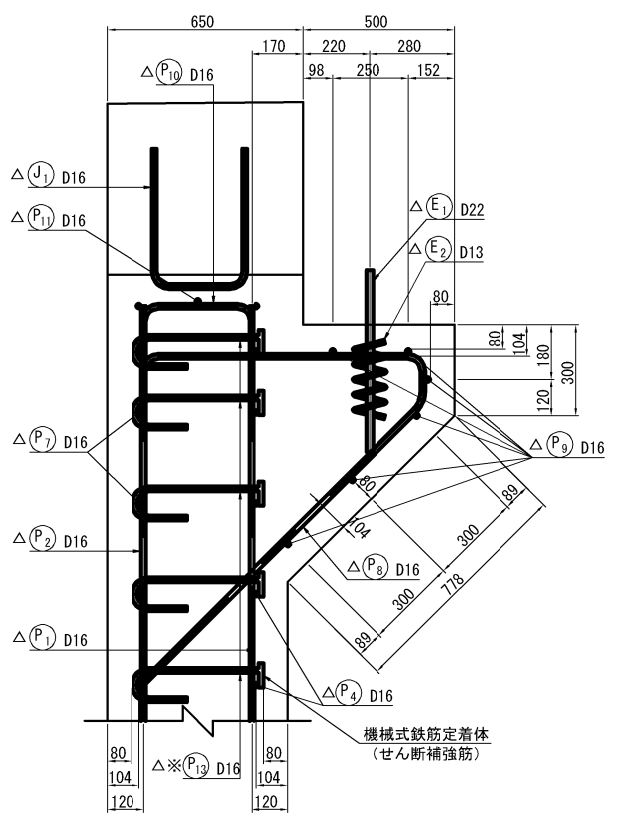
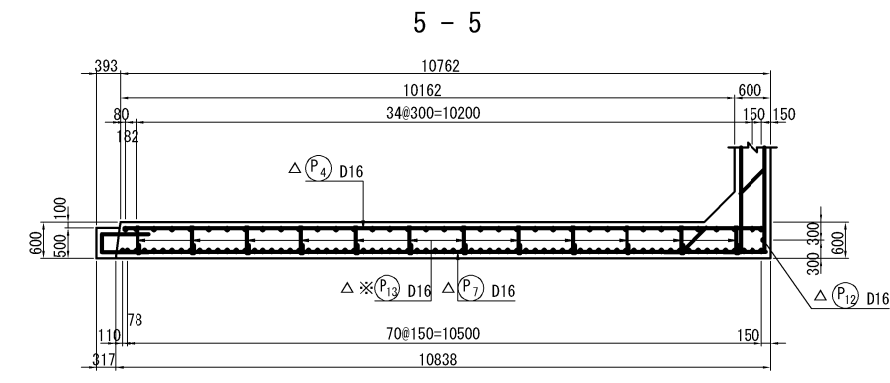
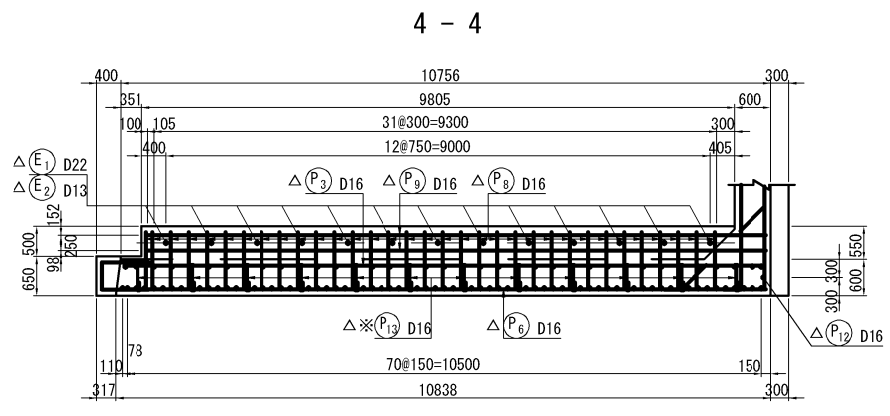
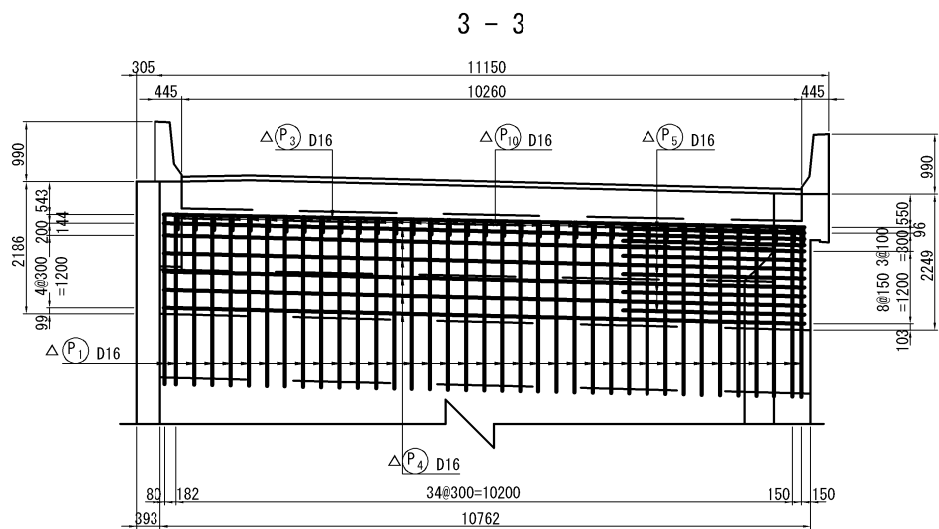
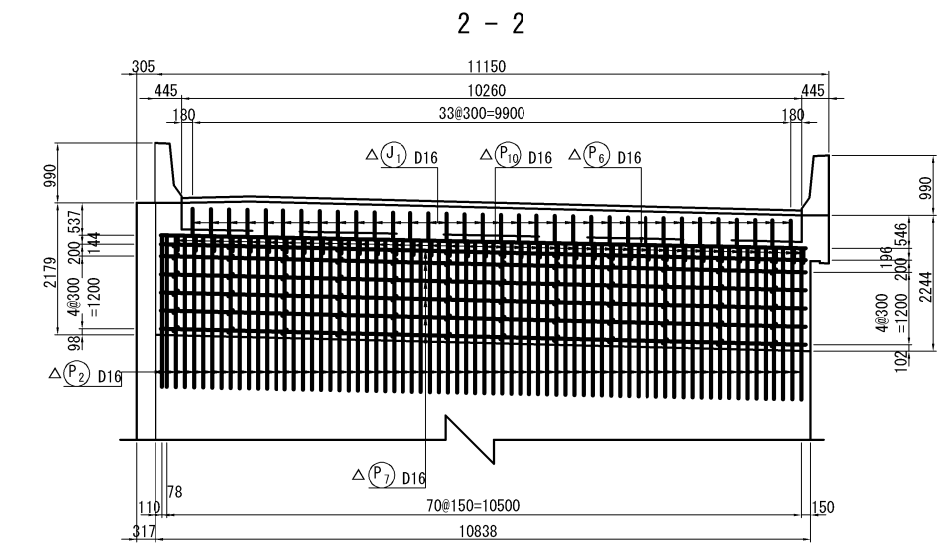
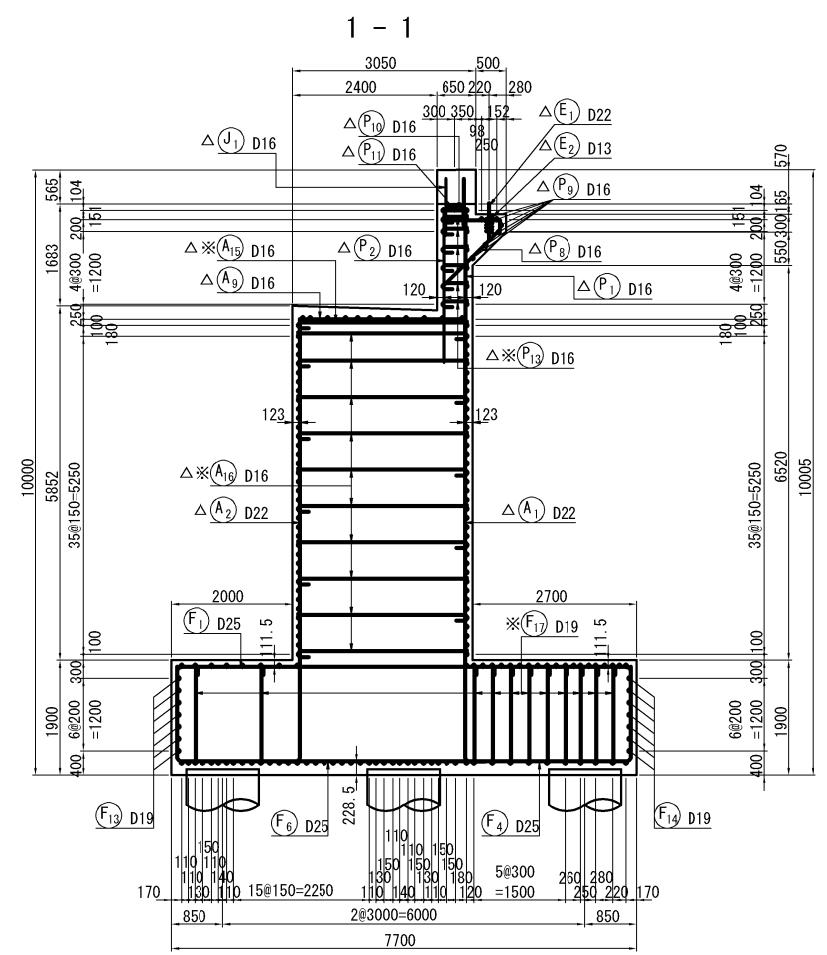
数量表

項目	規格	単位	数量	備考
構造物裏込め	裏込めB	m ³	559.4	計算項目「ダリ基礎工A(10)」に含む
地下排水工	Du-P(Dp) φ0.15・0.50・0.50	m	12.8	フィルター材 C-80
水抜きパイプ	VP75A	m	12.0	

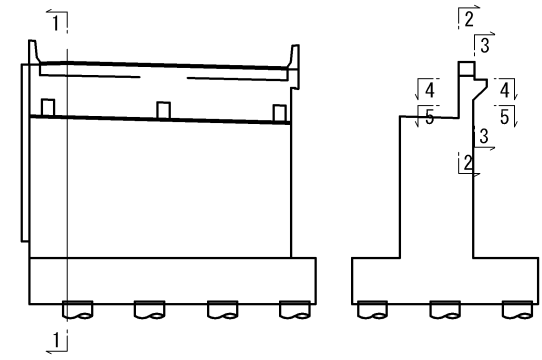
地下排水工詳細図 縮尺1:25



秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 2 橋台構造物裏込め工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

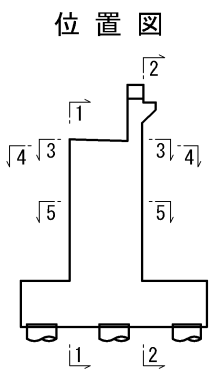
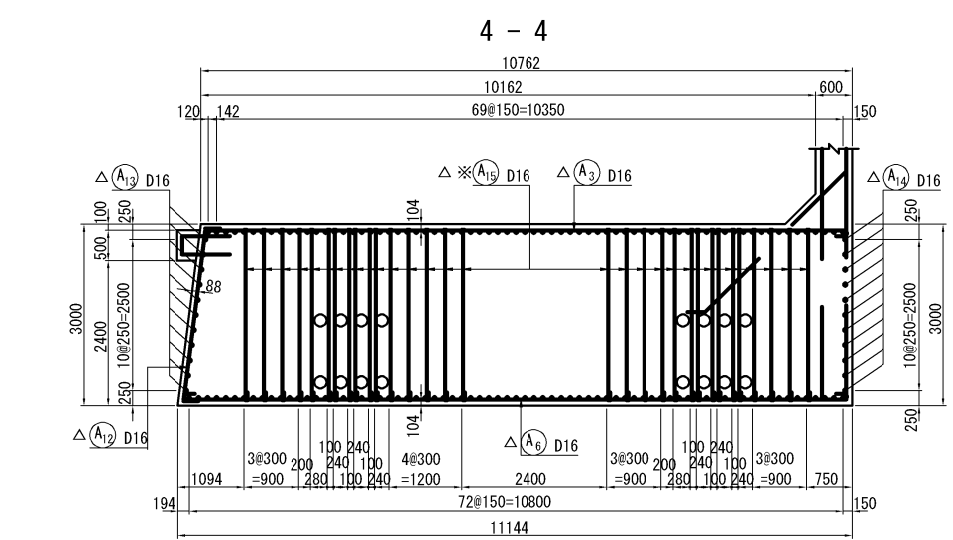
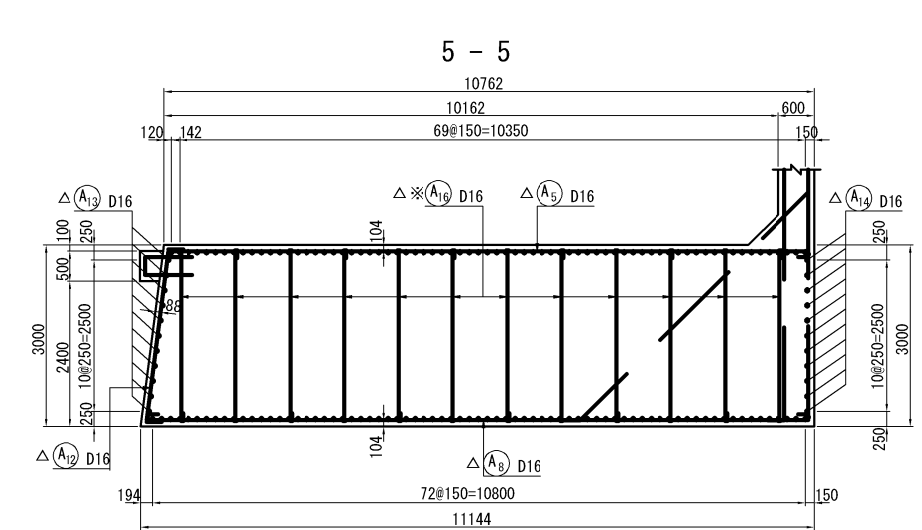
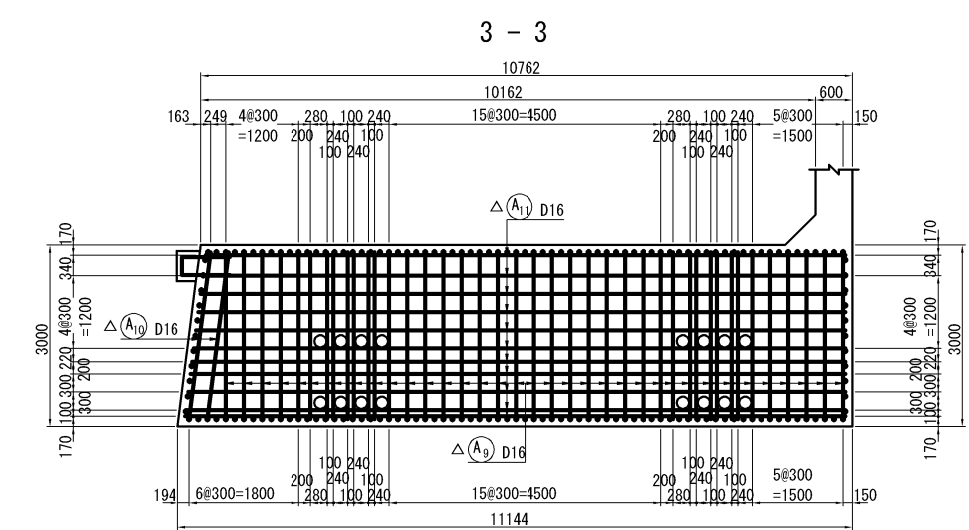
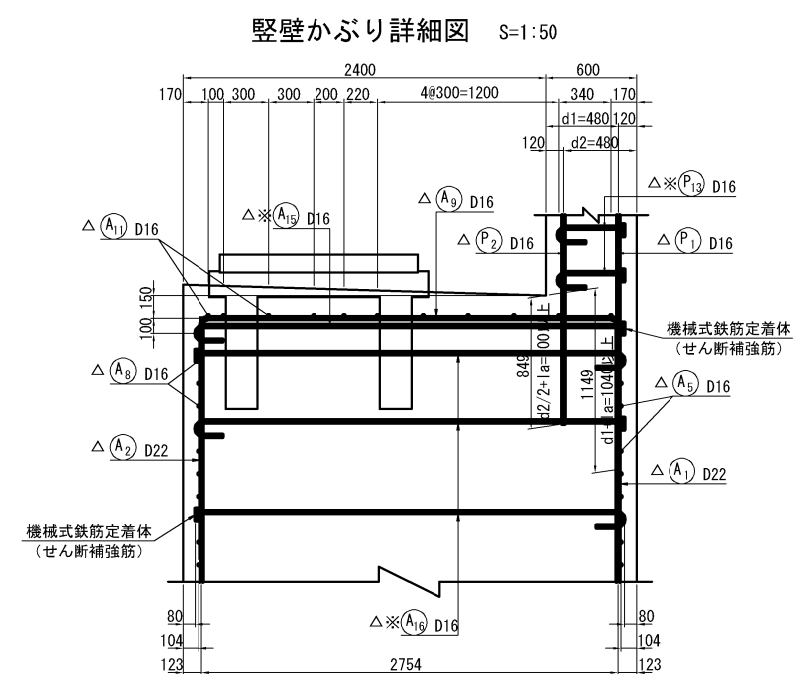
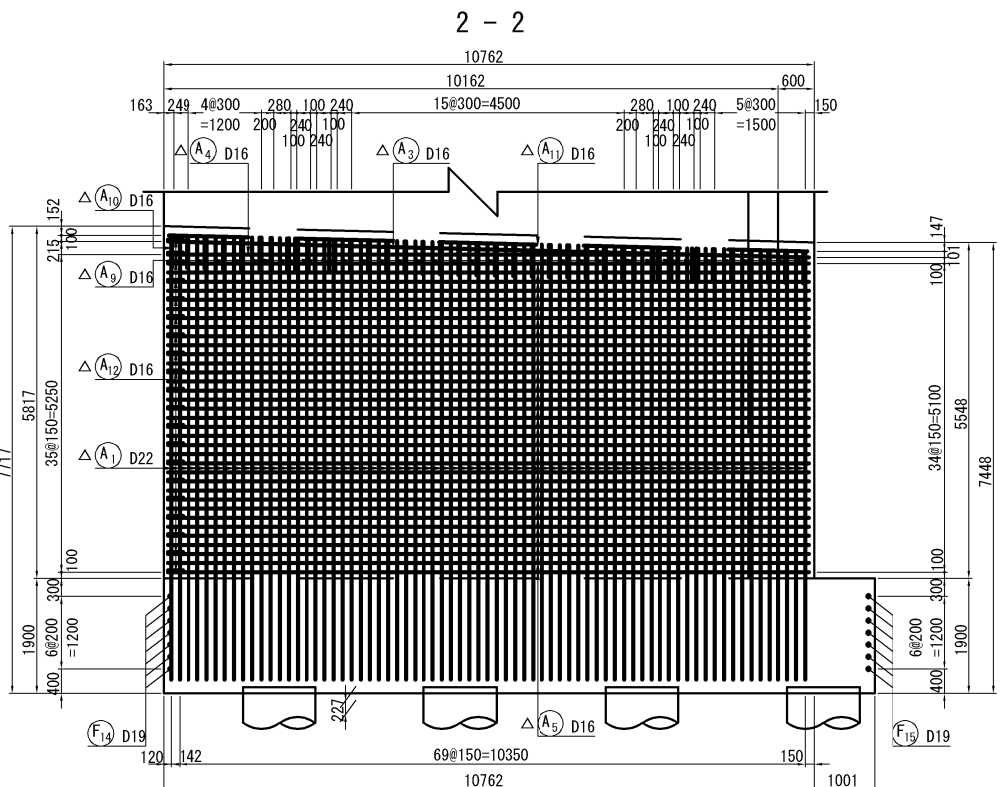
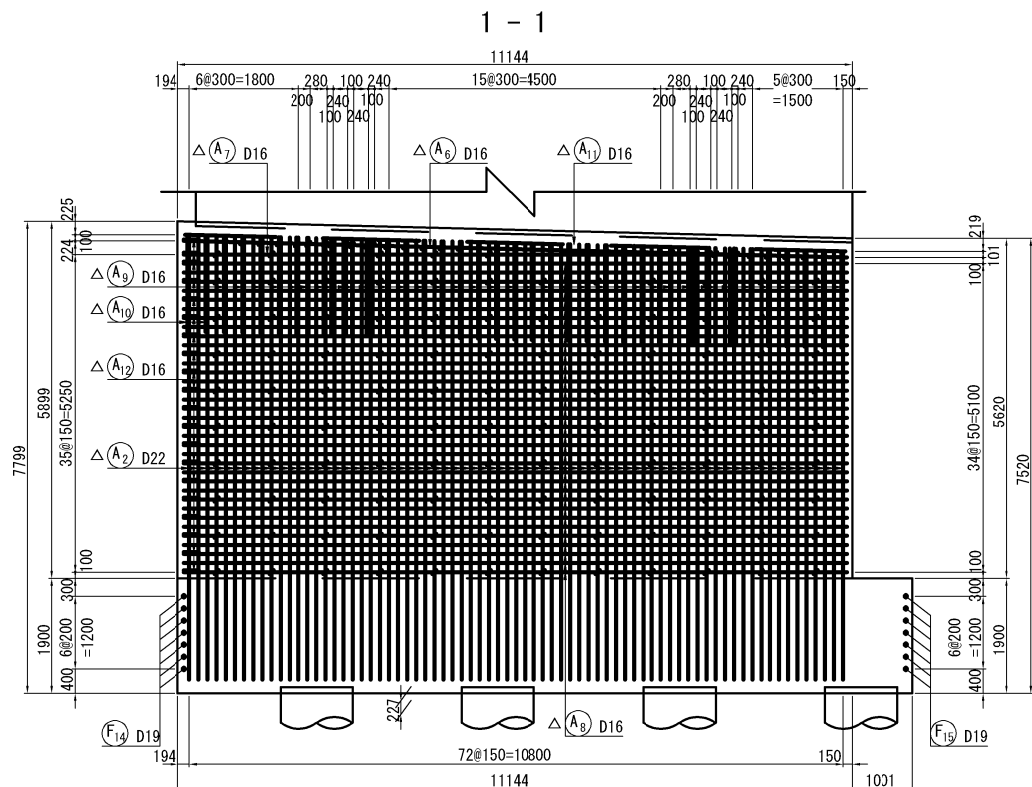


位置図



注1) Δ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
注2) ※ は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 2 橋台配筋図（1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



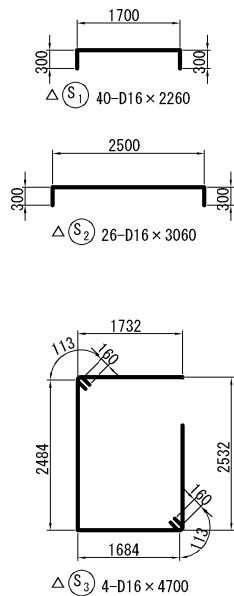
注1) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
注2) ※ は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 2 橋台配筋図（2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

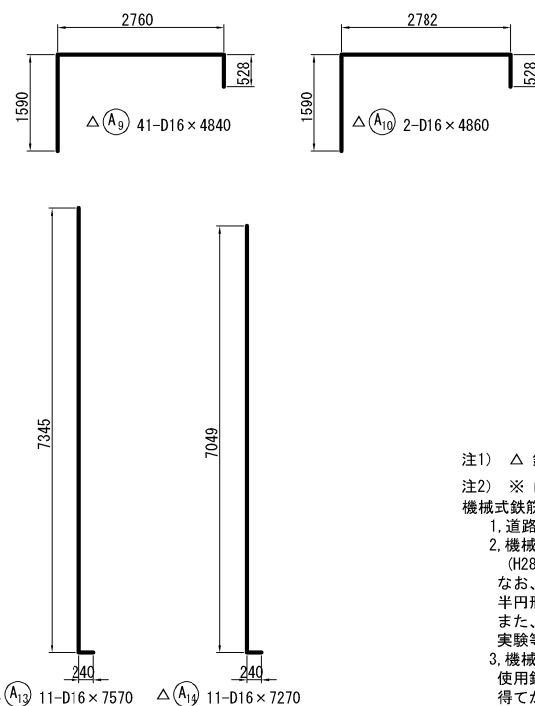
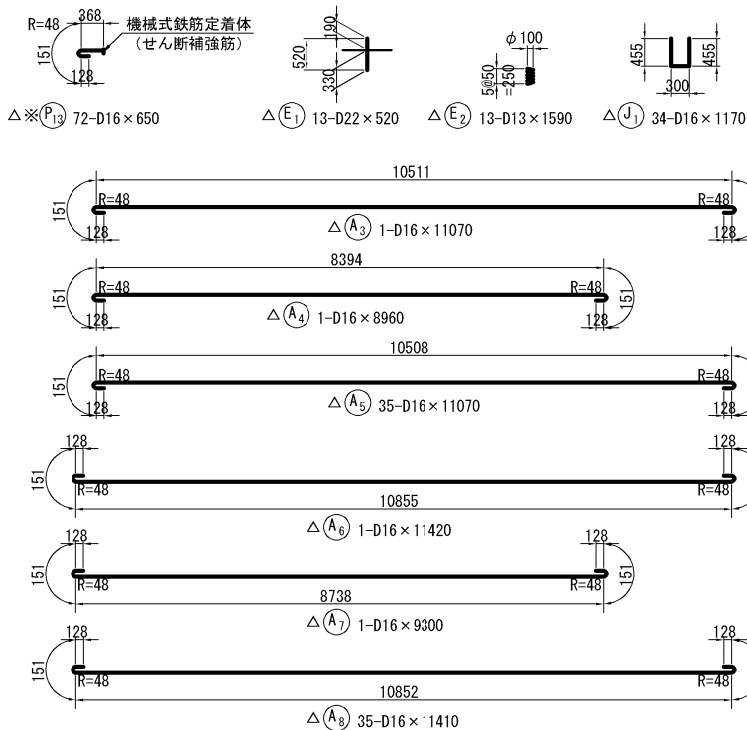
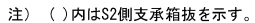
S=1:50

橋軸直角方向

B



C - C



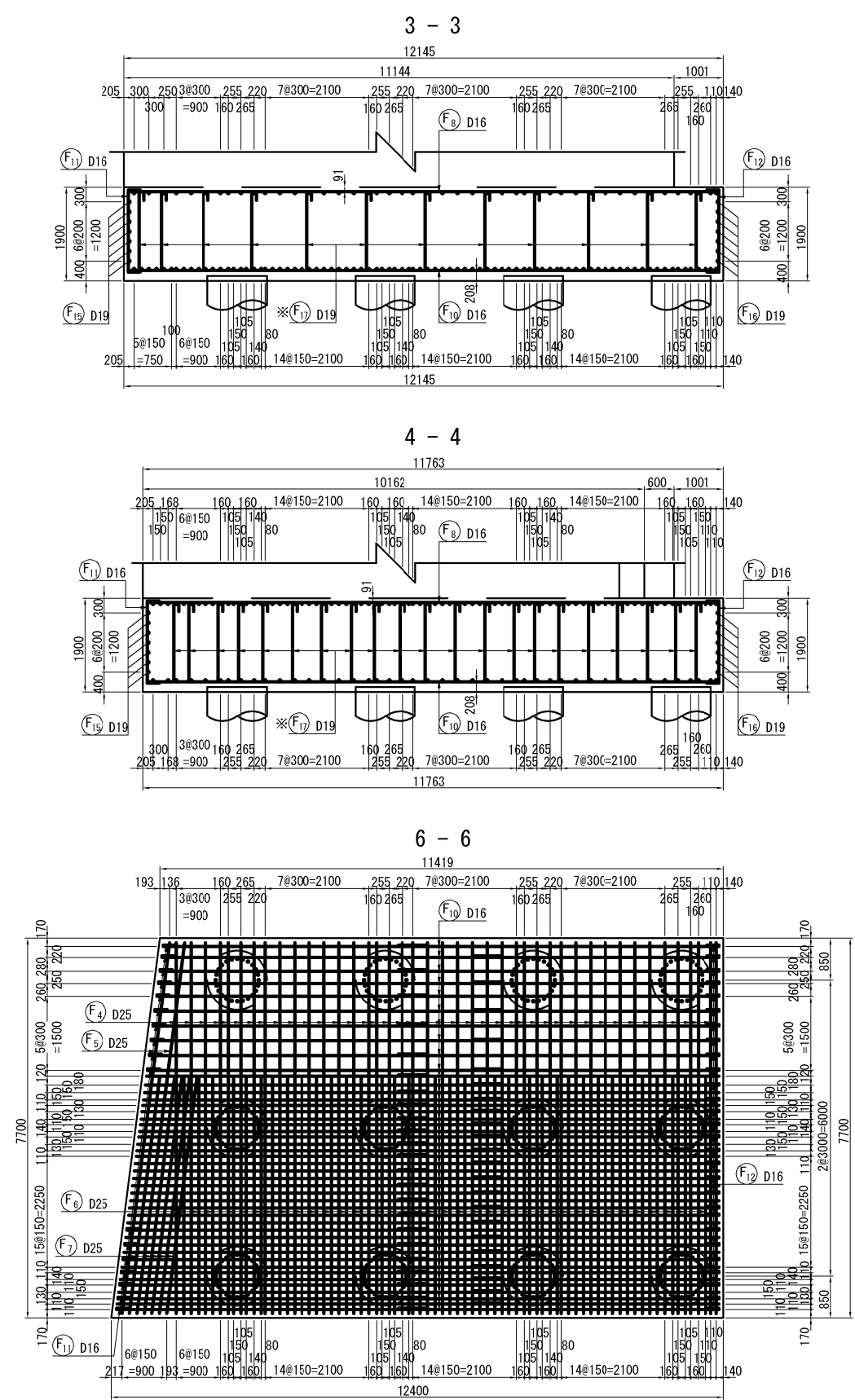
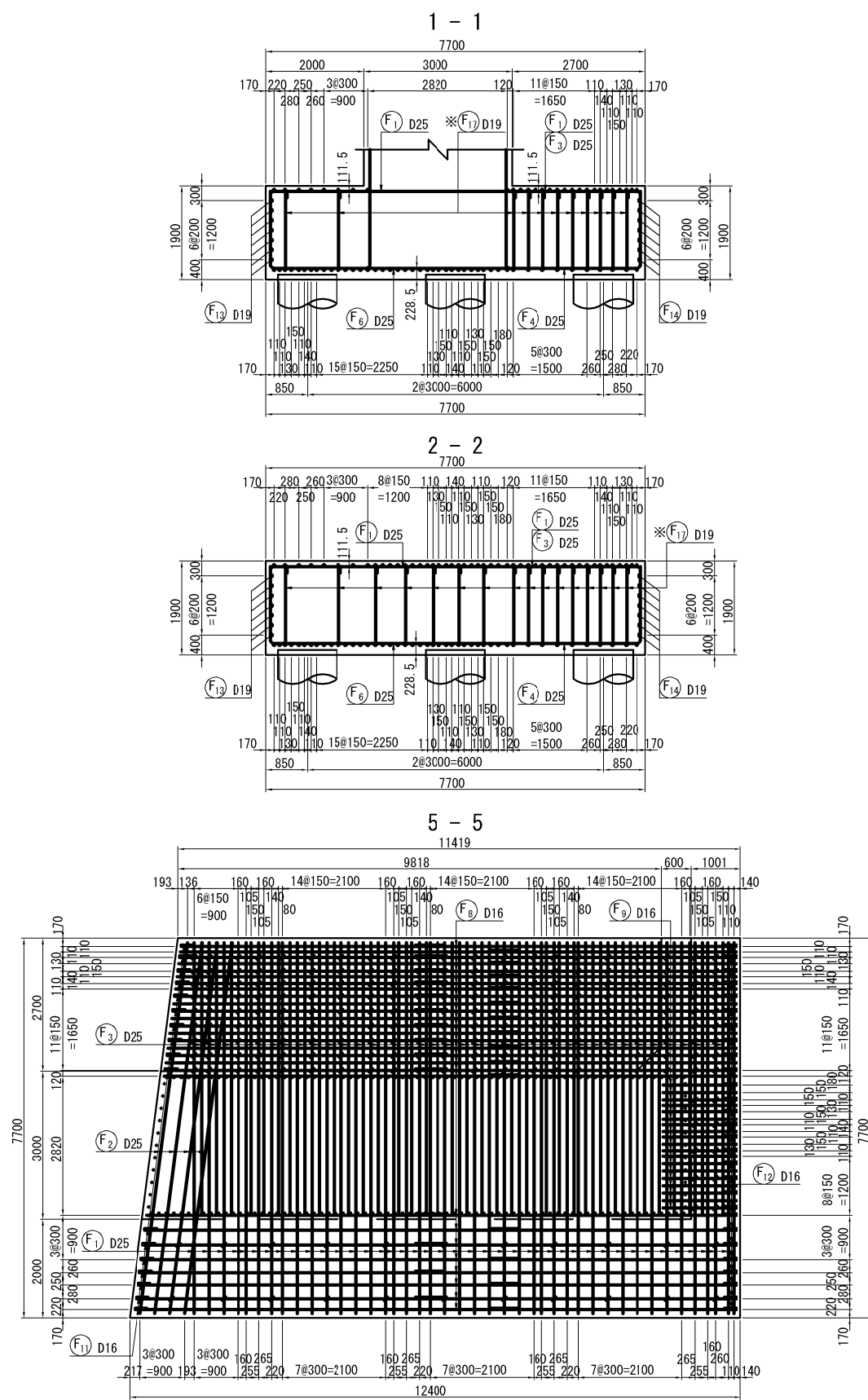
(平均長)



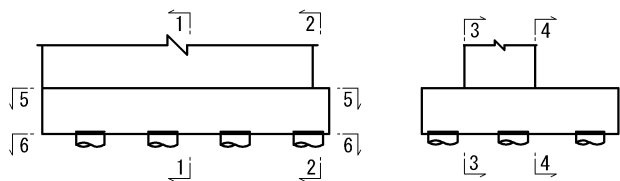
待つから仕事を待つこと。

$\Delta \times (A_{16})$ 114-D16 \times 305

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 2 橋台配筋図（3）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



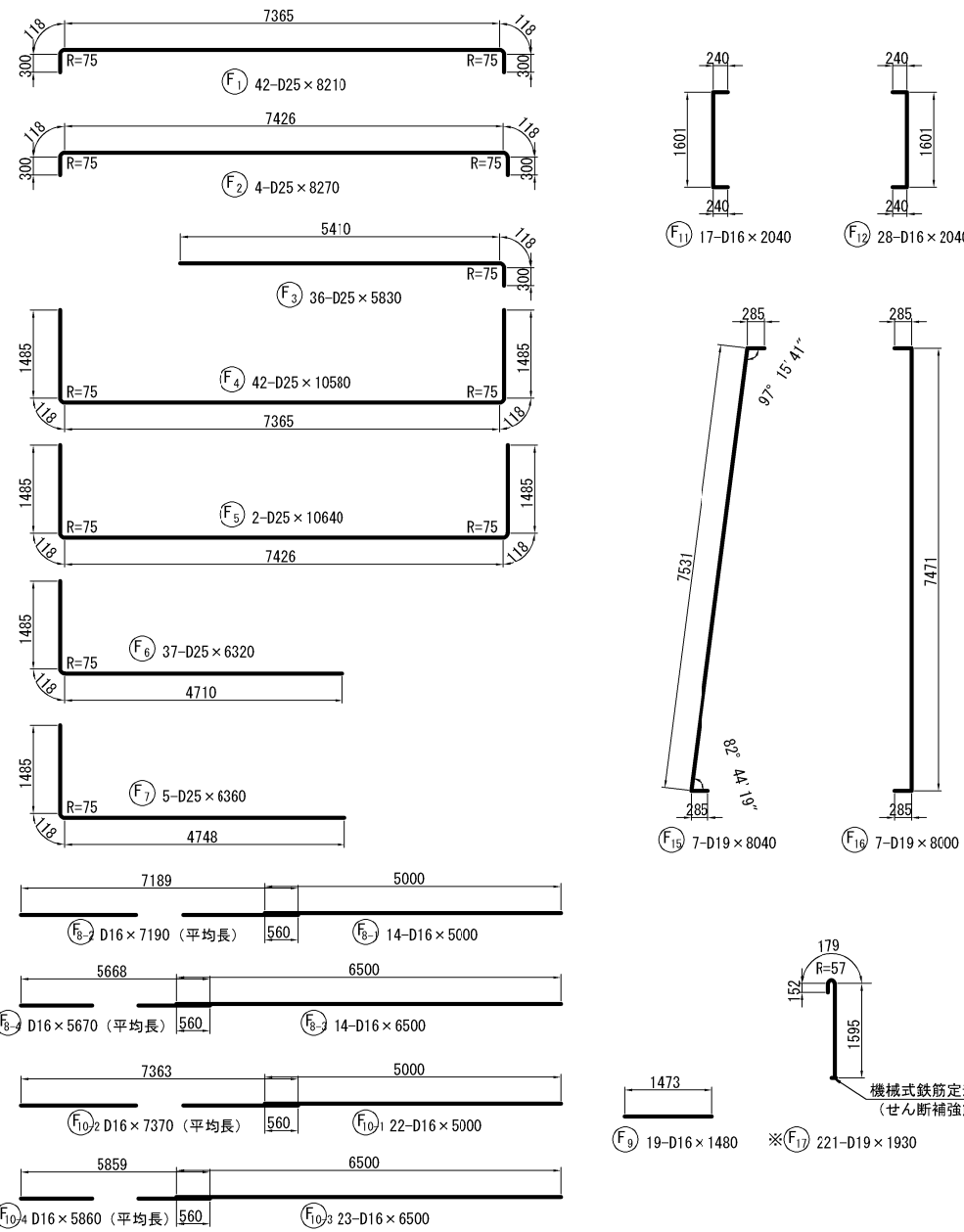
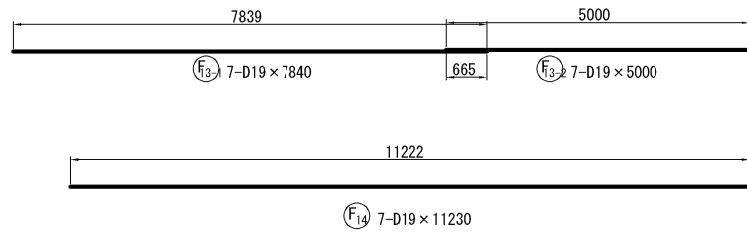
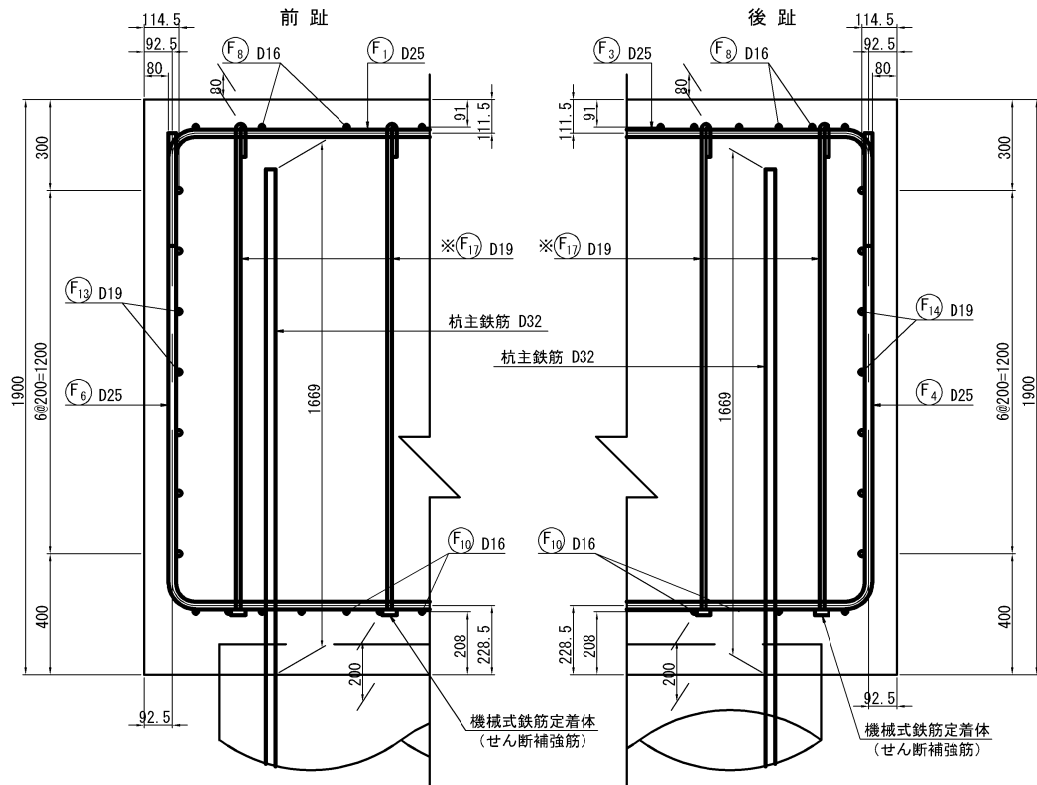
位置図



注1) ※ は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 2 橋台配筋図（4）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

フーチングかぶり詳細図 S=1:25



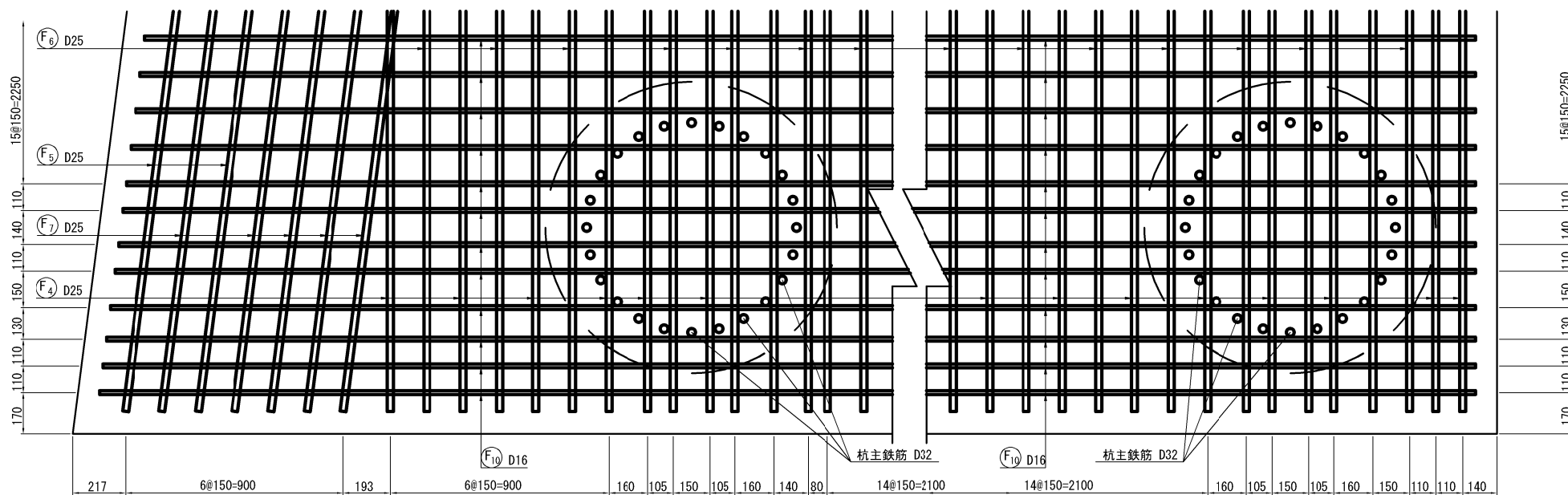
F ₈ 14-D16×7190 (平均長)				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	6838	6840
2	"	1	6868	6870
3	"	1	6902	6910
4	"	1	6933	6940
5	"	1	6972	6980
6	"	1	7010	7010
7	"	1	7048	7050
8	"	1	7086	7090
9	"	1	7125	7130
10	"	1	7159	7160
11	"	1	7556	7560
12	"	1	7633	7640
13	"	1	7698	7700
14	"	1	7762	7770
平均		14		7190

F ₈ 14-D16×5670 (平均長)				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	5324	5330
2	"	1	5352	5360
3	"	1	5388	5390
4	"	1	5419	5420
5	"	1	5453	5460
6	"	1	5491	5500
7	"	1	5529	5530
8	"	1	5567	5570
9	"	1	5605	5610
10	"	1	5644	5650
11	"	1	6018	6020
12	"	1	6095	6100
13	"	1	6166	6170
14	"	1	6234	6240
平均		14		5670

F ₁₀ 22-D16×7370 (平均長)				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	6852	6860
2	"	1	6919	6920
3	"	1	6991	7000
4	"	1	7067	7070
5	"	1	7144	7150
6	"	1	7182	7190
7	"	1	7220	7220
8	"	1	7251	7260
9	"	1	7284	7290
10	"	1	7316	7320
11	"	1	7351	7360
12	"	1	7384	7390
13	"	1	7423	7430
14	"	1	7461	7470
15	"	1	7499	7500
16	"	1	7537	7540
17	"	1	7576	7580
18	"	1	7614	7620
19	"	1	7652	7660
20	"	1	7684	7690
21	"	1	7717	7720
22	"	1	7748	7750
平均		22		7370

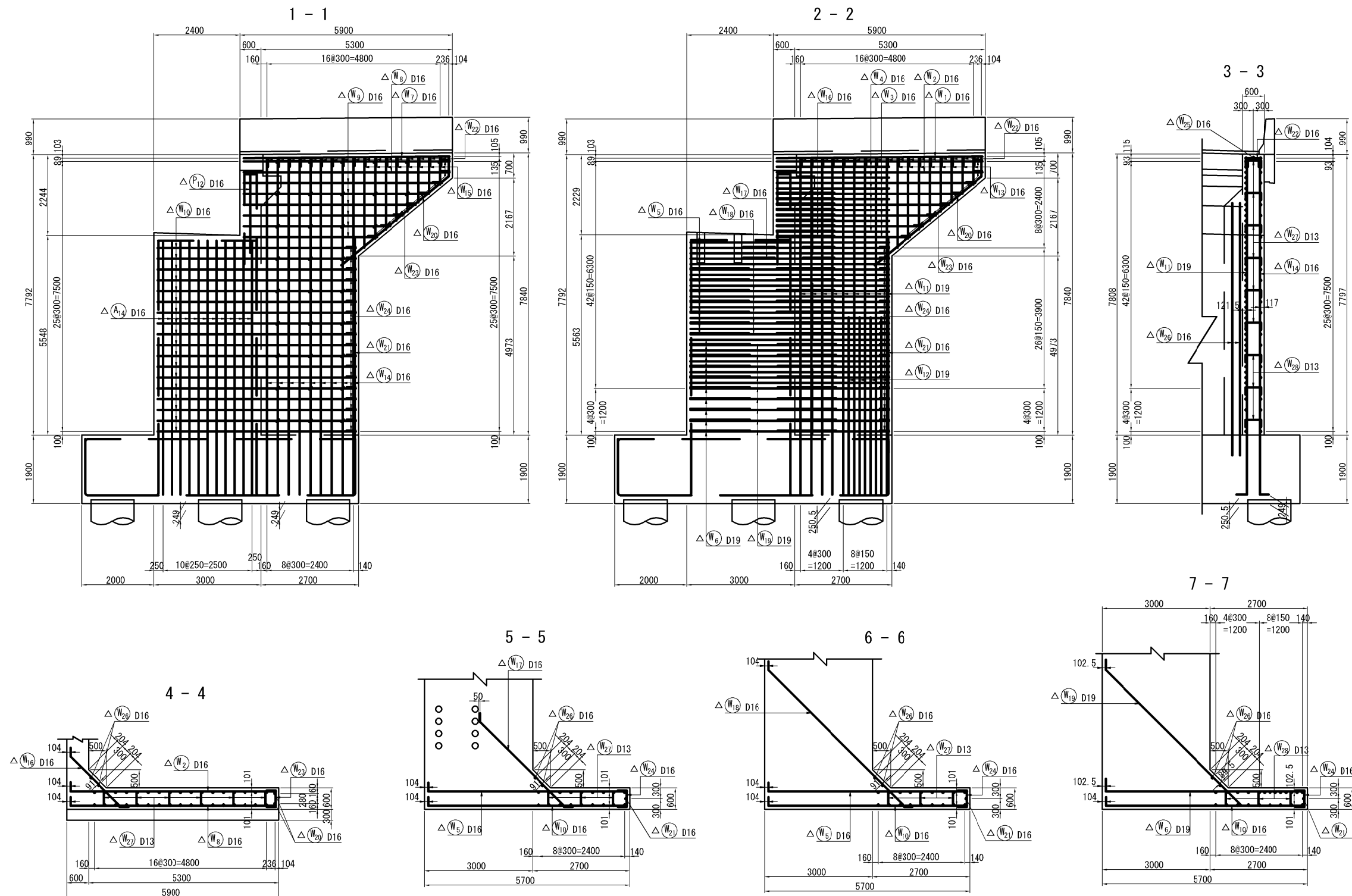
F ₁₀ 23-D16×5860 (平均長)				
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	5734	5740
2	"	1	5734	5330
3	"	1	5388	5390
4	"	1	5453	5460
5	"	1	5529	5530
6	"	1	5605	5610
7	"	1	5659	5660
8	"	1	5701	5710
9	"	1	5770	5770
10	"	1	5802	5810
11	"	1	5835	5840
12	"	1	5865	5870
13	"	1	5904	5910
14	"	1	5942	5950
15	"	1	5980	5980
16	"	1	6018	6020
17	"	1	6056	6060
18	"	1	6095	6100
19	"	1	6133	6140
20	"	1	6166	6170
21	"	1	6198	6200
22	"	1	6234	6240
23	"	1	6262	6270
平均		23		5860

杭頭部鉄筋詳細図 S=1:25

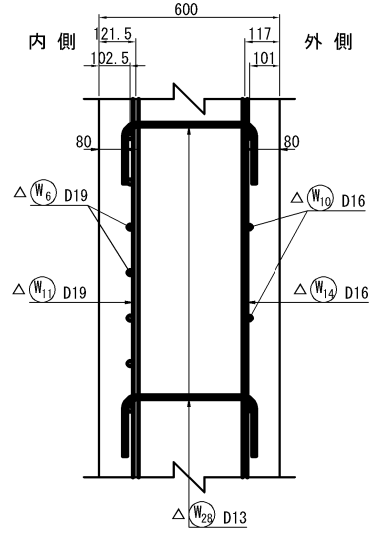


注1) ※ は機械式定着鉄筋を示す。
機械式鉄筋定着工法については、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29. 11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等により効果が保障された定着工法を用いること。
3. 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。

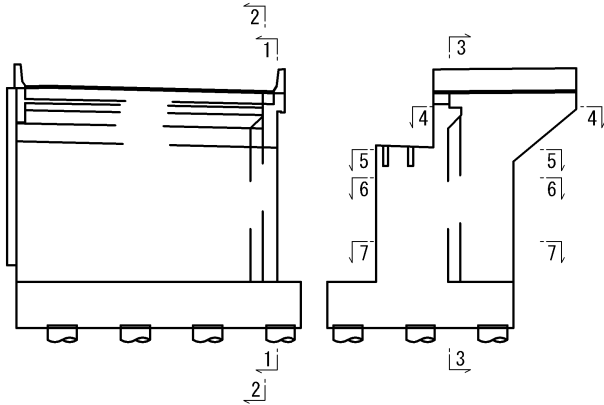
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 2 橋台配筋図（5）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



ウイングかぶり詳細図 S=1:25

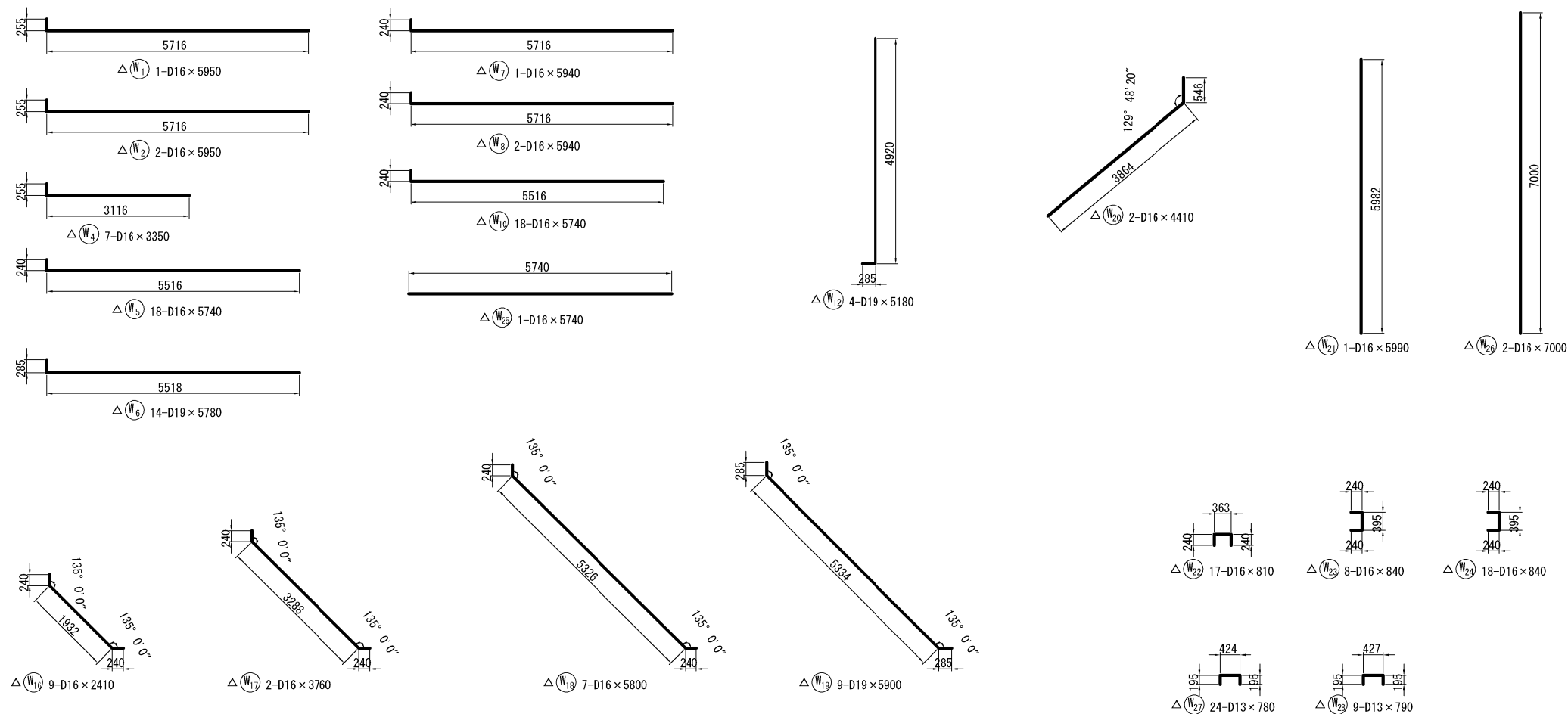


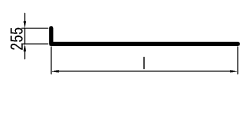
位置図

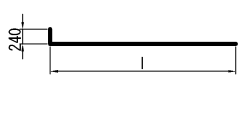


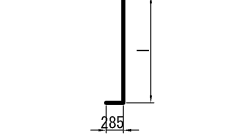
注1) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

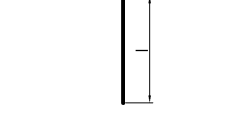
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 2 橋台配筋図（6）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

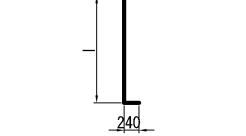


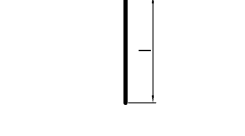
 $\Delta (W_3)$ 6-D16×4840 (平均長)					
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)	
1	D16	1	3703	3940	
2	"	1	4063	4300	
3	"	1	4423	4660	
4	"	1	4783	5020	
5	"	1	5143	5380	
6	"	1	5503	5740	
平均		6		4840	

 $\Delta (W_9)$ 6-D16×4830 (平均長)					
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)	
1	D16	1	3703	3930	
2	"	1	4063	4290	
3	"	1	4423	4650	
4	"	1	4783	5010	
5	"	1	5143	5370	
6	"	1	5503	5730	
平均		6		4830	

 $\Delta (W_{11})$ 9-D19×9620 (平均長)					
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)	
1	D19	1	9343	9610	
2	"	1	9346	9610	
3	"	1	9348	9610	
4	"	1	9351	9620	
5	"	1	9353	9620	
6	"	1	9356	9620	
7	"	1	9358	9620	
8	"	1	9361	9630	
9	"	1	9363	9630	
平均		9		9620	

 $\Delta (W_{13})$ 8-D16×1650 (平均長)					
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)	
1	D16	1	772	780	
2	"	1	1020	1020	
3	"	1	1267	1270	
4	"	1	1515	1520	
5	"	1	1762	1770	
6	"	1	2010	2010	
7	"	1	2258	2260	
8	"	1	2505	2510	
平均		8		1650	

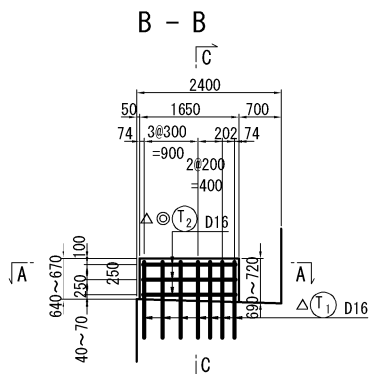
 $\Delta (W_{14})$ 9-D16×9580 (平均長)					
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)	
1	D16	1	9345	9570	
2	"	1	9347	9570	
3	"	1	9350	9570	
4	"	1	9352	9580	
5	"	1	9355	9580	
6	"	1	9357	9580	
7	"	1	9360	9580	
8	"	1	9362	9590	
9	"	1	9365	9590	
平均		9		9580	

 $\Delta (W_{15})$ 8-D16×1650 (平均長)					
記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)	
1	D16	1	772	780	
2	"	1	1020	1020	
3	"	1	1267	1270	
4	"	1	1515	1520	
5	"	1	1762	1770	
6	"	1	2010	2010	
7	"	1	2253	2260	
8	"	1	2505	2510	
平均		8		1650	

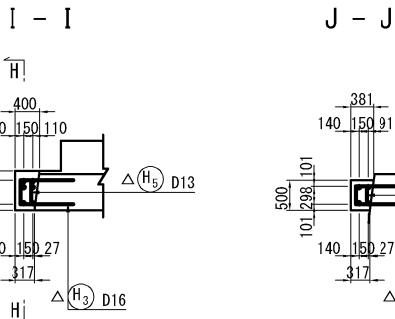
注1) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 2 橋台配筋図（ 7 ）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

段差防止構造配筋詳細図

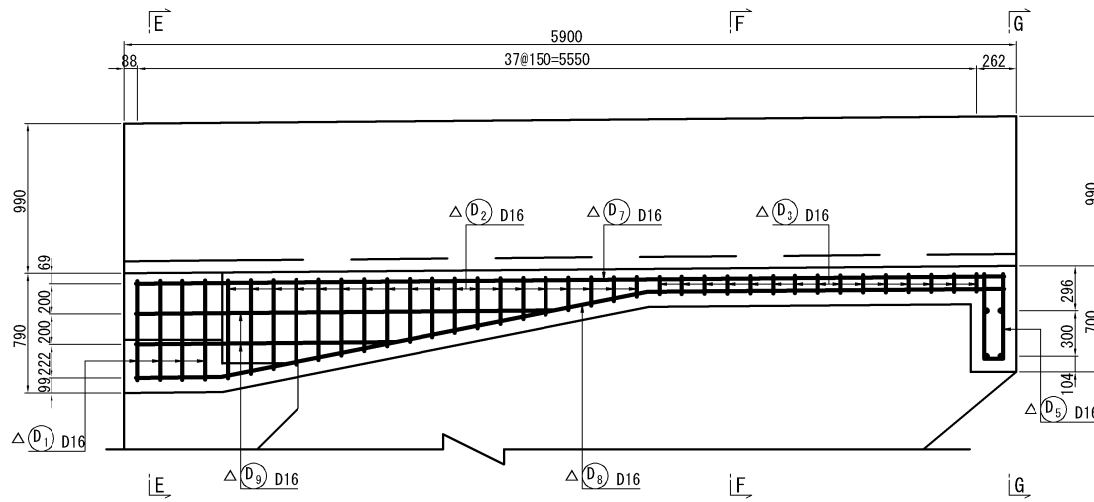


十留壁部配筋詳細図

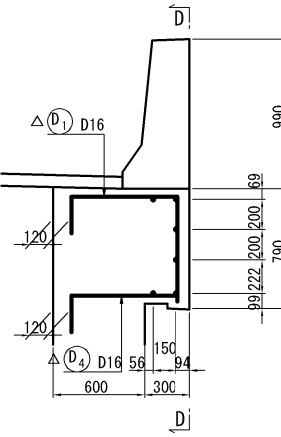


張出部 (水切部) 詳細図 S=1:50

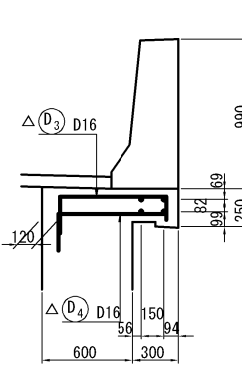
D - D



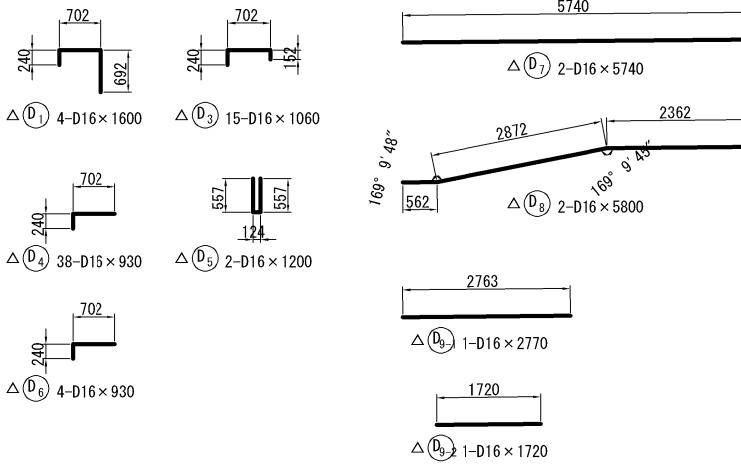
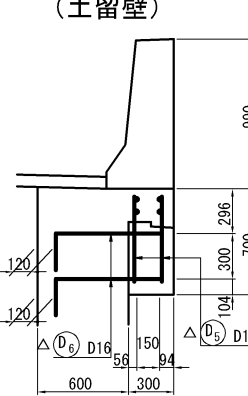
E - E



F - F



G - G
(土留壁)



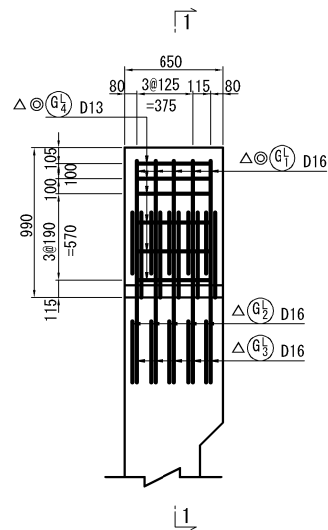
△ (D19) D19-D16×1290 (平均長)

記号	径	本数 (本)	l (mm)	L (mm)
1	D16	1	128	1030
2	"	1	157	1060
3	"	1	185	1090
4	"	1	214	1120
5	"	1	243	1150
6	"	1	272	1180
7	"	1	300	1200
8	"	1	329	1230
9	"	1	358	1260
10	"	1	387	1290
11	"	1	415	1320
12	"	1	444	1350
13	"	1	473	1380
14	"	1	502	1410
15	"	1	530	1430
16	"	1	559	1460
17	"	1	588	1490
18	"	1	617	1520
19	"	1	645	1550
平均		19		1290

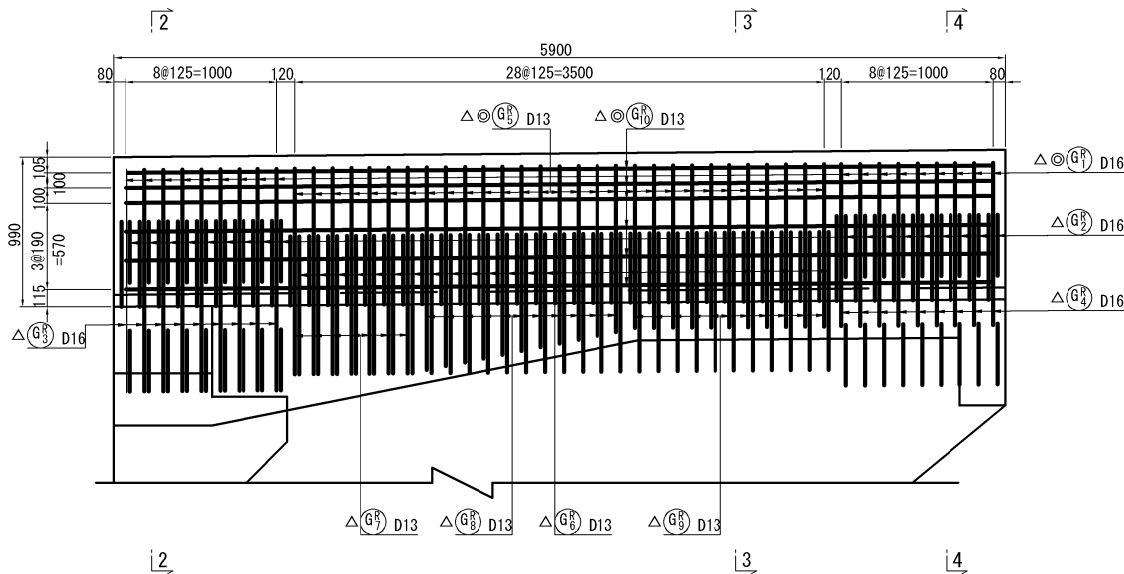
注1) ◎ 鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注2) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A2橋台配筋図（8）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

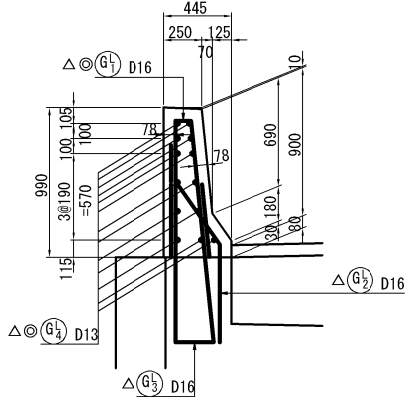
左壁高欄側面展開図



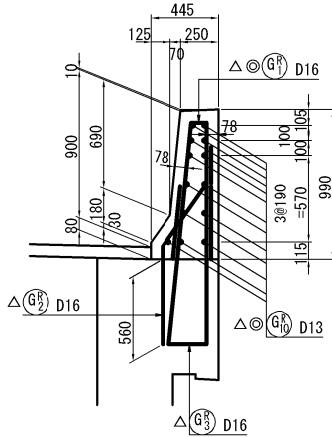
右壁高欄側面展開図



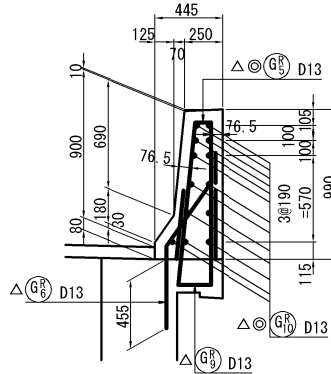
1 - 1



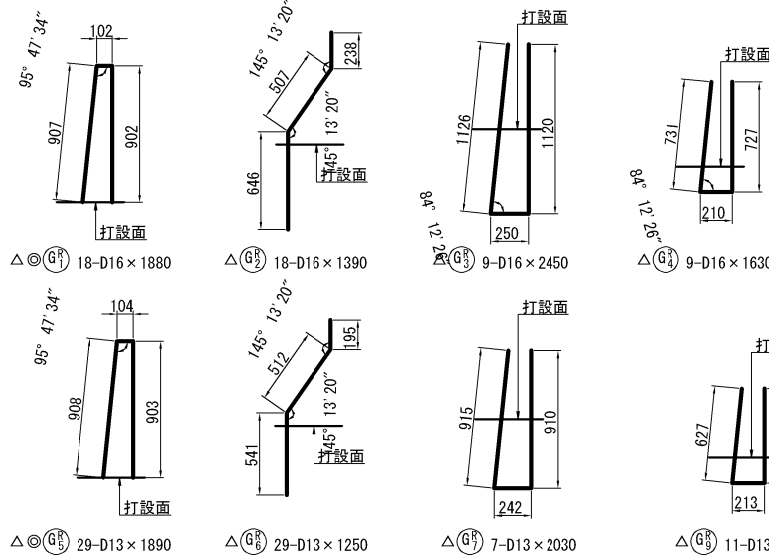
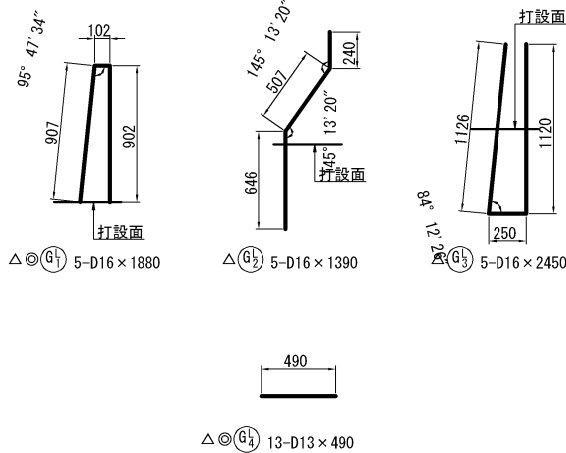
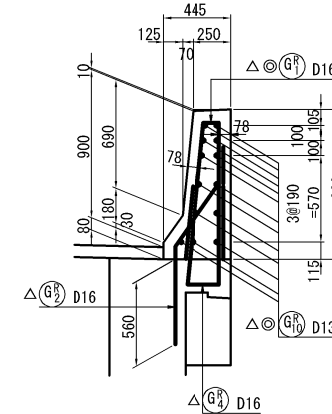
2 - 2



3 - 3



4 - 4



位置図



注1) ◎ 鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注2) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	A 2 橋台配筋図（9）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

新町橋（上り線） A 2 橋台配筋図（ 1 0 ） S=1:50

鉄筋表

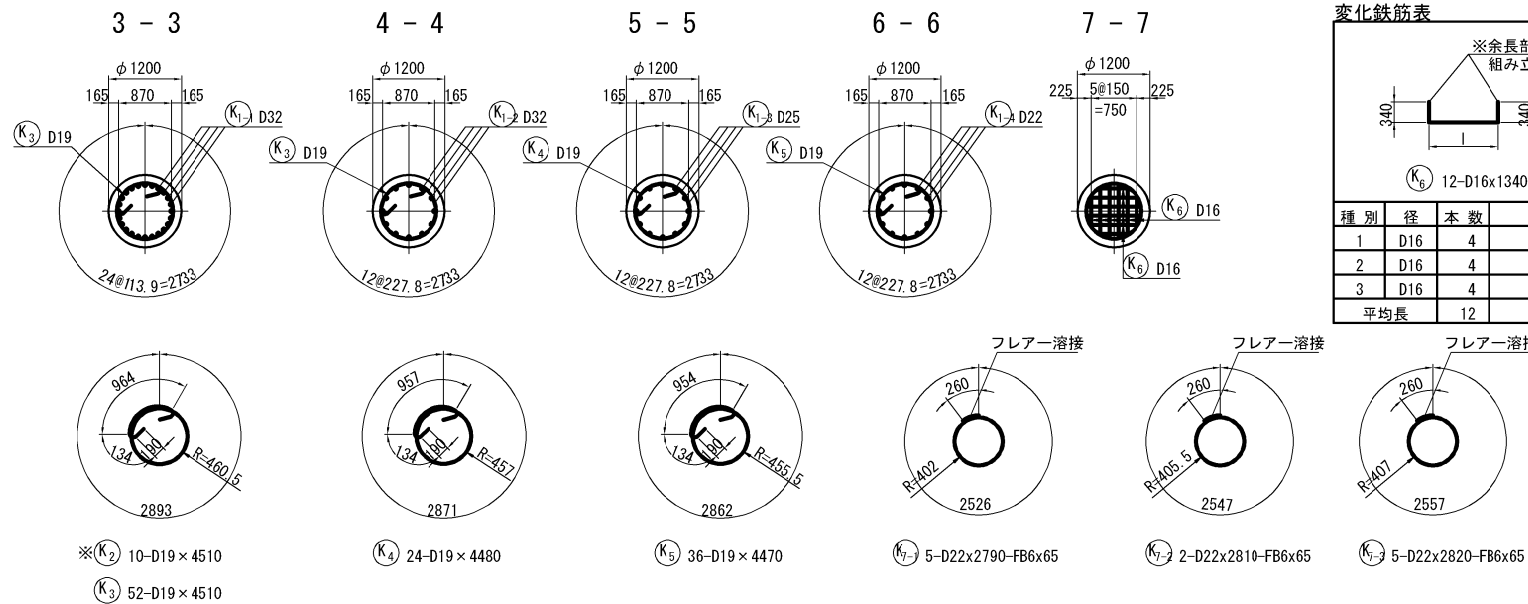
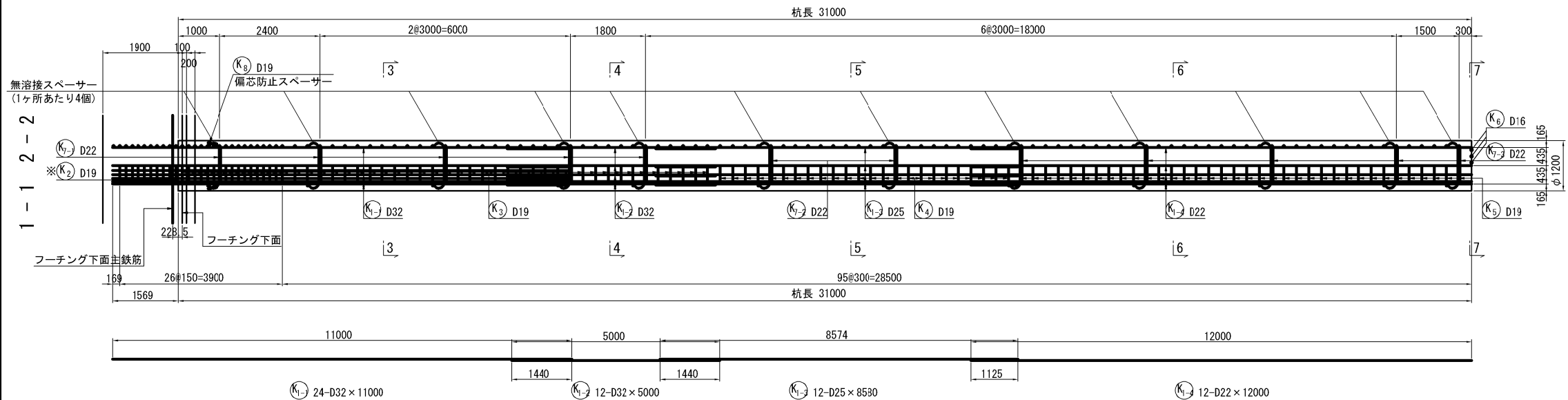
	記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
△	P 1	D16	2800	37	1.56	4.37	162	
△	P 2	〃	2500	72	〃	3.90	281	
△	P 3	〃	10820	1	〃	16.9	17	—
△	P 4	〃	10820	6	〃	16.9	101	—
△	P 5	〃	3220	6	〃	5.02	30	—
△	P 6	〃	10670	1	〃	16.6	17	—
△	P 7	〃	10670	6	〃	16.6	100	—
△	P 8	〃	2590	33	〃	4.04	133	7
△	P 9	〃	10250	6	〃	16.0	96	—
△	P 10	〃	800	36	〃	1.25	45	□
△	P 11	〃	10650	1	〃	16.6	17	—
△	P 12	〃	2180	1	〃	3.40	3	
※△	P 13	〃	650	72	〃	1.01	73	← (72) C
							1075	kg
△	J 1	D16	1170	34	1.56	1.83	62	
							62	kg
△	E 1	D22	520	13	3.04	1.58	21	
△	E 2	D13	1590	13	0.995	1.58	21	www
							42	kg
△	S 1	D16	2260	40	1.56	3.53	141	┐
△	S 2	〃	3060	26	〃	4.77	124	┐
△	S 3	〃	4700	4	〃	7.33	29	┐
							294	kg
△	T 1	D16	2810	21	1.56	4.38	92	
◎△	T 2	〃	2350	18	〃	3.67	66	
							158	kg
△	D 1	D16	1600	4	1.56	2.50	10	┐
△	D 2	〃	1290	19	〃	2.01	38	┐ (平均長)
△	D 3	〃	1060	15	〃	1.65	25	┐
△	D 4	〃	930	38	〃	1.45	55	┐
△	D 5	〃	1200	2	〃	1.87	4	
△	D 6	〃	930	4	〃	1.45	6	┐
△	D 7	〃	5740	2	〃	8.95	18	—
△	D 8	〃	5800	2	〃	9.05	18	—
△	D9-1	〃	2770	1	〃	4.32	4	—
△	D9-2	〃	1720	1	〃	2.68	3	—
							181	kg
△	H 1	D16	7140	4	1.56	11.1	44	
△	H 2	〃	1880	2	〃	2.93	6	┐
△	H 3	〃	2080	5	〃	3.24	16	┐
△	H 4	〃	1940	20	〃	3.03	61	┐
△	H 5	D13	790	2	0.995	0.786	2	┐
△	H 6	〃	690	7	〃	0.687	5	┐
							134	kg
△	A 1	D22	7520	71	3.04	22.9	1626	(平均長)
△	A 2	〃	7520	73	〃	22.9	1672	(平均長)
△	A 3	D16	11070	1	1.56	17.3	17	┐
△	A 4	〃	8960	1	〃	14.0	14	┐
△	A 5	〃	11070	35	〃	17.3	606	┐
△	A 6	〃	11420	1	〃	17.8	18	┐
△	A 7	〃	9300	1	〃	14.5	15	┐
△	A 8	〃	11410	35	〃	17.8	623	┐
△	A 9	〃	4840	41	〃	7.55	310	┐
△	A 10	〃	4860	2	〃	7.58	15	┐
△	A 11	〃	11770	11	〃	18.4	202	(平均長)
△	A 12	〃	3240	20	〃	5.05	101	┐
△	A 13	〃	7570	11	〃	11.8	130	
△	A 14	〃	7270	11	〃	11.3	124	
※△	A 15	〃	3050	31	〃	4.76	148	┐ (31) C
※△	A 16	〃	3050	114	〃	4.76	543	┐ (114) C
							6164	kg
F 1	D25	8210	42	3.98	32.7	1373	┐	
F 2	〃	8270	4	〃	32.9	132	┐	
F 3	〃	5830	36	〃	23.2	835	┐	
F 4	〃	10580	42	〃	42.1	1768	┐	
F 5	〃	10640	2	〃	42.3	85	┐	
F 6	〃	6320	37	〃	25.2	932	┐	
F 7	〃	6360	5	〃	25.3	127	┐	

注1) ※ 印は機械式鉄筋定着工法を示し、()内は機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。
注2) ◎ 鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注3) △ 鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

	記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
	F8-1	D16	5000	14	1.56	7.80	109	└
	F8-2	〃	7190	14	〃	11.2	157	└ (平均長)
	F8-3	〃	6500	14	〃	10.1	141	└
	F8-4	〃	5670	14	〃	8.85	124	└ (平均長)
	F 9	〃	1480	19	〃	2.31	44	└
	F10-1	〃	5000	22	〃	7.80	172	└
	F10-2	〃	7370	22	〃	11.5	253	└ (平均長)
	F10-3	〃	6500	23	〃	10.1	232	└
	F10-4	〃	5860	23	〃	9.14	210	└ (平均長)
	F 11	〃	2040	17	〃	3.18	54	└
	F 12	〃	2040	28	〃	3.18	89	└
	F13-1	D19	7840	7	2.25	17.6	123	└
	F13-2	〃	5000	7	〃	11.3	79	└
	F 14	〃	11230	7	〃	25.3	177	└
	F 15	〃	8040	7	〃	18.1	127	└
※	F 16	〃	8000	7	〃	17.8	126	└
	F 17	〃	1930	221	〃	4.34	959	└ (221) C
							8428 kg	
△	W 1	D16	5950	1	1.56	9.28	9	└
△	W 2	〃	5950	2	〃	9.28	19	└
△	W 3	〃	4840	6	〃	7.55	45	└ (平均長)
△	W 4	〃	3350	7	〃	2.23	37	└
△	W 5	〃	5740	18	〃	8.95	161	└
△	W 6	D19	5780	14	2.25	13.0	182	└
△	W 7	D16	5940	1	1.56	9.27	9	└
△	W 8	〃	5940	2	〃	9.27	19	└
△	W 9	〃	4830	6	〃	7.53	45	└ (平均長)
△	W 10	〃	5740	18	〃	8.95	161	└
△	W 11	D19	9620	9	2.25	21.6	194	└ (平均長)
△	W 12	〃	5180	4	〃	11.7	47	└
△	W 13	D16	1650	8	1.56	2.57	21	└ (平均長)
△	W 14	〃	9580	9	〃	14.9	134	└ (平均長)
△	W 15	〃	1650	8	〃	2.57	21	└ (平均長)
△	W 16	〃	2410	9	〃	3.76	34	└
△	W 17	〃	3760	2	〃	5.87	12	└
△	W 18	〃	5800	7	〃	9.05	63	└
△	W 19	D19	5900	9	2.25	13.3	120	└
△	W 20	D16	4410	2	1.56	6.88	14	└
△	W 21	〃	5990	1	〃	9.34	9	└
△	W 22	〃	810	17	〃	1.26	21	└
△	W 23	〃	840	8	〃	1.31	10	└
△	W 24	〃	840	18	〃	1.31	24	└
△	W 25	〃	5740	1	〃	8.95	9	└
△	W 26	〃	7000	2	〃	10.9	22	└
△	W 27	D13	780	24	0.995	0.776	19	└
△	W 28	〃	790	9	〃	0.786	7	└
							1468 kg	
◎△	GL 1	D16	1880	5	1.56	2.93	15	└
△	GL 2	〃	1390	5	〃	2.17	11	└
△	GL 3	〃	2450	5	〃	3.82	19	└
◎△	GL 4	D13	490	13	0.995	0.488	6	└
							51 kg	
◎△	GR 1	D16	1880	18	1.56	2.93	53	└
△	GR 2	〃	1390	18	〃	2.17	39	└
△	GR 3	〃	2450	9	〃	3.82	34	└
△	GR 4	〃	1630	9	〃	2.54	23	└
◎△	GR 5	D13	1890	29	0.995	1.88	55	└
△	GR 6	〃	1250	29	〃	1.24	36	└
△	GR 7	〃	2030	7	〃	2.02	14	└
△	GR 8	〃	1570	11	〃	1.56	17	└ (平均長)
△	GR 9	〃	1430	11	〃	1.42	16	└
◎△	GR 10	〃	5740	13	〃	5.71	74	└
							361 kg	
下部工施工分								
					A鉄筋	A(E)鉄筋	C鉄筋	C(E)鉄筋 合 計 (機械式定着)
					D25 5252 kg			5252 kg
					D22	3319 kg		3319 kg
					D19 632 kg	543 kg	959 kg	2134 kg
					D16 1585 kg	4958 kg	764 kg	7307 kg (221)
					D13	137 kg		137 kg (217)
					合計 7469 kg	8957 kg	959 kg	764 kg 18149 kg
上部工施工分								
					A(E)鉄筋	合 計		
					D16 134 kg	134 kg		
					D13 135 kg	135 kg		
					合計 269 kg	269 kg		

下部工施工鉄筋集計表

種 別	径 (mm)	質量 (kg)	合計 (kg)
A (SD345)	D13	—	—
	D16 └ D25	D16 1585	7469
		D19 632	
		D22 —	
	D29 └ D32	D25 5252	—
		D29 —	
		D32 —	
	D35	—	—
	D38	—	—
	D41	—	—
	D51	—	—
	合 計		7469
C (SD345)	D16	—	959
	D19	959	
	D22	—	
	D25	—	
	D29	—	
	D32	—	—
		合 計	959
		総 質 量 (A+C)	8428
種 別	径 (mm)	長さ	箇所数 (箇所)
機械式鉄筋 定着箇所数	D16	0<L≤1m	—
		1m<L≤2m	—
		2<L≤3m	—
		3<L≤4m	—
		4<L≤5m	—
	D19	合 計	—
		0<L≤1m	—
		1m<L≤2m	221
		2<L≤3m	—
		3<L≤4m	—

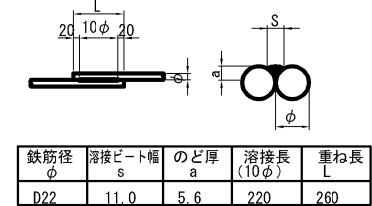


変化鉄筋表

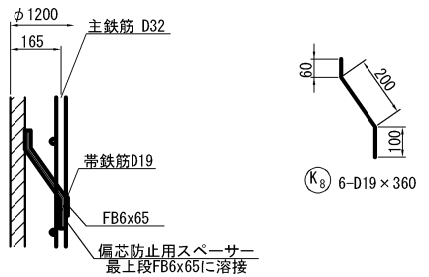
※余長部は組み立て筋に溶接とする

種別	径	本数	l	L
1	D16	4	866	1510
2	D16	4	755	1400
3	D16	4	458	1100
平均長		12		1340

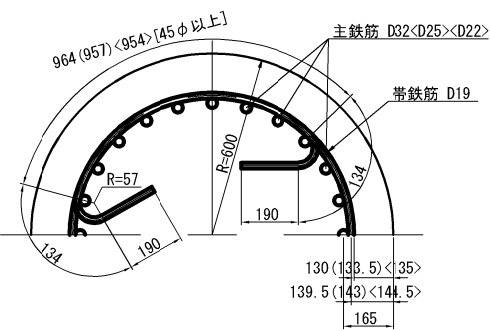
フレアー溶接詳細図 S=1:25



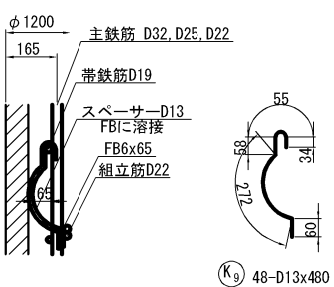
偏芯防止スペーサー部詳細図(参考図) S=1:25



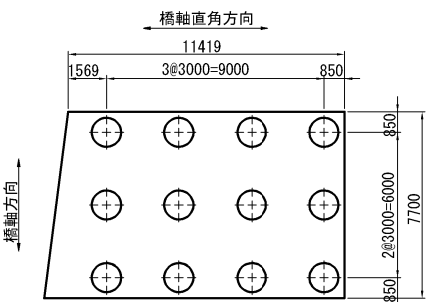
かぶり詳細図 S=1:25



スペーサー詳細図(参考図) S=1:25



杭配置図 S=1:250

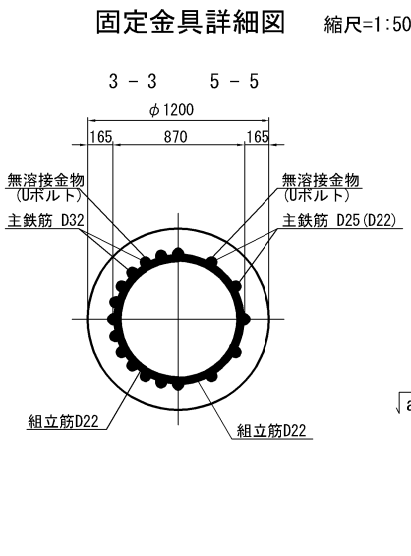


鉄筋表

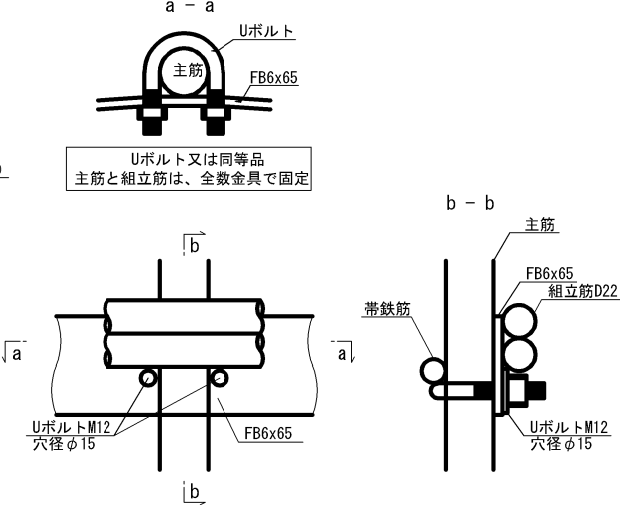
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
K1-1	D32	11000	24	6.23	68.5	1644	
K1-2	"	5000	12	"	31.2	374	
K1-3	D25	8580	12	3.98	34.1	409	
K1-4	D22	12000	12	3.04	36.5	438	
※ K 2	D19	4510	10	2.25	10.1	101	○
K 3	"	4510	52	"	10.1	525	○
K 4	"	4480	24	"	10.1	242	○
K 5	"	4470	36	"	10.1	364	○
K 6	D16	1340	12	1.56	2.09	25	⌊ (平均長)
K7-1	D22	2790	5	3.04	8.48	42	○ フレアー溶接部
K7-2	"	2810	2	"	8.54	17	○ フレアー溶接部
K7-3	"	2820	5	"	8.57	43	○ フレアー溶接部
(1本当り)							4224 kg
Y鉄筋				1本当たり	フレアー溶接箇所	1基当たり	フレアー溶接箇所
D32				2018 kg	× 12 =	24216 kg	
D25				409 kg	× 12 =	4908 kg	
D22				540 kg	× 12 =	6480 kg	
D19				1131 kg	× 12 =	13572 kg	
D16				25 kg	× 12 =	300 kg	
合計				4123 kg	× 12 =	49476 kg	
A鉄筋				1本当たり		1基当たり	
D19				101 kg	× 12 =	1212 kg	
合計				101 kg	× 12 =	1212 kg	
組立鉄筋 (杭1本当り)							
K 8	D19	360	6	2.25	0.810	5	⌋
K 9	D13	480	43	0.995	0.478	23	⌋
(1本当り)							28 kg
D19				5 kg	× 12 =	60 kg	
D13				23 kg	× 12 =	276 kg	
合計				28 kg	× 12 =	336 kg	
FB6x65				2620	5	3.06	8.02
"				2640	2	"	8.08
"				2650	5	"	8.11
(1本当り)							97 kg
FB6x65				97 kg	× 12 =	1164 kg	

注1) 図中鉄筋番号のうち、※印はA鉄筋を示す。
杭頭鉄筋とフーチング鉄筋との取り合いについては、事前に確認のうえ、施工すること。
無溶接金具は、補強棒、スペーサーおよび杭底面上げた筋部に設置する。
注2) 帯鉄筋の継手位置は各々90°ずらして配置する。

無溶接金物 (Uボルト) 取付図(参考図)



Uボルト取付詳細図 S=1:15



鉄筋曲げ加工表

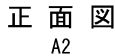
主鉄筋

帯鉄筋

$$\Delta L = 2L - a$$

曲げ	径			主鉄筋・帯鉄筋		
半径	D13~D51			R=3φ		
	θ=90°			θ=45°		
径	主鉄筋			スターラップ、帯鉄筋		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	39	92	96
D16	48	75	21	48	113	119
D19	57	89	25	57	134	141
D22	66	104	28	66	155	164
D25	75	118	32	75	177	185
D29	87	137	37	87	205	215
D32	96	151	41	—	—	—
D35	105	165	45	—	—	—
D38	114	179	49	—	—	—
D51	153	240	66	—	—	—

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） A 2 橋台場所打ち杭配筋図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

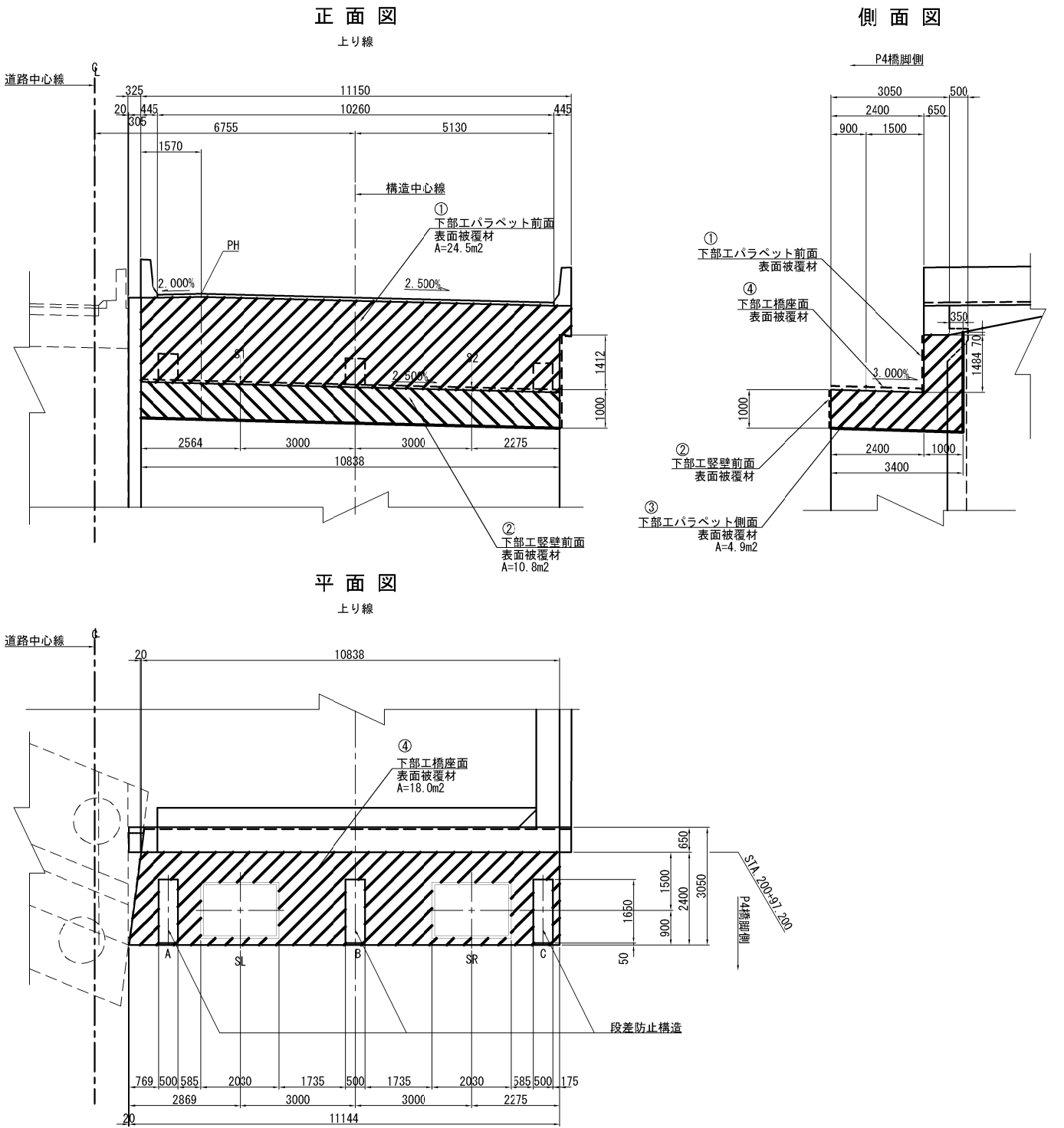
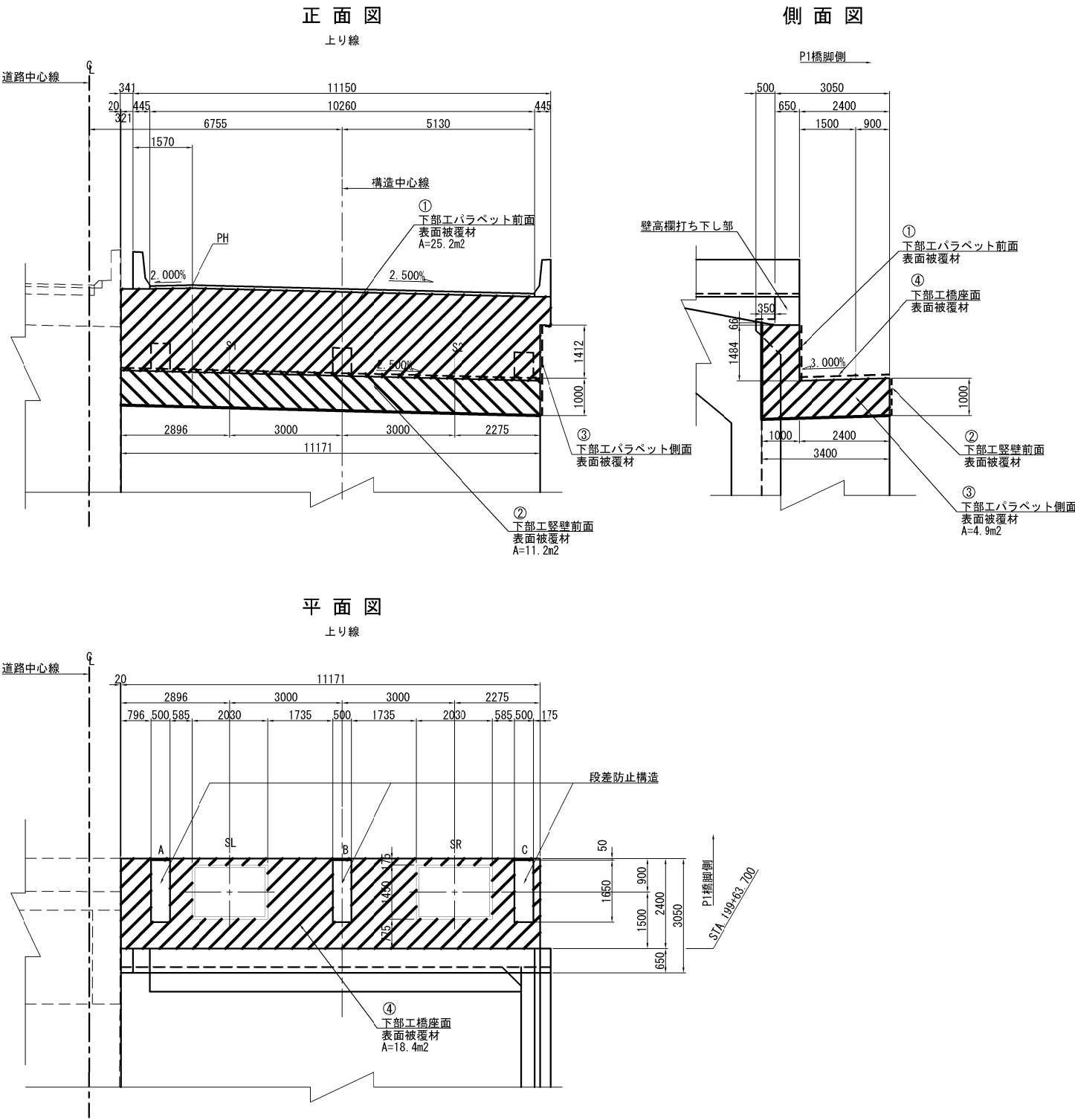


部材名	規 格	員数 (枚・本)	長 さ (mm)	単位質量 (kg/m)	1本あたり質量 (kg)	質 量 (kg)	摘要	備 考
鋼矢板	Ⅲ型	5	9,000	60.0	540.0	2,700	SY295	リース材
		5			鋼矢板小計	2,700	kg	
	Ⅳ型	37	11,500	76.1	875.2	32,382	SY295	リース材
		3	2,500	76.1	190.3	571	〃	購入材
		3	3,000	76.1	228.3	685	〃	〃
		3	3,000	76.1	228.3	685	〃	〃
		3	3,000	76.1	228.3	685	〃	〃
		4	3,500	76.1	266.4	1,066	〃	〃
		4	3,000	76.1	228.3	913	〃	〃
		4	3,000	76.1	228.3	913	〃	〃
		4	2,000	76.1	152.2	609	〃	〃
		65			鋼矢板小計	38,509	kg	
		70			鋼矢板合計	41,209	kg	
					継手箇所数	21	箇所	
頭部補強材	ㄱ-380x100x10.5x16	1	12,000	54.5	654.0	654.0	SS400	リース材
頭部補強材	ㄱ-380x100x10.5x16	1	2,800	54.5	152.6	152.6	〃	〃
頭部補強材	ㄱ-380x100x10.5x16	1	2,700	54.5	147.2	147.2	〃	〃
	頭部補強材合計					953.8	kg	
	合計							
	鋼矢板	Ⅲ型			2,700	kg	(リース材)	
	鋼矢板	Ⅳ型			32,382	kg	(リース材)	
	鋼矢板	Ⅳ型			6,127	kg	(購入材)	
	頭部補強材	SS400			953.8	kg	(リース材)	
	継手箇所数					21	箇所	

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋(上り線)		
	A 2橋台土留工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
	横手工事事務所		

A1橋台部

A2橋台部

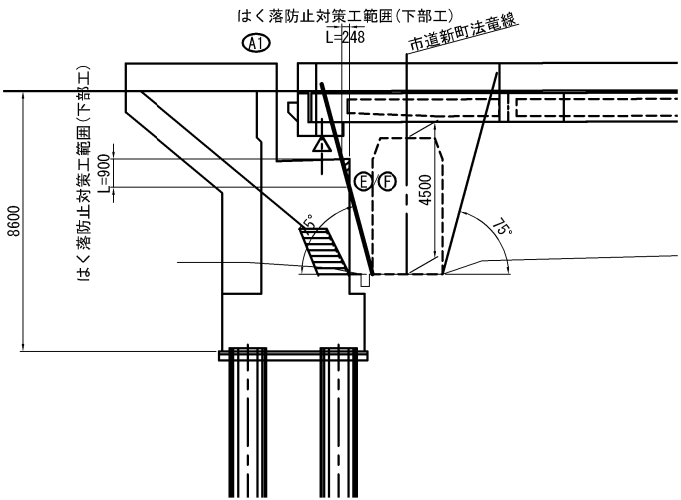


数量表

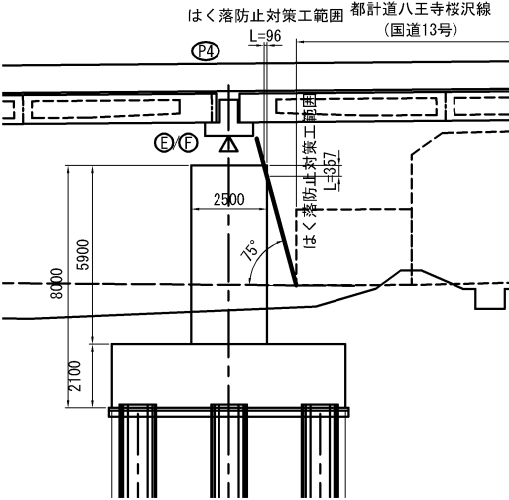
項 目	単位	数 量	備考
コンクリート表面被覆	A1橋台 m ²	59.7	
	A2橋台 "	58.2	
	合 計 "	117.9	

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） 表面保護工詳細図（下部工）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

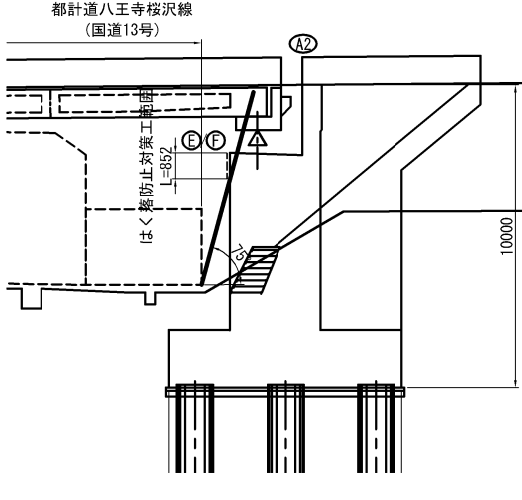
A1橋台 側面図



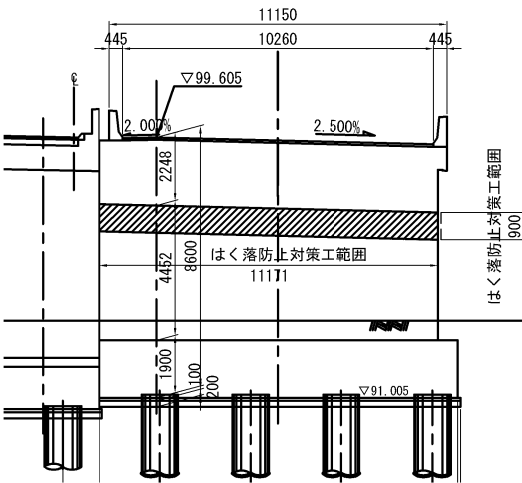
P4橋脚 1-1断面図



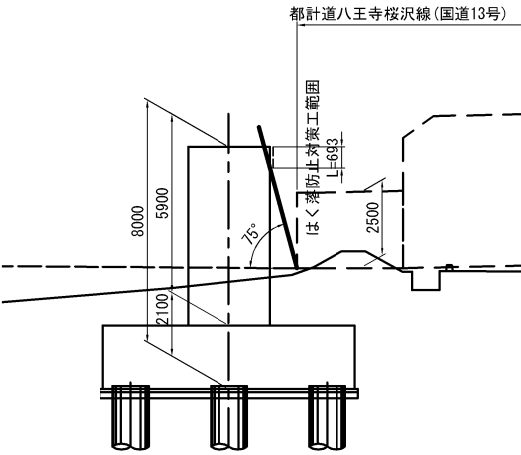
A2橋台 1-1断面図



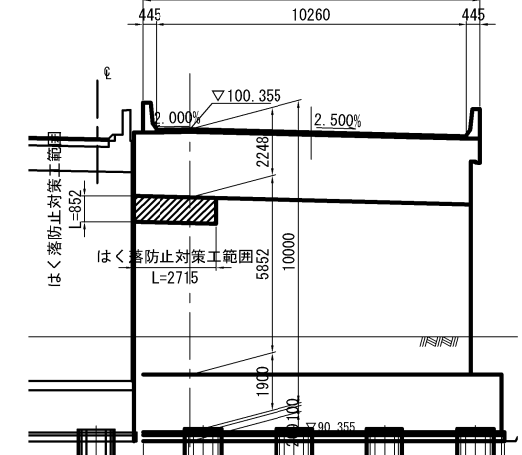
A1橋台 正面図



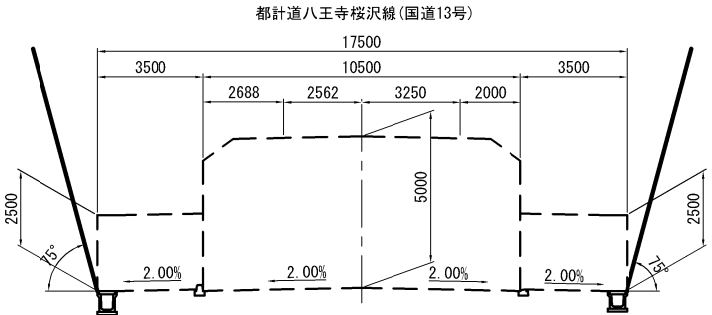
P4橋脚 2-2断面図



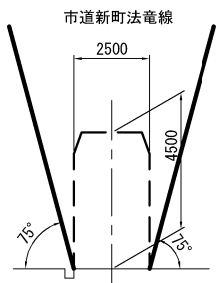
A2橋台 2-2断面図



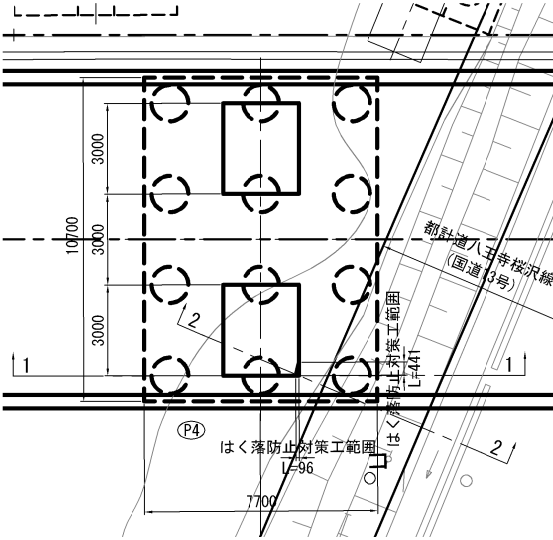
交差条件



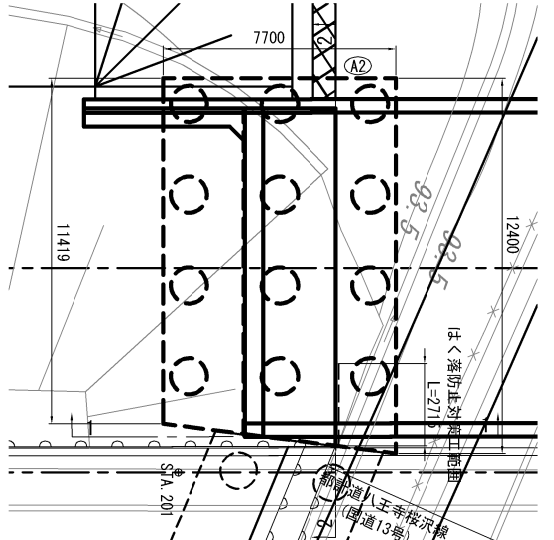
交差条件



P4橋脚 平面図



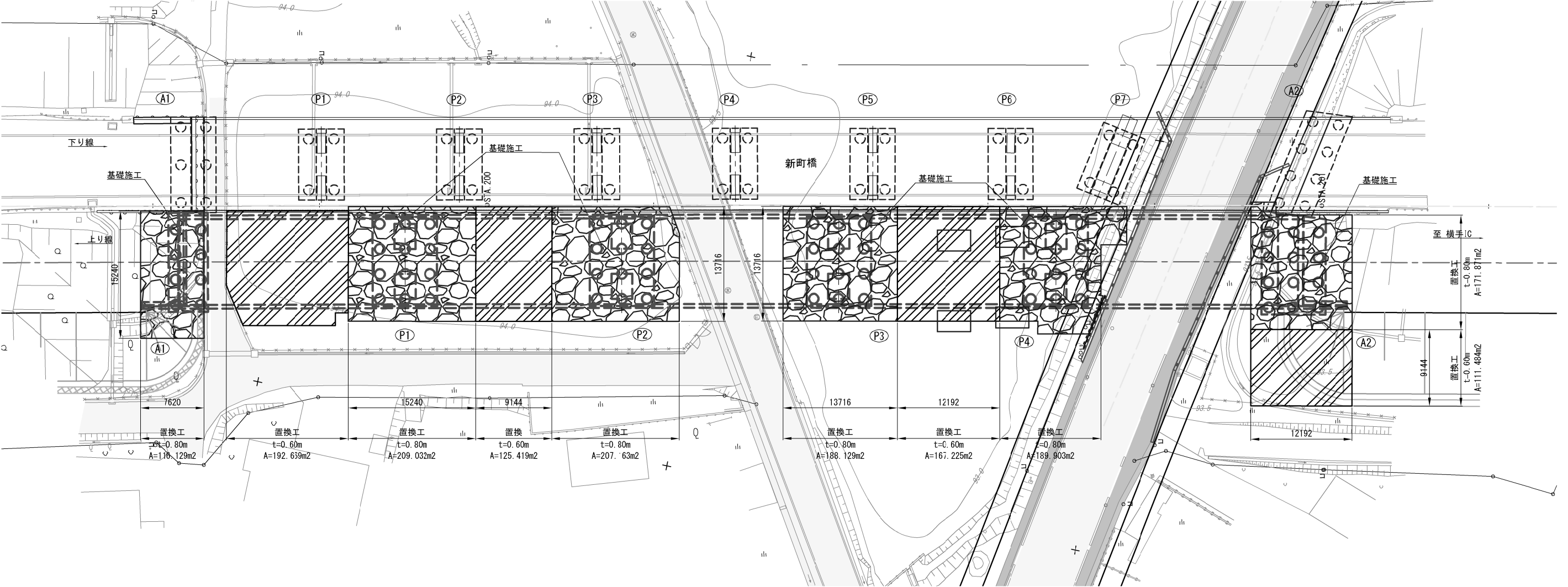
A2橋台 平面図



数量表

項目	施工箇所	単位	数量
はく落防止対策工A	A1橋台	㎡	10.2
	P4橋脚	㎡	0.3
	A2橋台	㎡	2.3
	合計	㎡	12.8

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） はく落防止対策工A詳細図 （下部工）		
縮 尺	1:250	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



表面地層：Bn層とAp層(有機質シルト)

表面地層：Ac層(シルト質粘土)
又はTs層(粘土質砂礫)

表面地層：Bn層(粘土質細砂)

地盤改良数量表(参考)

	項目	規格寸法	単位	数量	摘要	凡例	使用重機	
基礎施工	置換工	t=0.60m	m3	358.1	碎石(RC-40)		70t吊クローラークレーン	※1)
	"	t=0.80m	m3	865.7	"		全周回転掘削機	※1)

※1) 残土運搬先：美砂古沼本線外盛土場

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線） 地盤改良平面図（下部工）		
	縮尺	1:500	図面番号 /
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手二事務所		

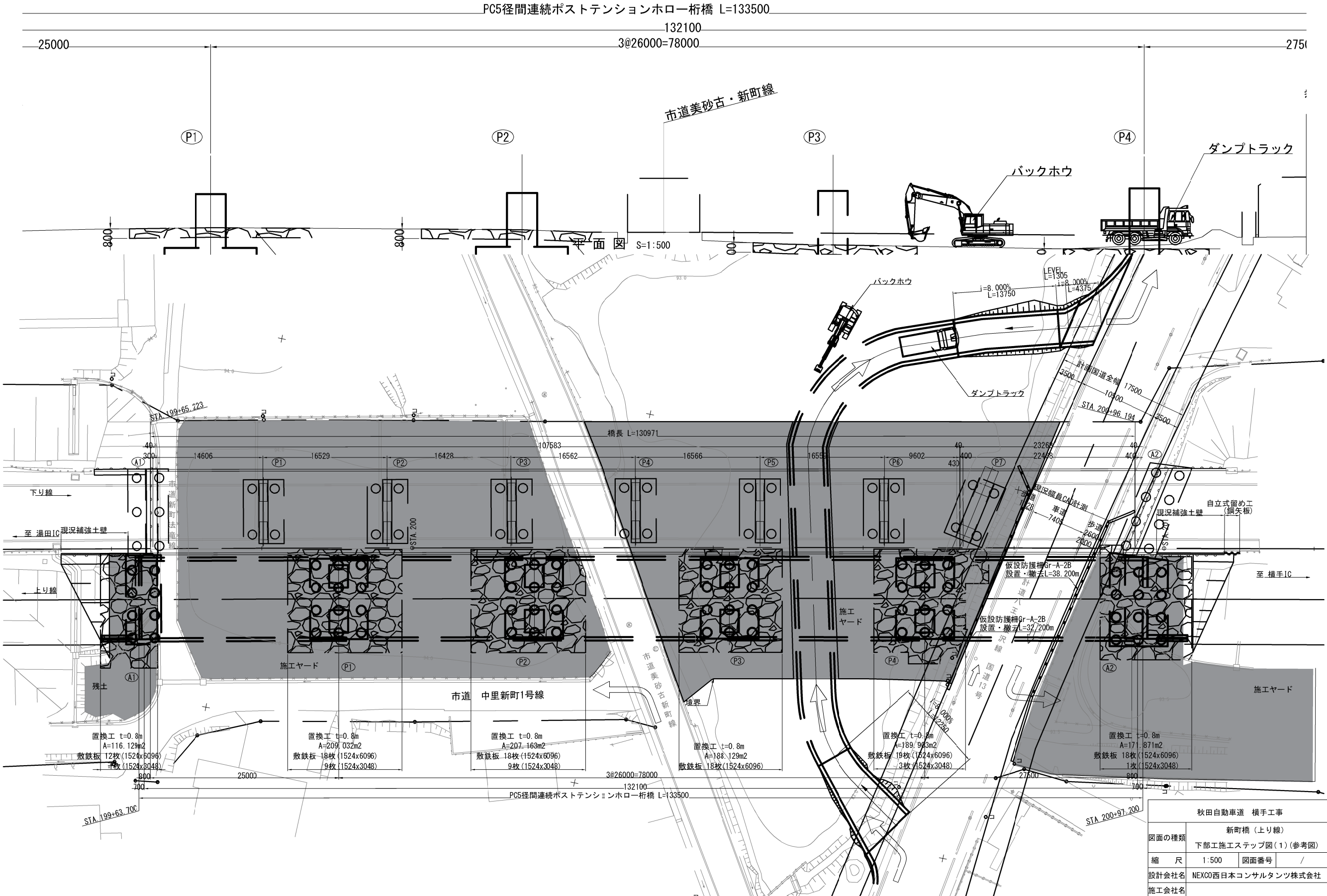
新町橋（上り線）下部工施工ステップ図（1）（参考図）

【準備工・工事用進入路整備・施工ヤード造成・地盤改良工】

側面図 S=1:500

- 橋台部
- 準備工
 - 工事用搬入路整備
 - 施工ヤード造成
 - 地盤改良工
 - 基礎杭施工
 - 床掘り・土留め設置
 - 杭頭処理・底版工
 - 橋台躯体施工・ウイング
 - 埋め戻し・土留め撤去
 - 跡片付工

- 橋脚部
- 準備工
 - 工事用搬入路整備
 - 施工ヤード造成
 - 地盤改良工
 - 基礎杭施工
 - 床掘り・土留め設置
 - 杭頭処理・底版工
 - 橋脚躯体施工
 - 埋め戻し・土留め撤去
 - 上部工施工ヤードの構築
 - 跡片付工

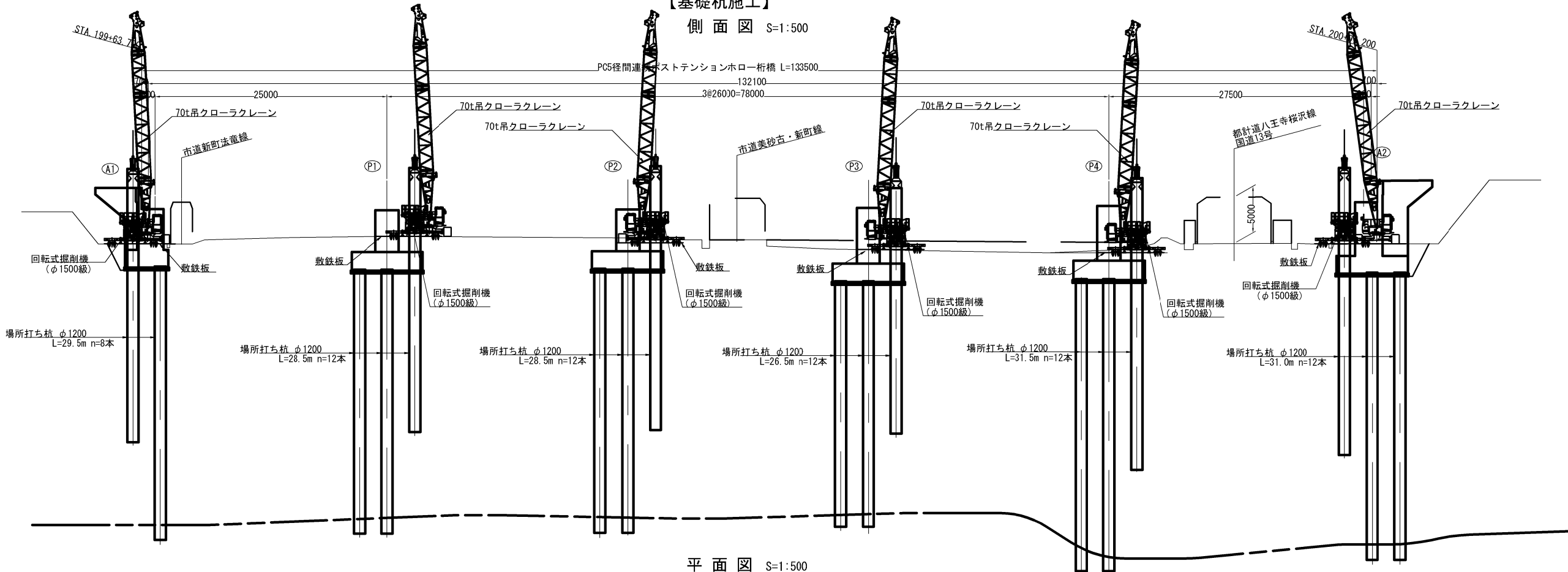


秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	下部工施工ステップ図（1）（参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

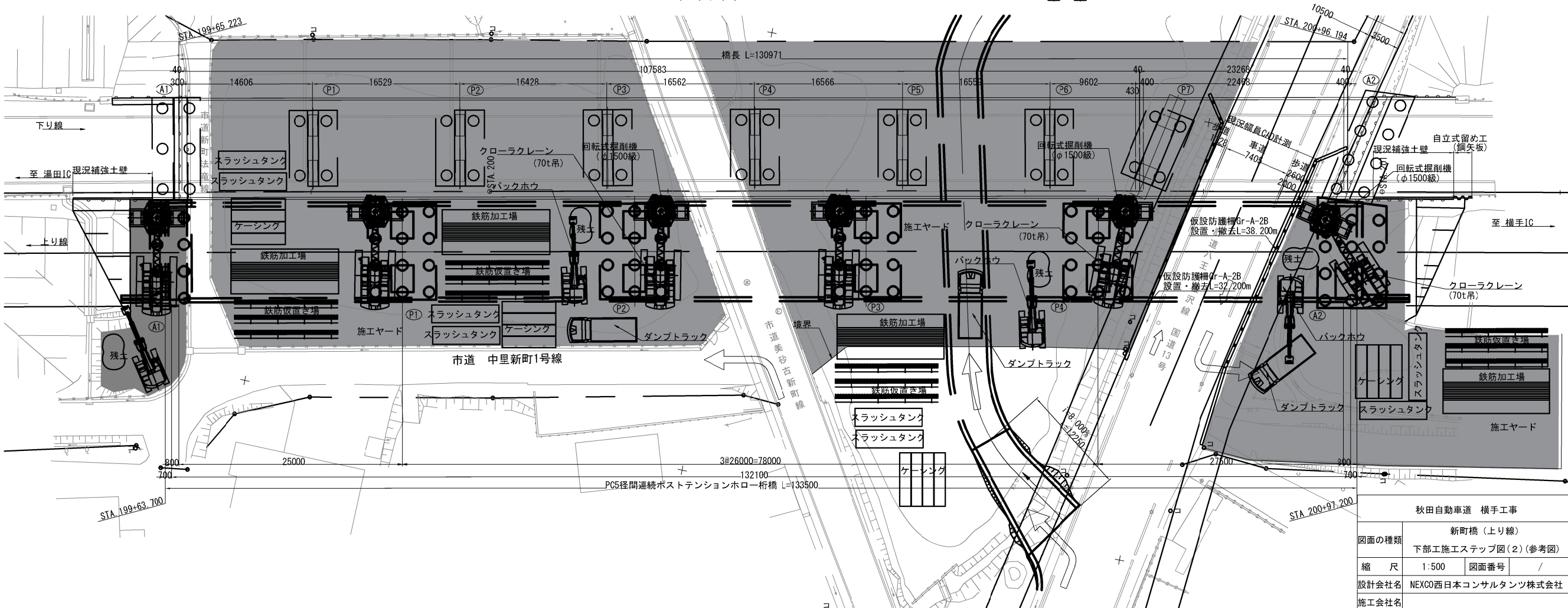
新町橋（上り線）下部工施工ステップ図（2）（参考図）

【基礎杭施工】

側面図 S=1:500



平面図 S=1:500



- 橋台部
- 準備工
 - 工事用搬入路整備
 - 施工ヤード造成
 - 地盤改良工
 - 基礎杭施工
 - 床掘り・土留め設置
 - 杭頭処理・底版工
 - 橋台躯体施工・ウイング
 - 埋め戻し・土留め撤去
 - 跡片付工

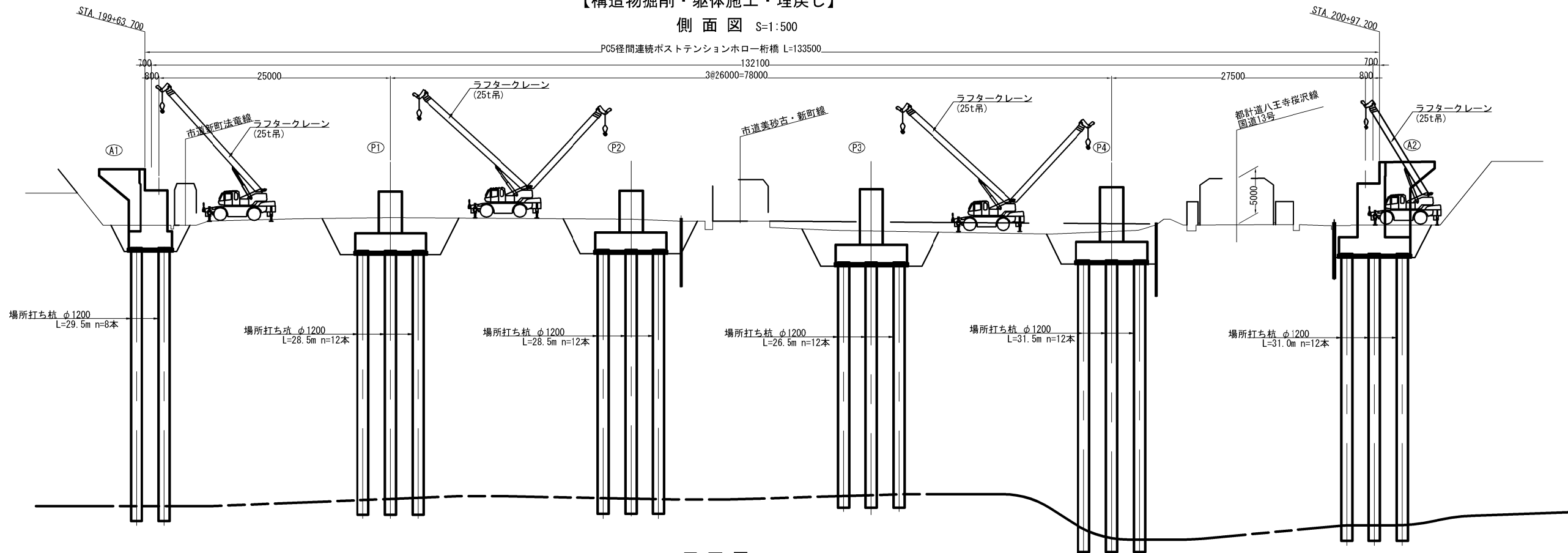
- 橋脚部
- 準備工
 - 工事用搬入路整備
 - 施工ヤード造成
 - 地盤改良工
 - 基礎杭施工
 - 床掘り・土留め設置
 - 杭頭処理・底版工
 - 橋脚躯体施工
 - 埋め戻し・土留め撤去
 - 上部工施工ヤードの構築
 - 跡片付工

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	下部工施工ステップ図（2）（参考図）		
縮尺	1:500	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

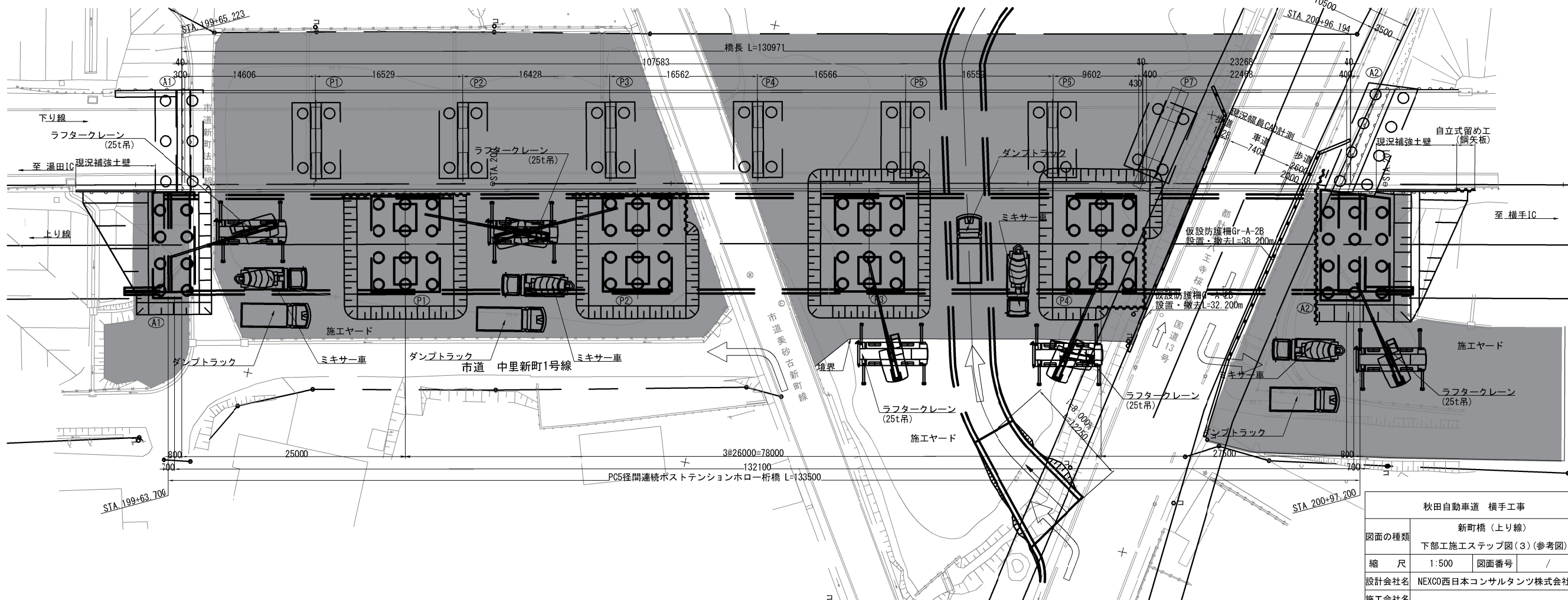
新町橋（上り線）下部工施工ステップ図（3）（参考図）

【構造物掘削・躯体施工・埋戻し】

側面図 S=1:500



平面図 S=1:500



- 橋台部
- 準備工
 - 工事用搬入路整備
 - 施工ヤード造成
 - 地盤改良工
 - 基礎杭施工
 - 床掘り・土留め設置
 - 杭頭処理・底版工
 - 橋台躯体施工・ウイング
 - 埋め戻し・土留め撤去
 - 跡片付工

- 橋脚部
- 準備工
 - 工事用搬入路整備
 - 施工ヤード造成
 - 地盤改良工
 - 基礎杭施工
 - 床掘り・土留め設置
 - 杭頭処理・底版工
 - 橋脚躯体施工
 - 埋め戻し・土留め撤去
 - 上部工施工ヤードの構築
 - 跡片付工

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	新町橋（上り線）		
	下部工施工ステップ図（3）（参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		